

■常呂町総合年表（明治・大正・昭和・平成・令和）

和暦	西暦	月日	項 目
明治元年	1868	7月7日	江戸を東京と改称
		9月	箱館裁判所屬吏平井幸一郎、網走に至り新政布告（網走市史 常呂町百年史）
		9月8日	明治と改元し、一世一元の制を定める
明治2年	1869	5月19日	箱館府開庁（7.24廃止）（新北海道史 新北海道史年表9）
		7月8日	開拓使設置（新北海道史）
		7月18日	松浦武四郎『北海道々国郡撰定上申書』を上申 常呂は北見州（北見国）、常呂郡（常色郡）に属す
		8月2日	松浦武四郎、開拓判官に任命（新北海道史年表）
		8月15日	北見国常呂郡を設定（新北海道史）
		8月15日	蝦夷を北海道と改め、11国86郡と定める。北見国8郡（斜里・網走・常呂・紋別・枝幸・宗谷・利尻・礼文）（新北海道史）
		8月28日	常呂・網尻両郡が広島藩の支配となる：広島藩分領地（新北海道史）
		8月28日	広島藩が常呂郡の支配を命ぜられる（新北海道史）
		8月	北蝦夷地を樺太と改称（常呂町百年史）
		9月28日	漁場請負いを廃止する〔布達〕
		10月20日	判官松本十郎、根室開拓使出張所を開設（網走市史）
		10月29日	場所請負人を漁場持と改称し、従来どおりの漁場経営を認める〔布達〕
		11月	場所請負人名目廃止につき運上屋並びに番屋を本陣とし、運上屋許にある番屋を脇本陣とする（新北海道史年表）
明治3年	1870	2月13日	樺太開拓史を設置（新北海道史年表）
		3月30日	松浦武四郎、開拓判官を辞す（簡約松浦武四郎自伝 新北見市史年表9）
		5月9日	黒田清隆、開拓次官に任命（新北海道史年表）
		7月22日	藤野喜兵衛に漁場引き上げを通達（網走市史）
		閏10月	常呂郡は広島藩から開拓使の直轄となる（新北海道史）
		11月23日	開拓使少主典磯部栄基、常呂通過（新北見市史年表）
		11月29日	磯部小主典、網走に来て藤野喜兵衛に漁場引き上げを住民に通達（網走市史 新北見市史年表）
明治4年	1871	4月4日	戸籍法制定（翌5年2月1日施行）
		5月	開拓使庁を札幌に開き、函館・根室の出張所を出張開拓使庁と改称（開拓使事業報告）
		7月16日	判官松本十郎、北見国を視察：常呂郡通過「北見州経験誌 常呂町百年史」
		7月17日	開拓使、戸籍法の制定に伴う心得方を布達 開拓使、各郡に古跡編成を命ずる（開拓使事業報告 新北見市史年表）
		8月8日	樺太開拓使を廃止、北海道開拓使に合併（新北海道史）
		12月19日	藤野伊兵衛、北見東部4郡および根室国標津・目梨両郡の魚場持を命ぜられる（藤野家履歴 新北見市史年表）
		12月	行政区画を札幌本庁と5支庁に区分、北見国紋別郡以東4郡は根室支庁に 枝幸郡以北4郡は宗谷支庁に属す（網走市史）
		12月	伊達林右衛門、北見4郡・天塩国一円の漁場持を命ぜらる（常呂町百年史）
明治4年			常呂郡には129人のアイヌ（男53人、女76人）が住んでいた（開拓使事業報告 新北見市史年表） 紋別兼常呂郡派遣官吏として少主典磯部栄基・付属井口多作の名あり（網走市史）

明治5年	1872	正月	北見国4郡の漁場規制を設け、税はすべて外1割全納と定める (常呂町史)
		1月29日	全国の戸籍調査実施、戸籍簿を編成(北海道史年表)
		1月	場所請負人廃止以後、アイヌの疲弊の状況があるため、北見国標津・目梨2郡、千島国国後郡を藤野喜兵衛に、千島国捉促外3郡を伊達林右衛門・栖原小右衛門に委託して撫育させる(開拓使事業報告 常呂町百年史)
		3月	根室出張開拓使庁管内の村名を定める。北見国4郡の村名は紋別・常呂・網走・斜里となる。常呂郡内にトコロ・トウフツ・フトチャンナイ・テシマナイ・チウウシ・ノツケウシ・ムエカオツネの7ヶ村を置く。 (開拓使事業報告 常呂町百年史)
		3月	開拓使、常呂・紋別両郡に救済(極窮者撫恤米1日1名白米5合、死亡者埋葬料として1円賜う)(開拓使事業報告 新北見市史年表)
		4月	戸長を置く(網走:佐々木三右衛門、斜里:原田長右衛門、紋別・常呂:盛田辰蔵)(常呂町史)
			常呂・鑑沸で鱒漁に始めて建網を用いる。収穫僅か。
		6月12日	松本十郎、北見国巡回のため根室出発、6月15日常呂通過 (北見州旅行記 新北見市史年表)
		6月	藤野伊兵衛、斜里山道・能取山道の改修に着手(開拓使事業報告 常呂町史)
		8月8日	常呂・紋別の境界をチフェカルウシに確定する(告示)
		9月14日	札幌開拓使庁を札幌本庁と改め、函館・根室・宗谷・浦河・樺太の5支庁を置く(開拓使事業報告 新北見市史年表)
		9月20日	開拓使、北海道土地売買規則・地所規則を制定〔布達〕
		9月	網走・紋別に官立病院を置く(開拓使事業報告 常呂町百年史)
12月3日	太陽暦を採用し、この日を6年1月1日とする		
明治5年			常呂・鑑沸で鱒漁に初めて建網を用いる。昆布漁も行うが産額少なく、7年から中止(開拓使事業報告 常呂町百年史)
明治6年	1873	1月	判官松本十郎、札幌本庁主任官に転じ、大主典折田平内が根室主任官となる (網走市史)
		2月25日	藤野喜兵衛が北見4郡の在来漁場の5ヶ所を函館産掛から引き継ぐ (斜里漁業史 常呂町百年史)
		2月	磯部中主典、網走川筋から常呂川筋を調査(新北見市史年表)
		5月	根室支庁に庶務・民事・会計・刑法の4課を置く(常呂町百年史)
		7月20日	網走に支庁出張所、紋別にその分局を置く(網走市史 常呂町史)
		7月26日	北見4郡の税法を改め、平均出石高を5,485石とする(網走市史 常呂町史)
		7月	判官松本十郎、根室にて事務引き継ぎ、帰路北見沿岸を宗谷へ抜ける (網走市史)
明治7年	1874	1月	常呂川・サロマ湖口を含む管内渡船場13ヶ所の渡賃を定める (開拓使事業報告 新北見市史年表)
		5月	根室支庁、東京青山試験場より移した穀菜各種を網走出張所へ配付、北見各郡に播種せしむ(開拓使事業報告 常呂町百年史)
		9月13日	米国人地理学者ライマン、根室・網走を経て常呂に到着、泊14日滞在、15日湧別へ(常呂町百年史 新北見市史年表)
		10月17日	北見4郡の税を2000円とし、むこう5ヶ年と藤野へ通達 (藤野家履歴 新北見市史年表)
			北見4郡の海産税を総額2千円と定め、8年以後5ヶ年間実施 (常呂町百年史)
11月	藤野伊兵衛、能取山道を自費で修理(開拓使事業報告 新北見市史年表)		
明治7年			藤野は大越善三郎を管理人としてアイヌを使役してポントマリ、オキザル、

			<p>・常呂川河口・サロマ湖河口に魚場を置く（常呂村史）  藤野漁業部の支配人の一人、大越善三郎が独立して鑑沸浜で漁業を営む。  （サロマ湖の風）</p>
明治8年	1875	5月24日	<p>仮名地名を漢字地名にとの達しがあり、常呂郡7ヶ村は常呂村・鑑沸村  ・太茶苗村・手師学村・小牛村・生顔常村・野付牛村となる  （布達 常呂町百年史）</p>
		6月3日	<p>紋別出張所を網走出張所に合併（開拓使事業報告 新北見市史年表）</p>
		7月21日	<p>根室支庁網走出張所を廃し、根室支庁民事課派出所を置く  （開拓使事業報告 常呂町百年史）</p>
		7月28日	<p>松本十郎、北海道巡回の途中常呂通過（北海道巡回誌 新北見市史年表）</p>
		7月27日	<p>開拓使雇測量師アメリカ海軍大尉デー、常呂沿岸測量、常呂泊  （常呂町百年史 新北見市史年表）</p>
		9月	<p>北見アイヌに対するオムシャを廃す（常呂町百年史 開拓使事業報告）</p>
		12月4日	<p>根室支庁民事課派出所を廃止、民事課網走分署と改称  （常呂町百年史 開拓使事業報告）</p>
		明治8年	
明治9年	1876		<p>この年、苫前から宗谷・網走を経て根室に至る郵便路線開通  管内郵便局：斜里・網走・紋別。</p>
明治9年	1876	1月10日	<p>根室支庁、アイヌが相対賃銭で稼働することを認める〔布達〕</p>
		2月	<p>測量技師デーの解雇により、以後福土成豊、三角測量を担当  （明10測量図完成）〔新北海道史年表〕</p>
		4月	<p>苫前から宗谷・網走を経て根室に至る郵便路線開通。管内郵便局は斜里・  網走・紋別（開拓使事業報告 常呂町百年史）</p>
		6月	<p>樺太からのアイヌ、宗谷から石狩国対雁に移住させる（新北海道史年表）</p>
		7月19日	<p>根室支庁、アイヌ一般に姓氏を唱えさせる（布達 常呂町史）</p>
		9月8日	<p>大小区制実施（30大区・166小区）〔布達〕網走支庁は第7大区、  常呂郡は第3小区となる（開拓使布令録 常呂町百年史）</p>
		9月21日	<p>全道一斉に漁場持を廃止（通達）  藤野伊兵衛、北見漁場の放棄を声明（常呂町百年史）</p>
		9月	<p>北見国4郡に惣乙名・脇乙名を廃し、伍長を置く（網走郡3人、斜里・紋別  郡2人、常呂郡1人：常見藤八）（網走市史）</p>
明治10年	1877	3月	<p>網走分署を支庁直轄とする（開拓使事業報告 常呂町百年史）</p>
		4月	<p>斜里・網走・紋別に捕役場を置く（網走市史 常呂町百年史）</p>
		5月	<p>根室支庁管内一般に全納を廃し現品税に定められ、塩切鮭等  6種が課税対象となり税率は北見はすべて内1割とされた  （斜里漁業史 網走市史）</p>
		7月	<p>藤野伊兵衛、北見漁場の再業を決意、漁業資金2万5千円の官貸を出願。  漁場持廃止後アイヌの生活困難に対処のため（藤野家履歴 常呂町百年史）</p>
明治10年		<p>駅通に補助金を交付。斜里・網走・紋別の3ヶ所で年額80円  （網走市史 常呂町百年史）</p>	
		<p>全道三角測量図完成（新釧路史年表 新北見市史年表）</p>	
明治11年	1878	2月5日	<p>根室支庁、戸長総代事務取扱所を区務所と改称（布達）</p>
		2月	<p>根室支庁、漁業資本金貸付規則を定める（常呂町百年史）</p>
		2月	<p>北海道国郡全図完成（国郡界は松浦武四郎図、周囲は三角測量図による）  （新北海道史年表）</p>

		3月26日	根室支庁管内海産税のうち従前無税の拾い昆布等に課税（新北海道史年表）
		4月13日	前年7月の藤野伊兵衛の出願、許可貸与（藤野家履歴 新北見市史年表）
		6月5日	開拓使、総代人選挙法および総代人心得を制定（布達）
		7月22日	郡区町村編制法府県会規則、地方税規則（地方三新法）公布、 大区・小区制廃止、郡町村が復活（新考北海道史年表 布達）
		12月2日	太政官、地方三新法のうち開拓使管内へ郡区町村編制法のみ施行を許可 （新北海道史年表）
明治12年	1879	4月25日	海産物検査収税順序を制定（常呂町百年史 開拓史事業報告）
		4月30日	北海道送籍移住渡航手続を定める（一般集団移民の始まり）（布達）
		4月	管内総代・副総代の名称を廃す（網走市史 常呂町百年史）
		7月1日	根室に測候所を設け観察を開始（常呂町百年史）
		7月23日	郡区町村編制法により大小区を廃し郡区町村を編成〔布達〕
		11月25日	根室支庁管内海産税のうち従前無税の牡蠣・海扇を13年から現物1割の 課税とする（新北海道史年表）
		11月	材木払下規則を更正、払下価格を定めまた山林監守を配置（常呂町百年史）
明治12年			酒井忠郁が全道巡行中オホーツク海沿岸を踏破して常呂に達し、常呂川奥地 の状況を記録〔北地履行記〕
明治13年	1880	1月1日	郡内戸数表調による常呂村の定住者は1戸男2人女1人：和人定住の始まり （常呂町史）
		7月15日	明治12年7月公布の郡区町村編制法施行。網走村外3郡郡役所を網走村 に設置。網走・常呂郡戸長事務は郡長の兼拳とし、斜里・紋別郡に各戸長 を置く（初代郡長岸本円蔵、斜里戸長川畑又三郎、紋別戸長半沢真吾） （常呂町百年史 常呂町史）
		9月11日	根室支庁、海鼠・海扇の漁獲に鉄鏈・鉄爪をつけた八尺網の使用を禁止 （常呂町百年史）
明治14年	1881		この頃、常呂で秋月善助、鑑沸で川畑益造らアイヌが漁業を始める （常呂町史） 常呂郡には121人（男55人、女66人）のアイヌが、また網走支庁管内 では929人（男451人、女478人）が住んでいた （開拓事業報告 新北見市史年表）
明治15年	1882	2月8日	開拓使を廃し函館・札幌・根室の3県を置く。網走外3郡は根室県に所属 〔布告〕
		4月1日	根室県庁開庁（新北海道史）
		5月6日	北海道送籍移住者渡航手続を制定：12年制定の同名手続は廃止 （新北海道史年表）
		5月26日	北海道土地売買処分、当分地方庁限り仮処分することを許可される （新北海道史年表）
		11月21日	根室県令湯地定基、管内アイヌの勸農政策を明16から実施。 常呂郡下のアイヌ29戸に対し、明19勸農を行う予定としたが実施され なかった（網走市史 北見市史年表）
明治15年			新潟県人建部丑之輔が鑑沸で牡蠣の乾燥加工を始める（常呂町百年史） 島崎梅蔵、鑑沸に移住（常呂町史） 請負で郵便取扱開始（常呂郵便局 開局130年の沿革）
明治16年	1883	4月24日	北海道転籍移住者手続を制定。7月1日施行（明治7年の移住農民給与 更生規則と15年の北海道送籍移住者渡航手続を廃止）（常呂町百年史）

		4月25日	農商務省、北海道移住者心得（16条）を論達（常呂町百年史）
		4月	常呂村外6ヶ村戸長役場開設（常呂町史）
		9月	初代戸長に松田三次郎が任命、着任 「道履歴簿」では明治16年11月18日任命（常呂町百年史）
		11月19日	共同運輸会社、国後・択捉・北見地方に汽船による航路を開く 〔網走市史 北見市史年表〕
		11月30日	常呂郡各村へ戸長一人を配置（告示）
		12月1日	常呂外6ヶ村戸長役場設置、事務取扱いを開始（告示）
		12月27日	浦役場設置、戸長役場で事務取扱（網走市史）
明治16年			新潟県人建部丑之輔が鑑沸で牡蠣の乾燥加工を始める（郷土資料） *「常呂町百年史」では明治15年
明治17年	1884	2月16日	常呂・紋別・網走・斜里郡において拾い昆布税（収穫高の1割）徴収 （5月1日施行）（新北海道史年表）
		6月	駅通を鑑沸に設置（根室県布令全書）*「札幌県布令全書」では7月4日 （新北見市史年表）
		7月19日	海軍将校安場伴和議官、サロマ湖畔調査に来る〔郷土資料〕
		8月23日	根室県鮭業組合規則を布達（新北海道史年表）
明治17年	1884		佐呂間湖畔の渡船場が官設に〔郷土資料〕*サロマ湖畔鑑沸 建部丑之輔、鑑沸字ルライカウスに駅舎建設、取扱人川北権太郎 〔郷土資料 河野野帳〕 市街区画をなす〔河野野帳〕
明治18年	1885	1月19日	根室県漁業資金貸与規則を制定（常呂町百年史）
		3月6日	根室県同業組合準則を布達（新北海道年表）
		5月9日	日本銀行、最初の兌換銀行券10円券を発行（常呂町百年史）
		7月10日	2代目戸長和賀魚取が斜里村戸長を退任（常呂町百年史）
明治18年			アイヌの共同漁業が行われた。藤野漁場のうち3ヶ所をアイヌに譲渡、常呂 の共同漁場は常呂川一番地のサケ曳網場1、海面サケ曳網場1、同建網場1 の3ヶ所（常呂町百年史）
明治19年	1886	1月26日	北海道庁設置。3支庁を置き、網走外3郡は根室支庁に所属（布告）
		2月27日	根室支庁が設置され、3月1日開庁（根室支庁布達）
		6月29日	北海道土地払下規則公布〔閣令〕
		7月18日	屯田兵本部長永山武四郎、北海道巡回途中鑑沸駅通に投宿 翌19日、鑑沸駅通を出発、常呂通過、網走へ （北海全道巡回日記 新北見市史年表）
		8月	道庁内田瀨を主任として殖民地選定事業を開始
		12月28日	函館・根室2支庁を廃止〔閣令〕
明治19年			藤野事務所オキザルに移転（常呂村史）*「常呂町史」では明治25年 鑑沸駅通を岩谷小五郎が建部丑之輔より受け継ぐ〔河野野帳〕 僧元尾万雄、鑑沸で寺小屋教育を始める〔郷土資料〕
明治20年	1887	1月15日	各郡区役所所在地に警察署を設置、戸長が警察行政を兼務する 〔庁令〕網走警察署設置〔北見市史年表〕
		3月31日	北海道水産税則改正〔勅〕
		3月31日	常呂外6ヶ村戸長和賀魚取依願免本官〔北海新聞〕
		4月1日	2代目戸長和賀魚取免官（北海新聞 常呂町百年史）
		4月19日	北海道水産税則施行細則公布
		5月	紋別・常呂・斜里の戸長役場を警察署分署とする（網走市史）

明治20年			サロマ湖を軍港候補地として調査〔常呂村史〕 オホーツク沿岸にてホタテ漁業が始まる（サロマ湖 常呂町百年史）
明治21年	1888	3月19日	北海道庁令第18号北海道水産物取扱規則公布（常呂漁協40年誌）
		4月11日	鑑沸駅逕に人馬継立所設置〔告示〕
		12月	藤野、使用帆船を汽船芳野丸に改め、函館を拠点に北見・根室への定期航路を行う（網走市史 新北見市史年表） *「常呂町百年史」では、明治23年吉野丸購入
明治21年			鑑沸・湧別間に休息所設置（道庁勸業年報 新北見市史年表）* 駅逕 通信省、小樽～増毛及び北見海岸の冬季航海を日本郵船会社に命ずる。 （北見市年表 網走市史 新北海道史年表）
明治22年	1889	5月14日	網走・常呂両郡水産漁業組合創立、規約を設けて事務所を網走に置く （常呂町史 常呂漁協40年誌） *「網走市史」「斜里漁業史」は6月25日
		7月	天塩・北見両国に關係する漁業家・商業家、天塩北見漕運会社を設立。 資本金5万円（明23.5.1増毛郡弁天町に本社を設けて開業。明治24年 7月、小樽に移転）（常呂町百年史）
		7月	常呂川に木橋を架設、渡船を廃止（常呂村史）*常呂橋 *「新北見市史」では、明治23年7月着工、翌24年3月には竣工と記述
		11月29日	北海道新設市街地貸付手続公布〔庁令〕
明治22年			道庁技師内田澗、同技師補柳本通義、北見国の原野を視察調査。植民地を 選定（明23.12選定の報告）（北見市史年表） 区画測定始まる（共立百年史）
明治23年	1890	4月	北見道路の開削。空知監獄囚人により忠別太から開始。明24.4 釧路集治監網走分監囚人により網走から開始。 （明24.12.27完工、明19以来の中央道路完通）
		6月6日	根室新聞「北友社」社長佐藤喜代吉道内見聞・来村、戸長松田三次郎と面会 （常呂町百年史 北海道旅行記）
		7月	常呂川に木造の常呂橋架橋架け替え着工：翌年3月竣工 （道庁勸業年報 新北見市史年表） *「常呂村史」では明治22年木造橋架橋
明治23年			又十藤野、使用帆船を汽船芳野丸に定める（常呂町百年史） 大越善三郎有種牡馬藤波号の貸付けを受ける（常呂町百年史）
明治24年	1891	4月8日	郵便通常取扱および集配開始〔常呂村史〕 郵便局常呂橋畔（常呂村58番地）に設置、初代局長岩谷小五郎〔常呂村史〕
		4月16日	*昭和16年地番改正後現地番（字常呂91番地：土地台帳） （常呂郵便）集配三等郵便局として常呂村字常呂58番地に開局 初代局長は柴田直次郎（オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡） *明治24年3月11日付通信省告示第89号 *「常呂町史」では、5月1日通常郵便・集配事務開始 *「常呂村史」は、「明治24年常呂川右岸高台下に局舎あり。明治24年
		7月6日	小島猪六、釧路より移住（常呂町百年史） *「北見之富源」では明治27年、「除籍簿」では明治26年7月6日
		春	下常呂原野の植民地区画測量開始、秋までに17号以北完了（常呂町百年史） 下常呂原野（岐阜区を含む）植民地として測量（小区画408戸分） 区画・地積図面作成。藤枝農場計画あり（岐阜百年記念史）

明治24年		10月19日	留岡幸助、常呂通過、鑑沸泊（羈旅浪漫 新北見市史年表） 殖民地区画解放（常呂町百年史） 大分県人浜岡由良之助団体移住を企て、奔走して常呂川左岸4号～13号間に70戸分の土地開放を得、9号に仮事務所を建て移民を募集する。 〔常呂村史〕（「常呂町史」では明治28年、常呂川右岸に71戸分） （「常呂町史」では明治28年、常呂川右岸に71戸分の記載）
			漢方医文野定志が私設で開業（常呂村史）
			道庁補助を受け村医開業：形式は私立、給料を補助（常呂町百年史）
			柴田直次郎、根室より来て常呂市街で雑貨商を営む、常呂村における商業の創始〔常呂村史〕
明治25年	1892	3月31日	鑑沸駅通を廃し、常呂駅通を置く。取扱人岩谷小五郎〔告示〕 *「常呂町史」では、取扱人を大越善三郎、後に大島仁吉・渡部留八・福島福島恒治郎ら経営 *「常呂村史 常呂町史」では、明治21年4月11日設置 常呂市街に官設駅通が開設された頃には、駅通馬を加えてすでに100頭を超えていた「土佐郷土史」
		5月14日	ワッカ駅通に人馬継立所設置、取扱人福吉休右衛門〔告示〕 *「常呂村史」では、4月設置
		12月	道庁、団体移住に関する要領を定め府県に照会。 （貸付地予定存置制度の発足）〔新北海道史年表〕
明治25年			藤野又十、オキザルに漁舎を移す（常呂町史） 村医を置く（植民状況報文 新北見市史年表）
明治26年	1893	1月18日	上下常呂原野、湧別原野の貸下げ中止〔北海道毎日新聞〕
		7月6日	小島猪六、釧路から移住（除籍簿）*「北見之富源」では明治27年 （新北見市史年表）
		8月15日	橋九平他5人発起人となり常呂市街地に神社（小祠）建立・上棟式 創立当初、祭神は八大竜王で船玉神社と号 次年度以降、8月8日に例祭（常呂町百年史） 発起人会：明治26年6月 橋九平、松田三次郎（常呂外6ヶ村戸長） 大越善三郎：常呂駅通取扱人、下川寅吉、文野貞志：漢方医、柴田直次郎 *「常呂町史」記述：明治36年6月建立は間違い *「常呂神社祭神記由緒記」には、鳥居も建立の記録あり *常呂神社の始まり
明治26年			ポントマリで小樽の藤川要吉、網走の荘子豊治が鯿建網漁を開始（常呂町史）
明治27年	1894	5月	井上馨内務大臣、網走港又は佐呂間鑑沸（現栄浦）の軍港化を示唆 〔北見市史年表〕
		9月	戸長役場新築に藤野が木材110石、木挽き19人寄付（藤野鶴家履歴）
		10月頃	下常呂原野、団体移住にのみ貸下し停止解除（常呂町百年史）
		10月頃	田村喜蔵、入殖地調査をなす〔土佐郷土史〕
		10月	全道の河湖を三等級に区分、その川口・湖口での網漁を制限。 指定河湖における新規出願を許可しないこととする〔斜里漁業史〕
		11月15日	斎藤鉄四郎、基線8号に入植（現共立）、伐木に着手（常呂町百年史） 当時39歳（安政2年福島県田村郡逢隈村（現在の郡山市）で生まれる友左衛門（13歳）一緒に入植（富丘百年史） *「イワケシュ郷土史」では明治29年
明治27年			12月15日 鮭鱒遡上の河川湖沼の漁業・鮭鱒沖網漁業制限を定める（新北海道史年表） 常呂川、鮭鱒天然蕃殖保護河川に指定（常呂町百年史 北見繁栄要覧） 岸留吉が移住、小島猪六と共に土佐の創設を築く（常呂町百年史 常呂町史）

			<p>小樽・稚内・網走間の道庁命令航路が布かれ1ヶ月3回の寄港をみる。 〔常呂村史〕</p> <p>常呂外6ヶ村戸長役場新築〔常呂村史〕＊「北見之富源」では明治28年 札幌の佐藤倉吉がサロマ湖で小蒸気船による筏を組んだ木材の流送を開始 (常呂町史)</p> <p>常呂で大鯰(オヒョウ)釣り始まる(植民状況報文 新北見市史年表)</p> <p>高橋他吉、三澤佐太郎、新谷徳治、稲田勘二らが相次いで営業開始 (常呂村史)</p>
明治28年	1895	2月13日	団体移住に関する要領を改正して府県に照会する。
		4月1日	常呂教育所設立認可、通学区域は常呂村外4ヶ村(戸数122戸) (常呂村史 常呂小学校沿革誌)
		4月3日	鯿鮭鱒建網ならびに角網漁業の制限を定める〔庁令〕(明30に廃止)
		4月20日	土佐団体、高知県浦戸港出発(土佐郷土史)
		5月1日	常呂教育所設置・開校授業開始:柴田直次郎方を校舎に代用 児童数15名(男7、女8)(常呂村史 常呂小学校沿革誌)
		5月7日	土佐団体、湧別上陸(土佐郷土史)
		5月11日	田村喜蔵を団長とする土佐団体29戸入地、本町農業移民の先駆となる ＊「土佐郷土史」では28世帯 「植民状況報文」では42戸 「常呂村勢一班」では30戸、100人(新北見市史年表)
		5月24日	土佐団体に貸付許可下りる(植民状況報文 新北見市史年表)
		7月2日	降霜あり(植民状況報文 新北見市史年表) により土佐団体収穫皆無(植民状況報文 新北見市史年表)
		8月20日	常呂外六ヶ村戸長役場、常呂小公園北寄りの高地に移転地の市街区画 払下げを受け新築(河野野帳 北見之富源)＊「常呂村史」では明治27年
		秋	巡査部長浦西利久分署長心得として就任(明治29年斜里分署長に転任) 警察事務が戸長から独立(常呂村史)
		12月	大谷派説教所創立(共立)〔河野野帳 北門新報〕
明治28年			<p>鈴木八重蔵、鑛沸でマッチ製軸業創業(27年説あり、明32廃止) (常呂町百年史)</p> <p>松田三次郎退任、後任の3代目戸長に岩間勝従(常呂町百年史)</p> <p>福島県人斎藤鉄四郎、西1線9号に15町歩(4万5千坪)の貸付を 受ける(29年農場許可)〔北海道農場調査、移住者成績調査〕</p> <p>開懇検査執行により大分団体浜岡由良之助および斎藤鉄四郎の4町歩没収 〔明39移住者成績調査〕</p> <p>常呂川鮭鱒天然蕃殖保護河川に指定。着手人を置き取締りに当らせる。 (常呂漁協40年誌)</p> <p>明治28年頃の物価:白米1俵4円50銭、酒1升80銭、焼酎1升25銭 塩(4斗入り)1俵90銭、醤油1升15銭、砂糖1斤9銭、 煙草百匁24銭(常呂村史)</p> <p>又十藤野が芳野丸より大きな伊吹丸を購入し、函館起点の北見・根室両国 沿岸の定期航路および内地への航海開始(常呂町百年史)</p> <p>区画測定され農地開放される(共立百年史)</p>
明治29年	1896	3月	曹洞宗龍伝寺徒弟梅津運量、常呂市街川向:朝日地区に移住開教(常呂町史) 曹洞宗紋別報恩寺から群馬県梅津運量氏が派遣され、この地に開教。その後 師匠の示寂により帰国(天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり)
		5月14日	北海道鉄道敷設公布〔法〕 北見鉄道計画中に中湧別・網走間第2期線に編入される

		6月23日	一般開放の立場で大分県人森本丑太郎・浜岡由良之助は東1線11号から13号間に入殖〔イワケシュ郷土史〕
		9月	岩内よりプラオ・ハローによる開懇請負人来る〔殖民状況報文〕
		秋	河野常吉『北海道殖民状況報文』編さんのため来常〔河野野帳〕
		10月16日	常呂郵便局、為替（内国）貯金事務開始 （常呂村史 オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		11月	空知郡から斎藤鉄四郎が基線9号に入殖〔イワケシュ郷土史〕
		12月25日	下常呂原野で明治30年から貸し付ける408区画の告示（道庁告示）
		12月	厚岸郡から長浜一郎が基線14号に、その他大野岩造・中野松太郎・加藤儀三郎等が入殖〔イワケシュ郷土史〕
明治29年			明治29年頃、3代目戸長は岩間勝従か（常呂町百年史） 浜岡由良之助農場に6戸入地（常呂町史） 久野繁蔵、漁業を営むために鑑沸に入地〔常呂村史〕 土佐団体46戸移住〔殖民公報〕「常呂町百年史」では55戸 三沢佐太郎、大分県から団体移住。入地せず常呂市街で雑貨商を開業 上杉眞治、大分県から団体移住、物資輸送困難に着眼し、網走・常呂間の磯舟（川崎船）による海路小廻業（回漕）を開始（常呂村史） 大分団体に上杉眞治・長船慶喜・森本丑太郎・三沢佐太郎・谷川経十郎の5戸応募するも大部分入地せず（常呂村史 常呂町百年史） 斎藤鐵四郎、接続地12万坪の貸付を受ける （移住者成績調査 北海道農場調査 新北見市史年表） 小原徳次・池知雄吉外数名が土佐に入植（土佐郷土史）
明治30年	1897	2月7日	一般移住者へ下常呂原野の4月1日以降の出願受付、5月1日以後の土地引渡を告示（道庁告示）
		3月30日	北海道国有未開地処分法公布〔法〕（4.1施行）
		4月1日	常呂原野特定地個人出願者受け、9.5貸付け仮指令交付 （官吏江口源一郎他1名来村、身元調査の上交付）
		4月1日	森林監守規則および駐在所位置担当区域を定める〔訓令〕
		4月10日	拓殖務省、北海道移住民規則を制定〔省令〕
		4月14日	道庁官制の改定により郡区長・戸長の警察署長・分署長兼任を廃止 〔北見市史年表〕
		4月19日	北海道庁森林監守規定公布〔勅〕
		4月20日	拓殖務省、北海道移住民に関する心得を府県に達する〔訓令〕
		4月25日	北海道国有未開地処分法施行規定を定める〔庁令〕
		5月29日	北海道区制・北海道一級町制・北海道二級町村制を公布〔勅〕
		5月30日	4代目戸長佐藤信吉就任（常呂町百年史）
		5月	岐阜県人林美喜太郎等9戸個人入地。
		7月15日	常呂外6ヶ村戸長役場より野付牛村・少牛村を分離。常呂村4ヶ村戸長として4代目佐藤信吉発令（明32.6紋別戸長として転出）
		8月	入地検査の結果、大分団体の出願地は取消処分となり、団体は解散 （常呂町百年史）
		9月5日	官吏江口源一郎他1人、常呂村にて常呂原野特定地個人出願者貸付け仮指令交付。この時、石塚利吉が交付を受け、西3線の砂丘下に入植 （常呂村史資料 常呂町岐阜のあゆみ9）
		11月2日	北海道庁官制改正〔勅〕これにより網走郡役所を廃し、網走支庁を置く
		11月18日	北海道漁業取締規則（明35廃止）・北海道鮭鱒保護規則（明36廃止）を公布〔庁令〕（明31.11.1施行）
		11月	戸長指揮下の警察行政を分離、網走警察常呂分署が置かれる（浦西利久分署長心得に任命（常呂町史）*「常呂村史」では明治28年

明治30年		12月26日	下常呂原野で31年に貸し付ける旧区画接続地の告示（道庁告示） 常呂教育所、市街63番地に校舎新築（常呂村史） 常呂教育所、常呂村村有地に校地を変更、14間四方、196坪 （常呂小学校沿革誌） 露西亜人鑑沸に入地、牡蠣採取し、改良採取法を教える（常呂村史） 浜岡農場、解放を得た土地の入地検査の結果取消し処分となる〔常呂村史〕 林喜太松他数名、道庁で常呂原野殖民計画を知り、網走にて土地払下げ入植許可を得、現地に仮小屋を建てて帰る〔常呂町岐阜のあゆみ〕 大分団体が9号から14号間に20戸入植（聖徳太子碑70周年記念誌） 木屋仁太松、麻島喜助、西川次郎松、右岸八号付近に入植（共立百年史） 川島又吉、右岸8号辺に入地〔常呂村史〕 上川沿に高知県人西村長彌・岡山県人高橋楯一郎・福島県人 本田勝太郎入地〔常呂村史〕 土佐団体10数戸移住（常呂町百年史） 土佐団体の入植後、農耕馬の飼育が増加、300頭に達する（土佐郷土史） 土佐で馬を購入し、プラオ使用（常呂村史） 常呂村は戸数64を有す〔北海道毎日新聞〕		
		明治31年	1898	1月1日	北海道全道に徴兵令を施行
				2月3日	内務省、北海道移住民の汽車・汽船賃割引の事務、北海道教会から内務省に移る
				2月	林喜太松、林荘太郎（もしくは林美太郎）が入植準備に来る （常呂町岐阜のあゆみ）
				3月	稲田勘二、大分県から上川沿に入地（常呂村史）
				3月	石塚利吉移住（常呂町岐阜のあゆみ 岐阜百年史）
				4月	愛媛県人藤枝見取はライトコロ川沿岸高地に500町歩の貸付け地を受けるも農場経営を果たせず返地。跡地は同行者の田房幸三郎が個人貸付けを受け農耕に従事（常呂町百年史）
				5月5日	岐阜団体21戸入地（常呂町岐阜のあゆみ 岐阜百年記念史）
				8月16日	北海道移住民渡航船舶取締規則公布（内務省）
				8月31日	常呂川大洪水（9.11まで）下常呂原野一帯泥海と化す。農作物全滅。 1戸3円無利子十年償還で貸付さる（共立百年史） 8月31日より9月11日までの12日間連続豪雨の結果、常呂川大洪水。 土佐団体の12～13戸を残し、川沿・岐阜部落等下常呂原野一帯泥海と化す（聖徳太子碑70周年記念誌）
11月	天皇陛下差遣の片岡侍従、洪水の罹災者慰問（土佐郷土史）				
明治31年			大越善三郎、岐阜更正地区に牧場経営（9線12号付近） （大越牧場：昭和5年農耕地として開放）（常呂村史） 石塚利吉は早春に移住〔常呂町岐阜のあゆみ〕 秋、岐阜で初めて馬を使用したプラオで耕す〔常呂村史〕 下川沿右岸に大分県人栄喜太郎、石狩より転住〔常呂村史〕 島根県人長船吉太郎・岩本為吉・沢野良吉等8号を中心に定住〔常呂村史〕 西村礫三、雄武より移り漁業・木材業に従事〔常呂村史〕 森本丑太郎、大分県から移住、常呂浜で燐寸製軸工場経営 （イワケシュ郷土史） * 「常呂村史」では明治32年 常呂～端野間9尺道路開通（常呂村史） 岐阜の藤橋藤弥・林喜太松が各々3頭の耕馬購入、翌年から1頭曳きの プラオ使用（土佐郷土史） 土佐の野村義正がプラオ使用（土佐郷土史）		

			川東11号に入地、丸木舟「竹山丸」にて生活物資、農産物を運搬する。 (共立百年史) 寄り講(浄土真宗門徒の集まり)が始まる(岐阜百年記念史)
明治32年	1899	1月17日	明治31年8月31-9月11日大水害の救助作業で、林喜太松に表彰状と木杯授与(岐阜部落開基80周年記念誌)
		2月	(ライトコロ川)角橋(西4線4号)架橋、地区住民による(岐阜百年記念誌) 岐阜部落4号の開拓道路に、部落請負工事で道から180円の補助を受けて橋長15間、幅1間の木橋架橋(常呂町史)*角橋/4号橋 水害の後、難民救済事業としてライトコロ川4号線の架橋工事実施。 工事従事の被災者1戸平均10円の現金収入、越冬資金に(岐阜百年記念誌)
		3月2日	北海道旧土人保護法公布〔法〕(4.1施行)
		4月	道庁が函館汽船に会社に補助金を交付して小樽・網走間西回り定期航路開設 寄港地:稚内・枝幸・紋別・湧別・常呂・網走(新北見市史)
		6月9日	農会法公布〔法〕(明33.4.1施行〔新北海道史年表〕)
		6月29日	5代目戸長岩橋佐吉就任:33.5.21上湧別戸長に転出(常呂町百年史)
		10月18-19日	ライトコロ川5尺増水、人畜の死傷不明(北海道毎日新聞)
		10月	常呂市街~鑑沸連絡道路開削(大正6年網走支庁拓殖概観)
明治32年			寺元大道、市街地に木工場を設置〔常呂村史〕 網走警察常呂分署庁舎建設、浦西利久再び分署長として就任(常呂村史) 札幌の佐藤倉吉、サロマ湖に小蒸汽船を浮かべ筏組み木材流送をなす 〔常呂村史〕 常呂原野排水道路開削(東2線2号~西5線7号ライトコロ川) (大正6年網走支庁拓殖概観) 森本丑太郎、上川沿11号で馬鈴薯澱粉製造の試み〔農協20年史〕 (常呂町農協20年史 土佐郷土史) 稲田勘二、明治31年に大分県から上川沿に移住、翌32年に常呂市街で菓子製造販売業を始める〔常呂村史〕 この頃の駅通利用料金、常呂駅(大越善三郎)1里10銭、 ワッカ駅(福吉久右衛門)乗駄馬 1里15銭〔北海道毎日新聞〕 *常呂駅通 ワッカ駅通 当時の主要産物、大豆、燕麦、小麦(共立百年史) 西3線以東は高知県人が多く、以西は岐阜県人が多いので、土佐、岐阜と呼ぶようになった(岐阜部落開基80周年記念誌) 岐阜県人林藤次郎他6戸入植(常呂町岐阜のあゆみ) 西洋式農法始まる(岐阜百年記念史) はたか麦等、始めて収穫(岐阜百年記念史) 福島県人、斎藤鉄四郎(当時44歳)西1線沿いの13~14号付近に入植 農場経営、小作人募集(イワケシュ郷土史 富丘百年史) (常呂小)校舎敷地南隣官有地84坪を運動場として附与さる (常呂小学校沿革誌 常呂小百年史)
明治33年	1900	2月1日	常呂郵便局、郵便小包取扱い業務開始(常呂村史)
		2月12日	農会令公布〔勅〕(4.1施行)
		3月2日	大寒波襲来、石油氷結(常呂町百年史)
		3月7日	産業組合法公布〔法〕(9.1施行)
		3月	常呂原野簡易教育所(通称岐阜教育所)設立許可:5月3日授業開始 明治36年、常呂原野岐阜団体簡易教育所に改称 (錦水小学校沿革誌 錦水小50年史 常呂町百年史)
		3月	常呂村の盛況、岩佐・大野両氏の製軸会社は昨年未機械を購入し、付近農民

	を使役し盛んに製造中〔北海道毎日新聞〕
春	サロマ湖の鑑沸口切り（汐切り）作業に岐阜地区住民参加（常呂町百年史）
4月1日	3月認可の岐阜団体簡易教育所設置、5月3日：高橋藤弥の小舎を借りて授業開始、男6・女10、計16名（錦水小学校沿革史 常呂町史） 常呂原野簡易教育所設置（西5線7号南側）中野継太郎教師着任 （岐阜百年記念史）
4月20日	（山田）藤山ハル（樺太西海岸恵須取エストリ）に生まれる。 *11-12歳までエストリ居住、その後家族で6里ほど南のプロオチに移住。18歳で山田万次郎氏と結婚、翌年夫とライチシカに移住。夫は昭和16年死去、その後昭和19年までライチシカ居住。 *昭和19年フジヤマハクタロウと結婚、真岡の多蘭泊（たらんとまり）に移り、1年後終戦。函館に引き揚げ、その翌年夫が病死（昭和28年？） *昭和29年、長女フサ子さんが住む常呂郡常呂町栄町に移る （服部四郎／編「アイヌ語方言辞典」） *藤山ハルさん：樺太アイヌ文化・言語伝承者
4月26日	常呂郵便局、常呂村49番地に新築〔北見之富源〕 *昭和16年地番改正後現地番（字常呂275番地、276番地）
5月22日	6代目戸長高木栄が湧別戸長から転任（常呂町百年史）
5月	許可を得て潜水器を使用し、ナマコ・ホタテの採捕試験事業を開始 （北見繁栄要覧）
5月	岐阜地区に真宗本願寺派布教所設置（常楽寺の礎、加藤徹玄師） （常楽寺開教百年史）
6月	網走警察分署新築、専任署長を置く：分署長心得浦西利久（常呂町百年史）
7月4日	網走漁業組合、網走・常呂両群一帯のホタテ・ナマコ漁場の調査 （16日間）〔網走市史〕
7月20日	（川沿小）川沿簡易教育所、本校は、本日をもって創立開校とする 川沿基線9号51番地齊藤鉄四郎氏居宅に児童を収容し授業を開始する 川沿特別教授場と称する（川沿小学校沿革誌 常呂町史） *「小学校台帳」では、校名を「川沿教育所と称せり」と記載 簡易教育所を川西9号基線51番地に建設（共立百年史）
8月5日	常呂村外4ヶ村農会を組織する（会長寺元大道、会員総数650名 総代数22名）〔網走外3郡農会30年記念誌 常呂町史〕
8月15日	紋別法恩寺所属曹洞宗説教所、常呂市街地に設立（常呂町史） *天龍寺の礎、梅津運量師 *檀家56戸を有す（出典不明） *説教所設立認可を受ける（常呂村史） *朝日（現在の弁天）砂丘に礼拝堂を建立して布教に専念（常呂町史）
8月	常呂教育所、小学校令の改正で修業年限4ヶ年の常呂尋常小学校となる 川沿岐阜両簡易教育所設立により、通学区域を常呂市街・下川沿 ・土佐部落一円と変更す（常呂小学校沿革誌 常呂村史）
8月	浄土真宗本願寺派岐阜説教所建設：土地400坪、草ぶき草囲い20坪 同所に常呂原野簡易教育所移転 加藤徹玄師は後に教育所教師も兼務） （錦水小学校沿革誌 常楽寺開教百年史）
9月15日	下川沿八幡神社建立（八幡大菩薩一尺の角社を川東8号堤外地に建立） 〔イワケシュ郷土史〕 夜盗虫の大発生で大凶作、人心の不安高まり、下川沿部落有志が相談し、 九州八幡神社から1尺角の角柱を分神してもらい神社建立（共立百年史）
9月21日	7代目戸長嶋田審吉就任（常呂町百年史）
秋	夜盗虫大発生、作物被害甚大（岐阜百年記念史）
10月	網走・常呂・紋別3郡連合して北見鉄道期成会〔別名第2期幹線連成同盟会〕 を起こす。代表者信太寿之・沢本楠弥が上京して運動（常呂町史）

		10月	石橋伝蔵、太茶苗に定着。官設駅通の許可を受く〔常呂村史〕 *34年説あり
		10月	網走外3郡農会設立〔北見市史年表〕
		11月	十八間橋架設、開拓道路が村道となる〔常呂町岐阜のあゆみ〕 ライトコロ川に18間橋(岐阜橋)が架けられた(岐阜百年記念誌)
		12月1日	加藤徹玄、常呂仏教彰徳会結成、翌34年11月まで18回の幻灯会開催 (常楽寺開教百年史 常呂町岐阜のあゆみ)
		12月15日	常呂郵便局、電報取扱い業務を開始(和欧文)(常呂村史)*電信事務 「北見之富源」では、12月25日電信局設置
明治33年			林藤次郎・林与平・林喜太松・長谷川彦造・山田栄蔵らが岐阜西部地区に 岐阜共同牧場開設(5線10号付近)(常呂村史 常呂町岐阜のあゆみ) 石橋伝蔵、太茶苗に定住(常呂村史) 森本丑太郎が上川沿で雑貨店を経営(豊川区開基百年史) 三沢佐太郎、市街地に38年までマッチ燐寸製軸工場を経営〔常呂村史〕 寺元大道、マッチ燐寸製軸業を川向で営む〔常呂村史〕 東洋燐寸で製軸を兼ね挽材を行う〔常呂村史〕 常呂原野排水工事(下常呂原野東2線5号～東1線11号) (大正6年網走支庁拓殖概観) 洗心講(仏の教えを学ぶ)始まる(岐阜百年記念史) 岡島與五平が常呂市街で酒造業を企て端緒を拓く。その後、長澤久助が事業 を継承、業務に精励(常呂村史) 開拓道路が村道となる(常呂町岐阜のあゆみ) 道費をもって下川沿右岸6号・8号間の大排水溝を部落事業として開削 (常呂町史) 島根県人、神楽を始める(共立百年史) 柴田牧場(後の上杉牧場)始める(富丘百年史) 東回りの定期航路函館・根室線を延長し、根室・網走線開通、網走港を起点 とする東西の航路連絡が容易に(新北見市史)
明治34年	1901	2月1日	常呂・野付牛間の現在の22号付近に太茶苗駅通設置(網走支庁拓殖概観) *「イワケシュ郷土史」では、明治33年石橋伝蔵は、大越善三郎の放牧地 の一部を借り、放牧と農業を続けるとともに、官設駅通の許可を受け、 和人安住の基礎をつくりあげた(常呂町百年史)
		4月1日	明治34年度北海道地方税水産税賦課規則公布〔庁令〕
		4月13日	漁業法公布〔法〕(明35.7.1施行)
		4月18日	北海道水産税区区域名称を定める〔庁令〕
		4月25日	太茶苗基線22号に官設駅通所設置(告示)(明治44年12月22日 手師学に移転)*「網走支庁拓殖概観」では2月1日設置 *「常呂村史」では1月設置、大正6年廃止
		4月	小樽・網走線を小樽・稚内線と稚内・網走線に分割し、日本郵船会社が運行 (網走市史) 明治34年の常呂寄港予定は、全航海数59回のうち4月から10月までは 毎月3回、11・12月は2回往復寄港。常呂港旅客往来数:乗船客127 人、下船49人、計176人(新北見市史)
		5月29日	前総代人川畑益造満期で改選、鑑沸村総代人に嶋崎梅蔵就任(常呂町史)
		5月	片岡一、養豚を開始〔常呂村史〕
		6月	下常呂原野道路として西5号線6号～サルマ川口(サルマ湖河口)の道路 敷設に着工:明治35年完工(常呂町岐阜のあゆみ)
		6月	(錦水小)鑑沸簡易教育所として創立するが、通学児童3名に減少し、明治 38年廃校(錦水小学校沿革誌)

		7月19日	牛馬貸与規則を改めて種牡牛馬貸付規則を制定〔庁令〕
		9月25日	手師学に岐阜県人安藤幸右衛門入地（郷土資料）
		10月11日	岐阜説教所設立認可（浄土真宗本願寺派）（常呂町史 岐阜百年記念史）
		11月	幌内に熱田農場創立（大6網走支庁明細図 常呂町百年史） 熱田農場43万坪の貸与許可を受ける （大正2年北海道農場調査 新北見市史年表）
明治34年			仮定県道の端野常呂橋（現常栄橋）から常呂川に沿って手師学アシリコタンまで道路：野付牛常呂連絡道路開削、明治41年常呂港まで全通、 （新端野町史 野付牛町史） 野付牛村仮定県道から手師学まで3里9町19間の道路開削（植民広報） 野付牛（現北見市）常呂間の道路建設（川西）（共立百年史） 常呂－忠志－野付牛間道路開通。41年道々となる（富丘百年史） 土佐地区の畑山忠（横島忠？）、ハッカ栽培に着手〔土佐郷土史〕 柴田直次郎が西6線西側で牧場を開設（常呂村史） 福吉久右衛門、ワッカ駅通放牧地経営（福吉牧場）〔常呂村史〕 大島仁吉他が常呂市街地東方の高丘に常呂駅通放牧地経営（大島牧場） 〔常呂村史〕 市山助蔵、東1線3号で水稻試作、結果不良（常呂町史 土佐郷土史） 阿部治太郎、川向で水稻試作、結果不良（常呂村史） 農家の副業として養蚕を始める（土佐郷土史） （川沿小）学令児童増加し校舎が狭くなり斉藤、長船の両氏が主として奔走し、工費50円及びその他幾多の士工人夫を部落より寄付し、建坪5坪を増築して収容する。当時の通学区域戸数80戸、就学児童数10名。 *川沿特別教授場 川沿簡易教育所（川沿小学校沿革誌 川沿小百年史）
明治35年	1902	1月7日	常呂村総代に山崎祐寿就任（常呂町史）
		1月	土佐の青年会が高知青年尚武会を結成（常呂村史 土佐郷土史）
		1月	鑑沸に漁舎を借りて寺子屋式教育所が開設（明38廃校）（常呂町史）
		3月8日	北海道士功組合法公布〔法〕（4.1施行）
		4月21日	熱田常吉が幌内に入地（大正2年北海道農場調査 新北見市史年表）
		5月17日	農商務省、漁業組合規則・水産組合規則を公布〔省令〕（7.1施行）
		6月21日	水産組合規則施行手続公布〔庁令〕
		6月27日	長澤久助、常呂郡郡総代人に就任（常呂町史）
		6月28日	漁業法施行細則、新たな北海道漁業取締規則を公布〔庁令〕 （明43.3.25廃止）
		6月	加藤徹玄、洗心講を組織（～明37）（常呂町岐阜のあゆみ）
		7月4日	8代目戸長佐々木馨二就任（北海道毎日新聞 常呂町百年史）
		7月1日	土佐東1線3号9番地に常呂尋常小学校校舎新築移転 （常呂村史 常呂小学校沿革誌）
		7月	（常呂小）柴田直次郎氏より畑6反歩の寄附を受ける（75坪） （常呂小百年史） （常呂小）校舎の位置変更が行われ、東1線3号9番地（現土佐50番地1の南付近）に柴田喜久哉の寄附により1800坪の校地を得て、建坪75坪の校舎新築（土佐郷土史）*常呂尋常小学校
		7月	小林国蔵、枝幸から転住し、常呂市街で雑貨商を始める〔常呂村史〕
		9月	常呂小学校、学事奨励規定により児童数90名を越え名誉旗授与 （北海タイムス 常呂町百年史）
		10月	端野村より植松直次郎他12戸、太茶苗に入地（常呂村史）
		11月21日	漁業組合規則施行細則公布〔庁令〕
		11月29日	国有未開地処分法施行細則・団体移住者土地貸付出願取扱方改正〔庁令〕

		11月	小原徳次、副業で網走の松坂新太郎より20余頭の畜牛を購入、飼育創始 〔常呂村史〕
明治35年			太茶苗に石橋平四郎移住〔北見之富源〕 下常呂原野開削（西5線6号～常呂原野ウトルウト湖畔） （大正6年網走支庁拓殖概観 新北見市史年表） 加藤留五郎、仙台より鑑沸に来住、外海に漁場を求む。外海漁業の創始 〔常呂村史〕 大越善三郎、豪州産牝馬3頭移入（常呂村史） 岐阜の向井徳二郎・関谷新平等、湧別からハッカ苗移入、栽培開始 （常呂村史 岐阜80年史） 小笠原三平、運送船業を開く〔常呂村史〕 杉本藤造・岩崎梅吉、手師学に入殖〔常呂村史〕 安藤竹次郎・中野菊次郎・伊藤一蔵・日置辰之助・谷川経次郎、 福井県人岩崎梅吉らが手師学に入地（手師学村誌） 秋、余興の目的で、木材業者長沢久助ら有志発起で競馬会開催し、40年頃 一時中止（常呂村史） 岐阜地区 戸数45戸、住人207人（村史）（岐阜百年記念史） 網走～稚内線、常呂～佐呂間1里12町51間竣工（共立百年史）
明治36年	1903	1月23日	水産業補助規定公布〔庁令〕
		2月6日	前年入地の屯田兵村出身植松直次郎に太茶苗の貸付許可下りる（常呂村史）
		2月16日	網走外2郡水産組合設立（組合長野坂良吉、網走・斜里・常呂3郡の他、 佐呂間湖の全域を含む）〔斜里漁業史 網走市史〕
		3月24日	真宗本願寺派岐阜説教所、常呂市街地に移転（現常楽寺）（常呂町史） 洗心講も開設（常呂町百年史）
		3月25日	新たに北海道漁業取締規則を制定〔庁令〕
		4月1日	常呂郵便局、三等郵便局に昇格 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		5月30日	9代目戸長吉浜茂平就任（常呂町百年史）
		7月21日	川沿簡易教育所、民家借用は児童教育上適当でないので部落大会開催、校舎 校舎新築の移転協議一決。上川沿東1線13号中野一郎氏の土地1反歩を 借用し、間口3間奥行5間の校舎を新築移転する（川沿小学校沿革誌）
		8月	山田久七、岐阜県から移住、常呂市街常呂橋畔で呉服荒物雑貨金物の販売に 着手〔常呂村史〕
		12月6日	17号から37号間で区画の延長測設が公示（道庁告示）
明治36年			斎藤鉄四郎が下常呂原野西1線14号に未開地貸付を受く（常呂村史） （41年農場許可）65町歩（19,500坪） 当時の相場は、菜種と小麦が7～8円程度で買付けされていた（富丘百年史） 下常呂原野排水道路開削（西2線4号～西2線7号） （大正6年網走支庁拓殖概観） 幌内熱田牧場に千葉県から小作人4戸入地（北海道農場調査 新北見市史年表） 小林國蔵が新潟県から北海道枝幸に移住、明治35年に藤野又十所有 汽船宮古丸で本村に移住。常呂市街で雑貨商を始める（常呂村史） 常呂原野簡易教育所が常呂原野岐阜団体簡易教育所に改称（常呂町百年史）
明治37年	1904	2月17日	3月15日から下常呂原野17号から37号間、貸付出願受付の告示 （道庁告示）
		2月	柴田製軸所創立（職工男5・女5、計10名）〔網走市史・道庁統計書〕
		7月15日	10代目戸長梅木知義就任（常呂町百年史）
		12月12日	浄土真宗本願寺派紫雲山常楽寺の公称認可（出願は明36.4.11 （常呂村史 常楽寺開教百年史）*「北見之富源」では明36.3.24

明治37年			西川治郎松・川島又吉・木屋仁太松、川東10号付近で馬鈴薯による澱粉製造作業を開始〔イワケシュ郷土史 常呂町農協20年史〕 明治36年、網走ー常呂間の道路開削、能取湖西岸を通り開通(常呂町百年史) (常呂小)尋常科卒業生13名(常呂小百年史) 長船氏が農耕馬によるプラオ作業で開墾(共立百年史)
明治38年	1905	2月11日	上川沿青年会を結成〔イワケシュ郷土史〕
		2月8日	輸入牡牛補助規程公布〔庁令〕
		2月10日	産牛馬組合補助規程公布〔庁令〕
		2月11日	上川沿青年会結成(常呂村史 イワケシュ郷土史)
		2月17日	網走で駅逓取扱人会開催、人馬賃金・荷馬櫓賃金一定となる。〔北見市史〕
		2月	常楽寺本堂庫裡新築落成(常楽寺開教百年史 常呂村史)
		3月1日	北海道罹災救助基金法公布〔法〕
		4月15日	29号西1線堤防付近に私設太茶苗教授場開設：間口2間、奥行き5間の草ぶき校舎建設、4月22日から授業開始、児童8人(常呂町百年史) *私設のため経費問題で明治39年12月授業中絶、40年12月再開
		4月	警察常呂分署長／小峰安秀他の提唱で森丑太郎、横川仁一郎が創立発起人となり、常呂義勇消防を組織する(常呂消防団日吉分団50周年記念誌) 小峯安秀・森本丑太郎・横川仁一郎らが発起人となり、常呂義勇消防組織(常呂村史)
		4月15日	(福山小)太茶苗28号(29号堤防近く)に間口2間半、奥行き5間の草ぶき校舎建設、太茶苗教授場と命名して開校(福山小学校沿革誌) 「常呂村史」では、授業開始は4月20日
		4月28日	英国貨物船エラミー号、常呂沖で座礁(常呂町史)
		5月4日	常呂小学校に補修科設置(41.3.7廃止)(常呂村史)
		6月15日	土佐神社社祠を建立・遷座式〔土佐郷土史〕
		8月4日	(常呂小)補修科を設置す、但し正教科共単級編成(常呂小百年史)
		8月	真宗本願寺派の説教所が西5線36番地に完成(常呂町史 常呂町百年史) *常楽寺
		8月	説教所新築、同所に岐阜教育所移転・併設(錦水小学校沿革史 常呂町史)
		9月5日	日露講和条約調印(ポーツマス条約、10.16公布)
		9月	手師学日置松二郎、野付牛よりハッカを移植〔手師学村誌〕
明治38年			戸長役場、現在地に移転〔常呂村史〕 林藤治郎、岐阜県から「馬頭観世音菩薩」を迎え、自宅に安置(常呂町の石碑)
			鑑沸簡易教育所廃校(錦水小学校沿革誌 常呂町史)
			改良川崎船造船
			山田久七呉服物、小林国蔵雑貨雑穀仲買業、上杉眞治雑穀仲買業、木材業開業(常呂町史)
			上杉眞治が来住し、広く営業を開始。海陸物資の供給、漁業、木材業などに活躍(常呂村史)
			熱田常吉、幌内にて水稻試作するも成績不良(昭和4年 北見の米)
			岐阜県人、大村鶴次郎・船戸太市・船戸辰次郎入植(富丘百年史)
			水谷天龍師、九州大分から来道、専心布教にあたり、常呂村曹洞宗説教所の認可を受け、小堂を建立(天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり) *「常呂町史」では、説教所設置認可・小堂建立は明治33年8月 水谷天龍着任は明治43年9月
明治39年	1906	1月8日	牡馬臨時貸下規程公布〔農商省令〕
		3月31日	鉄道国有法成立

		3月	警察常呂分署廃止（4月、網走警察署常呂巡査派出所のみ置かれる） （網走市史 網走警察署沿革誌）
		4月	日本郵船、道庁の補助を得て小樽・斜里線を開設（地方費支弁による道庁補助航路の嚆矢）（常呂町百年史） *西回り定期航路は2線になったが、翌40年4月に統合（新北見市史）
		7月3日	北海道移住民規則改正〔内省令〕
		7月	常呂巡査派出所を廃し、巡査駐在所を置く〔網走市史・網走警察署沿革史〕
		10月15日	この日を吉日としてイワケシ山に標石を祭り、関口伊勢蔵が中心となって17号-19号間の住民が心を合わせ祭事を行った。これ以来、イワケシ祭りが例年実施（イワケシ郷土史）
		10月31日	貸付地予定存置規則公布〔庁令〕
		12月	太茶苗教授場休校（常呂村史 福山小学校沿革誌）
明治39年			宮城・岡山県からサロマベツ原野（鑑沸村）へ団体移住〔北見市史年表〕 山田久七、薬類の販売を始める〔常呂村史〕 佐川直徳、村医として赴任（～大13）〔常呂村史〕*常呂病院勤務 *常呂病院の場所は、現在の字常呂476番地 旧国保病院近く *大正13年、佐川氏退村後、武藤豊蔵が同場所に開業。死去する 昭和16年7月まで治療に当たっていたと記載（常呂町史） *昭和6年度「常呂村概況」に「常呂病院 常呂市街地 医師1」と記載 柴田直次郎、西7線の現国道238号線の南側に製軸工場を建設 （職工男5名、女5名）〔岐阜80年史〕 柴田直次郎、西7線10号の牧場内に豚牧場開牧（岐阜百年記念史） 日露戦争祝勝の音楽隊がパレードし、常呂原野岐阜団体簡易教育所で演奏、加藤徹玄が布教で用いた幻灯で戦況公開（岐阜部落開基80周年記念誌） 網走、紋別、雄武水産組合を以て連合会を設立。網走に事務所を置く。 （常呂漁協40年誌） 前年日露講和、召集兵帰還（岐阜百年記念史） 馬の共同購入（西川、川島）（共立百年史） 岐阜県人、土田虎松・佐野伊兵衛・佐野九五郎入植（富丘百年史） 宮城県人、岩松子三治・横山原作・四十九院入植（富丘百年史） （常呂小）尋常科卒業児童11名（常呂小百年史）
明治40年	1907	1月	加藤吉治、木材業を経営〔常呂村史〕
		2月28日	北海道国有未開地立木処分手続を制定〔訓令〕
		3月	森忠次郎所有製軸所は大日本燐寸軸木会社に譲渡〔北海タイムス〕
		春	手師学教授場設置不許可を受け、部落民が草ぶき小屋を新築し、岡崎イサを教師として教育実習の端緒を開く（常呂村史）
		4月1日	（常呂小）修業年限6ヶ年となり、補習科を廃止す。（常呂小百年史）
		8月	11号から12号間の常呂川に官設渡船場設置：仮定県道渡船場 浜佐呂間から網走への仮定県道北海岸線の一部として設置（新北見市史） 長浜氏が道路用地寄付、北海道庁長官から記念品・賞状授与 （豊川区開基百年誌） 大正7年以降廃止（北海道道路史）
		9月	9号の常呂川渡船場廃止（明治29年以降に設置）（北海道道路史）
		9月	5号の常呂川渡船場設置（大正7年以降に廃止）（北海道道路史）
		11月	岐阜団体簡易教育所新築工事に着手（常呂村史 錦水小学校沿革誌）
		12月3日	吉野地区の吉野地神（地ノ神）建立（常呂町百年史）：間違い *吉野地区の入地は大正2年 *「さっぽろ日・吉・登会」会員複数の証言では、子ども時代からあり、仁木さんの畑にあったとのこと。仁木六助氏は大正8年入植、昭和38年

			町外移転。入植後、個人的な地神として設置の可能性あり。 *「ところ文庫1 常呂町の石碑」では昭和40年2月3日建立 日吉地区の地神として再建した年月日の可能性が高い
		12月	太茶苗教授場、再び授業開始〔福山小学校沿革史〕
		12月	11代目戸長水戸部日出吉が就任（北海タイムス）
明治40年			納税組合設置〔常呂町史〕
			常呂外3ヶ村衛生組合設置（常呂町百年史）
			上川沿・佐呂間川口間道路2里7町開削（常呂村史）
			網走・湧別間の仮県道の延長工事として上川沿12号から鑑沸村河口 （現浜佐呂間）間道路2里7町が開削（豊川区開基百年誌）
			常呂から湧別間仮定県道（サロマ湖西岸道路）第1工区工事着工 明治41年完工（植民広報）
			*当時開削した道路は、13号堤外と富丘14号以西のイワケシュ山北側の 通称イワケシュ道路（川口道路）として面影あり（豊川区開基百年誌）
			下常呂原野16町46間（工費971円）排水道路工事〔殖民公報〕
			上川沿斎藤鉄四郎、水利権を得て水稲栽培、安部治太郎は農事試験場の水稲 委託試験を開始（北見の米 常呂町百年史）
			薪ストーブになったのは、市街でさえ明治40年、安部豊次郎が函館から 取り寄せて使ったのが初めてといわれ、土佐に現れたのは早くてもそれから 3～4年後（常呂町史 土佐郷土史）
			暖房用鉄板ストーブが本町に移入されたのは明治40年で、安部豊次郎が 郵船会社の汽船に頼んで函館から3円50銭で取り寄せたのが最初のもの だろうという（常呂町史）
			手師学に太茶苗駅通付属用地貸与（北見市史）
			手師学青年団創立するが何ら活躍せずに四分五裂状態（手師学村誌）
			常呂駅通取扱人の変更により、大島牧場、渡邊留八に移る（常呂町史）
			熱田牧場で水田試作の結果、1反2石1斗の収穫あり （北海タイムス 新北見市史年表）
		岐阜教育所校舎前に林治太郎雑貨店開店（岐阜80年記念誌）	
		明治40年頃音機が、また、その後活動写真（映画）が入り出した。 （岐阜部落開基80周年記念誌）	
		福島県人、本田勝一入植（富丘百年史）	
明治41年	1908	3月	道庁の特別教育規定制定により、常呂川沿簡易教育所が常呂川沿教育所と 改称、修業年限も4年から6年に（常呂町百年史）
		4月1日	常呂小学校の修業年限6ヶ年となり、補修科廃止 （常呂小学校70年のあゆみ）
		4月15日	改正北海道国有未開地処分法公布〔法〕
		4月22日	常呂村大火、50戸焼失、郵便局焼失（北海タイムス） 郵便通送の馬小屋付近から火災発生、市街50戸の内、24戸消失 （常呂消防団100年記念誌）
		6月6日	*「常呂村史」では4月1日、「常呂町史」では5月20日 常呂小学校、運動場落成〔常呂小学校80年のあゆみ〕 （運動場20坪、教室8坪、廊下2坪）（常呂小百年史）
		6月26日	貸付地予定存置規則改正〔庁令〕
		6月30日	高橋仙蔵から西5線32番地600坪の敷地寄贈、常呂原野岐阜教育所、 新築校舎落成：7月1日授業開始（錦水小学校沿革誌 常呂町百年史）
		7月	曹洞宗説教所に水口鷲仙が派遣（～明治43年9月）（常呂町史）
		8月1日	農会の事業として製糸製綿伝習所を設立、伝習会開催〔北見之富源〕 製糸製綿伝習所、生菌殺蛹乾燥所が作られ、村をあげて養蚕が行われた

		9月20日	荒瀬心誠師、巡回出張で入寺、開基住職：常楽寺（常楽寺開教百年史）
		8月1-24日	製糸製綿伝習所、伝習生19人（北海タイムス 新北見市史年表）
		9月	福島団体（团长星清造）30戸50余人、基線から西1線の5、6号に移住翌年には半数が解散（北海タイムス 常呂町百年史）
		11月3日	市街組合結成（新北見市史年表）
		11月27日	12代目戸長佐々木喬就任（常呂町百年史）
		11月	常呂湧別間県道工事（第2工区）3里17町、（第3工区）2里、常呂-湧別間の道路はサロマ湖西岸を通り開通（常呂町百年史）
明治41年			常呂手師学間5里21町、1万2,220円〔殖民公報〕 常呂-手師学間の道路開通、野付牛-常呂間が連絡（常呂町百年史） 常呂浜から手師学村に至る道路の改修工事、交通の便よくなり農業資材搬入生産物の出荷輸送・販売容易に（豊川区開基百年誌） （川沿小）移住者激増し、児童も多くなり校舎が狭くなり長浜菊五郎氏より基線14号82番地の所有地5反歩の寄付を受け、間口6間奥行5間の平家間奥行5間の平家葺葦の校舎を新築移転（川沿小百年史 川沿小沿革誌） 渡辺留八が福島県相馬郡小高町小高神社より天之御中主大神を受ける *大正5年に現在の忠魂碑前に御堂建立 *相馬妙見小高神社の始まり 帝国在郷軍人会常呂村分会創立（常呂村史） 石油ランプ、鉄板作りの薪ストーブが使用されてくる（岐阜百年記念史） 旧教育所が説教所として使用されていく（岐阜百年記念史） 佐野蘆次郎入植（富丘百年史） 安藤米蔵が市販乳を目的に乳業飼育（常呂町史） 茨城県人熱田常吉が未開地35戸分、面積180町歩の貸付許可を受けて移住し、農場開設（常呂町史） 太茶苗の川岸源平・橋本基次が幌内の石炭校区申請（常呂町百年史） 三井鉱山が常呂で鉱区設定（常呂町百年史）
明治42年	1909	1月	私設手師学特別教授場設置：現日吉小学校敷地 （常呂町百年史 日吉小学校沿革誌）
		1月	川沿青年会結成（常呂町百年史 北海タイムス）
		2月15日	日露戦争死者追悼会を常楽寺で施行：1000余名参加 （北海タイムス 常楽寺開教百年史）
		3月27日	外国領海水産組合法改正〔法〕
		3月30日	12代目戸長佐々木喬依頼免職（着任年月日不明） 3.31に13代目戸長篠田簡就任（常呂町百年史）
		3月	私設太茶苗教育所隣に校舎新築、私設から川沿教育所に所属する太茶苗特別教授所に変更（常呂町百年史）
		4月6日	農商務省、汽船トロール漁業取締規則を定め北海道における漁業禁止。
		4月15日	岐阜部落方面大洪水、家屋浸水（22日まで） 朝からの暴風で、夜に入り倒壊家屋が11戸、続けて暴風により各所で火災が発生、消失戸数22戸（常呂消防団100年記念誌）（北海タイムス） 春耕期に乾燥と強風により出火、川沿・岐阜・土佐の一角が火の海に （共立百年史）
		4月	（日吉小）地域住民の要望により、草葺きの小屋を新築し、青年教師岡崎イサ氏により教育実習の端緒を開く。（日吉小80年史）
		4月	（福山小）校舎改築し太茶苗教育所と改称（福山小休校記念誌）
		5月8日	豪雨で水害（聖徳太子碑70周年記念誌）
		5月15日	大洪水となって、岐阜簡易教育所校舎内に浸水2尺におよび、授業3日間休む（岐阜部落開基80周年記念誌） 岐阜・川沿の窪地では1丈3尺の浸水、浸水家屋260戸、浸水畑地993

			町歩3反5畝、被害額約2万円（新北見市史） 太茶苗村53戸全戸浸水、浸水畑地97町1反1畝の半数は2尺の流失、 流失家屋1戸、倒屋1戸（新北見市史） 鑑沸村では佐呂間川が氾濫し浸水家屋321戸、浸水畑地482町2反8畝、 損害1万1千円（新北見市史） 手師学村で浸水家屋30戸、浸水畑地61町3反9畝、損害1,020円 （新北見市史）
		5月30日	下常呂473町を増画（道庁告示286号）〔殖民公報〕
		6月1日	（日吉小）常呂第2小学校（現川沿小学校）所属手師学特別教授場として 認可設置、弦巻七郎氏代用教員として任命される。児童数10名。 （男5名・女5名）（日吉小80年史）
		9月17日	山本馬太郎出札、網走町の遠藤勘兵衛等と網走地方4郡が一致して北見線 鉄道速成の努力を約す〔北見市史年表〕
		10月	網走営林区常呂保護区駐在所、常呂市街地に設置（初代森林監守岡田喜七） （常呂町史）
		10月	18号から川沿・岐阜・土佐に至る一帯火の海となる。 （常呂消防団100年のあゆみ）
		10月	日吉神社は、現在地に大神宮の標柱を建てて祀ったことから始まる。 （ところ文庫10常呂町歴史散歩）
		10月	岐阜神社社殿建立（6線5号の坂の上）
明治42年			四国から移住の小崎捨吉が毘比羅神の御神体を受け29号に祀り、 太茶苗神社と称号（常呂町史） 太茶苗青年会結成（常呂町百年史） 札幌の岡村三治経営による岡村牧場（後の愛須牧場）西川沿に設置〔常呂村史〕 小林国蔵、常呂川にて地曳網を営む〔常呂村史〕 網走営林区常呂保護区設置（常呂町百年史） 柴田直次郎、サロマ湖内牡蠣区画漁業権を得る（～大3）、 乾牡蠣製造に従事する（常呂町百年史） 常呂市街（旧漁業組合事務所付近）に神戸東洋燐寸株式会社滝川工場分工場 創業。サロマ湖河口その他に小製軸工場も設けられた（常呂町史） 浄土真宗大谷派布教師入江普嘉美、東1線13号に駐在布教所開く （高德寺の基、44.1.22入仏式）（常呂町百年史） 農会にて水稻試験場設置〔北見之富源〕 岐阜簡易教育所4年制から6年制に移行（岐阜百年記念史） 記念式典。以後この日を祭典日と定め継続（岐阜百年記念史） 泥炭層燃えて一週間後に鎮火する。（岐阜百年記念史） 福島県人、新木勝吉氏・新木一次氏入植（富丘百年史） 岐阜県人、石丸与三松氏・石丸辰衛門、入植（富丘百年史） サロマ道路開通（富丘百年史） （川沿小）東1線13号の校舎を売却、不足分の経費の寄付を得て19坪の 増築（川沿小百年史）
明治43年	1910	2月10日	常呂川右岸のチエトイ川からホロナイ川までとイワケシ山北側山麓の増画 の貸付告示（道庁告示）
		3月	川沿教育所所属太茶苗教育所が太茶苗教育所に改称（常呂町百年史）
		3月	岐阜原野教育所（6年制）第1回修了生卒業（岐阜百年記念史）
		3月	（常呂小）在籍児童（男56、女51、計107）（常呂小百年史）
		4月21日	改正漁業法公布〔法〕（44.4.1施行）
		4月	常呂山火予防組合結成（常呂町百年史 北海タイムス）
		5月14日	北海道移住民取扱員心得〔訓令〕、北海道移住民事務取扱手続〔訓令〕制定。

		5月14日	道庁移住民取扱員事務所設置の件を制定〔告示〕
		5月	鑑沸山火予防組合結成（常呂町百年史）
		5月	大洪水、学校3日間休校（岐阜百年記念史）
		6月29日	浄土真宗大谷派仮説教所設置（常呂村史）＊東1線12号
		8月24日	常呂外4ヶ村連合大競馬会開催〔北海タイムス〕
		9月5-6日	大雨により常呂川氾濫（常呂川治水史）
		9月	曹洞宗説教所に大分県から水谷天龍来住：大正6年9月19日没 （常呂村史） ＊水谷大学：大正6年9月19日－昭和12年6月28日
		11月1日	19号、20号間の常呂川に渡船場新設（植民広報）（「北海道道路史」 では、大正7年以降廃止）（新北見市史年表）
		11月3日	土佐神社社殿、上棟式（常呂町史 北海タイムス）
		11月9-10日	常楽寺の荒瀬心誠の入影式・住職披露：浜市街から稚児姿数十名、岐阜奉迎 団、新市街石見各団の奉迎、参拝者あふれ、開村以来の盛況 （北海タイムス 常楽寺開教百年史）
		12月8日	川沿教育所、常呂第二尋常小学校に昇格、初代校長に富田繁蔵氏任命 （常呂町百年史 川沿小学校沿革誌）
		12月8日	37号以南（隈川・ポン隈川間）の延長増画地の貸付告示（道庁告示）
		12月13日	岐阜青年倶楽部会館、建設落成式（北海タイムス 常呂町百年史）
		12月	手師学村長に日置辰之助任命（手師学村誌）
		12月	太茶苗特別教授所は太茶苗教育所と改称（常呂町百年史）
		12月	手師学教授場、常呂第二尋常小学校附属手師学特別教授場となる （常呂町百年史）
		12月頃	図書倶楽部結成（常呂町百年史） 「北海タイムス」（M43. 11. 22）有志で発足、書籍購入・保管、一般公衆に 閲覧の会員制組織
明治43年			柴田直次郎、厚岸より土井太一を呼び乾牡蠣製造に改良を加え焙炉法を開始 牡蠣鋏の使用も伝わる（常呂村史 昭40サロマ湖） 又十藤野の直営を打切り賃貸をなす。漁場事務所を網走に引上げ（常呂村史） 加藤清吉他22名が幌内地区に入地（常呂村史） 熱田農場、排水溝1,200間を完成〔北海道農場調査〕 三好伊三太が太茶苗で農業のかたわら日用雑貨品の販売開始 （イワケシュ郷土史） 岐阜地区内鉄道敷地測量入る（岐阜百年記念史） 明治43年頃、上山所有地（第一地区）で草競馬が開かれ、その後も 現岐阜集落センター前付近で行われた（岐阜百年記念史） 説教所風倒する。大風吹き民家等被害甚大（岐阜百年記念史） 斉藤友左衛門、中富良野郵便局退職後本村にて農業を始める（富丘百年史） 旧5番地（モンカンル）でイオマンテがとりおこなわれる（クマ送り） （常呂町百年史） 山田久七、呉服類販売のかたわら国定教科書の取次と学用品の販売始める （常呂町史） 村医1人のみであったが、小坂医師が常呂で開業 （岐阜部落開基80周年記念史） 常呂郡に缶詰工場開設（網走市史）
明治44年	1911	1月5日	高知青年尚武会が土佐青年会と改称〔常呂村史〕
		1月5日	岐阜青年会再発足（以前は青年倶楽部と称していた） （常呂村史 岐阜部落開基80周年記念誌）
		1月22日	常呂村12号線に浄土真宗大谷派説教所を建立、住職入江普嘉美を迎え 入仏式（手師学村誌）

3月30日	漁業組合令施行細則公布〔庁令〕
3月	(常呂小) 在籍児童(男56、女56、計112) (常呂小百年史)
3月	常呂原野教育所から新制6年生の初卒業生(岐阜部落開基80周年記念誌)
4月21日	14代目戸長眞勢正一就任(常呂町百年史)
5月20日	村民の親睦として観桜会を常呂山で開催(北海タイムス 新北見市史年表)
5月頃	市街戸数170戸を超え、商店数35戸あまり(常呂町百年史) 旅館:荒木・相馬・大石・大島 回漕店:荘子・柴田 木材輸出・雑貨店:新谷徳治 料亭:北見・福吉・横川・喜島楼
6月15日	常呂原野岐阜団体簡易教育所で常呂で初めての運動会実施 村内で初めての運動会、他校父兄も多数見学、賑わう *錦水小学校 (岐阜部落開基80周年記念誌)
6月19日	手師学に駅通新設のため支庁近江主任来村(北海タイムス 新北見市史年表)
6月	(岐阜神社の始まり)現在の岐阜集落センター付近の畑の中に天照大神を 奏上。45年の水害で浸水したため、馬頭観世音菩薩前の坂に移転 (ところ文庫10常呂町歴史散歩)
7月8日	日清・日露戦争戦没者追悼会を曹洞宗説教所において開催:参拝者500余人 (北海タイムス 新北見市史年表)
7月19日	常呂川氾濫、大洪水となり1丈6尺増水、被害18万円(常呂町百年史) 7月19日より雨降り出す。26日豪雨となり、大水害となる。五号付近 に流送のアバあり(約二万石)、監督官庁の指揮により、これを切る (聖徳太子碑70周年記念誌) 7月16、17日に台風の通過で大雨、常呂川が増水、上流の手師学村・ 太茶苗村から順次氾濫して土佐団体の一部を除くほとんどが浸水、太茶苗・ 川沿方面は床上2尺から5尺の浸水(豊川区開基百年誌)
7月	愛媛県人田村文吉他手師学に入地〔常呂村史〕
7月	(日吉)愛媛県新居郡より田村文吉が団体長になり秋山徳次・谷口亀吉・ 尾藤岩吉・若原愛治・神野照蔵などが入地開懇に従事した (日吉百年史 常呂村史)*「手師学村誌」では6月隈川流域に入地
7月	岐阜入植三十年碑を現岐阜集落センター前に移設 (ところ文庫10常呂町歴史散歩)
8月5日	産業組合補助奨励規程公布〔庁令〕
8月16-17日	台風襟裳岬沖通過による大雨で、19日に常呂村で1丈3尺の大洪水、 走路・堤防決壊10数ヶ所、野付牛村と交通途絶。岐阜集落浸水家屋75戸 避難35戸。土佐集落浸水家屋10戸、避難5戸。川沿部落浸水家屋293 戸、避難12戸。太茶苗村で浸水家屋50戸、避難40戸。手師学村で浸水 家屋28戸、避難28戸。鑑沸村では佐呂間別川の洪水で浸水家屋134戸 避難8戸。常呂村役場管内総計浸水家屋590戸、避難228戸。被害反別 670町5反、被害総額18万円(新北見市史)
8月	手師学隈川橋際に徳島県人田辺又三郎が物品販売、学校前に山口県人 村田道蔵が学用品販売業を営む(手師学村誌)*村田は大正8年転出 村田の後に愛媛県人矢野中庸が物品販売(手師学村誌)
9月	常呂同志会設立(会長西村礫三)
9月	各駅通取扱人が参集し網走郡・常呂郡人馬継立営業申合規約を決定 (網走市史)
10月9日	常呂同志会創設:病院新築を發議 *常呂病院:村医(常呂町百年史)
10月11日	常呂村総代選挙開票、西村礫三当選(北海タイムス 新北見市史年表)
10月11日	東宮殿下本道行啓を記念して現在の社殿(手師学神社)を建立、伊勢大神宮 を奉戴遷宮、大祭典を行う(手師学村誌)
10月	(常呂小)東宮殿下本道行啓記念として校地に落葉松及桜50本を植付く (常呂小学校沿革誌 常呂小百年史)*大正7年5月、新校地に移植

		11月1日	(常呂小) 1学級増設2学級編成となる。(常呂小百年史)
		11月3日	常呂村最初の集会施設、興仁館落成(青年夜学校を指す)。この一部に図書館を併設。図書倶楽部利用(常呂町百年史) *図書倶楽部の活動は「北海タイムス」記事で大正3年まで記載
		11月15日	手師学青年会発足〔北海タイムス 北見市史年表〕 四分五裂状態の手師学青年団が再結成・開会式挙(手師学村誌)
		12月22日	太茶苗駅通所を移転し手師学駅通所と改称、石橋平四郎が経営 *大正6年〔告示 殖民公報〕 (常呂村史では明治45年移転・改称)
明治44年		秦周ほか有志の再起により常呂競馬場を新設、賞金400円計上して盛大に競馬会開催(常呂村史) 常呂沖合にホタテ多く出現、雄武・沙留方面より鑑沸に移住者増加し一市街を形成〔常呂村史〕 岩本秀栄、太幌に加賀団体を組織して移住〔常呂村史〕 准公設常呂病院設立(常呂町百年史) 栃木県からサロマベツ原野(鑑沸村)へ団体移住あり〔新北海道史年表〕 木材止場事件発生。岐阜地区民参加(岐阜百年記念史)	
明治45年	1912	1月7日	吹雪により1週間交通途絶(北海タイムス 新北見市史年表)
		2月26日	常呂大島旅館で網走・常呂・紋別3郡の網走湧別間鉄道速成同盟会組織(北海タイムス 新北見市史年表)
		2月	手師学を除く川沿・岐阜・土佐・太茶苗・上川沿5団体が連合青年会組織、常呂外3ヶ村実業青年会が計画される(北海タイムス 新北見市史年表)
		2月	(川沿小) 本田留吉氏より川沿東1線29番地の2に畑8反歩の学校敷地の寄付を受ける(川沿小百年史)
		3月	常呂・鑑沸間に馬車鉄道の計画起る(北海タイムス 新北見市史年表)
		3月18-19日	暴風雨により常呂川氾濫(常呂川治水史) 網走143ミリ、北見84ミリ(豊川区開基百年誌)
		4月2-4日	低気圧による暴風雨、常呂川氾濫(常呂川治水史 豊川区開基百年誌)
		4月14-15日	暖気のため急激な融雪により、常呂村が大洪水になり全村床上浸水4尺、原野浸水8尺。救助船が十分ではなく屋上に3昼夜避難し、絶食。岐阜部落岐阜十八間橋流失、9号で溺死者1人発見するも引き上げできず。 川沿部落付近の出水1丈3尺、17号付近堤防80間あまり決壊、半壊家屋23戸、太茶苗村・手師学村で全戸浸水。19日になって減水 (新北見市史 聖徳太子碑70周年記念誌 豊川区開基百年誌)
		5月1日	常呂川増水1丈余、各原野氾濫し交通途絶(常呂町百年史) 17号堤防及び各所決壊(新北見市史)
		5月16日	寒気襲来(17日まで)、5、6寸の降雪(常呂町百年史)
		5月	間一、サロマ湖において石油発動機船で曳き船を始める (北海タイムス 新北見市史年表)
		7月30日	鑑沸地区加藤留五郎、川畑益蔵、中野宏平、木田橋智代吉、中川三次郎5人が設立発起人となり、紋別常呂郡界から鑑沸までの間を組合地区として出願、認可を受け、鑑沸漁業組合の誕生。ホタテ、ホッキガイ、ナマコの専用漁業権を取得(常呂漁協40年誌)
明治45年			常呂競馬会を組織し、競馬場を設け、8月11-12日に常呂競馬会開催予定(北海タイムス) 明治年間に旧栄浦消防団詰所前のナラの木の所に稲荷神社建立。その後大正年間に現在地に移社、稲荷神を奉上(常呂町史) *栄浦神社
大正元年	1912	4月	(常呂小) 学級数3(常呂小百年史)
		7月30日	大正と改元

		7月30日	加藤留五郎他4名発起人となり、久野繁蔵他17名を以て 鑑沸漁業組合設立（組合長 加藤留五郎）（常呂漁協40年誌） ホタテ貝専用漁業権獲得（大3より事業開始）〔常呂村史〕
		8月	常呂競馬会を9月10-11日に延期して常呂競馬場で開催決定 (北海タイムス)
		8月	滝川弁三、常呂製軸工場創業〔大正6年網走支庁明細図〕 *大正9年まで *「大正7年作成「郷土資料」では、工業は滝川製軸工場あるのみと記載
		8月6日	浄土真宗大谷派説教所設置認可（常呂村史）*常楽寺 常楽寺岐阜説教所、梅田、久世の真ん中辺に設立（岐阜百年記念史）
		8月15日	鑑沸村に村社創設、八幡宮を祭神とす、8月15日に八幡神社祭〔郷土史料〕
		8月16日	常呂橋の架橋替補助申請認可〔北海タイムス〕
		8月	太茶苗村で購買販売組合組織〔北海タイムス〕
		9月12日	15代目戸長宗廣文太郎就任（常呂町百年史）
		9月13日	明治天皇崩御により遙拝式挙行、遙拝殿も新築（常呂町百年史） *場所は現中央児童公園（旧小高神社と忠魂碑の間あたり：写真から） *「在郷軍人会常呂分会の歴史」には、大正元年9月に、将来各部神宮の 合祀を計り、浜市街中央高地に神殿を建立し、毎年遙拝式・祭典を行う 計画記載 *「新北見市史年表」には「明治神社造営始まる、大正9年完成（常呂町 百年史）の記載あり *「明治神宮」の誤りではないか *「在郷軍人会常呂分会の歴史」には「大正12年7月31日、明治天皇祭 当日、市街明治神社境内忠魂碑前において忠魂祭典挙行」の記載 *同書、昭和2年には「明治神宮遙拝所」ともあり（明治神宮完成後） *常呂村小学校研究会作成「郷土資料」（大正7年10月完）に、 神社の項目に「明治神社」の名称あり
		9月14日	午後1時から常楽寺で各宗連合の明治天皇遙拝式（常楽寺開教百年史）
		10月28日	北海道水産税税区廃止〔勅〕（2.4.1施行）
		10月5日	池田・網走間、鉄道全通
		10月	岐阜教育所、校舎新築：予算1,100円と労力奉仕（11.1授業開始） (錦水小学校沿革史)
		10月	（日吉）部落の繁栄と住民の安全を祈念するため鎮守として手師学神社を 建立し天照皇大神宮を奉祀した（日吉百年史 常呂町史）
		11月19日	常呂尚武会創立〔北海タイムス〕
		11月	30号渡船場設置：手師学川東地区児童が太茶苗教授場通学に利用 大正7年以降廃止（北海道道路史）
		12月1日	山田久七が山田久七商店支店開業（書籍・文具・新聞）（常呂町大観） *常呂村52番地 *昭和35年：山田芳夫が山田開進堂設立
大正元年			岐阜地区で深尾豊作が亜麻栽培に着手（常呂町百年史） *「岐阜開基百年史」では大正5年 部落の寄付1,100円と労力の奉仕により、常呂原野教育所（錦水小）の 2教室と職員室の木造桁板囲い校舎建設（岐阜部落開基80周年記念誌） 幌内地区では大正元年頃から、熱田農場場主の熱田常次郎が、個人で熱田 神社を造営、熱田神社と称号（イワケシユ郷土史 常呂町史） 丸木舟「白山丸」常呂、下川沿間の運搬にあたる（共立百年史） 石川県人、東捨吉、堀口清次郎入植（富丘百年史）
大正2年	1913	1月4日	興仁館において常呂川治水問題解決のための村民大会開催（北海タイムス）
		1月	太茶苗教育所、太茶苗尋常小学校となる（福山小学校沿革誌）

2月1日	(日吉小) 地域より校舎新築(47坪) 寄付を受け移転、授業を開始する。 同年教員住宅を新築する。通学区域は手師学と隈川とする *吉野 (日吉小学校沿革史 日吉小80年史)
2月5日	鑑沸教育所が開設(2.20授業開始) [錦水小学校沿革誌]
2月23日	常呂村市街地で火事、3棟5戸消失(北海タイムス 新北見市史年表)
3月	(常呂小) 在籍児童(男80、女77、計157) (常呂小百年史)
3月	鑑沸の渡船場廃止(北海道道路史)
3月7日	常呂橋の架け替え・渡橋式(渡橋式写真裏書き 常呂町史 常呂町百年史) *大正6年にも常呂橋の架け替えの記載(常呂町史)
4月9日	手師学教授場、新校舎竣工・移転・授業開始(日吉小学校沿革史)
4月11日	常呂市街地に巡査部長派出所を設置(常呂町史)
4月25日	太茶苗尋常小学校、校舎増築
4月	(福山小) 太茶苗尋常小学校と改称(福山小休校記念誌)
5月7日	滝川製軸工場火災[北海タイムス]
5月9日	常呂消防速成会結成(60人参加) (常呂消防団100年記念誌) *2/23の火災を受け、装備を備えた公設消防組の必要性運動開始
5月25日	上杉眞治・山田久七・稲田勘二が発起人となり、常呂商業組合を設立 (組合長上杉眞治) (常呂村史 常呂町史)
5月	鯿大漁[北海タイムス]
5月	准公設常呂病院新築、隔離病舎も併設 *村医:佐川直徳(常呂町百年史)
6月25日	常呂郵便局新築移転移庁式挙行[北海タイムス]
7月	明治天皇崩御三周年奉悼句会(天龍寺)蛙聲吟社蛙声会創立 (蛙声会創立百周年誌) *「常呂村史」では大正9年結社
8月1日	常呂川の河口、上川沿、野付牛に水位観測所設置(新北見市史年表) 上川沿水位観測所設置、弓山三五郎が観測(豊川区開基百年誌)
8月12日	大霜が降り全道の大凶作に見舞われる。降雹被害8月12日午前11時25分より5分間。被害面積200町歩。被害面積200町歩(富丘百年史)
8月15日	(鑑沸神社)「地域資料」では、村神社創設八幡宮を祭神とす。仏閣未だなし(とくろ文庫10常呂町歴史散歩)
8月27-28日	暴風雨により常呂川氾濫(常呂川治水史)
9月5日	岐阜簡易教育所が岐阜尋常小学校に昇格(2学級編成) (常呂村史 錦水小学校沿革史)
9月7日	道雑穀商商業組合連合会乙種検査所発足(常呂町史) *農産物検査事業:食糧事務所の始まり(常呂町農協創立20年記念史)
9月13日	暴風雨のため漁船転覆、14人乗り込み中12人行方不明 (北海タイムス 新北見市史年表)
9月16日	常呂村消防組公認(11.5発会式、組頭上杉眞治)、火災予防組合 発足(会長西村礫三)[北海タイムス] 装備:腕用ポンプ・水管・水管車・引倒器・梯子・長柄鳶・水桶・桎めくり 高張・手提提灯・警鐘(常呂消防団100年記念誌)
9月	9月15~17日の雨で水害。9月25日の水害と合わせて89、121円の被害(聖徳太子碑70周年記念誌) 8月、9月と大雨が続き、畑地1500町歩が浸水(豊川区開基百年誌)
9月	水害の被害で競馬会延期の議あるも、9月25日馬体検査、27、28日の 両日競馬会開(北海タイムス)
10月5日	常呂村総代人西村礫三満期改選、上杉眞治当選[北海タイムス]
10月	常呂駅通所、渡邊富八新築移転(新北見市史年表) *「常呂町百年史」では 駅通取扱人の名前が「渡部留八」
11月5日	常呂消防組発会式(組員40人) (常呂消防団100年記念誌)
11月11日	常呂村17号でイオマンテ行(北海タイムス 新北見市史年表)

		11月20日	卯原内・下常呂間3里の道路新設〔殖民公報〕開通式挙行（北海タイムス）
		12月13日	手師学村の農家に凶漢が押し入り、ハッカ取卸油を盗み、夫婦子ども4人を殺害、放火して逃亡（北見市薄荷年表）
大正2年			大規模なカキ採種の始まり。生カキ100-400樽生産、各地に販売。 1樽の価格4-6円90銭（常呂漁協40年誌） 大霜が降り凶作、大冷害のため豆類凶作（岐阜開基百年史） 「水害降雪のため、収穫は半減し大、小豆のごときは皆無の姿なりき」と常呂村村勢1班に記録（土佐郷土史） 常楽寺市街地移転後、岐阜説教所は岐阜簡易教育所が使用。明治40年に原野教育所として新築移転後、再び説教として月2回布教に使用（岐阜開基百年史 常楽寺開教百年史）*常楽寺附属 加藤吉次郎、搾乳業を営む〔常呂村史〕 大正2年頃、土佐地区で亜麻の試験栽培（土佐郷土史） 土井太一が乾牡蠣製造目的で鑑沸に入地、製造輸送を計画するが研究不足で失敗（常呂村史） 小林千代松他、常呂・網走間に発動機船大正丸の回漕を始める（雑貨・雑穀）〔常呂村史〕 間一、常呂・網走間を発動機船の回漕店を始める（常呂町史） 菓種商の甲斐勝三が自転車購入・使用（常呂村史 岐阜部落沿革史） 常呂郷友会結成（2年末）（常呂町史） 豊川223番地に豊川共同墓地・豊川火葬場設定（常呂町史） この年、横島愛治が現在の常呂市街末広で、翌年高橋清二は岐阜西5線5号号付近で、町内初の畜力による馬鈴薯処理加工工場を開く〔農協20年史〕 青森県からサロマベツ原野（鑑沸村）へ団体移住あり〔新北海道史年表〕 福井県人、吉江行太郎・鈴木忠蔵入植（富丘百年史） 高知県人、横島兼三郎入植（富丘百年史） （吉野）釧路の加藤直次郎がこの地を放牧地として払下げを受け、小作人として伊藤作三が入地2反歩程開拓をした（日吉百年史）
大正3年	1914	1月	曹洞宗大雲山天龍寺の寺号公称認可 寺号認可され、「大雲山天龍寺」となる。同年、天龍師は天龍寺を実弟水谷大学師に譲り、実父の美深町開源寺二世住職となる。 （天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり） *「常呂町史」では、水谷天龍が美深町へ移り、水谷大学着任は大正6年常呂信託合資会社設立、資本金5万円〔北海タイムス〕
		3月23日	北見国常呂郡常呂村4か村戸長役場管轄を分割し、鑑沸村戸長役場設置〔告示〕（4.1開庁）
		3月23日	西川沿森林防火組合発会式、組合員46人（富丘百年史）
		3月30日	私設巖岸消防組設立：川沿（組長関口伊勢蔵 組員20人） （常呂消防団100年のあゆみ）
		3月	（常呂小）在籍児童（男85、女79、計167）（常呂小百年史）
		4月1日	鑑沸村分村、役場設置（北海タイムス 常呂町史）*鑑沸村：現佐呂間町
		5月9日	鑑沸市街で失火、10戸焼失、損害2千円（地域資料）
		5月23日	西川沿森林防火組合発会式〔北海タイムス〕
		5月29日	幌内防火組合発会式（北海タイムス）
		5月	手師学森林防火組合結成（常呂町百年史）
		6月13日	滝川製軸工場火災（北海タイムス）
		6月15日	隈川上流への刈分道路私設〔北見市史年表〕*吉野
		6月15日	常呂火防衛生婦人会発会式〔北海タイムス〕
		6月20日	上川沿防火組合発会式〔北海タイムス〕

		6月	常呂村他3ヶ村農会設立認可（常呂町史）
		7月15日	常呂尋常小学校で同窓会結成（常呂町百年史）
		8月20日	工人組合により小公園に聖徳太子碑建立、除幕式（北海タイムス） 天龍寺境内に聖徳太子碑建立（聖徳太子が寺院建築史上大きな功績があり、常呂町の建築関係者の信仰の対象に）（ところ文庫10常呂町歴史散歩）
		8月26日	8月14日来の大雨で常呂川12尺増水、常呂村他3ヶ村は自滅かと報じられる。畑冠水1,500町歩（常呂町百年史）
		8月26日	常呂村3ヶ村衛生会長寺元大道、副会長西村礫三当選（北海タイムス）
		9月26日	大雨で畑地1,500町歩浸水（27日まで）（北海タイムス）
		9月	常呂川12号線と17号線の2ヶ所で護岸工事起工、大正4年2月竣工 *別なページには「12号と18号の2ヶ所に堤防設置」の記載 （常呂町百年史）
		10月1日	常呂部長派出所移転式行う（北海タイムス）
		10月3日	常呂小学校・常呂第二小学校・岐阜小学校の連合遠足会開催 （北海タイムス 常呂町百年史）*常呂小学校・川沿小学校・錦水小学校
		11月12日	12、13号護岸工事着手（北海タイムス）
		11月	（土佐の馬頭観世音）内藤儀八が自宅付近に馬頭観世音建立。 （数年後、岐阜地区有志の懇請によって岐阜地区に寄贈） （ところ文庫10常呂町歴史散歩）
		12月2日	常呂総代選挙（小島猪六）改選〔北海タイムス〕
		12月4日	太茶苗総代（植松直二郎）改選〔北海タイムス〕
		12月5日	手師学総代（伊藤一蔵）改選〔北海タイムス〕
		12月14日	17号護岸工事竣工（北海タイムス） 上川沿青年会が17号付近の常呂川堤防200間を築く活動に尽力 （豊川百年記念誌）*明治44年当時の会員数38名
		12月	内藤儀八が自家馬の安穩祈願のため自宅付近に馬頭観世音碑を祀る、 数年後、岐阜部落有志からの懇請で岐阜部落に寄贈（土佐郷土史）
大正3年			常呂川利用の運河株式会社創立の計画、創立総会開催〔北海タイムス〕 十七号、十二号に堤防造る（聖徳太子碑70周年記念誌） 愛須梅次郎、岡村牧場を引継ぐ〔常呂村史〕 工藤平蔵が土井太一の後を受け、乾牡蠣製造に幾分の成功を治めるが採算不能のため、生牡蠣採取を生業とする *工藤平蔵がこの地を牡蠣島（かき島）と名称、以後この通称が地名に （常呂村史） 山田甚太郎が自転車購入、漸次使用者増加（常呂村史 岐阜部落沿革史） 網走ほか三郡畜牛馬組合から毎年30円の奨励補助を受ける。その後地方競馬規則制定により補助金停止（常呂村史） 常呂競馬施行規則制定（常呂村史） 幌内地区住民が20号と21号の間の高台に社殿を造営し幌内神社と称号 （イワケシュ郷土史 常呂町史 ところ文庫10常呂町歴史散歩） 錨沸漁業組合の事業開始。ホタテ漁業船10隻着業（常呂漁協40年誌） 澱粉、自家消費主体から販売に移行していく。（岐阜百年記念史） 畜力による澱粉工場5線5号で操業、高橋清二経営で、年間1,500俵 （岐阜百年記念史） 雑穀相場上がる、好景気時代来る（岐阜百年記念史） 石川県人、堀口藤松入植（富丘百年史） 斉藤農場水稻試作。結実疑いなし〔北海タイムス〕
大正4年	1915	1月14日	曹洞宗大雲山天龍寺の寺号公称認可〔常呂村史〕
		2月	曾我浦三郎を愛媛に派遣、移住民を勧誘せしむ〔殖民公報〕

	3月15日	本田留吉から校舎敷地8反歩寄贈。校舎移転位置が東1線28番地に指定 (川沿小学校台帳資料) *常呂第二尋常小学校：現川沿小学校 *川沿東1線13号番地に学校位置決定される(川沿小百年史)は間違い
	3月20日	(吉野)十勝国帯広町笠原柳市が放牧場として貸付許可を受け、宮原養一が 管理小作人として佐藤園吉を伴い開拓の鋤を入れた(常呂村史 日吉百年史)
	3月23日	常呂小学校卒業式の後で学芸会開催：最初の学芸会(常呂町百年史)
	3月31日	15代目戸長宗廣文太郎転出(4.1事務引継書)(常呂町百年史)
	3月	常楽寺仏教青年会結成(昭和40年頃まで活動) (岐阜のあゆみ 常楽寺開教百年史)
	3月	(常呂小)在籍児童(男95、女85、計180)(常呂小百年史)
	4月1日	北海道2級町村制施行、常呂村・太茶苗村・手師学村・少牛村が合併し、 常呂村となる(常呂町史) 常呂村と鑑沸村との境界が変更され、鑑沸・ワッカは常呂村に編入、 宮下謙松が初代村長となる。戸長役場は常呂村役場と改称〔常呂村史〕
	4月1日	熱田農場22線から西方約10町の川辺に幌内教授場設置創設、6月閉鎖 翌年7月9日まで常呂第二尋常小学校に通学 (幌内教授場学校台帳 常呂村史 福山小学校沿革誌)
	4月	鑑沸教育所を鑑沸尋常小学校と改称(常呂村史 錦水小学校沿革誌)
	4月	常呂外3ヶ村実業青年会、常呂実業青年会と改称(常呂町百年史)
	4月	(福山小)幌内教授場開校(福山小休校記念誌)
	5月2日	常呂川増水：北海タイムズ記事(常楽寺開教百年史)
	5月10日	第1回村会議員選挙、10名選出〔常呂町史〕
	5月16日	常呂川増水(17日まで)、11尺に達する(常呂町百年史)
	5月	常呂第二尋常小学校校舎新築工事着工(川沿小)(川沿小沿革史)
	7月5日	常呂小学校第2回大運動会(町民・青年団・児童の総ぐるみ、仮装行列) *第1回不明(常呂小学校80周年のあゆみ)
	7/31-8/4	常呂小学校第1回修学旅行(常呂-網走-留辺蘂温根湯-野付牛-端野 -手師学-常呂(常呂-網走、端野-手師学-常呂は徒歩、他は列車) *引率教諭3人、男子児童6人(常呂小学校80周年のあゆみ)
	7月	大柿千代太郎他、道庁に泥炭・湿地改良を陳情〔常呂村史〕
	8月7日	網走で石油発動機船北見丸試運転、網走を中心に東西航海(高田源藤日記) はじめは斜里・常呂などへ随時運行、貨客の増加に伴い定期航海へ (網走市史)
	8月	村長宮下謙松死亡、上湧別村書記であった大柿千代太郎が2代目村長として 発令(常呂町史)
	10月7・8	第1回組長会議〔安田家写真資料〕
	11月1日	鑑沸村を佐呂間と改称(告示)
	11月11日	太茶苗水位観測所設置(常呂川治水史)
大正4年		官命に依る区長選出(岐阜百年記念史) 上川沿青年会が民家を東1線14号に移築し、青年会会館を開設 総会で年額34円の予算編成、大正天皇大礼記念植樹、銃剣式具購入など 北海タイムズで紹介(豊川百年史) 小山内兼吉、味噌醤油醸造業開始(常呂村史) 常呂村農会創立〔常呂村史〕 秦周が道庁払い下げの綿羊を移入(常呂村史) 北海道水産試験場幌山英二、サロマ湖の牡蠣調査行(常呂村史) 牡蠣採取従業員60人、鑑沸での牡蠣生むき身1斤販売価格12銭、 網走での小売値段25銭(常呂村史) 北海道漁業取締規則制定、牡蠣の採捕制限(常呂村史)

			<p>鑑沸漁業組合のホタテ漁業船9隻出漁（常呂漁協40年誌）</p> <p>米国製のラーズ号という車種の自転車が岐阜地区に入る（岐阜百年記念史）</p> <p>日吉378番地に日吉共同墓地・日吉火葬場設定（常呂町史）</p> <p>吉野233番地に吉野共同墓地・吉野火葬場設定（常呂町史）</p> <p>石川県人、森沢辰次郎入植（富丘百年史）</p>
大正5年	1916	3月17日	常呂村と野付牛村との境界が変更され、少牛村の大部分と手師学村の一部が野付牛村に編入される（昭8北海道行政区画「殖民公報」は4.1）
		3月	隈川に愛媛県周桑郡より黒瀬広之助が同じく農場地として貸付許可を受け入地、爾来小作人の募集に努めた（常呂町史 日吉百年史）*吉野
		3月	（常呂小）在籍児童（男95、女85、計166）（常呂小百年史）
		5月	少牛村廃止〔昭8北海道行政区画〕
		5月	北海道庁角田技師による下常呂原野排水実施調査〔常呂村史〕
		6月30日	水産組合規則公布〔農商務令〕
		7月10日	熱田常吉（熱田農場）敷地4反歩の寄付、部落民の寄付で幌内教授場建設（幌内教授場学校台帳 福山小学校沿革誌）
		7月29日	関口・斉藤付近の農民連れ「雨乞い」祈とう（富丘百年史）
		9月25日	網走にて網走外3郡物産共進会開催〔殖民公報〕
		9月25日	小島猪六、篤農家として表彰
		9月30日	巖地神社と地神社を合祀した巖岸神社を東1線14号の現在地に社殿建立（イワケン郷土史） *イワケン神社 *当時、上川沿の基線20号イワケシ山中腹に巖岸神社、東1線13号（現国分商店倉庫）付近に桂の大木切り株に標木を建て地鎮社を祀りそれぞれお参り（豊川区開基百年誌）
		9月	仁頃原野196番地に教授場を設置、登位加教授場と称し、端野尋常高等小学校に所属。登位加尋常小学校の始まり（端野村誌）*登小
		10月27日	常呂小学校の位置変更を指定される：常呂村市街予定地（大通り西2丁目中通り西2丁目（常呂小学校沿革誌）*常呂尋常小学校（常呂小）土佐から現在地に位置変更の指令を受け、3600坪の校地に240坪の校舎を新築、大正6年6月から新校舎で授業開始（土佐郷土史）
		10月	小島猪六、常呂・佐呂間村一円および野付牛町ニコロ原野開墾指導員として網走支庁より囑託〔殖民公報〕
11月6日	北海道水産製品取締規則を改正〔庁令〕		
12月20日	（川沿小）常呂第二尋常小学校新校舎竣功（川沿小百年史）		
大正5年			<p>大正4、5年頃より小山内兼吉、味噌醬油醸造を開業〔常呂村史〕</p> <p>鑑沸漁業組合のホタテ出漁船4隻に減少。大時化でナマコが相当量海岸に打ち上げ、以降、ナマコ漁は不振に（常呂漁協40年誌）</p> <p>深尾豊作が天幕、馬具、帆布などの材料として需要の多い亜麻を2反作付け価格は1斤（600g）1銭2厘～1銭3厘（岐阜開基百年史）</p> <p>忠魂碑前に相馬妙見小高神社の御堂を建立（常呂村史）</p> <p>林谷造が自転車愛用（土佐郷土史）</p> <p>青豌豆14円、澱粉10円、雑穀類高値続く（岐阜百年記念史）</p> <p>家畜品評会開催（馬主体）（岐阜百年記念史）</p> <p>（日吉）十勝より村田某が来住し雑貨商を開業したが振るわず、転々と経営者が変わり、田辺又三郎に至ってその基礎を固めた。（日吉百年史）</p>
大正6年	1917	1月19日	岐阜に設立した附属説教所の模様替え・修理（常呂町百年史） *常楽寺
		1月	土佐青年会が土佐青年団と改称。
		1月	馬頭観世音菩薩、現在地に祭祀。（以後8月2日祭祀日）（岐阜百年記念史）（岐阜地区の馬頭観世音）国道238号線と町道6号の交差点北側にある

			馬頭観世音菩薩を彫り込んだ石碑。林藤次郎が岐阜県から持参し安置 (常呂村史 ところ文庫10常呂町歴史散歩)
		4月	(常呂小) 学級数4 (常呂小百年史)
		5月6日	大谷派説教所本堂完成 (高德寺)
		5月14日	常呂第二尋常小学校所属手師学特別教授場、手師学尋常小学校に昇格 〔日吉小学校沿革史〕
		5月	常呂小学校校舎現在地に新築240坪 (常呂小学校沿革誌) (6月移転、授業開始、「常呂村史」では大正5年とある)
		5月	(吉野) 登位加(登)の直江伊三男らと計り部落共同で仁頃に通ずる刈分 道路を開き秋には日吉間の道路も開かれた (日吉百年史)
		6月1日	第2回村会議員選挙(10名選出) (常呂町百年史)
		6月	常呂青年会が組織される (常呂村史)
		7月	浄土真宗常楽寺本堂建立を起工: 宮大工後藤辨三郎他10数名招致 (常呂村史 常楽寺開教百年史)
		9月3日	幌内教授場、児童数増加に伴う4月改築工事着手、一時中断するも竣工 (福山小学校沿革誌)
		9月13日	野付牛で網走3郡産馬共進会開催(〜17日)〔殖民公報〕
		9月23日	牡蠣島で火災あり、ほとんど全滅、一時恐慌を受ける (郷土史)
		秋	隈川〜日吉間道路開通 (吉野50年のあゆみ) * 吉野
		11月19日	水産農産品評会開催(〜22日)〔殖民公報〕
大正6年			官設駅通の廃止〔常呂村史〕 熱田神社と幌内神社を合祀し、21号高台に祀り、春秋の祭りをを行うようになった (イワケシュ郷土史) * 福山神社 天龍寺は総工事費5,000円を投じて本堂の改築を行い、天龍寺の基礎を 確立。同年9月、水谷天龍は美深町開源寺住職として転住 (常呂町史) *「天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり」との年代違いあり 牡蠣取締規則(道庁令) 制定、1区から4区は鑑沸漁業組合、5区は東京開拓 会社、6区は根室臼井藤三郎に許可〔常呂村史〕 鑑沸漁業組合、ホタテ資源激減のためホタテ出漁船なし (常呂漁協40年誌) 上杉眞治、柴田牧場を引継ぎ一部農地開放〔常呂村史〕 鑑沸湖畔に牡蠣缶詰の日本牡蠣株式会社の設立、すぐに休止〔常呂村史〕 土地改良工事の実地視察のため、北海道庁角田技師来村 (常呂村史) 第1幹線敷地の設計調査が開始〔常呂村史〕 北常音楽会(雅楽)が組織される (常呂町百年史) 常呂町の自転車の始まりは、常楽寺建設の大工が持ってきたのを祖とする (常楽寺開教百年史) *「常呂村史」では大正2年に自転車購入・使用記載 常呂橋の架け替え *大正2年に続き2回目 (常呂町史) 愛媛県人、三好次郎入植(雌牛1頭飼育) (富丘百年史) 吉田金作が十勝清水から馬3頭連れて入植、3頭曳き馬耕始まる。同じ頃 佐野市衛も2頭曳きで馬耕、切り株多く周囲を人力耕作 (富丘百年史) 熱田神社と幌内神社を合祀して21号高台に祀る (イワケシュ郷土史常呂町史) 三谷庄馬入植(四国) (富丘百年史) (吉野) 熊坂寅治によってはじめて農耕馬を購入、畜力による農耕作業が 行なわれた。同時に薄荷の栽培が行われた主産地として連年平均に収穫を あげ一般に農家の内容も充実してきた (日吉百年史) *ハッカ
大正7年	1918	1月26日	常呂第二小学校、運動場上棟式 (北海タイムス)
		2月8日	幌内教授場、校舎新築落成式 (福山小学校沿革誌)
		3月	隈川・仁頃間道路を開削〔常呂村史〕 * 吉野

		(吉野) 仁倉部落有志と計り隈川仁倉道路を開いたがいずれも刈分道路を脱しないものであり、十分な交通も出来なかった (日吉百年史)
	3月	佐呂間湖牡蠣養殖事業開始
	4月1日	(日吉小) 代用教員横田猪三郎氏退職に伴い、後任着任の5月20日まで休業する (日吉小80年史)
	5月20日	(日吉小) 初代学校長高井三郎氏発令 (日吉小80年史)
	5月30日	サロマ湖の牡蠣蕃殖のため禁漁区を設定 [庁令] [北水協]
	5月	常呂小学校旧校地から落葉松・桜など校地周辺に移植 (常呂小学校沿革誌)
	7月1日	常呂第二尋常小学校運動会当日に、東京三越店から届いた上川沿青年団の団旗入魂式 (イワケシュ郷土史)
	7月15日	西3線道々側に馬頭観世音の標木建立 (富丘百年史)
	8月4日	常呂電気株式会社設立：資本金25,000円(社長上杉眞治) (常呂町百年史) *発電所建設工事は川北電気企業所請負 *「常呂町百年史」本文では、大正8年1月31日設立、9月の大洪水で工事遅延、12月完成。発電機取付け遅れ、施設引渡しは9年3月18日
	9月	(常呂小) 市街に腸チフス発生、常小でも患者7名、内3名死亡 (常呂小百年史)
	10月15日	隈川で天照皇大神と札幌神社の標木を吉野88番地に建立 (吉野50年のあゆみ) *隈川神社 (吉野) 春秋の祭を行ってきたが分村によって独立したことにより社殿建立の希望が強く、翌年8月本殿造営にかかり10月竣工式と遷官式を行い、祭神として5柱の分霊いただきここに部落民念願の鎮守が完成した (日吉百年史)
	10月17日	大正6年9月に寄付金を募集し、旧校舎35坪を移転して運動場とし、本校舎から幅3間半長さ6間の廊下を付け、水飲み場を裁縫室・当直室とする。教員住宅・井戸屋を大正7年10月17日までに完成 (川沿尋常小学校台帳資料) *川沿小 *常呂第二尋常小学校
	10月26日	常呂電気株式会社事業許可を受ける (北海道電気事業史)
	12月	(吉野) 吉野部落は元手師学部落に属していたが、手師学村より分離して一部落を形成した。簡易教育所を設置 (日吉百年史)
大正7年		鑑沸で牡蠣灰工場、操業開始 (常呂町史) 市街地区内墓地をオタチップに改葬 (常呂町史) 弁天神社社殿造営 (常呂村史) *常呂神社社殿 *「常呂神社祭神記由緒記」には、所在地：常呂村字トコロ5番地の2 社殿：1棟木造平屋建て18坪 鳥居：2基木造神明造 *常呂神社鳥居 社務所：1棟木造平屋建て20坪5号 の記述あり この頃、教育衛生会設立 (常呂町史) サロマ湖カキ漁に磯舟13隻着業、組合費36円でカキの養殖事業開始 (常呂町史) 鑑沸漁業組合組合長に加藤留五郎再任 (常呂漁協40年誌) 補助金停止にも関わらず常呂競馬会に賞金700円支出、大正8.9.11年の大水害で一時衰退 (常呂村史) 第1次世界大戦の影響で物価高騰、豆成金できる (共立百年史) 大正7年当時の水運は、4月から11月下旬まで北海道庁命令の北見定期航路があって寄港 (地域資料) 白木野鍛冶屋開業 (岐阜百年記念史) 水田試作に成功する人等出てくる(山田、高橋、藤橋等) (岐阜百年記念史) 阿部治郎が網走外3郡農会の経費補助と道農試北見支場育種「北見赤毛・魁」の品種配布を受け、大正10年まで連年試験栽培 (常呂町百年史) 第1幹線敷地設計調査開始 (富丘百年史)

			徳島県人、安原浅次郎入植（富丘百年史） 岡山県人、守屋竹太郎入植（富丘百年史） 川島宇吉、岐阜県より入植（富丘百年史） （日吉小）手師学付属隈川教授場設置され、通学区から隈川を分離 *吉野（日吉小80年史）
大正8年	1919	2月20日	所得調査委員選挙人選挙会開会、上杉眞治当選〔当直日誌〕
		3月22日	北海道農産物検査規則公布〔庁令〕 道雑穀商商業組合連合会乙種検査所が北海道農産物検査所常呂村派出所となる（常呂町史）
		3月	（常呂小）在籍児童（男76、女96、計172）（常呂小百年史）
		4月1日	常呂尋常小学校に高等科設置〔常呂村史〕*常呂小
		4月24日	（吉野）入地者の増加につれて子弟教育を1日もゆるがせに出来ない事から学校の開設を要望してきたところ、手師学尋常小学校所屬隈川特別教授場として設立認可され同年5月8日笠原農場事務所を仮校舎として授業を開始した（吉野小学校沿革誌 日吉百年史）*吉野 堀建草葺12坪、児童18名（吉野・登小閉校記念誌）
		4月	農産物検査所手師学駐在所設置：大正9年7月廃止（常呂町農協20年史）
		4月	網走営林区野付牛分署常呂担当区設置。
		5月14日	代議士東武を中湧別に迎え、湧網線として具体的運動を開始する（常呂村史）
		5月15日	第二実業補習学校開校〔常呂村史〕 *川沿小学校 常呂第2実業補習学校を併設開校（川沿小沿革誌 川沿小百年史）
		6月1日	第3回村会議員選挙（10名選出）（当直日誌 常呂町百年史）
		6月	常呂消防組腕用ポンプ1台購入〔常呂村史〕
		7月15日	常呂小学校落成式（200坪）および高等科祝賀会〔当直日誌〕 *大正6年5月落成の新校舎落成式：240坪（常呂小学校沿革誌）
		8月	隈川地区本殿造営着手（10月竣工式、遷宮式）*吉野
		8月	弁天神社（常呂神社）、函館より船魂大神の御分霊を受く。
		8月	（常呂小）1学級増設10月1日より5学級編成。物置15坪を模様替え教室に変更使用する。（常呂小百年史）
		9月3日	（常呂小）高等科第1回卒業生（男10、女6）（常呂小百年史）
		9月11日	市街地に処女会結成（常呂村史）
		9月12日	下常呂土地改良工事着手（請負人木下八郎、第1幹線排水溝の掘削、後日の洪水で事業挫折）（当直日誌）
		9月13日	下常呂原野土地改良工事監督のため網走土木派出所技師矢部留吉来村〔当直日誌〕
		9月18日	北海道農事試験場技師宮内欽哉、土場調査のため来村〔当直日誌〕
		9月19日	22日までの豪雨で未曾有の洪水となり常呂川氾濫。 十八間橋流失（注「聖徳太子碑70周年記念誌」では明治45年4月） 被害戸数393戸、被害額100万円に達する（常呂漁協40年誌） 19日より22日まで雨降り続く。23日より未曾有の大洪水となる。 罹災民28日家に戻る。被害額1,079,033円、罹災民戸数393戸 被害面積2305町7反、17号・12号の2ヶ所築堤切れる。 ライトコロ川水系に流れるが、水勢猛烈にして推量増大のため疏通ならず。 土佐3号より常呂川に流入す。土佐部落12～13戸残すのみ。 天聴に達し、500円下賜される。一般より600円余りの義援金並びに物品寄せられる。（聖徳太子碑70周年記念誌） 常呂川の氾濫によって、常呂岐阜尋常小学校校舎に浸水6尺におよび、1週間休校（岐阜部落開基80周年記念誌）
		9月30日	巖地神社の拝殿新築落成式、上川沿青年団が餅つき奉仕（イワケシュ郷土史）

			*豊川神社
		9月	下川沿に入植した岩見団体・加賀団体のうち、共立八幡神社祭で奉納してきた岩見神楽の衣装を大洪水で流失、神楽奉納途絶える。太鼓は流失を逃れ残る（イワケシュ郷土史 共立百年史）
		9月	農産物検査所常呂派出所設置〔常呂村史〕*食糧事務所 検査事業の道営移管とともに北海道農産物検査所常呂村派出所と改称、各部落（市街地・幌内・岐阜・手師学）に駐在所設置（常呂町農協20年史）
		10月	網走警察署鑑沸巡査駐在所設置される（常呂町史）
		10月	豆類価格大暴落。米価大暴騰（岐阜百年記念史）
		11月23日	大柿村長等出札、北海道庁長官・札幌鉄道局長に湧網線実現陳情〔常呂村史〕
		11月頃	岡崎重吉、水稲耕作の夢を抱き、洞爺村から太茶苗へ来村。上川沿25町歩、西川沿10町歩、下川沿（梅田温泉近く）13町歩買収（大正8年から末期の太茶苗部落の状況）
大正8年			上川沿14号に巖地神社建立〔常呂村史〕 大正6年入植の三好次郎がエヤシャー牝牛：乳牛1頭飼育、富丘部落の酪農の始まり（イワケシュ郷土史 富丘百年史） 鑑沸漁業組合、ホタテ着業なし、カキ漁30隻着業（常呂漁協40年誌） 大柿村長陣頭に立ち、常呂川築堤工事施工方を要望（常呂村史） 隈川のハッカ耕作面積が拡大、部落民共同出資のハッカ蒸留工場建設 （吉野50年のあゆみ） 藤橋藤一が岐阜地区で初めて稲作に成功したが、泥炭地が災いして拡大永続するに至らなかった（岐阜開基百年史） 公設常呂消防組が火の見番屋と東方番屋建設（常呂消防団100年記念誌） 山形県人、石沢与一入植（富丘百年史）
大正9年	1920	2月3日	常呂電気株式会社開業、出力15kw、原動機：横置き単筒吸入ガス機関 位置：常呂村シオヤニ（現在の小峰川・小峯沢）（北海道電気事業史）
		2月8日	大垣千代太郎村長他村の有志のたび重ねての陳情により、治水工事が決定され、2月8日旗行列が行われる（聖徳太子碑70周年記念誌）
		3月26日	常呂郵便局舎、常呂村字常呂4番地1に移転 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）*当時の上杉商店前
		3月	内藤儀八が岐阜地区に寄贈した馬頭観世音が土佐地区に返還され、土佐神社境内に土佐地区の馬頭観世音として安置（土佐郷土史）
		3月	岡崎重吉家族が太茶苗に入植、造田開始。天候不順、作付けの遅れ、洪水等により、米の収穫は皆無（大正8年から末期の太茶苗部落の状況）
		3月	融雪のため常呂川増水し、17号堤防決壊し氾濫 （北海タイムス 新北見市史）
		4月1日	稚内・網走線が地方費道路、常呂・留辺蘂道路が準地方費道路に編入 （常呂町百年史）
		4月1日	（常呂小）1学級減少4学級編成となる。（常呂小百年史）
		5/22-27	雨で水害（聖徳太子碑70周年記念誌 常呂川治水史）
		6/2-6	雨で水害（聖徳太子碑70周年記念誌 常呂川治水史）
		6月15日	（吉野）青年の教育向上のために青年団組織を必要とする声が高まり隈川隈川青年団の創立を見るに至った（常呂村史 日吉百年史）*吉野
		6月23日	道庁の勅任技師名井九介一行が常呂川水害地現地調査（常呂川治水史） *着工が決まった常呂川の最終的な治水計画の方針確立のため
		7月	中湧別・網走間の湧網線速成運動、木下成太郎代議士の指導下にする （常呂町百年史 北海タイムス）
		7月	農産物検査所手師学駐在所廃止（常呂町農協20年史）
		8月1日	大規模な築堤工事着工する（富丘百年史）

		8/10-18	雨で常呂川氾濫、浸水家屋184戸〔常呂村史〕 農作物被害175町5反、浸水家屋184戸、計308, 530円 (聖徳太子碑70周年記念誌) 長雨に常呂村が再び浸水。農作物被害175町5反、浸水家屋184戸、 堤防決壊30ヶ所220間、道路流失11ヶ250間、道路破損4ヶ所20 間、橋梁流失4ヶ所14間(新北見市史)
		8月30日	在郷軍人会と常呂青年団の主催で木造忠魂碑を建立・除幕式 (在郷軍人会常呂分会の歴史 ところ文庫10常呂町歴史散歩)
		9月	常呂消防組に、大正7-9年の常呂川洪水の人命救助の功績が認められ、 組のシンボル纏(まとい)に金馬簾(きんばれん)一条が贈られた。 (常呂消防団日吉分団50周年記念誌)
		10月1日	第1回国勢調査施行(常呂町史)
		10月7-13日	上川沿青年団が網走監獄から脱獄した囚人2人の警戒のため、団員が一昼夜 交替で「17号チエトイ入口及び12号渡船場に非常線警戒勤務 (イワケシュ郷土史)
		11月	常呂川治水工事調査完了、計画実施に入る(常呂町史)
		11月	野付牛・常呂港道路準地方費に編入される
		12月31日	ワッカ駅通廃止(告示) 駅通廃止に伴い、放牧地も保安林に編入(常呂町史) *「常呂村史」では大正8年廃止
大正9年			上川沿・下川沿間の第1幹線大排水溝、西3線第2排水溝掘削工事完了、 遠端湿地の一部が乾燥地に(常呂村史 富丘百年史) *「イワケシュ郷土史」では大正10年完成 常呂市街裏の護岸工事起工(昭和2年完成)(常呂村史) 北海道水産試験場技師倉上政幹、サロマ湖牡蠣産卵条件・稚貝の発育状況を 明らかにする〔常呂町史〕 常呂村唯一の郷土文学として俳句吟社蛙声会創立(常呂村史) *「常呂町史」では、蛙声会「大正2年明治天皇崩御三周年記念追悼句会」 の巻物が天龍寺古文書として発見の記載 棧船底曳網漁業取締規制制定さる(常呂漁協40年誌) カキ着業船が66隻に増加。鑑沸漁業組合全組合員がカキ漁で生計を 立てる(常呂漁協40年誌) 公設常呂消防組が西方番屋建設(常呂消防団100周年記念誌) この頃から網走迄雑穀運搬販売するようになる。(岐阜百年記念史) 秋迄に、合計9回の水害有り(岐阜百年記念史) 石川県人、安野良作入植(富丘百年史) 富山県人、金森友次郎入植(富丘百年史)
大正10年	1921	1月24日	常呂尋常小学校において常呂村排水土功組合創立総会開催〔当直日誌〕
		2月1日	常呂第二尋常小学校が常呂川沿尋常小学校と改称〔川沿小学校沿革誌〕
		3月	(常呂小) 在籍児童(男101、女94、計195)(常呂小百年史)
		4月2日	常呂川治水工事起工確定〔当直日誌〕
		4月9日	水産会法公布〔法令〕
		4月	かき島に北見畜産組合常呂支部設置、国有種牡馬種付所を開く 後、国有林内と判明し移転(常呂町史)*牡蠣島
		6月1日	第4回村会議員選挙(10名選出)(常呂町百年史)
		6月7日	常呂川築堤用地実地調査(8日 等級調査)(常呂川築堤用地調査表)
		6月15日	岩見団体と加賀団体の青年会が合同し、下川沿青年会結成、団員26名 (イワケシュ郷土史) *共立
		6月20日	所得調査員選挙〔当直日誌〕
		6月27日	霜で大被害(富丘百年史)

	8月1日	常呂川治水工事起工式（大堤防工事、11月着手、国費120余万円） 常呂治水工場設置：昭和3年4月帯広治水事務所に併合 人夫収容宿舎・馬トロ運搬厩舎新築：12月完成（常呂川治水史） 常呂村市街地に民家を借用、現場事務所に充て、10数名の技術者・事務官 常駐、工事施行担当（常呂町史）*旧常呂郵便局庁舎を現場事務所に 本日、午前10時、常呂川右岸河口において起工式挙行。11時より常呂校 において起工祝賀式挙行（当直日誌） 常呂神社前で常呂川洪水工事起工祝賀余興会開催（写真説明文字）
	8月15日	釧路丸にて通信次官一行来村〔当直日誌〕
	8月20日	常呂尋常小学校同窓会実施（開校20年 回数不明）（常呂小80周年のあゆみ）
	9月2日	午後4時、文学士大町桂月氏来村、午後8時より市街公会堂において講演。 聴衆200あまり、盛会なり。（当直日誌）*公会堂は「興仁館」か 文豪、大町桂月が本村に立ち寄り、イワケシュ山頂から遠くオホーツク海を 見て、知床連峰・斜里岳等、雄大な大自然に感嘆したという。その時の道 案内は、常呂村2代目村長、大柿千代太郎他有志であった。 青年団一同は次の演題の講演を聴いたという「皇室中心主義と思想問題」 （イワケシュ郷土史） イワケシュ山は最高で眺望が良い。三湖一海里三里四方の平野 （桂月全集別巻）
	9月3日	馬で行く。福島若人、柴田、細川（村役人）、碧洋と桂月。丘陵の上には ハギが咲き、堅穴がある。釜沸で休む。加藤留五郎が発動船を仕立ててくれ、 松田翁がとうもろこし、中野氏がウィスキー2本を差し入れ、船の上、みん なでの飲み食いする。かき島の湖口を廻り、ガスがかかって幌岩山がかすか に見えるが最高だ。ワッカの元駅通に上陸。日が暮れ、水が赤いので赤沼と いうフレワッカの側を通過して午後7時半に下湧別に着いた。 *大町桂月（桂月全集別巻）
	9月4日	午前10時25分に下湧別を出発。11時半に湧別着。松田三次郎を見送る。 午後3時に上相内に着く。常呂の有志、上杉眞治、青年団長の小林千代松、 村長の大柿千代太郎らに迎えられる。*大町桂月（桂月全集別巻）
	9月11日	（吉野小）笠原柳一氏、校地として土地5反歩を寄贈、新校舎建築に着手 （吉野・登小閉校記念誌）
	9月14日	常呂消防後援会組織される（常呂町史）
	9月25日	上川沿巡査駐在所を置く（常呂町史 網走警察沿革誌）
	9月	太茶苗・川沿・幌内方面、堤防決壊浸水（常呂町史）
	10月3日	釜沸青年団結成
	10月5日	木柱の忠魂碑を石碑に建て替え（鎮魂）*中央児童公園・小高神社 在郷軍人会常呂分会・常呂青年団主催の許、石造忠魂碑建立 （在郷軍人会常呂分会の歴史）
	10月14-15日	第7師団秋季機動演習、岐阜が旅団対抗の主戦場に 湧別宿営の14旅団（西軍）と網走宿営の13旅団（東軍）が14日夕方 常呂原野で遭遇、西軍は常呂川右岸占領、西軍は岐阜方面に宿営、各所で 斥候線。岐阜高台の西軍砲兵と常呂神社付近の東軍砲兵の砲戦。西2線防風林 付近で両軍歩兵衝突、轟々たる砲声、機関銃猛射。1個師団の全兵が常呂原野 に展開したのはこの時だけ （在郷軍人会常呂分会の歴史 岐阜部落開基80周年記念誌）
	10月25日	中湧別にて沿線関係5ヶ町村の湧網線連合大会開催、速成の宣言決議をする （常呂村史）
	11月4日	全国鉄道連成同盟会に加入〔常呂村史〕*湧網線速成実現のため
	11月	武藤豊蔵、常呂病院の医師として赴任（常呂町百年史）
	11月	14号新水路工事始まる（常呂村史 聖徳太子碑70周年記念誌）*14号 常呂川左岸築堤終点部分から着手、14号新水路掘削に着手（常呂町史）
天正10年		常呂川の鮭鱒の漁獲を禁止〔常呂村史〕 常呂川治水工事関連で常呂川下流部下常呂原野14号に仮橋架設 （常呂川治水史） 方キ漁の定着で釜沸漁業組合の経営順調。153円81銭の茶刺金 （常呂漁協40年誌）

			<p>下川沿の八幡神社を川西に移転〔常呂村史〕  (上杉眞治氏より畑1反の寄贈をうける) (共立百年史)</p> <p>横昌愛次、挽材業を経営〔常呂村史〕</p> <p>小林国蔵、漁業を経営(昭5甲正)〔常呂村史〕</p> <p>銭谷長造が現在の寺町明所在地で土佐部落初めての種馬の育成を始めた  (土佐郷土史)</p> <p>岡崎重吉、造田に努め約2町歩の作付、水害に遭い失敗、翌年成績良好  初めて水田の有望なるを認む〔北見の米〕</p> <p>岡崎重吉、順調に造田耕作が進み、自家用米生産と販売用生産に精進、作況  良好、住民挙げて豊作を祝い、道道24号線に「水田開発記念碑」建立。  学童も参加し、紅白の餅を配り、青年も祝祭に参加(大正8年から末期の  太茶苗部落の状況)</p> <p>岡崎重吉氏の常呂町最初の水田開発者として、栄福橋の手前の旧道との  分岐点あたりに大きな木柱の記念碑が立っていた：鈴木正  (平成6年度 オホーツク大学文集 トーコロ)</p> <p>組合長に加藤留五郎再選(常呂漁協40年誌)</p> <p>第1、第2幹線排水溝竣工(共立百年史)</p> <p>第1、第2幹線の排水工事着手(岐阜百年記念史)</p> <p>(登)長楽某が70戸分の農場貸付を受けたが、その後所有権は転々として  大村某の経営に次いで下村育英財団が経営するにおよんだ(日吉百年史)</p>
大正11年	1922	1月17日	常呂村排水土功組合、設立認可(常呂町史)
		4月10日	改正鉄道敷設法公布、22路線が定められ、その中に湧網線が含まれる (北海道鉄道百年史)
		5月	高橋万蔵、雑貨商を経営〔常呂村史〕
		6月15日	共立川東に聖徳太子碑建立(聖徳太子碑70周年記念誌)*常呂川左岸下川沿 工事と治水祈念して聖徳太子像を建立〔イワケシュ郷土史〕
		6月20日	常呂電気株式会社が経営難で北海道合同電気株式会社に吸収合併 *前身は留萌電灯株式会社、大正10年に社名を北海道合同電気株式会社に 変更、本社を札幌に移し、経営を川北企業に移管(北海道電気事業史) *「常呂村史」「常呂町史」では、「大正14年、一切の権利を川北企業所 に譲渡」と記載 *注：川北企業所は、北海道合同電気株式会社のこと
		6月27日	強烈な降霜のため農作物：豆・菜豆類の全滅的被害(当直日誌 常呂町史)
		6月	常呂市街地(東部・西部)に衛生組合設立〔常呂村史〕
		7月2日	常呂村連合青年団結成、運動会開催
		8月20日	網走町で湧網線速成期成会結成、常呂村から上杉眞治、山田久七、稲田勘二 山崎忠太郎出席(常呂村史)
		8月23日	排水溝工事起工認可：翌24日起工、12月20日竣工(常呂村史)
		8月24日	常呂川上流地区および岐阜地区洪水、被害甚大、降水量100年間で最大。 学校一週間休み
		8月24-25日	この時の水害で築堤が3尺かさ上げ決定(聖徳太子碑70周年記念誌) 釧路根室地方を通過した台風で、常呂村では浸水25尺。9月20日の「北 海タイムス」に39尺5寸とある。未曾有の増水で、13号から16号の 治水工事堤防が大音響とともに決壊し、常呂原野一面が大海原と化し、老若 男女は逃げる道なく屋根に登って悲鳴を上げ救いを乞う凄惨な光景が広が った。大柿村長をはじめ村議、上杉消防組頭、青年会長、自警団長らは決死隊 を組織し、救助船をしたて救助避難させ、学校・寺院に収容、婦人会は 炊き出しを行った。手師学・太茶苗方面は救助船を派遣できず、28日まで 連絡がなかった(新北見市史)
			大洪水で、真宗大谷派説教所(高德寺)本堂流失(常呂町史) 17号堤防が見る間に破られ、14号の河川上橋(トロ曳き鉄路)切断、 13号周辺の部落民に大きな損害、大惨事(豊川区開基百年誌) 当時の新聞では、常呂村の被害は家屋流失22戸、家屋浸水300戸、田畑

			浸水2100町歩、橋梁流失16カ所、治水堤防流失3カ所（豊川区開基百年誌）
		8月24日	支派線掘鑿延長工事着手（1, 2 1 1間、1 2. 2 0 竣工）〔常呂村史〕
		8月	下川沿青年会館を八幡神社横に建設（共立百年史） 下川沿青年会館建設：川東 8 号～ 9 号間（常呂村史）
		11月	常楽寺、大伽藍新築落成（常呂村史 常楽寺開教百年史）
		12月27日	隈川特別教授場新校舎落成。＊吉野 （吉野小）新校舎落成、木造平屋建 3 2 坪（吉野・登小閉校記念誌）
		12月	隈川に防火組合設立（吉野 5 0 年のあゆみ 常呂消防団100年記念誌）
		12月	西川沿（富丘）部落内に半鐘が作られ設置：サロマ道路の 1 線と 2 線間の坂の他部落内 4 カ所に設置（富丘百年史）
大正11年			木材流送取締規則公布 （大正 1 3 年 3 月尋常科卒業 第 1 5 回卒業生）野球部が 5 年生の時に初めてできた。私はショートだった（常呂小学校八十周年のあゆみ）＊野球初出 八号新水路工事着工（聖徳太子碑 7 0 周年記念誌） 熱田農場は相馬合名会社に移る〔常呂村史〕 前年度の北海道庁技手木下虎一郎博士の調査で、ホタテ養殖の可能性が指摘され、北見水産会はホタテ採苗増殖事業を実施、本道初の養殖事業となる。 〔常呂町史〕 西川沿（富丘）部落が上川沿（豊川）部落から分離独立 （常呂村史 イワケシュ郷土史） ＊「西川沿部落日誌」では、「本部落は昭和 6 年 2 月 1 8 日常呂村会議において元上川沿から分割す、戸数 8 2 戸」と日誌の最初のページに記載 カキ（干し・生）従来の自由販売から組合の共同販売事業となる ＊牡蠣 手数料 1 0 0 分の 5。売上 6, 6 0 8 円（常呂漁協 4 0 年誌） 室田幸作、富山県より入植（富丘百年史）
大正12年	1923	1月	「手師学村誌」発行（手師学部落）
		3月10日	岐阜女子青年団（処女会）発足（常呂村史）
		3月28日	農会総代人選挙〔当直日誌〕
		3月	（常呂小）在籍児童（男 1 1 3、女 1 0 9、計 2 2 2）（常呂小百年史）
		4月16日	摂政宮殿下本道行啓記念植樹（日吉小学校沿革史 日吉小 8 0 年史） ＊大正 1 1 年 7 月の皇太子（昭和天皇）行啓記念
		5月22日	暴風雨のため常呂浜で鰯 2 0 0 石流失（常呂町史） 昨日来の風雨で鰯網、各漁場の被害相当甚大、流失鰯約 2 0 0 石（当直日誌）
		5月	西 2 線 1 4 号の高台に真宗大谷派仮説教所建立（常呂町史） 西 2 線サロマ道路沿いに高德寺移設（富丘百年史）
		6月1日	第 5 回村会議員選挙（1 0 名選出）（当直日誌）
		5. 6月	5 月、6 月に冷雨連続、豆作不作（岐阜百年記念史）
		8月	相馬妙見小高神社拝殿、馬の神として現在地に造営（常呂町史）
		9月15-18日	大雨で常呂川氾濫。常呂村では 3 尺増水中と当時の新聞で伝えられている 浸水家屋 1 6 1 戸、田畑農作物被害 1 0 5, 2 9 8 円 （常呂川治水史 新北見市史）
		9月25日	午前 3 時より降り、終日大雨。豪雨で出水、1 4 尺に達する（当直日誌） 大雨により常呂川氾濫（常呂川治水史）
		9月	登位加教授場の新築起工（端野村誌） ＊登小
		11月5日	北海道移住者世話規程公布〔新北海道史年表〕
		11月5日	（日吉）山本政次郎によって水稻の試作が行われ、以来自家用米の作付けがなされた（日吉百年史）
		11月	農産物検査所手師学駐在所再設置（常呂町史）
大正12年			上川沿に農産物検査所建設〔常呂村史〕

			<p>軍人後援会常呂分会創立〔常呂村史〕</p> <p>内水排水三号水門築造、右岸築堤工事着工（聖徳太子碑70周年記念誌）</p> <p>「常呂川治水史」では、12月、3号堤防に排水溝逆水門竣工</p> <p>常呂川右岸築堤工事着工（常呂川治水史）</p> <p>築堤工事で蛇行の大きい14号付近の川の切り替え工事は、常呂川治水工事最大の工事であったが冬期間通して行い年末に完成（豊川区開基百年誌）</p> <p>林谷造が常呂で初めて開催された花競馬に出場。競馬場は旧中学校校舎敷地（土佐郷土史）</p> <p>郡制廃止</p> <p>常呂村開発期成会発足（常呂町史）</p> <p>下常呂原野一帯に分派線排水溝掘削</p> <p>大沢木材株式会社常呂工場創業（常呂町大観）</p> <p>青年会館新築される。（馬頭観世音の隣）（岐阜百年記念史）</p> <p>岐阜青年会の青年会館5線6号交差点に建設。青年の服装がクール天乗馬袴、毛糸のセーター、ゴム靴に（岐阜部落開基80周年記念誌）</p> <p>（吉野）遠藤栄次が試験的に7畝を造田したことに始まり、米は北限地方といわれるこの地方でも若干自家用米の水稲を作付けしている（日吉百年史）</p>
大正13年	1924	1月13日	水産業補助規程改正〔庁令〕
		1月	大正10年11月に着工した14号地点の新河道（豊川新水路）掘削工事完了（ショートカット工事）（常呂川治水史）
		1月	登位加教授場が端野尋常高等小学校を離れ、登位加尋常小学校となり、2学級編成下仁頃部落一部を通学区域、在学児童81名（端野村誌）*登小
		1月23-28日	23日午後5時から28日午前9時まで猛吹雪のため交通途絶（当直日誌）
		2月2日	山田本店文書日記に、「来客にライスカレー作り、馳走す」の記載 *カレーライスの初出
		2月5日	上川沿女子青年団発足（常呂村史）
		3月5日	土功組合発起人会開催〔当直日誌〕
		3月20日	豊川で熊が民家を襲い、女性が大怪我を負う。常呂病院武藤豊蔵医師が治療に当たる（豊川区開基百年記念誌）
		3月	大吹雪、交通途絶（岐阜百年記念史）
		3月	（常呂小）在籍児童（男139、女123、計262）（常呂小百年史）
		4月1日	（常呂小）1学級増設5学級編制となる（常呂小百年史）
		4月17日	定期航路船北見丸入港〔当直日誌〕
		4月22日	猿澗湖口掘開工事〔当直日誌〕*サロマ湖
		4月	農産物検査所川沿駐在所設置、農産物検査所手師学駐在所廃止（常呂町史） *「常呂村史」では大正12年
		4月	網走外2郡鮭鱒養殖水産組合設立（昭9.4民営孵化場の国営移管に伴い活動中止）（常呂町百年史）
		5月10日	昨朝来の烈風止まず昨夕より降雪。常呂浜一帯漁家の舟・漁具・漁獲物流失被害甚大の模様（当直日誌 常呂町史）
		5月	組合長加藤留五郎再任（常呂漁協40年誌）
		6月10日	（日吉小）国民精神作興に関する詔書喚発記念奉読式挙行、皇太子殿下渡道御手播落葉松御下賜。地域有志、青年団、児童により植樹（日吉小80年史）
		10月6日	常呂電気会社発電所火災（午前6時）、損害額15,000円〔当直日誌〕 *北海道合同電気株式会社常呂発電所のこと
		10月	鑑沸青年義勇消防組結成、これをもとに私設消防組設立 常呂消防組から腕用ポンプ1台寄贈される（組頭 加藤留五郎）〔常呂町史〕
		10月10日	勤儉週間実施される（当直日誌 常呂町史）
		11月15日	皇太子殿下御手播落葉松五本到着、植栽す（錦水小学校沿革誌）

			行啓記念の御手播きの落葉松は、後14年5月、岐阜の学校に下付され、現在、旧学校敷地内にある（西5線6号付近）（岐阜部落80周年記念誌） *大正11年の皇太子北海道行啓記念
大正13年			東1線13号に10馬力のガスエンジン使用揚げ水により水稻耕作開始。 谷川虎蔵・馬淵元之助・宇野要助・岡崎重吉ら先駆者によって初事業化 （イワケシュ郷土史 豊川区開基百年誌） 大正13年頃、網走の高田助次郎が田辺村次・中川國蔵・木下八郎右衛門・高橋政芳たと組合を結成。網走・常呂間の定期旅客輸送を開始。網走地方におけるバス事業の始まり（網走市史） 北海道農産物検査所常呂村派出所川沿駐在所設置（常呂町農協20年史） 網走地方におけるバス事業の始まり〔網走市史〕 カキ漁獲高255石、共同販売高10,684円（常呂漁協40年誌） 新水路完成（聖徳太子碑70周年記念誌） 土功組合連合会発足、組合加盟（岐阜百年記念史） 西川沿で土田通松・斎藤米次郎が発動機で揚水、吉田金作が沢水利用で水稻栽培（イワケシュ郷土史） 吉田金作・土田虎松・斎藤辰次郎水田耕作始める（富丘百年史）
大正14年	1925	1月24日	上川沿青年会館の修築落成式（豊川百年史）
		2月4日	補助移住入地調査のため近藤技手来場〔当直日誌〕
		2月25日	代議土木下成太郎の手を経て帝国議会に提出の湧網線速成請願採択 （常呂村史）
		2月27日	日ソ基本条約公布（漁業権益の再確認と新漁業条約の締結を規程 〔新北海道史年表〕
		3月4日	保護移民、静岡県より3戸到着（第1回）〔当直日誌〕
		3月14日	保護移民、5戸来住（第2回）〔当直日誌〕
		3月17日	北海道自作農移住補助規程公布〔庁令〕
		3月20日	保護移民、1戸来住（第3回）〔当直日誌〕
		3月23日	保護移民、1戸来住（第4回）〔当直日誌〕
		3月	敬老会催す、以後現在まで継続（岐阜百年記念史）
		3月	（常呂小）在籍児童（男144、女122、計266）（常呂小百年史）
		4月13日	岡山県移民来住〔当直日誌〕
		4月14日	昨夜来の雨がにわか大吹雪となり交通途絶状態。流氷、暴雨風のため下湧別の漁船4隻が漂流して本村に漂着、漁夫25人の内1人行方不明 （当直日誌）
		4月24日	猿澗湖畔紋別常呂郡境、流氷を期して掘開開始〔当直日誌〕*サロマ湖
		4月25日	掘開に成功、午後3時50分に流氷の報告あり〔当直日誌〕
		4月	普通選挙法帝国議会を通過（昭6より実施）
		5月5日	衆議院議員選挙法改正を公布〔法令〕（25歳以上の男子に選挙権）
		5月27日	北海道合同電気株式会社（常呂発電所）火災の復旧使用認可、発電出力が20kwに増加（北海道電気事業史）
		6月1日	第6回村会議員選挙（10名選出）（当直日誌）
		6月6日	北海道精神作興会常呂分会結成（すぐに廃絶）（常呂町百年史）
		6月7日	商工会規則公布〔庁令〕
		6月10日	（隈川神社）神社建立の決定により、天照皇大神と札幌神社の標木を手師学村トイカ553番地に移設（吉野50年のあゆみ）*吉野神社
		6月15日	上川沿に発した山火事は、南部・更生地区を焼きつくし、現国道238号線で止まった。部落総出の消火作業にさすがの猛火も日没とともに鎮火 （岐阜部落開基80周年記念誌）
		6月18日	所得税調査員ならびに補欠員選挙〔当直日誌〕

		6月24日	村長大柿千代太郎、相内村長に転任。後任に奥山萬蔵発令、新旧村長事務引継ぎ〔当直日誌〕
		9月23日	秋季皇霊祭にて競馬会開催、村長出席（9.24まで）（当直日誌）
		9月	消防組でタービン式ガソリンポンプ1台購入〔常呂村史〕
		10月5日	忠魂碑が石造に建替られ竣工式挙行（常呂町百年史） *「鎮魂」では、大正10年10月5日
		10月9日	隈川神社の社号を受け、社殿造営・竣工式並びに遷宮式 （吉野50年のあゆみ 常呂町史） *吉野神社
		10月29日	天理教常呂宣教所認可（常呂町史）
大正14年			常呂川左岸築堤完成（常呂町史） カキ漁獲高298石、共同販売高10,388円（常呂漁協40年誌） 常呂消防後援会がガソリンポンプ1台を消防組に寄付 （常呂消防団100年記念誌） 競馬倶楽部岐阜支部結成（岐阜百年記念史） 西2線道路15号まで完成（富丘百年史） 移住民が土佐部落から下川沿・西川沿地区に15戸入植。道庁が移民道路として、西2線道路（現在の国道238号線から土佐及び下川沿・西川沿を経由して現在の富丘15号線に至る幅6間道路）完成（イワケシュ郷土史）
大正15年	1926	2月	太茶苗・幌内両地区を合併して太幌地区となる〔常呂村史〕
		3月1日	太茶苗尋常小学校と幌内教授場を併合して太幌尋常小学校が成立。 （福山小学校沿革史）
		3月6日	網走・常呂間に電話架設〔常呂村史〕 市街地電話開通〔北海道の電信電話史〕 常呂郵便局、電話通話事務開始 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		4月	川沿尋常小学校、高等科併置、5.15以降補助学校を廃止。 川沿尋常高等小学校と改称（常呂村史 川沿小学校沿革誌）
		6月	帯広市小守忠左エ門がフォード乗用者をもって網走・常呂間を運転 1日2往復（常呂村史） *及川正七が自動車運転の免許を受け、網走町一円の貸切自動車の運転 ならびに網走町ー常呂村間の定期旅客運輸を開始、同時に小森守一も同一 路線で自動車運転の免許を受け、営業開始（網走市史）
		6月24日	府県制・市制・町村制各改正公布〔法令〕
		7月1日	男子普通選挙制採用施行〔新北海道史年表〕
		7月1日	常呂・川沿小学校に常呂青年訓練所開所〔常呂村史〕
		8月13日	網走外3郡畜産共進会発会式開催〔北見市史年表〕
		9月	富丘西3線15号に馬頭観世音菩薩建立（標木から石碑へ）（富丘百年史）
		10月8日	中湧別にて湧網線速成連合大会開催〔常呂村史〕
大正15年			ホタテ豊漁、150隻の操業（乱獲で昭2は不漁）、各地より漁船入港。 鑑沸に料理店3戸、飲食店6戸開業〔常呂村史〕 ホタテ漁が大正11.12年頃から急激に上昇、この年は村外から入漁申込 殺到100隻以上、鑑沸漁業組合着業船と併せて150隻以上が創業、 盛況（常呂漁協40年誌） 菜浦かき島の国有種牡馬種付所が国有林内のため、土佐に移す *場所：土佐公営住宅団地（土佐郷土史） 鑑沸神社建立〔常呂町史〕 常呂川右岸築堤完成（聖徳太子碑70周年記念誌） アネトイ（姉間逆水門）水門工事終わる（聖徳太子碑70周年記念誌） 常呂川下流部右岸姉間樋門工事に着手し、同年完了（常呂川治水史） 常呂商業組合を常呂商工会と改称（会頭上杉眞治）〔常呂村史〕 登位加、村境砂塚により端野村より編入〔常呂村史〕 *登 岡崎重吉が西3線12号に澱粉の生産計画、6馬力ガソリンエンジン使用の動力 製造開始するが乾燥場消失、成果見られず（豊川区開基百年誌）

			5線道路付近で草競馬行われる(岐阜百年記念史) 大越牧場、農地に開放(岐阜百年記念史) 静岡県入、堀田亀太郎入植(当時18歳)(富丘百年史)
昭和元年	1926	3月	(常呂小)在籍児童数237名(常呂小百年史)
		12月25日	昭和と改元。
昭和元年			軍馬生産なる(共立百年史) 北海道保護移民募集(上杉牧場開放6戸)(富丘百年史) 本間角太郎・山下喜一郎・森近蔵・堀留吉・山本・高橋岸太郎・相原要 入植(富丘百年史)
昭和2年	1927	1月16日	午後6時40分、常呂郵便局出火、全焼、午後8時鎮火(当直日誌) *「オホーツク 東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡」では 昭和2年3月とあるが、間違い
		1月	(常呂小)4学級編制となる(常呂小百年史)
		3月	共立八幡神社が常呂川築堤工事のため、常呂川西側の現在地に移転新築。 (ところ文庫10常呂町歴史散歩)
		4月1日	隈川特別教授場が隈川尋常小学校に昇格〔常呂村史〕*吉野
		4月1日	手師学尋常小学校・岐阜尋常小学校に青年訓練所併設(常呂村史)
		6月1日	第7回村会議員選挙(10名選出)(当直日誌)
		7月4日	旭川にて上野鉄道政務次官に奥山村長他陳情〔常呂村史〕
		7月21日	手師学尋常小学校、現在地に校舎新築移転。廊下15坪増築(日吉小80年史)
		7月	網走外2郡さけ・ます養殖水産組合によって兵村4区(現北見市三輪)に 常呂川さけます人工ふ化場が新設〔北見市史年表〕
		8月2日	岐阜地区で入植30周年記念式典挙行〔岐阜のあゆみ〕 式典後、仮装行列、夜間は青年の演劇で賑わう(岐阜部落開基80周年記念誌) これを記念して「30周年記念碑」(西5線6号の岐阜尋常小学校)建立。
		8月25日	鉄道省測量隊一行路線測量に着工、9月23日湧網線全線測量完了(常呂村史)
		8月27日	北海道一級町村制・二級町村制改正公布〔勅令〕
		9月2日	鉄道調査隊技師一行、卯原内方面と佐呂間方面より来村(当直日誌)
		9月25日	網走にて鉄道大臣小川平吉に陳情〔常呂村史〕
		10月	ハッカ検査執行に伴い、農産物検査所手師学駐在所設置(常呂町史)
		11月1日	部落部長制を廃し、区長制施行(常呂町史)
		11月	この頃毎年のように、凶作型天候続く(岐阜百年記念史)
		12月25日	鉄道省議において湧網線の網走・卯原内間決定〔常呂村史〕
昭和2年			手師学に拓殖医を置く、玉平英吉着任〔常呂村史 常呂町史〕 川北企業所火災により電気の供給が止まる〔常呂村史〕 *大正13年の火災のことではないか 常呂川市街裏の護岸工事完成(大10起工)〔常呂村史〕 町村道仁倉・隈川間、登位加・仁頃間道路完成〔常呂村史〕*吉野・登 岐阜小学校に青年訓練所を併設(岐阜開基百年記念史) 網走自動車会社設立、網走・常呂間1日2往復運行開始〔常呂村史〕 *実質は大正15年から運行の継続 農会に技術員をおく〔常呂村史 常呂町百年史〕 大越牧場農地に開牧〔常呂村史83〕(〔常呂村史81〕では昭7開牧) 佐藤千代太郎、製材業に着手〔常呂村史〕 堤防築堤のために下川沿青年会館(共立会館)を共立八幡神社北側に移転、 8坪増築(共立百年史) ホタテ漁前年の乱獲のため全くの不振。カキ漁は漁獲高282石、共同販売 石10,195円(常呂漁協40年誌 常呂村史)

			<p>組合長加藤留五郎再任。(常呂漁協40年誌)</p> <p>蓄電池式ラジオ購入する人達出始める(岐阜百年記念誌)</p> <p>高橋登、久世甚九郎らがラジオを備え出す(岐阜部落開基80周年記念誌)</p> <p>鈴木幸三郎氏、区事業土木工事出役中不慮の死(岐阜百年記念史)</p> <p>湧網線全線測量完了(富丘百年史)</p> <p>(福山小)太幌尋常小学校の校門をおんこ材で建設(福山小休校記念誌)</p>
昭和3年	1928	1月23日	日ソ漁業条約調印(5.28実施)[北海道史年表]
		2月11日	太幌青年団結成(共立百年史)
		2月15日	道庁、北海道漁業取締規則を全面改正公布[庁令]
		2月18日	隈川女子青年団発足(吉野50年の歩み)
		3月23日	常呂処女会、常呂(市街)女子青年団と改称[常呂村史]
		3月26日	常呂郵便局新築復旧、特設電話交換業務開始[常呂村史]
		3月	福島県人、関根秀輔入植(富丘百年史)
			新潟県人、佐藤君衛入植(富丘百年史)
		4月1日	釧路川常呂川治水工事事務所を廃し、帯広治水事務所が担当(常呂村史)
		4月1日	(常呂小)5学級編制となる(常呂小百年史)
		4月1日	(日吉小)学級増加、2学級となる(日吉小80年史)
		4月10日	寺町武、寺町商店創業(昭和23年10月20日石油部創業 昭和31年3月1日 有限会社設立:字常呂178番地(常呂町大観))
		5月	登165番地に拝殿を造営し、登神社を称号 (常呂町史 ところ文庫10常呂町歴史散歩)
		6月8日	北見地方公認第1回競馬が網走外3郡畜産組合主催で女満別鈴ヶ岡で開催。 [北見市史年表]
		6月26日	上川沿14号に上川沿郵便取扱所開所(常呂村史 常呂町百年史)*豊川郵便局
		6月	常呂市街白木弥市・及川文雄、網走・常呂間の自動車定期路線の権利を得る [常呂村史 常呂町史] 常呂村の白木弥一が貨物自動車運輸の許可を受け、網走・常呂・鑑沸間の 営業開始(網走市史) 「山田本店文書」には、昭和4年に「北一タクシー(北一自動車部)運送 扱い料」「野付牛自動車」「網走自動車」の記載 昭和5年には「白木自動車」「野付牛自動車」「高橋トラック」の記載 昭和6年には「高橋トラック(常呂運送社)」「丸通運送」の記載 昭和8年には「水津自動車部」「上杉トラック」の記載
		6月	営林区の本署分署が廃止、一級制営林区署となり同署管轄となる[常呂町史]
		7月	常呂川大堤防護岸工事完成(常呂村史)
		7月7日	村内処女会の連合体として常呂女子青年会発団式(当直日誌)
		10月2日	常呂競馬会役員打合せ、午後より海馬場準備(当直日誌)
		10月6日	常呂小学校に両陛下の真影下賜[常呂小学校沿革誌 当直日誌]
		10月7日	常呂小学校で常呂川治水工事竣工祝賀会開催(常呂川治水史) 常呂川治水工事竣工祝賀会のため吏員一同外勤、来賓32名の他多数の 参加あり(当直日誌) 祝賀会後、常呂公園で園遊会、相撲・花火・手踊り(ところ文庫30常呂川) 「常呂川治水工事完成祝賀旗行列の歌」披露(常呂町史)
		10月8-10日	常呂川治水工事竣工記念競馬開催(常呂町史 ところ文庫30常呂川) 10/8 競馬のため、2名を除き外勤。雨のため競馬進行思うようにいかず 10/9 今日は天気も良く人出も多いため、競馬も非常に盛大であった。 今日で終わるところ、競馬も1日延期せり 10/10 競馬のため、吏員8名外勤(当直日誌)
		10月10日	常呂神社公認申請[常呂町史]

昭和3年		10月17日	中佐呂間で湧網線関係5ヶ町村連合大会開催、20日奥山村長他斜里まで出向き八田鉄道次官に陳情〔常呂村史〕	
		11月10日	中湧別にて湧網線関係4ヶ村（常呂・佐呂間・上湧別・下湧別）連合大会開催（常呂村史）	
		11月10日	午前10時より御大典奉祝旗行列（当直日誌）	
		11月20日	奥山村長他斜里まで出向き、八田鉄道次官に陳情（常呂村史）	
		12月13日	札幌にて湧網線関係5ヶ町村連合会開催、終了後奥山村長等上京陳情〔常呂村史〕	
		12月22日	鉄道省議で湧網線を東西に分けて起工することとして、昭和6年度起工、昭和12年度完成が決定	
		12月	岐阜中部農事実行組合結成。岐阜地区中央地帯（岐阜区開基百年記念史） 常呂川築堤工事完成に伴い常呂川治水工場廃止（常呂川治水史） 岐阜の共同牧場、林藤次郎の個人経営となる（岐阜部落沿革史） 常呂市街の白木弥市、及川文雄が共同で網走―常呂間の路線認可を受け乗合自動車の運行開始、1日2往復（常呂町史） *バス事業の前身 乗り合いバスが網走―常呂間を運行（岐阜百年史） NHK札幌放送局設置。高橋登・久世甚九郎らが電池式ラジオ購入。夜間のみ聴取可、国技館の相撲が手に取るように分かると喜ぶ （岐阜部落開基80周年記念誌） カキの共同販売事業を中止（常呂漁協40年誌） 下川沿部落創立（川東・川西1、2班）（共立百年史） 川西、川東の渡船できる（渡し守 工藤、村本）（共立百年史） 本村9号に常呂川治水橋架設、昭和6年まで利用、以下渡船となる （共立百年史） 農業用石油発動機（3.5馬力）導入、木屋義嗣（共立百年史） 治水守仏聖徳太子川東8号に建立（共立百年史） 岡村牧場が愛須牧場となる（富丘百年史） 岐阜西部農事実行組合結成（岐阜区開基百年記念史）	
	昭和4年	1929	1月	帝国議会において湧網線卯原内・常呂間、昭和5年から起工と決定したが浜口内閣成立により延期〔常呂村史〕
			3月17日	北海道自作農移住補助規程公布〔庁令〕
			3月20日	（日吉小）校舎狭隘のため教室1、廊下5坪増築する。住宅、玄関も増築。（日吉小80年史）
			3月30日	水産試験場官制公布〔勅令〕
			3月	（常呂小）在籍児童251名（常呂小百年史）
		4月17日	湧別漁民が下湧別三里番屋付近にサロマ湖新湖口開削決行、サロマ湖内の水位急激に低下、鑑沸の旧湖口が自然閉鎖状態に、かき島付近のカキほとんどへい死、鑑沸地区の衰退始まる（常呂漁協40年誌 常呂町史）	
		5月4日	弁天神社と呼ばれていた常呂神社が無格社として公認〔常呂村史〕	
		5月7日	（日吉小）御大典記念に太茶苗 岩本氏より落葉松寄贈され植樹する。同年より薄荷栽培実習を行う。（日吉小80年史）	
		6月1日	第8回村会議員選挙（12名選出）（常呂町百年史）	
		6月7日	商工会規則公布〔庁令〕	
		6月8日	農林省、母船式鮭鱒漁業取締規則を公布〔省令〕	
		6月13日	白木弥市、常呂―野付牛間の路線乗合自動車運転開始（常呂町史）	
		7月15日	「小林家文書」に活動写真10銭の支出記録あり（常呂町百年史）	
		7月	浜口内閣成立により湧網線着工が繰り延べとなる（常呂町史）	
		10月21日	釧路聯隊区青年訓練および教練実施（22日まで）〔北見毎日新聞〕	
		10月28日	村長奥山萬蔵、訓子府村長に転任。後任に訓子府村長の内藤周平が発令	

			(常呂町百年史)
		10月28日	手師学に拓殖診療所設置〔常呂町史〕
		10月	役場庁舎建設される(現在地、工事費9,000余円)(常呂町史) 事務室29坪、宿直室5坪、小使室6坪、湯飲場4坪、村長室6坪 委員室9坪、議事堂31坪(常呂村史)
		11月	三里番屋付近のサロマ湖新湖口開削問題について、11月12日付で 内藤周平村長が北海道庁内務部長に陳述書提出〔常呂町史〕
		12月	東部、中部、西部、北部、農事実行組合設立(岐阜百年記念史)
昭和4年			この頃より穀物主体の農業経営から家畜導入のデンマーク農法が奨励される (岐阜百年史)
			2歳馬1頭約30円、昭和5年頃には良い馬で約60円、昭和10年頃には 62円(富丘百年史)
			前年中止したカキの共同販売事業を再開、漁獲高245石、6,950円 の共同販売高(常呂漁協40年誌)
			乗り合いバスが常呂-野付半間を運行(岐阜百年史)
			野付牛・常呂定期路線が決定して自動車道路網が完成(常呂村史)
			この頃佐呂間の舟木長一郎、佐呂間・常呂間の乗合自動車の営業開始 (常呂町史)
			*「常呂町百年史」では昭和15年小山宗二より営業権を委譲され運行 常呂市街で、高橋静雄が野付牛町高薄某店からフォードのトラックを購入、 輸送業を開始
			高橋静雄が福神丸という船で常呂・網走間の海運を行っていたが、トラック 輸送に切り替え(常呂町百年史)*高橋自動車部・高橋トラック
			「常呂村概況」(昭和6年)記載の常呂村交通状況
			網走方面：定期自動車毎日2回往復、能取湖岸を通り、卯原内駐車場あり、 冬期間は定期乗り合い馬そりあり
			野付牛方面：定期自動車毎日3回往復、川沿・手師学・仁頃に駐車場あり
			隈川244番地に墓地設定、火葬場設置(常呂町史)*吉野
			「大正14年度 隈川部落費収支決算報告書」には、大正14年7月8日に 墓地選定の記載あり
			部長制より区長制に変更〔常呂町史〕
			農作物大暴落、農村疲弊、危機深刻(岐阜百年記念史)
			岐阜東部農事組合結成。岐阜地区東方にあり、ライトコロ川近辺に位置
			岐阜北部農事実行組合結成(岐阜区開基百年記念史)
昭和5年	1930	1月10日	網走区裁判所常呂出張所(登記所)設置〔常呂村史〕
		1月15日	司法令会第1号を以って常呂村一円を管轄区域とする網走区裁判所常呂出張 所、旧常呂川治水工事事務所に開庁〔常呂町史〕
		1月26日	隈川神社境内に「宮原養一氏尊志記念之碑」建立(常呂町の石碑)*吉野
		2月2日	(常呂小)オルガン購入(常呂小百年史)
		4月30日	家屋賃貸価格調査員選挙〔当直日誌〕
		春	土佐青年団総会で土佐青年会館建設を決議、蓄え500円を基金とし、土佐 部落の援助を受け、16坪の会館を建設(土佐郷土史)
		6月3日	産馬品評会、出場馬35頭〔当直日誌〕
		6月10日	常呂駅通・手師学駅通廃止(告示) 「常呂村史」では、常呂駅通は同上、手師学駅通は大正6年廃止
		6月14日	隈川神社拝殿造営(3月10日起工)〔吉野50年の歩み 常呂町史〕
		6月	駅通廃止により大島牧場(駅通取扱人渡部留八経営)廃止〔常呂村史〕
		8月14日	隈川で「馬頭観世音菩薩」の木標を祀る(吉野50年の歩み) *「昭和5年度隈川区収支決算報告書」に、8月14日馬頭観世音建設と

			<p>流木切代を役場から受け取ったことと馬頭祭の酒・菓子・野菜の支出記載 *「昭和6年度限川区費収支決算報告書」には、8月16日に馬頭観世音のお供物として、酒・お菓子の支出を記載</p>
		8月21日	常呂第二尋常小学校（川沿小）の児童増加により、校舎1棟増築。木造平屋27坪5号・便所13坪（川沿尋常小学校（台帳資料）
		9月5日	（常呂小）1教室増築落成（常呂小百年史）
		9月15日	農林省、機船底曳網漁業取締規則を改正〔省令〕
		10月15日	所得調査員および補欠員選挙〔当直日誌〕
		10月	浄土真宗大谷派仮説教所、西2線14号に大本堂造営着手、秋には高德寺と改称〔イワケシュ郷土史〕
昭和5年			<p>渡部甚三郎、3月に佐呂間より移り精米業・木工場経営（常呂村史） 昭和5年から15年頃、草競馬がもっとも賑やかだった。今の北進町から土佐にかけてのコース、道路を通行止めにして実施していた （ところ通信1993：林照忠）</p> <p>サロマ湖内でオゴノリ（寒天材料）採取開始、1,747円の漁獲高 組合長加藤留五郎再選（常呂漁協40年誌） 常呂一手師学問（福山から川東道路）の村道工事が昭和3年に着工、5年に開通。この頃から自動車・馬車などが普及し始める（イワケシュ郷土史） 岡崎重吉が西3線13号橋の上に発動機設置し揚水、4町歩余りを造田。 天候に恵まれ、無肥料で反収6俵余りの収穫（豊川区開基百年誌） 南部、高台、農事実行組合設立（岐阜百年記念史） 豊作、農作物価格大暴落（岐阜百年記念史） 広島県人、内海喜太郎入植（富丘百年史） 昭和5～6年頃、富丘地区の新木、鈴木、名雪らが乳牛2～3頭を飼育し、牛乳は浜佐呂間の森永乳業に出荷。名雪は宮大工の腕を生かし、木枠でサイロを作り（正八角形で高さ15尺、幅6尺）、冬場の牛の飼料確保 常呂のサイロの先駆者（富丘百年史）</p>
昭和6年	1931	1月6日	主席書記竹内亨、雄武村村長に任命〔北見毎日新聞〕
		1月18日	原野川東道路、拓殖中より支弁の告示〔北見毎日新聞〕
		1月29日	村農会片山農作技手を中心となり常呂村産業組合創立総会 （2.5申請、3.25設置認可）（竹田芳次郎理事に選出される） 〔常呂村史 常呂町農協20年史 岐阜80年史〕
		2月18日	西川沿82戸、元上川沿より村会議で分割〔西川沿部落日誌〕*富丘 「常呂村史」では大正11年に分離
		3月12日	常呂村排水土功組合議員会開催〔北見毎日新聞〕
		3月12日	戸長指揮下の警察行政を分離し、網走警察常呂分署が置かれる 浦西利久、分署長心得に任命
		3月22日	5年度北見管内町村統計訓練会開催（予）〔北見毎日新聞〕
		3月24日	野付牛旭タクシーを野付牛自動車商会在合併し野付牛自動車（株）創立 同社と常呂白木自動車部と相互に野付牛・常呂間1日3往復となる 〔北見毎日新聞〕*バス運行 野付牛自動車株式会社が端野の一部を通過する北見-常呂線（北見-仁頃-豊実・北登-福山-常呂）1日3往復（新端野町史）
		3月25日	常呂信用購買販売利用組合（産業組合）が許可（1.29創立総会） 〔常呂町農協20年史〕
		4月2日	2.25付け産農第1153号を以って前設立許可書着〔農協20年史〕
		4月	サロマ湖の旧湖口を村費補助で開削するも翌春の時化で閉鎖〔常呂村史〕
		6月	第1期常呂川河口破岸工事着工〔常呂村史〕 *岩礁除去 *昭和10年11月竣工

		8月7日	手師学・太幌方面浸水（常呂町百年史）
		9月8日	北見4郡農会主催軍用燕麦多収品評会（予）〔北見毎日新聞〕
		9月18日	満州事変起こる。経済恐慌深刻化す
		9月末	常呂村市街で腸チフス発生。常呂小学校（常呂尋常高等小学校）で数回の大消毒するが、患者7人、内3人死亡（昭和7年度常呂小学校学事報告）
		10月8日	手師学尋常小学校に御真影下賜決定（10.22道庁にて伝達式） 〔北見毎日新聞〕
		10月17日	北見4郡農会主催地方増進共進会並道農会開催〔北見毎日新聞〕
		10月17日	北見4郡農会主催共励会開催〔北見毎日新聞〕
		10月17日	湧網線関係5ヶ町村実行委員上京陳情〔常呂村史・北見毎日新聞〕
		10月	湧網線（湧別・網走間73マイル）鉄道敷設促進運動起る。〔北見市史年表〕
		10月	常呂橋の架け替え、鉄構橋に（常呂町史）
		11月4日	常呂川8号橋（築堤工事に架橋）が吹雪の為落橋、以後渡船で通学児童を渡す（「イワケシュ郷土史」では春）（共立橋） *11月の大雪で、8号9号間の治水工用木橋が老朽・穴だらけで落ち川東が不便に。昭和7年10号に渡船場設置、渡船守置き、学童通学 （共立百年史）
		11月24日	村長内藤周平、津別村長に転任。後任に訓子府村長の品田竹蔵発令 （常呂町百年史）
		11月24日	浄土真宗大谷派高德寺の寺号公称許可、本堂完成〔常呂村史〕
		12月1日	（常呂小）校門建造（総コンクリート）（常呂小百年史）
		12月	この年大凶作、凶作救済工事施行〔常呂町史〕
昭和6年			常呂市街の高橋静雄、トラックを購入し輸送業を開始（常呂町史） *「山田本店文書」の昭和5年11月の支出項目に「高橋自動車部（丸に共の屋号）高橋トラック」の名前記載 前年好調のオゴノリが資源枯渇で採取中止。満州事変勃発により対中国貿易完全封鎖でホタテ貝柱が大暴落（常呂漁協40年誌） 土佐青年団の規約制定、年齢制限を27歳に（土佐郷土史） 下生田原―常呂間のバス運行開始、岐阜地区の道路を砂埃をあげて走る姿が見られた（岐阜百年史） 下生田原の小山宗二、常呂・佐呂間間の定期乗合自動車運行（常呂町史） 上杉商店、久世信一らがトラックを移入、物資の輸送開始（常呂町史） 久世信一は、白木弥一からトラックの権利を引き継ぎ、鉄道開通の頃まで継続（常呂町百年史） *昭和63年度常呂町高齢者教室「オホーツク大学」文集に、多田香代が網走から常呂まで上杉のトラックに乗せてもらって帰宅したとの記載 *昭和9年の山田本店文書に「上杉商店 上杉貨物自動車部」印の精算書が複数枚あり 川沿尋常小学校の運動会の夜、屋内運動場で活動写真上映、弁士付き （共立百年史） 治水守仏聖徳太子川東より高德寺に移転（共立百年史） 10号橋架設（岐阜百年記念史） 堀田亀太郎水田耕作3町歩（富丘百年史） 農業凶作のため、国による配給（塩100キロ、足袋63足、手ぬぐい93本、男子用シャツ14枚、作業服1ダース、フェルトズボン2足、木綿7反マッチ90箱が富丘の諸岡商店に届く：部落日誌記載（富丘百年史）
昭和7年	1932	1月2日	凶作罹災者（212戸）に対し聖旨伝達式行われる（常呂町史）
		1月2日	常呂橋竣工、網走土木事務所本田技師・桂田技手列席し、渡橋式・祝賀会開催〔当直日誌〕

	1月5日	御下賜金交付式挙行（1戸1円、212戸）〔当直日誌〕
	1月27日	常呂神社村社列格となる。〔常呂村史〕（「常呂町史」では10. 27）
	1月28日	上海事変勃発〔新北海道史年表〕
	1月	加藤組合長辞任、中野宏平第2代組合長に選任さる（常呂漁協40年誌）
	3月1日	満州国建国宣言発表〔新北海道史年表〕
	3月31日	道庁命令航路、命令期間満了により廃止。
	3月	（常呂小）在籍児童（男143、女130、計273）（常呂小百年史）
	4月1日	上川沿郵便取扱所が郵便局に昇格〔北見毎日新聞〕 （豊川郵便局）上川沿郵便取扱所が無集配三等郵便局に昇格 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
	4月1日	手師学尋常小学校に補習科設置（昭和8年廃止） （日吉小）修業年限2ヶ年の補修科が設置され、通学区域は隈川を含める。 隈川（吉野）（日吉小80年史）
	5月1日	北見畜産組合議長選挙執行〔当直日誌〕
	5月31日	村長品田竹蔵、置戸村長に転任〔当直日誌〕
	6月2日	湧網線測量主任吉田技師来網〔北見毎日新聞〕
	6月4日	新村長に興部村書記佐藤満三発令〔当直日誌〕
	6月5日	村長事務引継ぎ〔当直日誌〕
	6月15日	降雹により農作物に被害（常呂町百年史）
	7月30日	鉄道大臣床次竹次郎来道につき佐藤村長札幌にて陳情〔常呂村史〕
	7月	夜盗虫大発生、燕麦黒点病発生、収穫皆無。（岐阜百年記念史）
	7月	大旱魃後、長雨続き、凶作（岐阜百年記念史）
	8月2日	鉄道建設局長池田嘉元来村、村長以下有志陳情〔当直日誌〕
	8月7日	*8/6：野付牛河川看守より増水5尺、警戒を要すの電報 増水による被害程度の調査のため、手師学・太幌部落へ出張（当直日誌） 8月4日以降、前後8回の豪雨来襲。8月の総雨量300-400ミリで 累年平均の3倍の降雨量。8月7日常呂川洪水、農作物腐敗などで収穫皆無 2年連続の冷害（豊川区開基百年誌）
	8月11日	常呂・上川沿青年団が中心となり常呂陸上連盟結成（常呂町百年史）
	9月7日	常呂川出水甚だしく、野付牛間自動車・人馬通行止め、太幌方面3尺以上 とのこと（当直日誌）*9/8-9/9：岐阜・上川沿・下川沿・太幌・手師学・ 水害調査
	9月10日	水害凶作救援協議会開催（常呂町史）
	9月14日	村長と村有志が水害と凶作救済のため網走出張（当直日誌）
	9月16日	桑原道議、水害凶作状況視察のため来村〔当直日誌〕
	9月28日	山口道庁属的場技手、凶作および水害被害調査のため来村〔当直日誌〕
	9月	産業組合は産業組合中央金庫に加入〔常呂村史〕
	10月1日	常呂郵便局、普通電話交換業務開始〔常呂村史〕
	10月3日	桑原・小谷・高橋道議、水害凶作状況視察のため来村〔当直日誌〕
	10月6日	水害地視察のため道庁畑山土木課長来村〔当直日誌〕
	10月9日	第1回陸上競技大会開催（常呂町百年史）
	10月16日	常呂村排水土功組合議員選挙〔当直日誌〕
	10月17日	本道の水害凶作状況視察のため天皇は侍従を派遣され御内帑金下賜される 伝達式は12月4日挙行〔当直日誌 常呂町史〕
	11月	湧網線5ヶ町村連合速成運動のため上京、村長同行〔常呂村史〕
	12月14-15日	天皇より内帑金伝達式（410戸410円）（当直日誌 常呂町百年史）
	12月20日	凶作による罹災者の対し、救与米の配給を役場・川沿小学校で行う （当直日誌）
昭和7年		湧網線、網走・常呂間、中湧別・中佐呂間間の実測開始（常呂町史） サロマ湖の鑑沸旧湖口を村費で掘削を試みるも失敗（サロマ湖の風）

		<p>鑑沸旧湖口の掘削を試みるが失敗、以降閉削（常呂町史）</p> <p>大越牧場開牧（「常呂村史」 83 p では昭和2年）</p> <p>第1幹線排水溝延長3,850間施工〔常呂村史〕</p> <p>常呂・佐呂間・湧別の3漁業組合はサロマ湖牡蠣連合組合を設立〔常呂村史〕</p> <p>カキの販売統制、販売拡張及び養殖を目的とした常呂・佐呂間・湧別3漁業組合のサロマ湖牡蠣連合組合発足（常呂漁協40年誌）</p> <p>*「ところ文庫 サロマ湖のカキと鑑沸」では、昭和7年11月設立常呂外4ヶ村農会を組織する（会長寺元大道会員総数650名、総代数22名）</p> <p>鑑沸漁業組合、組合長加藤留五郎の辞任による選挙で中野宏平が第2代目組合長に当選（常呂漁協40年誌）</p> <p>3月の満州国建国宣言、日支停戦協定締結による対中国貿易再開でホタテ貝柱価格好転。大正15年の乱獲による資源枯渇から村外からの入漁船禁止、操業期間の短縮（常呂漁協40年誌）</p> <p>道の補助牛21頭導入、岐阜畜牛組合設立〔常呂町岐阜のあゆみ〕</p> <p>牛乳は自家用、余剰は販売できず（共立百年史）</p> <p>西川沿地区を分離〔イワケシュ郷土史〕</p> <p>農民救済事業として7・8号間の築堤上の土盛作業を冬季間実施 〔イワケシュ郷土史〕</p> <p>浅村支庁長、村内を視察（常呂町史）</p> <p>この年凶作・水害〔常呂町史〕</p> <p>下川沿の聖徳太子碑を高徳寺境内（富丘）に移転（イワケシュ郷土史）</p> <p>この頃から下川沿（共立）でも自転車が見え始める（共立百年史）</p> <p>富丘の石澤義雄が自転車屋を開業（富丘百年史）</p> <p>獣医山田忍がオートバイを初めて移入（常呂町史）</p> <p>手師学尋常小学校に補習科設置（昭8廃止）〔常呂村史〕</p> <p>乗合バス、常呂～北見間を走る（共立百年史）</p> <p>乳牛、初めて導入飼育（佐々木拙雄、大友善九郎、川西吉太郎、芥川次郎太、中島清、中股秋治、大友孫七）（共立百年史）</p> <p>凶作による6号堤防補強救済事業行う（共立百年史）</p> <p>化学肥料硫安が出る（共立百年史）</p> <p>渡船場出来る（共立百年史）</p> <p>南部組合設立（岐阜百年記念史）</p> <p>石川県人、尾角佐太郎入植・高知県人、吉田米吉入植（富丘百年史）</p> <p>イワケシ山に登って雨乞祈祷。部落規約作成配布（富丘百年史）</p> <p>岐阜区南部農事実行組合結成（岐阜区開基百年記念史）</p>
昭和8年	1933	<p>1月19日 常呂神社、神餅弊帛料供進の指定となる〔常呂町史 神社資料〕</p> <p>1月29日 下川沿女子青年団創立（団長、芥川次郎太）〔常呂村史〕</p> <p>1月31日 農事実行組合の法人加入を議決〔常呂町農協20年史〕</p> <p>1月31日 産業組合、有限責任を保証責任に変更〔常呂町農協20年史〕</p> <p>2月17日 排水土功組合長を村長に変更、事務所を役場内に設置〔常呂村史〕</p> <p>3月17日 常呂小学校に常呂実科女学校設立認可（昭10年10月1日廃校） 〔常呂小学校沿革史〕</p> <p>3月27日 政府、国際連盟脱退を通告〔新北海道史年表〕</p> <p>3月29日 漁業法改正公布〔法令〕（9.8.1施行）</p> <p>3月31日 北海道水産物検査規則公布〔庁令〕</p> <p>3月 湧網線の路線選定され、常呂市街地を通る路線に決定（常呂村史）</p> <p>4月1日 手師学尋常小学校の補修科昇格し、修業年限2ヶ年の高等科併置となり、校名を手師学尋常高等小学校と改称する（常呂村史 日吉小80年史）</p>

	4月24日	網走町キナチャシナイ（能取）方面よりの山火事、市街地に延焼〔当直日誌〕
	4月28日	（常呂小）本校に併置の常呂実科女学校開校式を挙行す（常呂小百年史） *入学生：研究科1名、一部1年生20名 職員：校長・兼任助教諭、専任教諭各1名、計3名 12月に第二部生募集、38名入学 （昭和8年度常呂小学校学事報告）
	4月29日	常呂青年訓練所女子部を設置〔常呂村史〕
	4月29日	常呂小学校にて遥拝式ならびに常呂実科女学校開校式挙行〔当直日誌〕
	5月6日	基礎牡馬および仮馬飼養費補助金の交付を行う〔当直日誌〕
	5月20日	手師学女子青年団創立〔常呂村史〕
	6月1日	第9回村会議員選挙（12名選出）（当直日誌 常呂町百年史）
	6月15日	（吉野小）隈川尋常小学校運動会（吉野小学校学事報告）*運動会初出 *昭和9年からは「連合運動会」に名称変更 *「隈川部落費収支県産報告書」昭和13年6月16日付けで、隈川尋常小学校運動会総経費として、部落費から14円96銭支出
	6月	湧網東線、工事着工（北海道鉄道百年史）
	7月5日	（吉野小）校舎増築落成、13坪半（吉野・登小閉校記念誌）
	7月20日	網走刑務所の囚人多数、東湧網線開削工事に出役開始（～12.29） 〔北海道史年表〕
	7月25日	（日吉小）教室20坪、廊下15坪5合、便所6坪竣工・落成式を挙行する。 （日吉小80年史）
	7月26日	（日吉小）高等科1、2年新教室に移転、授業開始（日吉小80年史）
	7月30日	西川浴会館設立、軍人分会第八班会館と命名〔西川浴部落日誌〕*富丘高徳寺の佐呂間道路を挟んだ向かいに会館建設（富丘百年史）
	7月	北海道水産試験場技手木下虎一郎が牡蠣漁業を調査（常呂町百年史） ※「常呂漁協40年誌」では、昭和8年6月 *湧別漁組管下三里番屋、1週間 *8月－10月、牡蠣島・中番屋学校前でカキ採苗試験
	8月8日	（常呂小）1学級増設につき物置15坪を模様替、教室に変更使用する。 （常呂小百年史）
	9月21日	常呂村経済更正計画樹立につき各吏員協議会開催〔当直日誌〕
	9月	常呂消防番屋建設（常呂村史） *「常呂消防団100年のあゆみ」掲載の番屋写真説明：昭和2年は間違い
	9月	登位加（登）の登神社のかたわらに「馬頭観世音菩薩」の石碑建立。 （ところ文庫10常呂町歴史散歩）
	10月17日	常呂競馬会第2日目、午後2時開催（当直日誌）
	10月20日	所得調査員選挙投票〔当直日誌〕
	10月	湧網西線、工事着工
	11月10日	常楽寺にて中道会常呂支部発会式〔当直日誌〕
	12月20日	森脇貞城入植。（富丘百年史）
	12月23日	皇太子（明仁親王）誕生 *在郷軍人分会第4班が5線6号交差点にトド松を記念植樹：実施日不明（岐阜部落開基80周年記念誌）
昭和8年		佐藤千代太郎、市街地でガスエンジンを使った澱粉工場操業開始 〔常呂村史 常呂町農協20年史〕
		植松小麦を「北見1号」と命名〔常呂村史〕
		川沿郵便取扱所、無集配3等局となる〔常呂村史〕
		常呂神社が御神輿を京都から購入（御輿810円、付属品・荷造料250円） （小原友徳「私の歩んだ回顧録」）
		土佐神社、老朽化した社殿を改築（常呂町史 土佐郷土史）
		ホタテの豊漁が続き、常呂漁業組合から常呂神社に豊漁感謝祈念と村社昇格を祝って御輿が寄付（常呂町史）

			<p>中野宏平組合長再選さる（常呂漁協40年誌）</p> <p>常呂陸上競技連盟主催の陸上競技大会に土佐青年団出場、優勝（土佐郷土史）</p> <p>第1農事実行組合設立（岐阜百年記念史）</p> <p>常呂村経済5ヶ年計画樹立、各組合振興計画提出（岐阜百年記念史）</p> <p>南部組合、共同作業所建設（岐阜百年記念史）</p> <p>斉藤鐵四郎6月10日死去78歳（富丘百年史）</p> <p>岐阜北部実行組合から分離して岐阜第一農事実行組合結成 （岐阜開基百年記念史）</p>
昭和9年	1934	1月20日	北海道庁衛生課巡回診療を常呂病院で行う（2.15も実施）〔当直日誌〕
		1月	産業組合は北海道信用購買組合加入（常呂村史）
		3月30日	西川沿青年団、上川沿青年団より分離独立〔常呂村史〕 初代団長、高野栄蔵（富丘百年史）
		3月	水上機母艦能登呂の水上機2機が流氷観測のため岐阜上空を初飛行 （岐阜部落開基80周年記念誌）
		4月1日	網走外2郡鮭鱒養殖水産組合から北海道庁虹別鮭鱒孵化場附属常呂孵化場に移管〔北見地方の鮭鱒孵化事業史〕
		4月7日	農会法改正公布〔法令〕、市町村農会に総代を設置。
		4月	川沿青年訓練所に後援会組織される〔常呂村史〕
		5月	湧網東線（卯原内・常呂間）の工事着工（北海道鉄道百年史）
		6月5日	酪農計画実施調査実施され、岐阜に道補助牝牛23頭導入〔当直日誌〕
		6月	湧網線に関し森本丑太郎・斎藤友左衛門上京陳情〔常呂村史〕
		6月	北海道水産試験場技手木下虎一郎が佐呂間魚組の強力で、カキに多数のホタテ稚貝が付着しているのを確認し、翌年から養殖試験を開始。 場所はキムアネップ（常呂町百年史）
		7月25日	岐阜・土佐乳牛飼育者が中心となって常呂畜牛組合を結成（常呂町史）
		7月25日	新漁業組合法が公布され、組合の経済行為可能となる。（常呂漁協40年誌）
		7月28日	北海道鮭鱒孵化場北見支場常呂事業場となる〔北見地方の鮭鱒孵化事業史〕
		7月	産業組合、岐阜に集乳所を設置（12月竣工）〔常呂村史〕 種牝牛1頭置き、技術員1名配し常時集乳作業、1日の集乳6斗 （岐阜部落沿革史）
		7月	網走外2郡水産組合設立（組合長野坂良吉、網走・斜里・常呂3郡の他、佐呂間湖の全域を含む）
		8月1日	常呂川河川保護組合設立、初会式〔当直日誌〕
		8月	極東缶詰工場大規模工場建設、ホタテ・毛ガニ缶詰製造（本店小樽） （常呂村史） *山田本店文書に本店住所記載：小樽市緑町4丁目 *後に「常呂缶詰KK」になり、その後「北海道食糧缶詰KK常呂工場」に
		9月1日	産業組合、北海道製酪購買組合連合会加入（常呂町百年史）
		9月20日	巖地神社（豊川神社）の地杭建替作業を世話係が手弁当で実施 （豊川開基百年誌）
		10月4日	家畜保険代理員選挙（稲田勘二当選）〔当直日誌〕
		10月10日	常呂村会議室にて済生会巡回診療実施〔当直日誌〕
		10月10日	岐阜小学校にて単級複式研究会開催〔当直日誌〕
		10月23日	（常呂小）1教室増築落成する（常呂小百年史）
		11月2日	自作農創設実施調査のため道庁より田中農村主事補来村〔当直日誌〕
		11月23日	鑑沸小学校開校20周年記念式挙行（錦水小学校沿革誌）
		11月30日	岐阜集乳所検定のため道庁佐々木技手来村〔当直日誌〕 *岐阜集乳所7月着工、12月竣工（常呂村史） *岐阜西5線6号に15坪の集乳所（農協創立20年記念史）
		12月17日	無限責任常呂漁業協同組合創立総会開催〔当直日誌〕

昭和9年		12月	銀田光雄入地（富丘百年史） ライトコロ川大浚渫ならびに切り替え工事施工〔常呂村史〕 第1幹線排水溝拡張〔常呂村史〕 ホタテ漁が好調で組合員の負債整理、漁業で生計可能に（常呂漁協40年誌） ホタテ盛漁につきカキを禁漁とす〔常呂村史〕 上川沿負債整理組合創設（常呂村史） 水産物検査常呂派出所設置される（常呂村史） 青年団、1反歩耕作自力更生運動始める（共立百年史） 種牛配置管理（岐阜百年記念史） 共栄農事実行組合設立（岐阜百年記念史） 豊作貧乏（岐阜百年記念史）		
		昭和10年	1935	2月4日	保証責任常呂信用購買販売利用組合設置（常呂町百年史）
		3月1日	阿保俊助、阿保商店創業：字常呂303番地（常呂町大観）		
		3月9日	鑑沸漁業組合を無限責任常呂漁業協同組合に改組、認可〔常呂村史〕 （4.1登記、道内で登記第1号） 事務所を鑑沸から常呂村市街地に設け、信用購買、販売事業の取扱開始 *常呂漁協（常呂漁協40年誌）		
		3月10日	常呂村軍友会発会式〔常呂村史〕		
		3月	昭和3年6月に白木弥市・及川文雄が運行開始した網走・常呂間の 乗合自動車線を網走自動車商会在が引継ぐ（常呂町百年史）		
		4月1日	常呂青年訓練所を青年学校と改称〔常呂村史〕		
		4月1日	（常呂小）6学級編制となる（常呂小百年史）		
		5月－11月	サロマ湖で宮城産種苗による牡蠣の垂下養殖試験実施（常呂町史） 北海道水産試験場が行い、成長・身入り良好、サロマ湖での垂下養殖事業化 可能性認める。翌年、常呂漁協が同補助で牡蠣採苗増殖事業実施。成長不足 採算上の問題で中止（常呂漁協40年誌） *カキ養殖		
6月5日	巖地神社（豊川神社）の拝殿屋根葺き替えを世話係協議会で決定 寄付で実施（豊川開基百年誌）				
6月11日	（吉野小）隈川尋常小学校佐呂間村川口方面に遠足 *遠足初出 （吉野小学校学事報告）				
6月27日	隈川で「馬頭観世音菩薩」の石碑建立（常呂町の石碑）*吉野				
6月	湧網線、原田吾一・斎藤友左衛門上京陳情〔常呂村史〕				
6月	常呂村有共同放牧場開始（岐阜・富丘）292ha〔常呂村史〕				
7月28日	吉野小学校に校旗が寄贈される *吉野小学校校章（吉野・登小閉校記念誌）				
7月	7月新谷広治組合長に選任される。（常呂漁協40年誌）				
8月1日	岐阜青年訓練所、青年学校と改称〔常呂村史 錦水小学校沿革誌〕				
8月27-30日	台風通過により大雨、常呂川各所で氾濫（ところ文庫30 常呂川）				
8月	兵時訓練始る（岐阜百年記念史）				
9月1日	川沿青年訓練所、青年学校と改称〔常呂村史〕				
9月15日	天龍寺住職水谷大学、境内に「一字一石法華塔」の石碑建立（常呂町の石碑）				
9月16日	（日吉郵便局）手師学郵便取扱所設置（常呂村手師学209番地の1） （所長若原豊太郎）〔常呂村史〕				
9月	浄土真宗大谷派手師学説教所開設〔常呂町史〕				
9月	篠田純一、篠田齒科診療所開院（本通り：字常呂279番地）個人開業医第1号 秋田市から常呂町移住、開院（常呂町大観）				
10月1日	村長佐藤満三、雄武村長に転任。後任に船戸多吉が発令（常呂町百年史）				
10月1日	手師学青年訓練所、青年学校と改称〔常呂村史〕				
10月1日	常呂小学校の常呂実科女子学校廃校（常呂小学校沿革史）				
10月5日	産業組合の事務所建設〔常呂村史〕				

		10月6日	産業組合事務所新築落成により事務所を役場から移転（常呂町農協20年史）
		10月10日	湧網線の網走・卯原内間13km開通（湧網線東線） （昭和8年6月26日着工、昭和10年9月30日竣工）（郷土史うばらない）
		10月20日	湧網線の湧別西線一部開通（中湧別・計呂地間）
		11月1日	（豊川郵便局）上川沿郵便局が川沿郵便局に改称 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		11月	第1期常呂川河口破岸工事竣工〔常呂村史〕
昭和10年			岐阜・富丘に常呂村共同放牧場開設。 北海道製糖会社甜菜種子採取指導事務所を設置（常呂町史） 採種ビート栽培を宇野能一・岡崎重吉が試験耕作。結果、成績良好で 明年度から本格的栽培に入る（イワケシュ郷土史 常呂町農協20年史） （甜菜）ビート母根植え付け、補償額1反歩10円（共立百年史） 市街東西衛生組合を合併、常呂衛生組合と改称〔常呂村史〕 常呂川破岸工事竣工さるも効果不十分のため第2段工事を請願〔常呂村史〕 ホタテ解禁で豊漁〔常呂村史〕 北海道庁水産試験場木下虎一郎技手、ホタテ増殖人工作業の可能性を指摘。 （常呂町史） 武田慎吉、本通で歯科医院を開業する（昭和9年から網走で開業、常呂に 出張治療を行う）（常呂町史） 馬籍法改正、馬伝賃検査始まる（検査場所第1地区）（岐阜百年記念史） 岐阜青年団、多収穫共励会始まる（岐阜百年記念史） 岐阜更生地区も含み、富丘に常呂村共同放牧場開設（岐阜百年記念史） 冷水害（岐阜百年記念史） 浄土真宗大谷派手師学説教所開設（常呂村史） 採種ビート栽培耕作始める。堀田栄次郎、横畠兼三郎、吉田農場開放。 （富丘百年史） 亜麻の耕作始まる（富丘百年史） 民家より出火大火事となり、福井農場と村有林一部焼失。（富丘百年史） （吉野）薄荷がピークで相当量あげ、世にいう薄荷成金という程の景気と なったが昭和17年頃より昭和22年にかけて戦時の食糧増産に切り替えら れたため、殆ど種取り程度に栽培し、昔の様相はなくなった（日吉百年史）
昭和11年	1936	1月31日	上川沿小学校にて済生会無料診療を実施〔当直日誌〕
		1月	鑑沸消防後援会発足（常呂村史）
		1月	村会にて学校増改築予算案および起債を可決〔常呂村史〕
		2月3日	常呂漁業協同組合に青年部組織（常呂町百年史）
		2月	常呂村から合同電器株式会社に対して卯原内からの水力電気系統への接続 陳情に対して、合同電気から網走町または野付牛町からの配線延長工事は 多額の費用を要し工事着手は困難の回答
		3月中旬	常呂小学校（常呂尋常高等小学校）ホタテ養殖の材料として、ホタテ貝殻に 穴を開け針金通し作業実施（常呂小学校学事報告）
		3月	岐阜で養豚組合設立：岐阜地区主体（岐阜百年史）
		4月1日	川沿郵便局、郵便集配事務開始。川沿・常呂間に騎馬送復1便の路線開設 （常呂町史 常呂町百年史）
		4月2日	常呂小学校校舎が狭隘のため、本日から議事堂を使用（教員：小山内義雄） *豊浜：中股かず子氏証言（担任は小山内教諭 昭和14年3月まで）
		4月12日	東湧網線建設事務所官吏来場、鉄道に関する陳情をなす〔当直日誌〕
		5月1日	畜産員統一選挙法執行（当選高橋仙蔵）〔当直日誌〕
		5月11日	（常呂小）7学級編制となる（常呂小百年史）
		5月	（福山小）学校宮繕林造成植樹（福山小休校記念誌）

6月10日	種付所にて産駒品評会開催（出頭馬37頭）〔当直日誌〕
6月15日	網走・常呂町村境界問題ならびに鉄道開通祝賀会打合わせのため 山田網走町長・宮津町議来村〔当直日誌〕
6月19日	北見地方皆既日蝕（午後3時20分より1分55秒間）〔当直日誌〕
6月21日	建設列車常呂まで到着、従業員歓迎会〔当直日誌〕＊湧網線：湧網東線
6月	湧網東線、建設列車運行開始（常呂町史）＊湧網線
6月	産業組合、農業倉庫新築〔常呂村史〕
7月7日	鑑沸女子青年団創立〔常呂村史〕
7月8日	太幌女子青年団創立〔常呂村史〕
7月17日	岐阜の渡辺勇、自家馬匹供養のため「馬頭観世音菩薩」の石碑建立 （常呂町の石碑）
7月28日	農林省、水産加工改良奨励規則を制定〔新北海道史年表〕
7月	常呂漁業協同組合、常呂市街地に事務所建築（常呂町百年史）
8月12日	常呂神社社標建立〔当直日誌〕
8月13日	隈川青年学校開校〔常呂村史〕＊吉野
8月13日	北海道庁長官、村勢視察のため来村〔当直日誌〕
8月21日	常呂小学校、市街地に4反歩の無償附与を受く〔常呂村史〕
8月31日	常呂川視察のため内務省土木局青山技監・随員網走土木所長・ 支庁佐藤拓殖課長・道庁神保道路課長他1名来村〔当直日誌〕
8月	自治制施行55周年記念事業として常呂村史編さん計画。
9月5日	常呂小学校、上棟式挙行〔当直日誌〕
9月10日	鑑沸巡査駐在所を常呂に移転新築：工事完了検定（移転資料） ＊鉄道開通に伴う新設（移転資料）常呂巡査駐在所（常呂村史）
9月25日	隈川小学校、改築竣工〔常呂村史〕＊吉野小学校
9月26日	北見畜産組合常呂支部主催の常呂村家畜振興会協議会開催 乗馬倶楽部規約提案・可決（常呂村史 岐阜部落沿革史）
9月30日	（吉野小）校舎移転及び増築工事落成、4.6坪半（吉野・登小閉校記念誌）
9月31日	手師学青年訓練所、青年学校と改称（日吉小学校沿革誌）
9月	上川沿小学校、増築工事〔常呂村史〕
9月	手師学小学校、増改築〔常呂村史〕
10月1日	国勢調査実施される
10月8日	聖駕奉迎記念碑（陸軍大演習・北海道行啓）を小高神社の側に建立。 記念を兼ねて写真撮影（当直日誌）
10月9日	大西信武氏建設中の劇場完成（常呂劇場）、劇場開き〔当直日誌〕
10月9日	午前8時より全員で鉄道開通祝賀会場その他設営し完了（当直日誌）
10月10日	湧網線（中佐呂間・常呂間）尾崎代議士その他有力者の奔走により省議通過 （常呂町史）
10月10日	網走・常呂間の湧網東線全通、開通祝賀会開催〔当直日誌〕 午後1時半より常呂小学校運動場において祝賀会開催、式開始より閉会まで 約1時間、招待客約350名、村内出席150名、後祝宴盛会裏に終了 午前9時旗行列、午後6時半提灯行列、他に相撲、芝居などをなす
10月10日	小運送業法に基づく公認店として、株式会社日本通運常呂運送社が設立 （常呂町史）
10月11日	秋期競馬会開催（当直日誌）
10月12日	秋期競馬会無事終了（当直日誌）
10月13日	川沿尋常小学校初の湧網線乗車の修学旅行（川湯大東館宿泊） ＊常呂－網走－川湯（川沿小百周年史）
10月16日	常呂小学校、増改築工事竣工〔常呂村史〕
10月16日	当歳馬品評会開催：常呂種場所、常呂乗馬倶楽部発会式（会長上杉武雄） 事業は昭和12年度から実施決定（常呂村史 岐阜部落沿革史）

	10月17日	(常呂小) 運動場 (120坪) 及1教室便所増築。元運動場は2教室(2間廊下付)。15坪教室は小使室、元小使室湯呑場は児童昇降口と模様替、落成す(常呂小百年史)
	10月17日	湧網西線一部開通(計呂地~中佐呂間間)
	10月20日	川沿小学校増改築工事竣工〔常呂村史〕*川沿尋常小学校 工費4,540円。4学級、214名収容。屋内運動場60坪を改築 (川沿小百年史)
	10月20日	太幌尋常小学校新築工事竣工〔常呂村史・福山小学校沿革誌〕
	10月20日	上川沿澱粉工場(岡崎重吉経営)落成式〔当直日誌〕
	10月26日	(吉野小) 門柱の寄贈設置を受ける(吉野・登小閉校記念誌)
	10月31日	錦水小学校校舎完成(錦水尋常小学校校舎 西6線36番地) *「錦水小学校沿革」では、「昭和11年1月6日改築」と記載
	10月	岐阜青年学校、錦水青年学校と改称〔常呂村史〕
	11月1日	常呂小学校落成式挙行〔当直日誌〕
	11月11日	太幌小学校・川沿小学校両校落成式(当直日誌 福山小学校開校60周年誌) *太幌尋常小学校 川沿尋常小学校
	11月15日	手師学小学校、増改築工事竣工、落成式挙行 (8月2日着工、9月30日落成 11月16日移転授業開始) 2教室40坪、廊下17坪(日吉小80年史)
	11月15日	(吉野小) 隈川尋常小学校校舎増築落成式(吉野小学校学事報告)
	11月	常呂尋常高等小学校で、陸軍特別大演習記念として屋内運動場裏の校地に 梅20本、ポプラ250本植樹(学事報告) *常呂小学校
	12月11日	全道漁業組合長会議の決議により北海道機船曳網漁業全廃期成会を 結成〔新北海道史年表〕
	12月22日	(日吉郵便局) 手師学郵便取扱所、電信電話通話事務開始 (オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
	12月26日	岐阜・鎧沸尋常小学校が統合し、錦水尋常小学校と改称(3学級編成) 旧岐阜小学校は青年道場となり、集会所、説教所に使用 (岐阜百年記念史 錦水小学校沿革史) *錦水小学校
昭和11年		北見水産会にてホタテ採苗増殖事業を施行〔常呂村史〕 漁業協同組合は牡蠣採苗増殖事業を施行〔常呂村史〕 株式会社常呂運送社創立(社長小林千代松)〔常呂町史〕 上川沿地区に道補助乳牛20頭、千葉県から優良牛導入(イワケシュ郷土史) 産業組合、上川沿に集乳所を設置〔常呂村史 イワケシュ郷土史〕 岡崎清によって上川沿(豊川)も集乳所設置、以来、酪農経営が本格化 (富丘百年史) 岡崎重吉を代表に高橋長蔵・片山栄・岡崎勇・馬淵明が道補助牛20頭導入 近在の30頭を加え50頭余り飼育。岡崎潔を管理人として交配開始、集乳 分離作業開始。搾乳50頭、1日集乳量1石内外(豊川区開基百年誌) 牧道として14号線を開削〔常呂村史〕 藤吉澱粉工場(ガスタービンエンジン10hp)・土川澱粉工場新設〔常呂村史〕 馬鈴薯澱粉製造工場建設運動高まり、岡崎重吉・清尾春吉・馬淵元之助ら 発起人で1口300円の株式募集、共同工場開設、1日の処理量200俵 (豊川区開基百年誌) 川沿郵便局、3等局に昇格〔常呂村史〕 北海道水産試験場木下虎一郎、有珠湾からアサクサノリの夏芽をサロマ湖に 移植、養殖試験を行う(常呂町史) 日本甜菜製糖株式会社が常呂駐在所を設置し、採種事業地帯として耕作開始 (土佐郷土史) 一般には昭和11年から各戸で栽培した甜菜母根をもって、一斉に採種

			開始（豊川開基百年誌） 旧大島牧場、農耕地として払下げ（常呂町史） 更生農事実行組合設立（岐阜百年記念史） 地区内に甜菜（採種）作付け始まる（岐阜百年記念史） 高台農事実行組合、備荒制度取り決め（種子確保対策等）（岐阜百年記念史） 山火事、栄浦市街地近く迄燃え広がる（岐阜百年記念史）
昭和12年	1937	1月11日	手師学青年学校に女子部を設置〔常呂村史 日吉小学校沿革誌〕
		1月23日	岐阜青年学校は錦水青年学校と改称（生徒34名）〔錦水小学校沿革〕
		1月29日	常呂村初代戸長松田三次郎死亡（28日）のため告別式〔当直日誌〕
		1月	上川沿集乳所竣工〔常呂村史〕
		2月14日	吹雪のため、列車運行せず（当直日誌）
		2月15日	東浜の湧網線東線で吹雪の中除雪作業中の土佐青年団員が除雪車に撥ねられ、13名中5名死亡、5名重傷の大惨事 （昭和62年度オホーツク大学文集「トーコロ」 当直日誌） *「隈川部落領収書綴り」に、昭和12年3月11日付け領収書として 常呂鉄道遭難者義援金を支出
		2月18日	錦水青年学校に後援会組織。以後団服等贈呈〔常呂村史〕 錦水青年学校に女子部を設置〔常呂村史〕
		2月21日	午前10時より青年団主催のスキー大会開催、場所は常呂神社裏山 （当直日誌）
		2月27日	常呂漁業協同組合事務所落成式。事務所を鑑沸から常呂市街地に移転 〔当直日誌〕
		2月	大日本電力株式会社の網走・常呂間の送電線竣工〔常呂村史〕
		3月5日	議事堂にて常呂村史編纂委員会を開催（常呂村史）
		3月6日	常呂小学校にて大日本国防婦人会常呂分会が結成、発会式举行 〔常呂村史・当直日誌〕
		3月11日	議事堂にて常呂村史編纂に関する古老座談会開催〔当直日誌〕
		3月16日	川沿・手師学間の郵便路線開設（常呂町百年史）
		3月16日	常呂村畜産振興協議会席上で、乗馬倶楽部会員徽章制定、組織化完了 （常呂村史）
		3月18日	常呂村養豚組合の発会式開催〔当直日誌〕
		3月	大日本電力株式会社による網走・常呂間の水力電気配線工事竣工する （常呂村史）
		3月	（常呂小）在籍児童（男190、女176、計366名）（常呂小百年史）
		4月1日	錦水尋常小学校に高等科（2年制制度）を設置、錦水尋常高等小学校と改称。 （4学級編成）〔常呂村史 錦水小学校沿革誌〕（4.17祝賀会）
		4月1日	公設鑑沸消防組公認〔常呂村史〕 *5月6日に春季演習を兼ねた披露式（常呂消防団100年のあゆみ）
		4月1日	（日吉小）4学級編成となる。（日吉小80年史）
		4月1日	（日吉郵便局）手師学郵便取扱所、無集配三等郵便局に昇格 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡 常呂町百年史）
		4月24日	野付牛自動車株式会社の北見ー常呂線が1日6往復、戦前・戦中を通して 中断されることなく運行（新端野町史）*時刻表が『新端野町史』掲載
		4月	常呂消防組に初の消防ポンプ車購入（常呂消防団100年記念誌）
		5月20日	北見家畜産保険組代議員補欠選挙執行（当直日誌）
		5月	中湧網線（中湧別・常呂間）の実測隊入地〔常呂村史〕
		6月1日	第10回村会議員選挙：18名選出（常呂町百年史）
		6月9日	冷雨続きのため菜豆類時付けできず、大豆発芽不良〔当直日誌〕
		6月30日	電燈が火力発電より水力発電に代わる〔常呂村史〕

			<p>網走から卯原内に配電線路が延長された時、卯原内で34kwを33kVで受電し、ようやく電灯の光も人並みになった（北海道電気事業史）</p> <p>*網走からチエトイ沢（現在の福山：伊藤の沢）を經由して電線工事が完成（豊川開基百年誌）</p> <p>*昭和12年頃の灯数は600余灯（常呂町百年史）</p> <p>*大日本電力より買電・送電を受ける（常呂町百年史）</p>
	6月		<p>錦水尋常小学校に国枝鶴吉から校旗（付属品とも）寄贈（錦水小学校沿革）</p> <p>*錦水小学校校章・錦水小学校校旗</p>
	7月10日		常呂川河口修築導水堤起工（第2期工事、昭和24年竣工）〔常呂村史〕
	7月10日		土佐女子青年団創設〔常呂村史 常呂町史〕
	7月19日		土地賃貸価格調査委員選挙執行（当選山田久七）〔当直日誌〕
	7月		大日本電力株式会社により買電送電区域拡張せらる〔常呂村史〕
	8月9日		農林省、機船底曳網漁業整理規則ならびに機船底曳網漁業整理転換奨励規則公布〔省令〕
	8月		銃後後援会設立（常呂町百年史）
	8月		北海道農産物検査所常呂出張所豊川駐在所廃所（常呂町農協20年史）
	10月3日		午前10時半より常呂校校庭で焼夷弾実演開催（当直日誌）
	10月9-10日		<p>秋季軍事演習で軍隊設営・宿泊（当直日誌）</p> <p>10/1：国枝鶴吉兵隊宿舎割付で来庁 10/9：設営隊50名午前10時役場到着、設営事務開始、午後5時軍隊到着 10/10：秋季演習の軍隊出発、網走へ向かう</p>
	10月		<p>日吉神社の境内に、日吉（手師学）集落一同が馬の慰霊供養のために馬頭観世音の石碑を建立（ところ文庫10常呂町歴史散歩）</p> <p>*「手師学村史」では、昭和13年10月、発起者安原升次郎氏の努力により、馬頭観世音碑建立の記述</p>
	10月12日		国民精神総動員強調週間実施される（10/19まで）（当直日誌）
	10月		国民精神総動員強調週間実施される
	12月1日		『常呂村史』発刊（常呂村史編纂委員会）
	12月29日		天理教常呂宣教所を現在地に移転、常呂分教会と改称（常呂町史）
昭和12年			<p>排水工事施行〔常呂村史〕</p> <p>常呂防護団組織される（常呂町百年史）</p> <p>軽少量物の運搬にリヤカー使用（土佐郷土史）</p> <p>上川沿で共同澱粉工場をつくる〔常呂町史〕</p> <p>上川沿青年学校に女子部設置（豊川百年史）</p> <p>西川沿の愛州牧場、民有未開地として開牧（常呂町史）</p> <p>組合長に新谷広治再選（常呂漁協40年誌）</p> <p>農家負債整理法、実施（岐阜百年記念史）</p> <p>川東に納税組合設立（共立百年史）</p> <p>共立国防婦人会発足（共立百年史）</p> <p>斉藤農場小作人18戸150町歩（450,000坪）（富丘百年史）</p> <p>愛須牧場開放と廃牧とする。面積130町歩（富丘百年史）</p> <p>（登）戸数31戸、畑220町歩、なお未懇地数町歩を有していた。</p> <p>特用作物である薄荷は昭和10年頃をさかいに次第に減少の一途をたどった（日吉百年史）</p>
昭和13年	1938	2月18日	上川沿郵便局、電信電話通話事務開始〔常呂町史〕
		3月18日	漁業法改正公布〔法〕
		3月	（常呂小）在籍児童（男173、女186、計359名）（常呂小百年史）
		4月	産業組合川沿支所、配給所として業務開始〔常呂町農協20年史〕
		6月30日	上川沿青年団、巖地神社（豊川神社）境内に「奉祝記念碑」建立
		6月	冷雨続き、豆等播きつけできず（岐阜百年記念史）

		6月	端野村の字名改正で端野側の登位加地区が北登に改称（端野町史）
		7月10日	太幌青年団が「記念植樹碑」建立
		8月10日	手師学巡查駐在所上棟式、8月30日開所式（手師学村史）*日吉
		9月10日	産業組合は中村定吉自動車部と下記料金で専属契約を締結 運賃：川沿13号から野付牛町まで30銭 常呂から野付牛町まで35銭 手師学・太茶苗・太幌から常呂まで20銭 隈川から常呂まで25銭 岐阜から常呂まで15銭 13号から9号、7号、常呂まで15銭 （常呂町農協20年史）
		9月29日	手師学部落役員が札幌通信局へ電話架設運動のため2回目の出頭 （手師学村史）
		10月15日	（吉野小）常呂小学校で村内小学校武術会あり、隈川小6年男子が自転車で 行く *吉野での「自転車」初出（吉野小学校学事報告）
		11月18日	（豊川郵便局）川沿郵便局、電信電話通話事務開始 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		11月25日	泰安殿、岐阜小学校前に建立〔常呂町岐阜のあゆみ〕
		11月	岐阜地区で神社を現在地に移転新築〔常呂町岐阜のあゆみ〕
		12月4日	常呂町産業組合手師学支所落成〔常呂町農協20年史〕*農協日吉支所
昭和13年			資源の枯渇を防ぐためにホタテ禁1年間の禁漁（常呂漁協40年誌） 常呂市街側溝期成会発足（常呂町百年史） 川沿・岐阜・手師学に季節託児所を開く（常呂町百年史） 常呂村生活改善実行規約を定める（常呂町史） 17号に木橋の太幌橋架設〔常呂町史〕 太幌橋架設に伴い、17号渡船場は廃止（新北見市史） 農地委員会設置（常呂町史） 当時の肥料価格、過石10貫入り2円80銭、硫安4円10銭、 硫化7円5銭、塩加5円50銭（共立百年史） 牛の検診始まる（トリコモナスによる不妊牛多発の為）（岐阜百年記念史）
昭和14年	1939	1月	警防団令公布〔勅令〕
		1月26日	常呂村産業組合上川沿支所設置〔常呂町農協20年史〕
		2月26日	手師学・隈川尋常小学校共催のスキー競技会開催（吉野小学校学事報告） *昭和15年も開催（2/18）
		3月19日	北海道鯨蕃殖保護規則公布〔庁令〕
		3月	手師学部落（日吉）役員が札幌通信局へ電話架設のため最後の出札 （手師学村史）
		4月1日	（常呂小）8学級編制となる（常呂小百年史）
		4月1日	太幌青年学校開校式
		4月1日	消防団令施行により、常呂村では常呂・鑑沸両消防組が合併して常呂警防団 に改編。常呂市街地を第1分団、鑑沸地区を第2分団、日吉地区が第3分団 となる（常呂消防団日吉分団50周年記念誌）
		4月	銃後後援会、奉行会に改組
		6月16日	常呂小学校で防諜団結成（共立百年史）
		7月	船戸村長、生田原村長に転出。網走町助役原紋蔵村長着任（常呂町百年史）
		8月15-17日	台風による暴風雨で常呂川氾濫（ところ文庫30 常呂川）
		9月18日	価格停止令公布〔常呂町史〕
		9月	「北海タイムス年鑑」定期乗り合い自動車（バス）の料金・所要時間 網走・常呂：60銭、1時間20分 野付牛・常呂港：1円50銭、2時間（網走市史）
		10月31日	太幌小学校、泰安殿落成式挙行（7月22日着工）
		10月	常呂・鑑沸消防団が常呂警防団（団長上杉眞治）と改組、常呂・鑑沸・手師学

			に分団設置。第3分団に腕用ポンプを配置（常呂町史）
		10月	手師学巡查駐在所（日吉）設置により上川沿巡查駐在所廃止（常呂町史）
		12月22日	手師学で電話新設工事落成式、通話開始（手師学村史）*日吉
昭和14年			防諜団、常呂小学校で結成、参加（岐阜百年記念史）
			岐阜集乳所、市街地に移転〔常呂町岐阜のあゆみ〕
			風水害（岐阜百年記念史）
			錦水尋常小学校に電池式ラジオ導入、夕方からわずかに聴取可能 (錦水小学校50周年史)
			ニシン漁まれに見る凶漁、ホタテ漁は予想外の豊漁（常呂漁協40年誌）
			漁業法改正で貯金受け入れ認可、常呂漁協の規約改正で組合貯金受入業務開始（常呂漁協40年誌）
			馬船廃止される（共立百年史）
			軍馬の育成盛んとなる（共立百年史）
			道道7号北見常呂線・登東部付近の3号峠西側登位加高台に高台神社建立
			氏子（常呂村登東部・端野村北登1班）*写真に昭和14年文字入りの幕
			川東排水掘削（共立百年史）
			カルチベータ、除草ハロー共同購入（共立百年史）
			北海道農産物検査所常呂派出所を現在の字常呂325番地に庁舎を新築移転
			*昭和17年12月食糧管理法制定に伴い、名称が北海道食料事務所 北見支所常呂出張所に改称（常呂町史）
昭和15年	1940	2月22日	道庁、米穀配給調整の指示を出し府県にさきがけ配給体制をとる〔通牒〕
		3月	（常呂小）在籍児童（男194、女183、計377名）（常呂小百年史）
		4月15日	川西、川東を結ぶ下川沿渡船廃止、木造吊橋完成（イフケシユ郷土史）
			国力鉱山（鉄山）からワイヤーの払い下げ、官林から用材の払い下げを受け 川東住民が中心となり、川西の役員も手伝い、木造の吊り橋（共立橋）完成
			吊り橋渡り初め（共立百年史）
			吊り橋の完成により、10号渡船場廃止（設置時期不明）（新北見市史）
		5月	常呂商工会を保証責任常呂商業組合に改組：組合長山田久七（常呂町史）
		5月	手師学の高橋林三郎、手師学神社裏に「郷殿神社」の石碑建立 （ところ文庫 常呂の石碑）*日吉神社裏
		5月	手師学の高橋林三郎、自家馬匹供養のために「馬頭観世音菩薩」の石碑建立
		6月	東京から坂田海軍中佐来村し村内の鉄マンガン鉱調査（常呂町史）
		7月1日	主食配給制実施される。肥料・資材配給制（常呂町百年史）
			*配給物資 ①通帳によるもの：米・混食用雑穀 ②購買券によるもの： 石炭・灯油・揮発油・マシン油・マッチ・鋳物製石炭ストーブ・針金・煙突 ・セメント・脱脂綿・乳児用家庭用綿ネル・縫い台・手ぬぐい・タオル・ 軍手・ゴム底布靴・ゴム長靴・地下足袋・タイヤチューブ・練乳・粉ミルク ・調製粉乳・砂糖・麦粉・澱粉（豊川区開基百年誌）
		7月	消防第1分団に2台目の消防ポンプ自動車配置（常呂消防団100年記念誌）
		7月	湧網中線（常呂・佐呂間間）工事中断（北海道鉄道百年史）*湧網線
		8月1日	共立10号堤防と道々の間に水難者供養碑建立（共立百年史）
			*水難者供養地藏尊
		10月1日	国勢調査
		10月24日	農林省、米穀管理規則を公布〔省令〕（町村別割当供出制11.1施行）
		11月10日	紀元2600年記念式典挙行〔新北海道史年表〕
		11月20日	道庁、町内会・部落会規則を公布〔庁令〕（区制を廃して部落会に改組、 部落会長制となる）
昭和15年			ニシン漁が前年同様凶漁、ホタテ漁は前年に劣らず豊漁（常呂漁協40年誌）
			太茶苗神社と幌内神社を合祀して福山神社と称号、現在地に建立

			(常呂町史 イワケシユ郷土史) 西2線4線間のイワケシ山麓に土塀牧場建設(16年完成も使用されず) バッテリー灯電始める(共立百年史) 吉田牧場開放になる。14号5線(富丘百年史) 吉田金作、3線佐呂間道路付近で沢水を利用し水車を回しながら自家用 澱粉工場操業、昭和23年頃操業停止(富丘百年史) 薪を購入しなければならなくなった昭和15年頃から石炭ストーブ普及、 通常、夏は薪、冬は石炭ストーブ使用(土佐郷土史) 常呂警防団第3分団が鑑沸第2分団から腕用ポンプ1台譲り受ける 木造平屋分団詰所(間口2間、奥行3間)完成 *日吉 (常呂消防団日吉分団50周年記念誌)
昭和16年	1941	2月1日	郵便局等級廃止〔勅令〕に伴い常呂郵便局は特定集配郵便局となる 川沿郵便局は特定郵便局となる〔常呂町史〕
		2月	川沿・手師学方面に浸水、麦類と亜麻の茎流出(常呂町百年史)
		3月20日	商業組合主催、商業報国会結成式開催〔当直日誌〕
		2月25日	大政翼賛会常呂支部結成(村長原紋蔵が支部長)〔常呂町史〕
		3月1日	国民学校令公布〔勅令〕(4.1小学校を国民学校と改称) 〔新北海道史年表〕
		3月9日	大政翼賛会常呂支部結成式挙行〔当直日誌〕
		3月17日	衛生組合・火災予防組合解散〔当直日誌〕
		3月	農産物検査所上川沿駐在所設置(常呂町史)
		4月1日	国民学校令により小学校を国民学校と改称
		4月1日	生活必需物資統制令公布〔勅令〕
		4月20日	常呂・野付牛間および佐呂間間定期バス開通〔当直日誌〕
		4月	富丘部落となる。字名、地番改称される(富丘百年史)
		5月1日	高橋純雄、高橋商店創業:字常呂301番地(常呂町大観)
		6月2日	8日まで常呂川増水、川沿・手師学方面浸水、麦類・亜麻流失〔常呂町史〕 6月8日から連日の降雨によって、常呂川が氾濫、上川沿(豊川)、 手師学(日吉)地域の農耕地は冠水による相当の損害(土佐郷土史)
		6月	常呂鉱山でマンガンの新鉱脈発見。鉱山~常呂の軌道敷設認可申請 〔北見市史年表〕
		7月9日	常呂村村医武藤豊蔵、網走町病院で死去(共立百年史)
		7月18日	常呂神社「チョンナ祭」挙行(当直日誌) *チョンナ始め式 *宮大工が古くから伝わる大工道具「チョンナ」や鋸を手にとりに手を 当てるしぐさ、仕事始めの儀式
		7月20日	(常呂小)常呂村少年団大会行う(村内各校児童550名)(常呂小百年史) *「陸の行事、海の行事」(常呂小学校学事報告) *講演・体操・海水浴・相撲・宝探しなど多彩(常呂小学校沿革誌) 太幌国民学校(福山)4年生以上出場。徒歩、常呂校に1泊(福山小沿革誌)
		8月4日	常呂座(常呂劇場)で「支那の夜」上映、60銭(共立百年史)
		8月7日	午前10時より村会議事堂で常呂村大字地番改正打ち合わせ(当直日誌)
8月15日	共立会館新築落成式:9号線南側・道道西側/共立の中心位置(共立百年史) *共立百年史年表では8月14日 午前9時から防空訓練開始。(本日から31日まで)〔当直日誌〕 1箇班が副消長1名、硝員6名の6箇班編制で、午前7時全硝員が村会 議事堂に集合、開講式挙行(共立百年史) *防空監視硝		
8月23日	常呂神社上棟式挙行〔当直日誌〕		
8月下旬	(吉野)3日間の大雨で堤防決壊、刈り込み前のハッカ、豆、その他作物に 甚大な被害。川の様相が一変し、山際に移行。被害約3町歩		

			(吉野50年のあゆみ)
		9月7日	常呂漁業協同組合・佐呂間漁業協同組合を吸収合併、第1回総会開催 〔当直日誌〕
		9月21日	午後3時46分過ぎより日食、曇りで明瞭ならず〔当直日誌〕
		9月26日	常呂神社社殿竣工〔常呂町史〕(当直日誌では9月21日)
		9月	村社造営地鎮祭挙行
		10月	北海道拓殖銀行網走支店常呂取扱所開設(北海道銀行常呂支店設置陳情書)
		11月10日	北海道庁告示(10.25)を以って字名地番改正され現行のものとなる *常呂・東浜・土佐・岐阜・栄浦・共立・豊川・富丘・福山・日吉 ・吉野・登
		11月10日	(日吉)字名地番の改正によって「手師学」が「日吉」に改称された (日吉百年史)
		11月14日	桑原如則医師着任〔当直日誌〕 村医常呂病院開院(共立百年史)
		11月	(吉野)字名地番改正により「隈川」から「吉野」となった(日吉百年史)
		11月	(登)字名地番の改正により「登位加」から「登」と改称された
		11月	共同の澱粉工場を建設、操業を開始したがその後藤吉玉一、遠藤末男の共同 経営となったが原料不足等によって経営が不振となり昭和25年創業を中止 した(日吉百年史)
		12月1日	手師学郵便取扱所が日吉郵便局と改称〔常呂町史〕
		12月1日	常呂村教学振興研究会結成(常呂町百年史)
		12月8日	太平洋戦争突入
		12月27日	農業生産統制令公布〔勅令〕 農産物検査所手師学駐在所廃止。
昭和16年			*昭和16年6月に生田原自動車合資会社から営業権の譲渡を受けた湧別 自動車合資会社は、利便を拡大し、中佐呂間-常呂(30キロ) 遠軽-上佐呂間(22.2キロ)、遠軽-常呂(64.42キロ)の 3系統を営業:車両/トヨタ2601型1台、フォード1931型1台、 同1934型'1台の3台(佐呂間町百年史) 新谷広治組合長に再選(常呂漁協40年誌) 手師学神社、日吉神社と改称(常呂町史) 天龍寺:山形県善寶寺から龍王大明神の御分霊を受け、天龍寺守護神として 龍王殿建立(天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり) 佐々木拙雄、佐藤光信サイロ建設(共立百年史) 共立国防婦人会解散、大日本婦人会誕生(共立百年史) 岡崎務、初めてバチ(橋)を使用(共立百年史) イワケシ山に幻の土併牧場2年間で完成(使用されなかった)(富丘百年史)
昭和17年	1942	1月5日	豊川青少年団が廃品回収運動開始、鉄くず回収実施 *昭和16年12月の開戦後、青年団が大政翼賛会下の青少年段に改組 川沿青年団が「豊川青少年団」に改称(イワケシュ郷土史)
		1月	全道軍用燕麦多収穫品評会で江田由蔵優勝(常呂町史)
		2月21日	食糧管理法公布〔法〕
		2月7日	監視硝実地勤務(共立百年史) 同書に3/12本日より監視硝員実地勤務 *防空監視硝
		3月4日	北海道水産物配給統制規則〔告示〕
		4月1日	(日吉小)字名の改称により校名を日吉国民学校と改称する。 (日吉小80年史)
		4月3日	本日、監視硝員全員集合、網走警察署長から全員重病あるいは入隊者の他は 昭和20年3月11日まで勤務のこと、不平言う者あれば千円の罰金または

			1年の懲役の由（共立百年史） *昭和16年11月27日臨時監視哨員召集 昭和17年3月17日監視哨（共立百年史）
		4月6日	（福山小）字名変更により、福山国民学校と改称（福山小休校記念誌）
		5月20日	水産統制令公布〔勅令〕
		5月26日	下湧別村海岸で漂着機雷処理中爆発。死者106人、重傷者63人の惨事となる
		6月22日	第11回村会議員選挙（18名選出）
		7月1日	愛国婦人会・国防婦人会を解散し、大日本婦人会結成
		7月1日	網走通運株式会社の設立により、株式会社日本通運常呂運送社が網走通運株式会社常呂営業所に改称（常呂町史）
		8月1日	川沿郵便局が豊川郵便局に改称 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		8月4-5日	常呂村少年団大会（常呂国民学校）に福山国民学校4年生以上が徒歩で出場 （福山小学校沿革誌）
		9月5日	ガス発電機購入（共立百年史）
		11月14日	常呂村国民健康保険組合設立（常呂町史）
		11月27日	豊川青年道場落成式〔当直日誌〕
		12月11日	栄浦に組合佐佐呂間湖水産増殖研究所落成〔当直日誌・サロマ湖〕 北海道水産試験場木下技師を所長に囑託、通年で係員の派遣要請、サロマ湖魚介藻類の増殖、資源開発（常呂漁協40年誌）
		12月	食糧管理法制定により、名称が北海道農産物検査所常呂派出所から 北海道食糧検査所常呂出張所と改称（常呂町史 常呂町農協20年史）
		12月	（吉野小）裁縫室（青年学校）落成、13坪半（吉野・登小閉校記念誌）
昭和17年			豊川の一部に電気開通（豊川開基百年誌） 共立の一部に電灯がつけられる（共立百年史）
昭和18年	1943	1月9日	石炭確保挺身隊壮行会行われる〔当直日誌〕（1.10出発）
		2月5日	午前7時50分皆既食（福山小学校沿革誌）
		2月6日	（日吉小）母姉の会初会合来会者10名程度。（日吉小80年史）
		2月13日	（日吉小）父兄会来会者8名（日吉小80年史）
		3月2日	網走にて厚生報国会結成式〔当直日誌〕
		3月11日	水産業団体法公布〔法〕〔新北海道史年表〕
		3月11日	農業団体法公布〔法〕
		3月20日	町村制改正。北海道一級町村制・同二級町村制の各勅令廃止〔法〕 （6.1施行）〔新北海道史年表〕
		4月1日	錦水青年学校、常呂青年学校に併合し廃校（錦水小学校沿革誌）
		4月1日	北見地区のトラック事業が北見貨物自動車（株）に統合と記載 （新北見市史） *北見貨物自動車（株）常呂営業所の写真所蔵
		4月8日	福山青年学校閉校式（福山小学校沿革誌）
		4月10日	閉校した福山青年学校、日吉青年学校に統合入学式（福山小学校沿革誌）
		4月13日	村長室で食糧営団配給所決定協議会開催（当直日誌）
		5月25日	市町村制施行令改正。本道二級町村は指定町村とされる〔勅令〕 （6.1施行）〔新北海道史年表〕
		5月28日	北海道庁が「北海道における旅客自動車運輸事業統合要綱」を発表、網走管内12バス業者が企業合同し北見乗合自動車株式会社が誕生（北見現代史） ただちに、北見・留辺蘂・佐呂間・温根湯・常呂に営業所設置（北見現代史）
		6/24-7/30	日吉地区に宮城県小牛田農林学校生徒37名が援農部隊として入地、各家庭に分宿（日吉小学校沿革史） *学徒勤労奉仕隊 *「土佐郷土史」では、6/22-7/26 除草刈り取り脱穀作業
		7月13日	網走土木現業所がライトコロ川改修工事実地調査（当直日誌）

		8月1日	上川沿郵便局が豊川郵便局と改称〔常呂町史〕
		8月4日	栄浦神社および栄浦橋の竣工式〔当直日誌〕＊栄浦橋：現在のとうふつ橋
		8/6-10/2	学徒勤労奉仕隊として福岡県上農学校生徒が入地（土佐郷土史）
		8/10-9/8	日吉地区に静岡県中泉農学校生徒勤労報国隊35名が入地、各家庭に分宿。9/8午前8時半より日吉用学校で解散式、原村長・部落有志・受入父兄多数参列、11時半臨時バスで出発（日吉小学校沿革史）＊学徒勤労奉仕隊
		8/13-11/5	学徒勤労奉仕隊として東京都立農学校生徒が入地（土佐郷土史）
		8/17-8/26	学徒勤労奉仕隊として北見中学校生徒が入地、刈り取り作業（土佐郷土史）
		8月28日	追補責任常呂村森林組合設立認可、創立総会〔当直日誌〕
		9月	村農会と産業組合は農業団体法の施行により解散〔常呂町史〕
		9月	中央農業会・全国農業経済会設立（常呂町農協50年史）
		9月	産業組合の精米工場操業開始（精米・製粉工場）（常呂町農協20年史）
		10/5-11/5	学徒勤労奉仕隊として新潟県立農学校生徒が入地（土佐郷土史）
		10月9日	奥村常呂鉱山軌道開通式挙行（常呂～太茶苗）〔当直日誌〕 鉄山軽便鉄道開通式（共立百年史） 本日正午より奥村常呂鉱山の軌道開通式。校長が招待を受け参列。午後5時より日吉小学校で祝賀会余興開催、満員盛況（日吉小学校沿革史）
		10/13-11/18	東京都法政大学学生が学徒勤労奉仕隊として入地（土佐郷土史）
		11月1日	沿岸警備隊発会式（共立百年史）
		11月20日	網走・常呂・佐呂間・上湧別・下湧別の関係町村長は連署して湧網線全通促進を陳情（常呂町史）
		12月	北海道農業会設立、道・郡段階の産組・農会等解散（農協50年史）
昭和18年			勤労報告隊結成（常呂町百年史） 天龍寺：境内並びに伽藍の整備（位牌堂：現納骨堂、庫裡等）始める。 昭和32年、境内・伽藍の整備終わる （天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり） この頃東浜に部落共同の澱粉工場建設（常呂町史） 主要作物、作付け割り当て制となる（岐阜百年記念史） 勤労奉仕隊受入れる（富丘百年史） 奥村鉱業、マンガン鉱石採掘始める（2年間で閉鎖）（富丘百年史） 村有牧場開放。施設管理人、赤羽栄氏（富丘百年史） （日吉）終戦前後の食糧難のため自給自足の目的で乳牛を導入したことがこの部落の乳牛飼育の始まりとなっている（日吉百年史）
昭和19年	1944	1月23日	常呂村農会、産業組合解散式挙行〔当直日誌〕
		1月23日	常呂村農業会発足〔常呂町史〕
		1月24日	常呂村産業組合（組合長三沢政雄）、常呂農会（会長船戸多吉）解散式挙行〔当直日誌〕（〔常呂町農協20年史〕では1.31解散）
		2月1日	常呂村農業会設立総会開催〔当直日誌〕 初代会長 三沢政雄（常呂町農協50年史）
		2月22日	共立部落常会で、艦上爆撃機「常呂号」献納を議案に会議。各自の愛国心に訴えて寄付（共立百年史）
		3月29日	常呂漁業会設立委員会開催〔当直日誌〕
		3月30日	日ソ漁業条約調印（効力5ヶ年間）〔新北海道史年表〕
		3月	常呂鉱山の鉱業権を針田喜一が譲り受け、国力鉱山と命名し採掘を開始〔常呂町史 針田鉱業概況書〕
		4月1日	無限責任常呂漁業協同組合解散、常呂漁業会に改組〔当直日誌〕 会長に新谷組合長選任される（常呂漁協40年誌）
		4月8日	大吹雪で常呂国民学校全職員が鉄道に出動（常呂小学事報告）＊常呂小学校午後より町内各戸1名以上、鉄道線路除雪に出役す（当直日誌）

		4月15日	常呂国民学校少年団新町分団が海軍大佐の感謝状を受ける（常呂小学事報告）
		7月1日	日吉郵便局、電話交換事務開始 *「常呂町史」との違い有り (オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
		7月3日	保証責任常呂商業組合解散式、常呂配給統制組合創立総会開催〔当直日誌〕
		7月9日	戦時特別滑空訓練所（美幌）に高等科2名入隊：航空少年隊員 (8月8日まで)（常呂小学校学事報告）
		7月10日	日吉郵便局から奥村常呂鉱山に電話開通：日吉1番（日吉小学校沿革史）
		7月11日	日吉郵便局、電話交換業務開始〔常呂町史〕
		7月	林産物検査所常呂駐在所設置〔常呂町史〕
		9月3日	(日吉小)5学級編成となる(児童生徒数224名)(日吉小80年史)
		9月	林産物検査員常呂駐在所、常呂原野以北を区域として開設。〔常呂町史〕
		9月	豊川に常呂警防団第4分団が改組され配置(富丘百年史) *5月、豊川郵便局の北側に6坪の番屋建設
		秋	北見東亜鉱山操業開始(常呂町百年史)
		10月1日	日本通運株式会社に網走通運株式会社常呂営業所が吸収され、同社網走支店 常呂営業所となる(常呂町史)
		10月3日	栄浦三里浜にて機雷漂着、爆破処理〔当直日誌〕
		11月3日	常呂小学校で海洋少年団結成式挙行(常呂小学校学事報告)
		12月18日	常呂小公園に防空監視哨舎完成、落成式挙行〔当直日誌〕
		12月31日	(常呂小)電話設置(常呂2番)(常呂小学校沿革誌 常呂小百年史)
昭和19年			常呂村防空監視哨後援会も組織される。 常呂小学校に学校後援会結成 駐屯部隊、遺族家族の慰問演芸会に常呂小学校児童'参加：常呂劇場 (常呂小学校学事報告) 常呂小学校の勤労作業(昭和19年度常呂小学校学事報告) *ニシン漁援助(5月0日～15日 5日間 延べ262名 高等科箱打ち 初等6年は運搬、火急人不足を補う 漁業会より報償金3000円) *苗圃作業(5月2日、第1回補植、以後継続して除草・植林) *イタドリの葉採集(8月いっぱい連日炎天下で刈り倒し収集、荷造り、 発送まで全児童出動) *壕掘り(10月7日 高等科男子) *援農(10月上旬から11月中旬、馬鈴薯掘りを主に東浜・土佐に 出動 延べ人員38名) *建築資材運搬(10月16日 初等科6年以上) *食糧生産援助(10月27日) *アルミ貨・アルミ弁当箱回収、銀・錫その他金属(常呂小学事報告) 義務教育12歳迄となる(岐阜百年記念史)
昭和20年	1945	2月9日	網走部隊が猛吹雪の中を演習で来村、常呂小学校校舎で大休止、接待する (常呂小学校学事報告)
		3月22日	精米工場及び農業倉庫焼失出火〔農協20年史〕
		3月31日	(日吉小)6学級編成となる(児童生徒数241名)(日吉小80年史)
		4月	(常呂小)国力鉄山除雪作業(高等科)(常呂小百年史)
		5月5日	常呂小学校に暁部隊駐屯(～9月29日) (常呂小)初等科6年・高等科1年は常楽寺(本堂・物置) 高等科2年は天理教教会に教室を借りる(常呂小百年史・常呂小学事報告)
		6月	原紋蔵村長、狩太村長に転出、佐々木一三村長着任：7ヶ月で相内村長に (常呂町百年史)
		6月	北海道集団帰農者受入要綱制定(農協50年史)
		7月5日	福山国民学校の児童防空壕掘りで部落会出動(福山小沿革誌)

7月15日	グラマン戦闘機2機が常呂上空から岐阜、栄浦の海岸沿いに襲来。オタチップ沖で操業中の漁船（常呂魚組所属の第三常勝丸）に機銃掃射、漁船員1名死亡（語りつぐ北海道空襲…六十年間埋もれていた死者）常呂漁業会所有の第三常勝丸が青年部川崎船の曳船として従事中、グラマン戦闘機の襲撃を受け被弾、船長が殉職（常呂漁協40年誌）
7月中旬	常呂国民学校（常呂小学校）児童の防空壕造り作業：20日間で5ヶ所（常呂小学校沿革誌）
7月	東京疎開者の拓北農兵隊第1陣198戸渡道入植（農協50年史）
8月初旬	在郷軍人、国防婦人会員、岐阜・川沿両青年学校を合併した常呂青年学校生徒を交えた部隊編成、常呂小校庭で竹槍訓練開始 常呂海岸線一帯に散兵壕、機銃座等を構築。警備の桂旅団、次いで熊部隊、暁部隊が常呂小学校に駐屯（岐阜部落開基80周年記念誌）
8月中	常呂国民学校（常呂小学校）児童の鉄鉱石積み卸し作業2週間、鉄道除草3日間、営林署援助8日間（常呂小学校沿革誌）
8月17日	常呂国民学校で終戦詔書奉読式及び神社参拝 （常呂町百年史 常呂小学校沿革誌）*神社は「明治神社」の可能性あり
9月2日	降伏文書調印、占領軍総司令部（GHQ）戦犯容疑者逮捕指令（農協50年史）
9月	岐阜・土佐・栄浦農村電化促進委員会結成〔常呂町史〕 *土佐部落29戸加入（土佐郷土史） 農村電化促進委員会結成後、大島地区にあった旧海軍電波探知機の配線を財務局から払い下げを受け、西横浜古河電気会社から資材購入、北見営林署から国有林の払い下げを受け、電柱に（土佐郷土史）
10月24日	大阪府からの拓北農民団一行15戸、10月20日大阪を発ち、常呂村に到着。当時残っていた旧陸軍の通称三角兵舎に入居し、現在の大島地区に入植。福島からの8戸はその後入植。また、樺太からの引揚者が大坂入植者の後に三角兵舎に入居（常呂町百年史 井ノ木達也談） *「常呂町農協20年史」では、8月12日に21戸が大阪を出発、常呂に到着したのは8月18日 *大阪府と福島県からの入植地だったことから通称「大島」の地名に
10月30日	福島県から拓北農民団11戸、東浜にに入植（常呂町農協20年史）
10月	（常呂小）在籍児童（男264、女229、計493名）（常呂小百年史）
11月17日	17号渡船場で水難事故、2名死亡（イワケシュ郷土史）
11月20日	政府、水産物に対する価格配給の統制を全面撤廃〔新北海道史年表〕
11月	水害、人畜に被害大（常呂町百年史）
11月	焼失した精米工場を復旧し操業開始（農協30年史）
11月	緊急開拓事業実施要領閣議決定（農協50年史）
12月1日	常呂村農地委員会、戦後開拓入地者の受け入れ方針を決定（常呂町史）
12月9日	GHQ「農地改革の覚書」発表（農協50年史）
12月18日	改正農地調整法案成立〔新北海道史年表〕
12月29日	農業団体法・農地調整法改正公布（第1次農地改革） （新北海道史年表 農協50年史）
12月	衆議院選挙法改正・国家総動員法廃止、北海道農村建設連盟結成（農協50年史）
12月	国力鉱山に電話開通：日吉2番（日吉小学校沿革史）
12月	佐々木一三村長が相内村長に転出、網走支庁から村長職務管掌として上野謙三郎が職務を継ぐ（常呂町百年史）
昭和20年	常呂小学校の勤労作業（昭和20年度常呂小学校学事報告） *国力鉱山の除雪（4月 高等科） *ホタテ養殖（4月10日～6月頃まで出勤日数10日間）

			<p>高等科・初等科6年)</p> <p>*日通貨車摘み(4月18日～5月11日間 高等科)</p> <p>*鯿(5月3日 高等科)</p> <p>*千馬鈴薯(アルコール原料)製造(5月～7月 3日間)</p> <p>*防火貯水槽(5月22日～11月20日 10日間)</p> <p>*防空壕(7月中 20日間)</p> <p>*針葉樹油採取(第1回 6月17日～7月6日 第2回 8月8日～16日 高等科)</p> <p>*鉄鉞積み卸し(8月中 2週間)</p> <p>*鉄道除草(3日間)</p> <p>*営林署援助(8日間)</p> <p>*粉化食原料(檜葉、海藻、イタドリ葉採集 終戦後8月～9月中15日間)</p> <p>*馬鈴薯掘り(10月4日～31日 約15日間 高等科・初等科6年)</p> <p>川沿青年団より分離、共立青年団となる(共立百年史)</p> <p>常呂海岸は敵の上陸に備え、海岸線一帯に散兵壕、機銃座等構築、警備の桂旅団、次いで熊部隊、暁部隊が常呂小学校に駐屯 (岐阜部落開基80周年記念誌)</p> <p>農地改革、食料増産、麦の作付け強化(岐阜百年記念史)</p> <p>終戦後、需要の減少、運送コストから北見東亜鉞山閉業(常呂町百年史)</p> <p>若佐より林田政男入植(富丘百年史)</p> <p>(登)伊東徳次郎によって牛の飼育が始められ、逐次飼育頭数を増やしていった(日吉百年史)</p>
昭和21年	1946	<p>1月1日</p> <p>1月12日</p> <p>1月18日</p> <p>2月17日</p> <p>2月</p> <p>2月</p> <p>3月3日</p> <p>3月6日</p> <p>3月9日</p> <p>3月16日</p> <p>3月</p> <p>4月1日</p> <p>4月1日</p> <p>4月19日</p> <p>4月20日</p> <p>5月1日</p> <p>5月4日</p> <p>5月13日</p> <p>5月31日</p> <p>5月</p>	<p>天皇人間宣言、GHQ公職追放指令(農協50年史)</p> <p>各学校から御真影撤去(1.15に網走支庁に返還)(常呂町百年史)</p> <p>占領軍、漁業民主化のための制度改革指針を发表</p> <p>金融緊急措置令・日銀券預入令公布〔緊勅〕</p> <p>新谷会長再選。専務理事に上杉隆昌、常務理事に原紋蔵選任さる。 (常呂漁協40年誌)</p> <p>食糧緊急措置令(米供出に強権発令)、新円切替・預金封鎖月300円 (農協50年史)</p> <p>物価統制令公布(月500円)</p> <p>政府憲法改正草案要綱を发表</p> <p>高清水慶吉、村長に選任(～12.1)</p> <p>水産物統制令公布〔勅〕</p> <p>豊川・日吉平和に緬羊種付所設置〔常呂町農協20年史〕 緬羊の飼養始まる〔常呂町岐阜のあゆみ〕</p> <p>国民学校の呼び方を廃し、小学校と呼ぶ。</p> <p>根本春雄、有限会社根本水産創業：字常呂51番地(常呂町大観)</p> <p>常呂村が北海道配電株式会社に対して日吉地区に変電所設置の陳情</p> <p>豊川青年団が戦前の青年団を解消し、新たな青年団を発足 (イワケシュ郷土史)</p> <p>常呂小学校51周年記念行事開催：8時半から10時開校記念日記念式 記念植樹・苗植え、記念運動会、学芸会、展覧会(常呂小学校学事報告)</p> <p>北海道配電株式会社から常呂村に対し、鉄山の発展による電力の大量使用が重要、変電所設備の資材入手は不能で早期の実現は困難、今後の具体的な電力需要計画策定が必要との回答</p> <p>豊川青年団設立総会開催、役員選出(イワケシュ郷土史)</p> <p>(常呂小)春季大遠足 再開(常呂小百年史)</p> <p>中湧網線工事着工もマッカーサー指令により6月中止(常呂町百年史)</p>

6月13日	(富丘神社の始まり) 富丘西2線防風林内に標木を建立し、天地大神神社を称号(とてころ文庫10常呂町歴史散歩)
6月13日	栄浦巡査駐在所設置〔常呂町史〕
6月15日	常呂小学校3年生以上が錦水小学校の運動会に遠足(常呂小学事報告)
6月16日	日吉小学校・青年団・部落合同運動会開催(日吉小中学校学事報告)
6月20日	相馬農場土地開放記念式、校地9反歩を部落が購入し、学校に寄付する (福山小休校記念誌)
6月30日	常呂小学校開校51周年記念運動会 再開(常呂小百年史)
6月	新谷会長公職追放により辞任。後任会長に上杉専務理事、専務理事に原常務理事就任。(常呂漁協40年誌)
6月	GHQ第2次農地改革勧告(農協50年史)
7月2日	第1回部落別青年団対抗競技大会開催、豊川男女青年団優勝 (イワケシュ郷土史)
7月2日	常呂小学校4年生以上が川沿小学校運動会に遠足(常呂小学校学事報告)
7月22日	北海道漁村同盟大会開催
7月25日	常呂軟式野球連盟が常呂小学校グラウンドに野球用バックネット1基寄贈 (常呂小学校学事報告)
7月26-28日	常呂小学校野球チームが北見市へ少年野球大会出場(常呂小学校学事報告) *北海道新聞主催の全北見少年野球大会が、7月27日から北見市中央校グラウンドで開催、参加校は22校(留辺蘂町史)
7月	富丘の天地大神神社境内に「英霊の碑」の木柱建立(イワケシュ郷土史)
7月	北海道漁業制度改革委員会、漁業制度改革案を発表
7月	酪農振興会を解消し、畜産振興会発足〔農協20年史〕
8月1日	常呂神社、宗教法人の認証を受ける(常呂町史)
8月5日	常呂・日吉に装蹄所開設〔常呂町農協20年史〕
8月5日	農協事務所新築地鎮祭実施〔常呂町農協20年史〕
8月15日	鈴木武、鈴木鉄工所操業、昭和25年11月14日三興精機設立：字常呂342番地 (常呂町大観)
8月20日	林産物検査所常呂駐在所、担当区域を常呂村一円と改める(9月1日実施) (常呂町史)
9月20日	土佐の小原友徳、猪野間茂宅は道道に近く、北海道配電会社の配電線が卯原内から福山・豊川を経て道道沿いに市街地に送電していたので、これを利用して電化(土佐郷土史)
9月23-27日	少年団分団(町内会)対抗野球大会：弁天優勝(常呂小学校学事報告)
9月28日	常呂小学校児童が東京大相撲見学(常呂小学校学事報告)
9月	北見乗合自動車株式会社が北見バス株式会社となる
10月4日	市制町村制施行令改正により〔指定町村〕を廃止〔勅〕
10月8日	文部省教育勅語奉読の廃止〔新北海道史年表〕
10月21日	(常呂小) 秋季遠足(常呂小百年史)
10月30日	道より旧軍用自動車の払下げを受け利用事業として使用〔農協20年史〕
10月	第2次農地改革実施、北海道開拓者連盟結成(農協50年史)
10月	新生農事実行組合設立(岐阜百年記念史)
11月3日	日本国憲法公布(22.5.3施行)〔新北海道史年表〕
11月3日	常呂町畜産振興会により種馬所に「猷魂碑」建立 (土佐基線2号、旧土佐公営住宅跡)(常呂文庫10「常呂町歴史散歩」)
11月22日	常呂小学校開校51周年記念式典・祝賀会(常呂小学校学事報告)
11月23日	(常呂小) 学芸会・展覧会 再開(常呂小百年史)
11月30日	学校前の栄福橋竣工、渡橋式(福山小学校沿革誌) 北見営林署によって併用林道橋として栄福橋が架けられる (とてころ文庫10常呂町歴史散歩)

		12月1日	栄福橋架設以前の福山小児童は、渡し船で登下校（イワケシュ郷土史） 村長清水慶吉公職追放により辞任、大田武雄、村長臨時代理助役となる 後に代わって橋本栄次助役臨時代理（常呂町百年史）
		12月5日	樺太からの引揚げ第1船が函館に入港〔新北海道史年表〕
		12月	公職追放により上杉会長、原専務理事辞任。後任会長に鈴木仁五郎就任 （常呂漁協40年誌）
		12月	第1回市町村農地委員選挙（農協50年史）
昭和21年			農地改革、川西班多数のため三班に分かれる（共立百年史）
			豆類にも施肥をするようになる（共立百年史）
			川東地区点灯（共立百年史）
			川西地区1部点灯9戸、10号付近と道道まで（共立百年史）
			第1回部落別、青年団対抗競技大会、参加（岐阜百年記念史）
			錦水小学校から、御真影撤去（岐阜百年記念史）
			大阪の「大」、福島「島」をとって大島地区が生まれる（常呂町史） 富丘の一部に電灯がつく（豊川の道道と14号との交差点から旧浜佐呂間 沿いに伝染敷設、送電線付近の家に電灯）（富丘百年史）
昭和22年	1947	1月7日	常呂養蜂組合臨時総会、越後屋で開催（当直日誌）
		1月17日	製炭実行組合総会：委員室（当直日誌）
		1月18日	午前1時50分、ポイントマリ沖に漂流の機雷が自然爆破、家屋2戸小被害、 人畜被害なし（当直日誌）
		1月26日	病院移転工事竣工祝賀会〔当直日誌〕
		1月29日	阿部、岩村両氏、元軍施設及び炊事場改築に関し、実地踏査。 午後3時退村（当直日誌）
		1月30日	配給統制組合を解散し、常呂商業協同組合発会式〔当直日誌〕 （2月より再出発）
		1月	GHQ「農協に関する覚書」通知（農協50年史）
		2月13日	岐阜地区に入植者佐伯潔資等が同志を統合して開拓建国会を組織 開拓建国会発会祝賀会（当直日誌）
		2月18日	進駐軍2名来村、委員室に宿泊（当直日誌）
		2月19日	進駐軍、栄浦を巡察〔当直日誌〕
		2月20日	進駐軍引き続き滞在（当直日誌）
		2月20日	（常呂小）入地者多数のため地方費より30坪5合の改築を完成する （常呂小百年史）
		2月21日	進駐軍引き揚げ（当直日誌）
		2月22日	（常呂小）スキー大会 再開（常呂小百年史）
		2月23日	常呂音楽同好会総会（当直日誌）
		2月	農業会が豊川に出張装蹄所設置〔常呂町農協20年史〕
		3月20-31日	樺太引揚者無縁故者収容所（元軍用三角兵舎の転用）改修工事 *住所：常呂村字常呂63番地（大島） *東浜、または国有林内と表記する場合あり（引揚者関係書類）
		3月	緬羊共同種付所を土佐外6ヶ所に設置〔常呂町農協20年史〕 岐阜2カ所（藤吉伊佐尾、長谷川亀藤）（岐阜百年記念史）
		3月	吉野青年団、吉野青年団を合併、団員数50余名と隆盛（吉野50年の歩み）
		3月	道食糧調整委、食糧供出に強権発動を決定、米供出強権発動 （上川・空知）（農協50年史）
		3月末	ラジオ聴取状況（NHK北見放送局調） 常呂村：受信者177、世帯数1,268（網走市史下巻）
		4月1日	新学制に基づく6・3制教育実施に伴い国民学校を廃し、小学校と改称 （3学級編成）

4月1日	(常呂小) 10学級編成認可(常呂小百年史)
4月1日	学校教育法に基づいて、常呂村立常呂中学校として開校。常呂小学校校舎の一部を借用し、仮授業を開始(常呂中20年のあゆみ) *「常呂町史」では5月1日授業開始(常呂・大島・東浜・土佐を通学区域)
4月1日	(日吉小) 日吉小中学校と校名を変更する。中学1・2年生授業開始する。2学級編成、2部授業実施。(日吉小80年史)
4月1日	下常呂土地改良工事着手(請負人木下八郎第1幹線排水溝の掘削、後日の洪水で事業挫折)
4月1日	消防団令〔勅令〕に基づき常呂・栄浦・日吉に分団を置く(常呂町史)
4月1日	町内会・部落会・隣組を廃止〔新北海道史年表〕 (5.3解散に関する政令公布)
4月5日	第1回統一地方選挙、北海道庁長官・常呂村長選挙執行〔当直日誌〕 (長官田中敏文・村長小林千代松当選)
4月8日	小林千代松村長に就任(第1回公選)
4月13日	常呂青年団総会開催:委員会室(当直日誌)
4月14日	独占禁止法公布〔法〕
4月17日	地方自治法公布〔法〕(5.3施行)
4月30日	常呂村議会議員選挙(22名選出)(常呂町史)
4月	(福山小) 学制改革により、福山小学校と改称(福山小休校記念誌)
5月1日	(川沿小) 常呂村立川沿中学校開校(川沿小百年史)
5月1日	(錦水小) 錦水中学校設立し、小学校に併設開校(錦水小50年史)
5月1日	北見営林署常呂担当区となる(常呂町史)
5月3日	日本国憲法施行。地方自治法施行により北海道庁は北海道、長官は知事、北海道会は北海道議会となる
5月3日	網走区裁判所常呂出張所は釧路司法事務局常呂出張所となる〔常呂町史〕
5月6日	午後2時30分頃、岐阜11号線で山火事、午後4時頃鎮火。消失区域鉄道線路北側西8線地区、焼失面積約30町歩(当直日誌)
5月8日	常呂軟式野球連盟協議会:委員会室(当直日誌)
5月11日	常呂校グラウンド開き、野球大会開催(当直日誌)
5月25日	日吉小学校5・6年生と中学2・3年生とで野球の試合をする (日吉小60周年・日吉中10周年記念誌収録日記)
5月31日	新町自治会(町内会)解散記念懇親演芸会:午後7時から議場(当直日誌)
5月	北海道食糧検査事務所日吉駐在所設置
5月	網走支庁管内農地委員会連合会が発足
6月1日	樺太引揚者無縁故者収容所(元軍用三角兵舎)収容開始(引揚者関係書類)
6月2日	日吉中学校開校式(日吉中学校学事報告 当直日誌) 学制改革により日吉中学校開校(日吉中学校のあゆみ)
6月2日	自給製塩実行組合設立結成式:浜本方(当直日誌)
6月7日	樺太引揚無縁故者17名到着(当直日誌)
6月11日	常呂小学校学校後援会(昭19結成)をPTAに改組(常呂小学校学事報告)
6月11日	日吉中学校の帽章決まる:生徒持参の白布に「日中」図案を押印、厚紙を入れ縫い合わす(日吉小学校開校800周年記念誌卒業生回想)
6月14日	錦水中学校開校式(当直日誌)
6月15日	会館増築落成祝賀会(富丘百年史)
6月15日	高橋正義、TK電器商会創業:字常呂307番地(常呂町大観)
6月17日	常呂中学校PTAを設立する(常呂中20年のあゆみ)
6月22日	常呂中学校と常呂小学校合同の第1回運動会を開催(常呂中20年のあゆみ)
6月24日	東浜地区において伐根競技会開催、参加選手46名(当直日誌)
6月25日	常呂村開拓事業起工(共同放牧場)〔当直日誌〕
6月	北海道農民同盟結成(農協50年史)

7月1日	日吉中学校野球用具整備（日吉中学校学事報告）
7月1日	日吉小学校が川沿小学校運動会村内対抗競走に出場（日吉小学校学事報告）
7月10日	富丘青年団再結成（富丘百年史）
7月11日	北見営林署長福山橋調査、村長同行（当直日誌）
7月11日	相馬妙見神社遷座祭執行：午後8時（当直日誌）
7月15日	相馬妙見神社例祭：種馬所、青年相撲 小高神社例祭：子供相撲（当直日誌）
7月20日	常呂村農民同盟結成。委員長に近藤貞良、副委員長に中出外吉を選出。 （常呂町農協20年史 常呂町農民同盟50年のあゆみ）
7月22日	常呂消防団設置条例発令
7月23日	常呂中学校の校章制定（常呂中20年のあゆみ）
7月25日	常呂中学校、開校記念式典挙行（常呂中20年のあゆみ 当直日誌）
7月26日	土佐、岐阜部落通電式：錦水校（当直日誌）
7月27日	栄浦部落通電式（当直日誌）
7月	招魂祭の青年団対抗角力大会（相撲大会）で、土佐青年団が団体・個人優勝 （土佐郷土史）
8月1日	（常呂小）中学校4学級の併設のため運動場を6教室に仕切る （常呂小学校沿革誌 常呂小百年史）
8月6日	権太引揚者、委員室に宿泊（当直日誌）
8月7日	警防団解散式および消防団結成式（常呂・栄浦・日吉分団）〔当直日誌〕 第1分団：常呂、第2分団：栄浦、第3分団：日吉
8月12日	権太無縁故引揚者7名宿泊（当直日誌）
8月13日	権太引揚者7名宿泊（当直日誌）
8月14日	権太引揚者引っ越し（当直日誌） *大島の旧陸軍九五式三角兵舎を葺葺き、小破修理し、暫定的に引揚者 収容所に転用（引揚者住宅関係資料）
8月16日	日吉郵便局、集配郵便局となる〔常呂町史〕
8月21日	常呂製粉工場落成式（当直日誌）
8月25日	食糧調整委員会委員選挙執行〔当直日誌〕
8月28日	権太引揚者3名宿泊（当直日誌）
8月28日	小島電気の請負で電化工事、土佐・岐阜全地区の工事完了、同時に両地区に 送電（土佐郷土史）
9月2日	豊川郵便局、電話交換業務開始〔常呂町史〕 富丘の佐野市衛宅と豊川の江田宅とで1本の回線を共有して電話を設置 電話番号は乙の3番（富丘百年史）
9月20日	常呂中学校、第1回校内マラソン大会開催（常呂中20年のあゆみ）
9月28日	初めて村内中学校陸上競技大会を開催（常呂中20年のあゆみ）
9月	豊川の出張装蹄所が直営より請負いに切替え〔農協20年史〕
10月1日	北見営林署常呂担当区を栄浦担当区（6線8号）・日吉担当区に分割改正、 事務所設置、3担当区事務所となる（岐阜部落沿革史）
10月1日	岐阜苗畑事務所が設置〔常呂町史〕
10月1日	臨時国勢調査施行
10月8日	「吉野部落費決算報告書」に、日吉病院開院費として200円部落徴収、 同額支出記載 *日吉病院：診療所を指すと思われるが他に資料なし
10月20日	豊川郵便局、電話交換事務開始 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
10月	岐阜地区の一部に、電気点灯（岐阜百年記念史）
11月5日	農業会事務所新築完成（11.15～16落成式挙行、 昭和21.8.10地鎮祭）〔常呂町農協20年史〕
11月16日	厚生病院地鎮祭〔当直日誌〕
11月19日	農業協同組合法・農業団体調整法公布〔法〕

		11月25日	常呂厚生病院上棟式・祝賀会：議事堂（当直日誌）
		11月30日	常呂中学校と常呂小学校合同の第1回学芸会開催（常呂中20年のあゆみ）
		12月	農業災害補償法公布（農協50年史）
	昭和22年		<p>猿間湖漁業共同組合結成（常呂・佐呂間・湧別）（常呂町史）</p> <p>常呂村青年団体協議会組織される（昭和33年に常呂町青年団体連絡協議会と改称）（常呂町史）</p> <p>曹洞宗天龍寺本堂落成（天龍寺保存の写真に記載）</p> <p>衛生組合設立総会開催（昭23.8設立）</p> <p>桜田日善が来村、法華宗布教にあたる（常呂町大観）</p> <p>専務理事に高田良一就任。（常呂漁協40年誌）</p> <p>川西第2実行組合、澱粉工場を経営（共立百年史）</p> <p>将来農作業に三相の必要を感じ、川西地区十号で道々より西1線まで高压線1本1万円で設置。羽石茂一～田中光一まで通電。（共立百年史）</p> <p>岐阜警防団発足（岐阜百年記念史）</p> <p>（日吉小）教科書の配給が極端に遅く、極力努力するも支障少なからず。紙不足で教科書は最大3割程度との通報あり（日吉小学校学事報告）</p> <p>（日吉小）石炭を薪に切り替え。ストーブを薪ストーブに取り替え、職員室のみ石炭ストーブ（日吉小学校学事報告）</p> <p>男女合併の土佐青年団再結成、常呂村青年団体協議会に加盟。巡回映画・浪曲会などの慰安行事（土佐郷土史）</p> <p>融和組合設立（岐阜百年記念史）</p> <p>戦後入植、川崎長雄・井出護・真鍋正永・松本重明・村田弥五郎 岡田次郎・鈴木金三郎（富丘百年史）</p>
昭和23年	1948	<p>1月</p> <p>富丘地区総会で学校設置について協議、陳情〔富丘小学校30年誌〕</p> <p>1月</p> <p>常呂村議会で富丘開拓学校設置を議決〔富丘小学校30年誌〕</p> <p>1月31日</p> <p>農業協同組合設立発起人会開催〔常呂町農協20年史〕</p> <p>2月11日</p> <p>常呂村総合開発期成会発会式〔当直日誌〕</p> <p>2月13日</p> <p>富丘開拓学校落成式：常呂小〔当直日誌〕＊富丘小</p> <p>2月15日</p> <p>農業協同組合設立準備会開催〔常呂町農協20年史〕</p> <p>2月15日</p> <p>常呂神社山（神社スロープ）で第1回常呂中校内スキー大会開催 （常呂中20年のあゆみ）</p> <p>常呂小学校・常呂中学校合同スキー大会（常呂小学校学事報告）</p> <p>2月</p> <p>岐阜青年団解散式</p> <p>3月1日</p> <p>土佐に森林愛護組合設立（土佐郷土史）</p> <p>3月5日</p> <p>常呂村農業協同組合設立総会：出席人員312名（常呂町農協20年史） ＊3月18日設立認可申請、3月26日認可、4月10日登記完了</p> <p>3月19日</p> <p>常呂中学校、第1回卒業式を挙行、あわせて常呂中学校同窓会を設立 （常呂中20年のあゆみ）</p> <p>3月25日</p> <p>役員会開催：初代組合長に藤吉玉一、副組合長に近藤貞良、代表監事に梅田勇吉をそれぞれ選出、就任（農協50年史）</p> <p>3月26日</p> <p>農業協同組合設立により常呂村農業会解散</p> <p>3月</p> <p>北海道拓殖銀行網走支店常呂取扱所廃止（北海道銀行常呂支店設置陳情書） 職員1人 預金高：推定700万円</p> <p>4月1日</p> <p>（常呂小）12学級編成認可（常呂小百年史）</p> <p>4月1日</p> <p>（日吉小）保護者会、後援会は発展的解消し「日吉校父母と先生の会」と改称する。（日吉小80年史）</p> <p>4月1日</p> <p>（常呂中）5学級編成認可（常呂中20年のあゆみ）</p> <p>4月10日</p> <p>朝日町内会設立祝賀会：可児宅（当直日誌）</p> <p>4月18日</p> <p>北海道開拓者連盟常呂支部組織される（常呂町史）</p>	

4月28日	常呂村農業共済組合設立登記完了：字常呂608番地（常呂町農協20年史）
5月5日	常呂鉦山閉山。鉦区は国力鉦山が買収（常呂町百年史）
5月6日	（権太引揚）無縁故者収容所上棟式（当直日誌） *元陸軍三角兵舎（大島：字常呂63番地）を引揚者収容所に転用する改修工事（3月20-31日：引揚者収容所転用工事資料） *昭和22年設置の旧陸軍三角兵舎活用の引揚者収容所を開進町に移築（昭和39年引揚者住宅実態調査）
5月8日	開設準備中の家畜診療所焼失、自動車車庫を充当して家畜の診療（常呂町農協20年史）
5月9日	午後1時5分日食（9分4厘位）（福山小学校沿革誌）
5月22日	市街電線張替工事、工夫7名宿泊す（当直日誌）
5月28日	常呂町開拓農業協同組合設立総会（常呂町農協20年史） *7月19日設立登記・発足（義父12名、東浜18名、富丘4名、福山4名、日吉7名、吉野10名 計77名）
5月	岐阜澱粉工場創立、株主97戸（岐阜部落沿革史）
5月	常呂町遺族会結成（常呂町遺族会40周年記念誌）
5月	桃源農事実行組合設立（岐阜百年記念史）
6月1日	豊川青年団、男女合併（豊川百年史）
6月6日	ポンプ井戸掘り始める（福山小学校沿革誌）
6月9日	ポンプ小屋建て終わる（福山小学校沿革誌）
6月	常呂婦人会設立（会員80名）〔常呂婦人会30年のあゆみ〕
7月1日	北向勝雄、有限会社北向水産創業：字常呂103番地（常呂町大観）
7月4日	岐阜橋修繕杭打ち、村長現場へ（当直日誌）
7月6日	権太引揚者一行8名到着（当直日誌）
7月21日	臨時総会開催（農協50年史） 提案事項①種牡馬の購入について、農家の経済的窮乏により次期尚早とし、（賛成69名、不賛成85名）否決 ②豊川支所新築について、建坪27坪、工費30万円可決
8月1日	常呂川治水工事起工記念聖徳太子祭典：富丘高德寺（当直日誌）
8月15日	洪水（福山小学校沿革誌）
8月31日	岡崎弘入植（富丘百年史）
8月	衛生協会（会長上杉隆晶）設立。
8月	カラフトから西内信義入植（富丘百年史）
9月30日	常呂村国民健康保険診療所（常呂村国保病院）落成開設祝賀会〔当直日誌〕
10月1日	北海道厚生農業協同組合連合会に病院経営を委託（常呂町史） *常呂厚生病院：医師／中台靖昌・中台泰士
10月3日	共立協同澱粉工場落成式〔当直日誌〕
10月5日	北海道教育委員会委員第1回選挙施行〔当直日誌〕
10月8日	日吉中学校校舎増築工事着手（日吉中学校のあゆみ）
10月30日	（常呂高校）北海道網走高等学校常呂分校として設立認可される。定時制（夜間）課程の1学級編成で常呂中学校の2教室を借用し、仮校舎とする。（常呂高校40年史）
10月31日	常呂小学校学芸会：常呂劇場（当直日誌）
11月13日	（常呂高校）第1回入学生の入学試験を施行（常呂高校40年史） 網走高校常呂分校入学検査：於常呂中学校（当直日誌）
11月16日	獣魂祭（当直日誌）
11月19日	（常呂高校）常呂分校の開校式および入学式を挙行（第1学年・21名。第2学年・15名、第3学年・11名）（常呂高校40年史） 定時制高校開校式：常呂中学校（当直日誌 常呂高校創立20周年記念誌）
11月23日	屠殺場上棟式：可児勘一郎宅（当直日誌）*簡易と殺場：朝日町

昭和23年		11月26日	(常呂高校) 授業開始 (常呂高校40年史)
		12月15日	水産業協同組合法公布〔法〕(24.2.15施行)〔新北海道史年表〕
		12月15日	日吉中学校校舎増築、落成式。記念展覧会を実施(日吉中学校のあゆみ)
		12月21日	簡易屠殺場落成式〔当直日誌〕*簡易と殺場:朝日町
			農業調整委員会・農業改良委員会設置(常呂町史)
			日吉の今井信、日吉澱粉工場操業開始(常呂町史)
			桜田日善が磯谷・伊原らに依って法華宗布教所設立:後の立正寺 (常呂町史 常呂町大観)
			農業共済組合設置〔常呂町岐阜のあゆみ〕
			農民同盟設立(岐阜百年記念史)
			豊川青年団:男子青年団と女子青年団が合同(いわけしゅ)
			北電の電気、岐阜の一部に通電〔常呂町岐阜のあゆみ〕
			自家受電組合設立。岐阜地区6割くらい点灯(岐阜百年記念史)
	昭和24年	1949	1月10日
1月			富丘小中学校の建設場所が15号4線の現在地に決定(富丘百年史) *富丘小学校
2月27日			(常呂高校)各教室への電灯設備工事が完成するが、電力事情が悪化。校舎使用困難のため、役場議事堂に於いて授業を行う。(常呂高校40年史)
2月			水産業協同組合法施行。12月、現行漁業法制度。(常呂漁協40年誌)
3月11日			第2回臨時総会開催(農協50年史) (1)役員任期満了により改選 (2)提案事項:①種牡馬の購入について75万円可決 ②農業倉庫、岐阜75坪、本部50坪可決
3月20日			国民健康保険条例制定(常呂町史)
3月21日			常呂家畜事業組合発会式〔当直日誌〕
3月29日			(常呂高校)生徒自治会(現生徒会)設立(常呂高校40年史)
4月1日			(常呂高校)2学級編成が許可される。(常呂高校40年史)
4月1日			(常呂中)6学級編成認可(常呂中20年のあゆみ)
4月1日			国民健康保険組合は村営に移管〔常呂町史〕
4月1日			常呂村区制実施(昭和15年11月20日:区制廃止、部落会に改組) (区長会議議案:4月13日開催)
4月3日			サマータイム実施:9月10日終了(日吉小学校学事報告)
4月6日			小学校教室上棟式:常呂小学校(当直日誌)
4月12日			水産業共同組合法制定で常呂漁業会解散準備総会:漁業会〔当直日誌〕
4月13日			町内会解散、区長制採用により第1回区長会議〔当直日誌〕
4月24日			網走高等技芸学校常呂分校設置懇談会:委員会室(当直日誌)
4月24日			(常呂高校)定時制高校入学試験:於中学校(当直日誌)
4月25日			常呂漁業協同組合創立総会:常呂漁業会会議室 午前10時 午後2時30分選挙、初代組合長に佐藤富蔵選任 午後7時15分閉幕 (常呂漁協40年誌)
4月28日			常呂定時制高等学校入学式〔当直日誌〕

4月30日	種馬所業務開設（旧土佐住宅）（農協50年史）
4月	常呂村がワッカ放牧場経営を常呂村農協に委託（区長会議議案）
4月	農業改良普及員配置（常呂町史）
5月4日	日吉地区農機具工場設置決定〔常呂町農協20年史〕
5月5日	吉野小学校開校30年記念行事として学芸会（吉野小学校学事報告）
5月8日	吉野小学校開校30年記念式典・祝賀会（吉野小学校学事報告） 「吉野区決算報告書」に開校30周年祝賀会費の支出記載
5月10日	第1回通常総会開催（農協50年史）
5月12日	日吉橋、増水のため流失（当直日誌）
5月16日	旧陸軍三角兵舎の一部を移築、引揚者住宅（樺太引揚者収容所）に転用申請 開進町：字常呂523番地 1棟60人収容（引揚者関係資料）
5月24日	村議会において予算額442万8千円で常呂村字土佐2番地に常呂中学校 独立校舎建築を可決する（常呂中20年のあゆみ）（当直日誌）
5月	富丘小中学校の建築を佐藤君衛・伊藤政治が請負人となり、部落民の協力で 工事着手（富丘百年史） *富丘小学校
6月1日	常呂村役場日吉支所開所（6.16開所式）〔当直日誌〕
6月1日	釧路司法事務局常呂出張所が釧路地方法務局常呂出張所と改称（常呂町史）
6月1日	常呂漁業協同組合設立申請書を北海道知事に提出（常呂漁協40年誌）
6月30日	常呂漁業協同組合が漁第568号指令で承認、8月22日登記完了 常呂漁業協同組合が発足（常呂漁協40年誌）
6月30日	占領軍、出漁違反取締りのため漁業監視制度を設定。〔新北海道史年表〕
6月	土地改良法公布
6月	常呂村農業振興5か年計画の樹立（常呂町史）
6月	カラフトより佐藤勝治入植（富丘百年史）
7月1日	（常呂小）27坪半増築（常呂小百年史）
7月6日	（常呂中）初めて3年生が札幌方面に修学旅行（常呂中20年のあゆみ）
7月25日	常呂中学校3周年記念祝賀会（学校職員クラブ主催）（当直日誌）
7月31日	全道青年角力大会（相撲大会）北見地区予選：於小高神社境内（当直日誌）
7月	土佐の清水太郎が保道車馬車を導入。運搬能力の高率で注目（土佐郷土史）
8月8日	川東共同牧場放牧開始。
8月9日	常呂中学校建設地鎮祭（当直日誌）
8月11日	農協豊川支所新築事務所上棟式〔常呂町農協20年史〕
8月15日	株式会社リョーユウ常呂営業所創立：字常呂333番地（常呂町大観）
8月22日	常呂漁業協同組合創立（登記）組合長 佐藤富蔵正組合員232名
8月23日	富丘小中学校上棟式（富丘百年史） *富丘小学校
8月24日	常呂高等技芸学校設立〔町勢要覧〕
8月26日	農協日吉支所新築事務所上棟式〔農協20年史〕
8月30日	本部精製澱粉工場上棟式〔農協20年史〕
8月	北見営林署岐阜苗畑事業所開設（土佐郷土史） *岐阜部落沿革史では昭和27年4月1日
9月3日	（常呂中）管内中学校野球大会に初参加（常呂中20年のあゆみ）
9月6日	新制中学校（常呂中学校）上棟式（当直日誌）
9月8日	農協岐阜倉庫上棟式（農協50年史）
9月10日	常呂神社祭典奉納町内対抗野球大会（～11日）栄町優勝（当直日誌）
9月19日	占領軍、第3次漁業操業許可海域を設定、海区拡張さる。〔新北海道史年表〕
9月23日	川沿中学校上棟式（当直日誌）
9月25日	常呂郵便局、現在地に新築移転落成式：役場会議室〔当直日誌〕 常呂郵便局、常呂町字常呂332番地に新築移転 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
10月4日	常呂漁業会の資産処理委員会開催（常呂漁協40年誌）

	10月15日	(常呂高校)開校1周年を迎える(常呂高校40年史)
	10月20日	道議会林務委員、道立公園地帯選定調査一行来村(当直日誌)
	10月20日	吉野小学校開校30周年記念行事として校舎裏にツツジ植樹 (吉野小学校学事報告)
	10月28日	北見市北成土建会社の請負により、常呂中学校校舎落成、328坪。 土佐2番地(当直日誌・常呂中20年のあゆみ・常呂町史)
	10月	カラフトより矢野菊馬・柳谷石太郎入植(富丘百年史)
	11月2日	引揚者住宅新築工事着工(字常呂518.519番地:開進町 2棟5戸) (引揚者住宅関係資料)
	11月3日	化製工場上棟式〔常呂町農協20年史〕 本施設は、弊獣商品化の目的で設置したが未使用のまま他に賃貸 35年に売却処分した。(農協50年史)
	11月3日	常呂中学校落成式、盛会に終了(当直日誌・常呂中20年のあゆみ)
	11月7日	川沿中学校校舎増築落成。普通教室2廊下55坪(川沿小百年史 当直日誌)
	11月15日	常呂村農業協同組合日吉支所落成式〔常呂町農協20年史〕
	11月22日	精製澱粉工場検定試験運転実施〔常呂町農協20年史〕
	11月25日	常呂村農業協同組合豊川支所落成式〔常呂町農協20年史〕 農産物品評会:豊川支所(当直日誌)
	11月30日	引揚者住宅竣工:開進町(字常呂518.519番地 2棟5戸) (引揚者住宅関係資料)
	12月6日	(錦水小)錦水中学校1教室新築(錦水小50年史)
	12月7日	(ラジオ)市街配線工事完了、上杉旅館(常呂館)において電工慰労会 (当直日誌)
	12月15日	日吉小学校創立40周年記念式典・祝賀会挙行。記念書画展覧会を実施 (日吉小80年史) 母の会よりオルガン1台寄贈(日吉小学校沿革史)
	12月15日	改正漁業法公布〔法〕(25.3.14施行)
	12月17日	土佐地区42戸をモデルにラジオ共同聴取地区として設置 (翌年1.18第1声)〔常呂町史〕
	12月23日	ラジオ共同聴取事業を決定〔常呂町農協20年史〕
	12月25日	新漁業法公布に伴い海区漁業制度が発足し、海区漁業調整委員会設置。 〔常呂町史〕
	12月	岐阜青年団再結成(男女合同となる)(岐阜百年記念史) *昭和23年旧青年団解散、24年12月新制青年団設立(岐阜部落沿革史)
昭和24年		常呂川河口修築第2期工事竣工(昭和12年7月10日着工)(常呂町史) 岐阜共同澱粉工場操業〔常呂町岐阜のあゆみ〕 昭和24.25年頃、富田牧場で草競馬開催、春1日、秋2日は草競馬の日 だった(ところ通信1993:林照忠) 常呂郵便局の新築移転後、旧建物を常呂館(上杉旅館)として営業開始 *12月6日7日に上杉旅館利用(当直日誌) 岐阜・土佐の電気施設を北海道配電会社に移管。 自電受電組合、北電に移管〔常呂町岐阜のあゆみ〕 栄浦担当区設置、岐阜共同澱粉工場創業に伴い、電話の必要性高まり、 岐阜地区では、澱粉工場、高橋商店、林隆、錦水小学校校長調住宅玄関に 簡易電話敷設(岐阜百年記念史) 共立青年団男女合併(共立百年史) 豊川基線15号で江田由蔵、澱粉工場建設:昭和35年閉鎖(豊川百年史) 電牧による放牧養豚、豚草群生地基線7号西側で始める(共立百年史) 農協、岐阜倉庫建設(岐阜百年記念史) 学校の井戸100尺掘る。臼井万作責任者となる(富丘百年史) (吉野)全戸に共同聴取施設をする様働きかけてこれが完成を見るにおよび

			<p>部落内の連絡は勿論、農協との連絡も出来、農業経営に大きな助けとなった。 (日吉百年史)</p> <p>北海道電力が吉野南部地区に電気施設設置、通電(吉野50年のあゆみ)</p>
昭和25年	1950	1月13日	引揚者住宅検定(当直日誌) *開進町518、519番地住宅
		1月18日	土佐地区、ラジオ共同聴取施設着工〔常呂町農協20年史〕
		1月20日	社会教育委員制度が制定(10名任命)(常呂町史)
		2月14日	東浜地区、ラジオ共同聴取施設着工〔常呂町農協20年史〕
		2月17日	全村スキー大会打ち合わせ:委員室(当直日誌)
		2月19日	全村スキー大会:常呂神社スロープ(当直日誌)
		2月	国力鉱山株式会社創立〔針田鉱業株式会社概況書〕
		2月	化製工場完成(昭和24年1月3日上棟式)(常呂町農協20年史)
		2月	常呂村排水土功組合総会:土地改良区への組織変更協議(土地改良区要覧)
		3月6日	常呂技芸学校開校式(当直日誌)
		3月19日	富丘地区、ラジオ共同聴取施設完成〔常呂町農協20年史〕
		3月25日	常呂任意商工会発足〔常呂町史〕
		3月30日	岐阜地区、ラジオ共同聴取施設完成〔常呂町農協20年史〕
		3月	(吉野小)ラジオ共同聴取施設設置(吉野・登小閉校記念誌)
		4月1日	(常呂小)13学級編成認可(常呂小百年史)
		4月1日	富丘小中学校開校式(昭和24年5月着工)〔富丘小学校30年誌〕 *富丘小学校校章制定:初代校長/加藤吉治考案デザイン (富丘小学校開校50周年記念誌)
		4月1日	網走高等学校常呂分校を北海道網走南ヶ丘高等学校常呂分校と改称 3学級編成認可(常呂高校創立20周年記念誌)
		4月1日	(川沿小)常呂村立富丘中学校開校に伴い通学区域を変更、川沿中学校生徒 19名を富丘中学校に移籍。(川沿小百年史)
		4月1日	政府、水産物に対する配給・価格の統制を全面撤廃。〔新北海道史年表〕
		4月10日	常呂中学校生徒会を設立(常呂中20年のあゆみ)
		4月10日	共立架橋(共立橋)完成式:共立会館〔当直日誌〕 木造吊り橋が老朽化のため、コンクリート製吊り橋(共立橋)に架け替え 部落共同の事業で基礎工事のコンクリート練り出役(共立百年史)
		4月12日	常呂漁協臨時総会で生鮮魚貝類の全面的統制撤廃により、常呂魚菜卸売市場 設置を可決(常呂漁協40年誌)
		4月20日	常呂町酪農振興会(常呂町農協酪農振興会)設立 (酪農振興会創立30年記念史)
		4月21日	常呂座(常呂劇場)より浪曲中継放送(ラジオ共同聴取放送)(当直日誌)
		4月23日	ラジオ共同聴取放送所開局〔常呂町史〕 ラジオ共同聴取放送所開局記念式典:常呂劇場(当直日誌)
		4月23日	常呂村ラジオ共同聴取連絡協議会結成(会長藤吉玉一、事務局伊藤広重) (農協50年史)
		4月	常呂高等学校校舎新築(常呂町史)
		4月	岐阜青年会・処女会が合併、岐阜青年団となる(岐阜部落沿革史)
		5月1日	日吉橋渡橋式(当直日誌)
		5月2日	漁港法公布〔法〕
		5月4日	常呂村排水土功組合を常呂村土地改良区と改称(常呂町土地改良区要覧)
		5月13日	漁船法公布〔法〕
		5月17日	常呂中学校グラウンド整地作業のため、3日間父兄総出動(当直日誌)
		5月18日	福山小学校児童が役場へ行き、音楽放送(ラジオ放送)(福山小学事報告)
		5月19日	常呂中グラウンド完成(常呂中20年のあゆみ)
		5月20日	網走信用協同組合常呂支所開設(網走信用金庫常呂支店の礎)

	職員数4人 預金高8,000万円
5月21日	降雪あり(当直日誌)
5月24日	本日議会に於いて新制中学建築決定(当直日誌)
5月31日	第2回通常総会開催(常呂町農協50年史)
6月1日	農協から家畜診療事業を共済組合に移管〔常呂町農協20年史〕
6月2日	村議会で町制を議決(常呂町史)
6月15日	吉野小学校・吉野青年団合同運動会(昭和27年まで3年連続) 昭和28年以降は「運動会」のみの記載(吉野小学校学事報告)
6月26日	商工会運動会:職域・役場優勝、総合・栄町優勝(当直日誌)
6月26日	富丘小中学校第1回運動会開催 4/25 学校敷地に火入れ 4/27-29 校下父兄出動して学校周囲・グラウンド整地 5/11 富丘青年団の校地美化作業 5/27-29 校下父兄出動してグラウンド地均し (富丘小開校30周年記念誌) *富丘小学校・富丘中学校
6月	土地改良事業(客土)始まる。(昭和35年完工)
7月1日	川沿小学校、開校50周年記念式典挙行(川沿小沿革) *卒業生らの篤志寄附でピアノ1台購入、運動会で披露 川沿小のオルガンを富丘小に寄贈(川沿小百年史)
7月3日	ミス常呂審査委員会:村長室・午後7時~9時(当直日誌)
7月8日	常呂港築設起工式役員会(当直日誌)
7月10日	農協第2回理事会で熊狩懸賞募集:熊1頭1万円(常呂町農協20周年記念誌)
7月16日	川東共同牧場完成式:常呂町農協本部会議室(常呂町農協20周年記念誌)
7月18日	(常呂小)常呂湾港起行式旗行列(常呂小百年史) (常呂中)常呂港起工式に全校生徒旗行列に参加(常呂中20年のあゆみ) 常呂漁港修築工事起工式、祝賀会〔当直日誌〕
7月24日	(常呂小)北海道博覧会見学旅行:旭川・6年修学旅行再開(常呂小百年史)
7月24日	(日吉小)児童生徒北海道博覧会:旭川見学旅行を実施(日吉小80年史)
7月27日	基督兄弟団網走教会からの出張布教開始(常呂町史)
7月28日	日吉中学校校舎増築工事に着手(日吉中学校のあゆみ)
7月	町制施行資料調査開始(常呂町史)
7月	(福山小)校舎増築(2教室)(福山小休校記念誌)
8月13日	(常呂中)第一方面中学校排球大会(バレーボール大会)に初参加 (常呂中20年のあゆみ)
8月14日	錦水小学校上棟式(当直日誌)
8月25日	臨時総会開催。役員総辞職のため改選(農協50年史)
8月30日	二代組合長として近藤貞良選出、就任(農協50年史)
8月	サロマ湖、道立公園の指定を受ける(常呂町百年史)
8月	道知事に対して町制施行を申請(常呂町史)
9月3日	11時より11時40分日食観測(福山小学校沿革誌)
9月14日	道議会総務委員・道地方課らの町制施行現地調査(常呂町史)
9月23日	(常呂中)第一方面中学校陸上競技大会を常呂中で開催 (常呂中20年のあゆみ)
9月24日	常呂小学校にピアノ1台到着(常呂小学校学事報告)
9月29日	常呂漁協が北海道市場令の施行に伴い、従来の出荷部を魚菜卸売市場として 発足、独立採算制を採用して業務開始(常呂漁協40年誌)
10月1日	常呂小学校2教室増築完成・使用(常呂小学校学事報告)
10月14日	議事堂においてナトコ映画会開催:無料(当直日誌)
10月13日	福山小学校開校25周年記念事業として同窓会創立(福山小学事報告) 開校25周年記念事業として文庫を置く(福山小学校開校60周年誌)
10月15日	小田武雄、末広餅店・末広食堂創業:字常呂548番地(常呂町大観)
10月23日	川沿中学校校舎増築、普通教室2、家庭科教室1、工作技術教室1

	計331㎡及び玄関の改築78.5坪（川沿中学校のあゆみ 川沿小学校百年史）
10月21日	道議会で採択議決、常呂村を常呂町とする〔告示〕（11.1施行）
10月31日	日吉中学校増築校舎落成（日吉中学校のあゆみ）
10月	国勢調査実施される。
11月1日	町制施行により常呂町立日吉小中学校と改称する（日吉小80年史）
11月1日	1日町制施行、字名地番を改称〔町制ガイド〕*常呂町字常呂323番地 町制施行、第1回町議会：議事堂、町制施行祝賀協賛会：議事堂（当直日誌） 常呂町紋章制定、紋章入り町旗制定
11月1日	町制施行により常呂町立常呂中学校と名称改称（常呂中20年のあゆみ）
11月3日	（錦水小）錦水中学校2教室増築（錦水小50年史）
11月20日	（常呂小）町制施行祝賀会旗行列（常呂小百年史）
11月20日	開基70周年ならびに町制施行記念式典挙行：常呂小学校〔当直日誌〕 （常呂中）町制施行祝賀旗行列に参加（常呂中20年のあゆみ）
11月20日	（日吉小）町制施行祝賀会記念キャラメルが町から児童に配布 （日吉小学校学事報告）
11月20日	未明に増水2メートルに達し、太幌橋のコンクリート打込枠流失（当直日誌）
11月21日	記念映画の夕べ：常呂劇場、総合美術展：議事堂、児童展示会：常呂小学校 （当直日誌）
11月23日	町長、太幌橋工事視察（当直日誌）
11月28日	風害で常呂中学校の便所屋根・玄関屋根、校長住宅 樺太引揚無縁故者収容所（引揚者住宅：字常呂519番地）、風害のため 収容所屋根が破損し、居住者大人30余名委員会室で1泊（当直日誌） 11月29日、風害のため本日も停電（当直日誌）
11月	富丘小学校に電話開通（富丘百年史）
11月	（常青協）常呂町青年団体協議会結成。（常青協25周年記念誌）
12月6日	常呂町農業共済組合家畜診療所日吉支所を建設、診療業務開始 （常呂町農協創立20年記念誌）
12月11日	常呂町農業共済家畜診療所日吉支所落成式（当直日誌）
12月11日	富丘地区一部通電、電気が初めて灯る（富丘百年史）
12月23日	（常呂小）DDT撒布（常呂小百年史）
12月25日	常呂トラック有限会社が網走トラック常呂営業所から独立 昭和26年2月1日から営業開始：字土佐57番地5（常呂町史） *「常呂町大観」では、昭和26年1月26日創立
昭和25年	網走外2郡鮭鱒養殖水産組合設立（昭和9年4月民営孵化場の国営移管に伴い活動中止）
	登青年団結成 *昭和35年4月16日撮影の登青年団創立10周年記念写真あり
	富丘小学校校章制定（初代校長考案：中央に「富」、そこから伸びる針葉樹 広葉樹をデザイン（富丘小30周年記念誌）
	横山・上杉・斎藤・船戸出資の富丘澱粉工場操業開始（14号西2線） 年間加工数量2万俵、工員20人以上、町内最大級の工場。昭和32年頃 操業停止（富丘百年史）
	日吉小学校の校章制定（25年頃）桂の葉を図案化 （日吉小開校80周年記念学校沿革詳細）
	常呂小学校に卓球台寄贈（寄付金で製作）（常呂小学校学事報告）
	土佐青年団、女子青年団と合併、改組土佐青年団として再発足（土佐郷土史）
	種馬所（旧土佐公営住宅）構内で農協主催の鞭馬競争開催。各部落から 各種目に出場：リレー、一寸引、三歳一寸引（土佐郷土史）
	堀口辰雄が市街鈴木鉄工場（現在の三興精機）で自動車の部品を改造して 農発4馬力のエンジンを載せトラクター試運転。牧草刈り程度の作業に使用。

			<p>農耕には使用不可（土佐郷土史）</p> <p>佐藤組合長再選（常呂漁協40年誌）</p> <p>排水土功組合を土地改良区と改称（共立百年史）</p> <p>技芸学校岐阜分校開校（岐阜百年記念史）</p> <p>牛の人工授精始まる（岐阜百年記念史）</p> <p>堤外からの軌道客土による土地改良実施、この客土で泥炭地帯の生産が急速に伸び、泥炭地で耕作不能とされたビート耕作が可能に（豊川区開基百年誌）</p> <p>富丘に横島商店開店（富丘百年史）</p> <p>コンクリートブロックのサイロが建て始められる（共立百年史）</p> <p>農村巡回映画（地区連主催）を年間行事として実施（農協50年史）</p>
昭和26年	1951	<p>1月13日 豊川でクマ送り行われる（～15日）（網走管内ニュース）*熊送り</p> <p>1月14日 常呂村字豊川部落に於いて熊祭り挙行（当直日誌）</p> <p>1月16日 熊祭り関係者来庁（当直日誌）</p> <p>2月1日 （常呂高校）独立校舎設置促進のため、校舎問題座談会を開催、全員一致にて町議会に積極的に働きかけることを決定（常呂高校40年史）</p> <p>2月18日 常呂町青年会結成準備会（当直日誌）</p> <p>2月26日 常呂町青年会打合せ会：委員室（当直日誌）</p> <p>3月1日 常呂町青年会結成、雨天・停電のため流会（当直日誌）</p> <p>3月6日 常呂町青年会結成式（当直日誌）</p> <p>3月15日 太幌橋、架け替え工事竣工式：福山〔当直日誌〕</p> <p>3月18日 常呂町青年会機関紙発行協議会：午後7時～10時（当直日誌）</p> <p>3月18日 常呂青年会機関紙発行協議会：午後7時から10時（当直日誌）</p> <p>3月21日 （常呂高校）町議会議事堂に於いて第1回卒業生の卒業証書伝達式を挙行 卒業生2名（常呂高校創立20周年記念誌 常呂高校40年史） 定時制高校卒業式、町長臨席（当直日誌）</p> <p>3月25日 本日、常呂橋下川氷陥落（当直日誌）</p> <p>3月 北海道食糧検査事務所豊川駐在所再設置：昭和51年8月廃止（豊川百年史）</p> <p>4月1日 （常呂小）14学級編成認可（常呂小百年史）</p> <p>4月1日 （常呂高校）4学級編成となる（常呂高校40年史）</p> <p>4月1日 北見バス網走支社設立（網走バスの前身）、営業の拡大強化、 *常呂線（大曲三眺入口～常呂：31.1km）（網走バス50周年記念誌）</p> <p>4月1日 佐藤鉄男、まるちよ商店創業：字常呂227番地（常呂町大観） *スーパーまるちよ：丸千代</p> <p>4月4日 小林町長任期満了、退職〔当直日誌〕</p> <p>4月5日 常呂町青年団連絡協議会：議事堂（当直日誌）</p> <p>4月7日 農漁業協同組合再建整備法公布〔法〕</p> <p>4月23日 常呂町長・町議会議員選挙執行（22名選出）〔当直日誌〕</p> <p>4月25日 常呂町長小林千代松再選（常呂町史）</p> <p>4月 農協簿記システムを組合簿記（借方・入金・貸方出金）から貸借簿記（借方出金・貸方入金）に改正（農協50年史）</p> <p>4月 小中学校連合PTA結成（常呂町史）</p> <p>5月1日 常呂中学校開校記念日の式を挙行（常呂中20年のあゆみ）</p> <p>5月16日 定時制高校（常呂高校）敷地を元中学校実習地に決定（当直日誌）</p> <p>5月18日 常呂町から札幌陸運局に網走・卯原内間運行乗合自動車（乗合バス）の常呂町まで延長雲底請願（請願書）</p> <p>5月31日 第3回通常総会開催。役員が一部辞任したため補欠選挙実施（農協50年史）</p> <p>5月16日 高清水慶吉、専務理事（常勤）に決定（農協50年史）</p> <p>6月15日 常呂町から札幌陸運局に網走・常呂間のバス臨時運行許可お礼とバス運行本申請（北見バス）許可依頼（請願書）</p>	

	6月20日	水道水源地調査、町長・町議随行（当直日誌）
	6月23日	長船参事逝去（農協50年史）
	6月	国力鉱山株式会社は針田鉱業株式会社と商号を変更 〔針田鉱業株式会社概況書〕
	7月1日	常呂魚漁協同組合臨時総会開催。新しい漁業法制定によりすべての漁業権が 国に返還、その補償として漁業権証券が常呂漁業会専用漁業権に対して 27,293千円交付、設立済みの漁業協同組合に分割（常呂漁協40年誌）
	7月2日	中湧網線状況視察のため国鉄営業局武田課長一行来町
	7月11日	農業調整委員会・農地委員会解散式〔当直日誌〕
	7月19日	（常呂高校）新校舎建築杭打式が行われる（常呂高校40年史）
	7月20日	農業委員会設置され、農業委員選挙〔当直日誌〕
	8月1日	常呂町から国鉄へ富丘駅新設の陳情書提出（陳情書）
	8月16日	鮭定置漁業の常呂漁協自営問題で佐藤組合長辞職（常呂漁協40年誌）
	8月22日	第1回排球大会（第1回バレーボール大会）打合せ：委員室（当直日誌）
	9月1日	第一方面中体連野球、排球大会（バレーボール大会）を常呂中で開催 （常呂中20年のあゆみ）
	9月4日	対日講和会議サンフランシスコで開催〔新北海道史年表〕
	9月8日	対日平和条約調印（27.4.8発効）〔新北海道史年表〕
	9月13日	（常呂高校）新校舎棟上式が挙行される（常呂高校40年史）
	9月30日	開拓農業協同組合実状調査（道拓殖課大橋技官）〔当直日誌〕
	9月30日	中湧網線常呂町関係分実地踏査（国鉄中村技師、大橋技師）〔当直日誌〕
	9月末	開拓農業協同組合解散（常呂町農協創立20年史）
	9月	定置漁業権設定〔常呂町史〕
	9月	土佐の池知正雄が北見から5万6千円で保道車馬車を購入（土佐郷土史）
	10月1日	（常呂小）70坪（2教室・渡り廊下）増築（常呂小百年史）
	10月1日	常呂町国保病院開設3周年記念（当直日誌）
	10月3日	常呂高校校舎落成
	10月4日	資産処理委員会で配分率決定（常呂漁協分 会員130名 92.715% 佐呂間漁協分 会員19名 7.285%）（常呂漁協40年誌）
	10月5日	常呂漁協臨時総会で組合長選挙の結果、新谷広治理事当選、新組合長に （常呂漁協40年誌）
	10月31日	（豊川郵便局）郵便運送バス託送開始（北見バス） （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
	10月	消防第1分団に消防ポンプ自動車配置（常呂消防団100年記念誌）
	11月3日	富丘小中学校校舎竣工増築落成式（8月着工）〔当直日誌〕
	11月17日	常呂町・端野村の境界変更について端野村長来町〔当直日誌〕
	11月17日	富丘小中学校落成記念学芸会（当直日誌）
	11月22日	（常呂高校）独立校舎が完成。校舎坪数 123坪（常呂高校40年史）
	11月	本通地区に消防庁舎（木造2階建）完成（常呂町字常呂281番地） *消防自動車4台分の車庫 *当時は「消防番屋」とも呼称 （常呂消防団100年記念誌）
	12月3日	（常呂高校）独立校舎落成式を挙行。常呂町定時制高校網走分校開校式 （常呂高校創立20周年記念誌）
	12月25日	ダンスパーティ：議事堂（当直日誌）
	12月28日	網走バスに常呂一卯原内間運行の正式免許認可（郷土史うばらない） *北見バス株式会社の間違い
	12月31日	常呂漁業会の解散、清算人を選任して精算業務開始（常呂漁協40年誌）
昭和26年		サロマ湖帆立養殖事業施行（5ヶ年計画）（常呂町史） 網走支庁地区海扇（ホタテ）漁業振興会発足 常呂町国民保険税条例制定（常呂町百年史）

			<p>豊川・日吉・吉野火葬場の廃止、常呂火葬場に集中葬送（常呂町史）</p> <p>共立堤外地でワサビの栽培始まる（共立百年史）</p> <p>組合更生5ヶ年計画策定。新旧勘定設定再建に入る（常呂漁協40年誌）</p> <p>水産資源保護法制定。再建整備法制定施行（常呂漁協40年誌）</p> <p>共同漁業枚免許を受く（常呂漁協40年誌）</p> <p>湖畔農事実行組合設立（岐阜百年記念史）</p> <p>開拓で馬が使われる（富丘百年史）</p>
昭和27年	1952	1月1日	網走バス株式会社発足、社長横道四郎（網走市戦後年表）
		1月10日	常呂技芸学校豊川分校開校式（当直日誌）
		1月16日	常呂町農協青年部創立総会開催（常呂町農協青年部30年史） 部員数98人。初代部長に江口留八氏
		2月20日	サロマ湖専用漁業権に対する補償金800万円を基本財産として、常呂・佐呂間・湧別漁民をもってサロマ湖養殖漁業協同組合設立総会：留辺蘂温根湯ホテル（常呂漁協40年誌）
		3月3日	錦水小学校学芸会の最終に十勝沖地震発生。多数の観覧者総立ち （岐阜部落開基80周年記念誌）
		3月4日	常呂町農業協同組合精製澱粉工場及び4号倉庫焼失〔当直日誌〕常呂町農協
		3月15日	（常呂高校）常呂分校独立校舎に於いて、第2回卒業証書伝達式および 単位証書授与式が行われる。卒業生6名（常呂高校40年史）
		3月27日	常呂漁業会の精算総会開催、常呂漁業会名実ともに幕（常呂漁協40年誌）
		3月27日	助役公宅に電話開設（当直日誌）
		3月29日	牧野移管問題につき緊急理事会開催（農協50年史）
		3月	農協青年部豊川支部設立、豊川農協支所に事務所（イワケシュ郷土史）
		4月1日	（常呂小）収容人員整理のため12学級認可（常呂小百年史）
		4月3日	札幌市地質研究家山内氏来町、水道地質調査実施〔当直日誌〕
		4月16日	大島部落にある火薬庫調査、町長同行（当直日誌）*陸軍三角兵舎
		4月17日	サロマ湖流入の廃液処理方法改善のため、網走支庁阿部技師（土木現業所） 来町〔当直日誌〕
		4月28日	対日平和条約・日米安全保障条約発効〔新北海道史年表〕
		4月28日	中華民国との日華平和条約、台北で調印〔新北海道史年表〕
		4月30日	常呂漁業協同組合栄浦支所開設、業務開始（常呂漁協40年誌）常呂漁協
		5月1日	常呂小学校57周年記念式（常呂小学校学事報告）
		5月3日	（日吉小）町制施行記念植樹実施（苗木4000本）（日吉小80年史）
		5月3日	（常呂中）憲法記念日を記念して校内弁論大会開催（常呂中20年のあゆみ）
		5月15日	常呂製材所（大沢木材常呂製材所火災）網走・卯原内・佐呂間から消防団 応援（当直日誌） 農協購買倉庫1棟40坪類焼（5.16）〔常呂町農協20年史〕
		5月30日	富丘駅設置調査〔当直日誌〕
		6月2日	北見バス会社常呂営業所敷地調査：多田バス会社社長来庁（当直日誌） 栄浦道路測量（当直日誌）
		6月19日	精製澱粉工場および製麺工場の建設決定〔農協20年史〕
		6月21日	常呂・網走の境界実地調査〔当直日誌〕
		6月22日	常呂町体育連盟役員会：議事堂（当直日誌）
		6月25日	常呂漁協臨時総会で、単協の北洋進出の漁田開発用として1隻割り当て特別 融資枠認められ、漁船建造の特別融資申請可決（常呂漁協40年誌）
		7月7日	常呂町鳥瞰図作成のため、札幌市観光社北海道支社長伊藤政夫来町す *昭和28年町勢要覧折込（当直日誌）
		7月10日	（日吉小）移動動物園見学（北見市）（日吉小80年史）
		7月21日	交通安全協会常呂支部結成（当直日誌）

7月23日	大島・東浜地区住民により木製の角柱で「地神社」の碑を建立。
7月29日	常呂町体育連盟後援：網走南ヶ丘高校対網走向陽高校軟式野球試合 *前日、日吉中学校野球部が委員室に宿泊（当直日誌）
7月	常呂川北見改修事務所常呂詰所設置（常呂川治水史）
8月1日	常呂小学校でラジオ体操開始（常呂小学校学事報告） *昭和26年5月 現在の「ラジオ体操第1」制定、放送開始 *昭和27年6月 職場向けに現在のラジオ体操第2制定、放送開始
8月1日	中湧網線工事着工
8月5日	中湧網線着工祝賀会〔当直日誌〕8.1工事着手
8月8日	共立駅拡張のため土地交渉（当直日誌）
8月20日	水防組合設立協議会開催〔当直日誌〕
8月20日	精製澱粉工場および製麺工場上棟式〔農協20年史〕
8月25日	登小学校上棟式（当直日誌）
9月5日	中央館（映画上映・興行劇場常呂325番地）に映写室設置（300人収容） （設置届け） *後の常呂シネマ
9月6日	吉野小学校対日吉小学校野球試合（吉野小学校学事報告）
9月7日	常呂連合青年団野球及び排球大会：野球優勝・日吉 排球（バレーボール）優勝・常呂青年団（当直日誌）
9月8日	中湧網線建築列車共立まで〔当直日誌〕
9月23日	平林妙子女史及び主婦の友記者2名来町、議事堂で婦人会会意に講演。 続いて町内アイヌ民族生活・状況他を視察（当直日誌）
9月	心土耕トラクターTD6を道より借入れ、岐阜地区の心土耕改良工事施工 本町最初のトラクター（農協50年史）
10月4日	本部軟石倉庫（政府指定）上棟式（農協50年史）
10月5日	常呂町教育委員会教育委員選挙執行：31年に選挙制度廃止（常呂町史）
10月5日	常呂町国保病院病棟上棟式（当直日誌）
10月18日	（日吉小）実習地豆刈り作業（日吉小80年史）
10月21日	北見バス会社常呂営業所落成式（当直日誌）
10月21日	日吉小運動場（体育館）上棟式（当直日誌）*日吉小中学校体育館
10月23日	ポリー台風の大暴風浪により鮭定置網全統（大謀8本、中定3本）流失 40年来の大暴風浪で全滅（常呂漁協40年誌）
10月29日	（日吉小）植林地補植（3000本）（日吉小80年史）
10月	精製澱粉工場操業開始（8月20日上棟式）
11月1日	北海道常呂高等学校と改称（常呂高校創立20周年記念誌）
11月1日	常呂町教育委員会発足〔常呂町史〕
11月11日	（登小）登小学校開校式（1学級30名）（吉野・登小閉校記念誌）
11月20日	中湧網線（下佐呂間～常呂間）開通（12.6開通式）〔当直日誌〕
11月20日	北見共立駅設置（共立百年史） 共立駅創業により市街地形成、戸数増加：日通出張所・針田鉱業出張所・ 雪印集乳所開所、その後加藤木工場・藤の屋食堂・小栗商店・馬淵商店・ 小島商店・杉野商店開業。昭和29年パチンコ店開業、 昭和30年鷺見理容院開業（共立百年史） 川西1、2、3、川東、市街、共栄、鉄道班の7班となる（共立百年史）
11月21日	（常呂中）創立5周年記念事業として文化祭（3日間）開催 （常呂中20年のあゆみ）
11月22日	（常呂中）創立5周年記念式典挙行（常呂中20年のあゆみ）
11月	製麺工場試験操業開始〔常呂町農協20年史〕
12月3日	網走信用協同組合常呂支店：網走信金・網走信用金庫店舗新改築（常呂町史）
12月5日	（豊川郵便局）郵便運送バス託送便廃止 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）

	12月6日	中湧網線、常呂・下佐呂間間開通式挙行。（於下佐呂間小学校） （常呂中）湧網線開通式に全校生徒参加（常呂中20年のあゆみ） （富丘小）祝賀行事として旗行列を行い、全校生が北見富丘駅から下佐呂間駅まで乗車（富丘小開校30周年記念誌）			
	12月8日	常呂漁協事務所が狭隘のため現事務所左側に併設2階建て増築、完成 （1階事務所、2階小会議室）（常呂漁協40年誌）			
	12月12日	将来の北洋漁業進出のため建造計画中の漁田開発漁船（50トン型ジーゼル） 第一とところ丸起工式：室蘭市檜崎造船所（常呂漁協40年誌）			
	12月15日	常呂郵便局、増築（オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）			
	12月17日	豊川貯水池水入（当直日誌）			
	12月20日	日吉小中学校体育館落成式：屋内体操場（日吉小沿革史 日吉小80年史）			
	12月22日	富丘水道工事通水祝賀会：於富丘部落〔当直日誌〕 富丘小中学校に簡易水道敷かれる（富丘百年史）			
	12月31日	午後8時、町長年末のあいさつを全町に放送す：有線ラジオ放送（当直日誌）			
	12月	有線放送電話の前身、常呂町ラジオ共同聴取連絡協議会運営のラジオ共同 聴取放送施設竣工：通称TRK（昭和39年まで）（常呂町農協30年史）			
	昭和27年		札幌鉄道管理局服部英隆、富丘地区測量 鮭鱒定置漁業自営開始（常呂漁協40年誌） 猿間湖養殖漁業組合結成（採苗事業統一）〔昭40サロマ湖〕 （地区常呂、佐呂間、湧別）（常呂漁協40年誌） 北洋鮭鱒流網漁業船第1とところ丸起工（室蘭市檜崎造船所） （常呂漁協40年誌） 27年頃、北海道身体障害者福祉協会網走支庁支部常呂分会常呂町身体 障害者更生会（身体障害者福祉協会網走支庁支部常呂分会30年のあゆみ） 常呂高校（町立）定時制に野球部創設（常呂高校四十年史：野球部） 常呂町労働組合結成 福山・日吉・吉野・登地区電気導入組合設立、電力供給（常呂町百年史） 農協青年部、岐阜支部発足（岐阜百年記念史） 農協青年部、共立支部発足（初代支部長 中島秀次）（共立百年史） 農協青年部、福山支部発足（初代部長 佐藤正尚）（イワケシュ郷土史） 日通出張所、針田鉱業出張所開所（共立百年史） 高級採豆大福耕作第一。ミブヨモギ、高級採豆（大福）西洋ワサビ（木屋） 等耕作される（共立百年史）		
		昭和28年	1953	1月12日	豊川・岐阜地区に洋裁所開設（常呂町農協創立20周年記念史）
				1月17日	常呂漁業会の解散記念式（組合会議室）と物故会員の追悼会（天竜寺）挙行 昭和10年7月以前の組合加入会員に感謝状・記念品（常呂漁業組合40年誌）
3月19日				（登小）第1回卒業式 卒業生8名（吉野・登小閉校記念誌）	
3月27日				東浜・大島部落集会所（大東会館）設置場所選定打合せ：議事堂 （当直日誌）	
4月1日				（常呂小）13学級編成認可（常呂小百年史）	
4月28日				（日吉小）植林地仮植え作業（苗木500本）（日吉小80年史）	
4月				食生活改善を目的に共立生活改善研究会設立（常呂町百年史）	
5月18日				昭和27年12月5日に公布された新道路法によって稚内・網走線が 2級国道238号線に指定、網走・斜里・根室間は2級国道244号に指定 *昭和40年4月1日、道路法改正により一級・二級区分が廃止されて 一般国道238号として指定（常呂町百年史）	
5月31日				第5回通常総会開催（農協50年史）	
6月6日				国保病院、病棟新築完成〔当直日誌〕	
6月				福山地区電気導入組合、4地区受電話組合より独立して結成	

	<p>*同年秋、計画実測の結果一般農電負担工事として導入決定 *昭和29年5月、各戸数人宛の労務出役により短期間で完成 (イワケシュ郷土史)</p>
7月1日	<p>北海道漁業協同組合連合会経営の漁船機関修理工場(松前町)を常呂漁協が買収し、朝日地区に直営工場として業務開始(常呂漁港の完成で移転) (常呂漁協40年誌)</p>
7月2日	<p>網走国定公園調査団一行栄浦へ船より上陸、バスにて網走へ(当直日誌)</p>
7月7日	<p>常呂中学校生徒修学旅行に出発(当直日誌)</p>
7月13日	<p>(日吉小)5・6年修学旅行(網走北見)(日吉小80年史)</p>
7月14-15日	<p>農協青年部豊川支部主催の豊川部落盆踊り大会開催(昭和38年まで継続) (イワケシュ郷土史)</p>
7月16日	<p>東京大相撲のため午後3時まで休日(当直日誌) *勸進元:黒川清(当日番付表)羽黒山・吉葉山・三根山</p>
7月19日	<p>豊川公民館落成、開館式〔当直日誌〕</p>
7月27-28日	<p>網走開発建設部、西6線・西9線・サロマ湖開拓道路巡視(当直日誌)</p>
7月	<p>常呂消防団が網走管内消防技能訓練大会で優勝(常呂消防団100年記念誌)</p>
7月	<p>常呂小学校の夏休み中、3地区に分かれ、毎朝6時30分からラジオ体操実施(常呂小学校学事報告)</p>
8月10日	<p>役場増築工事及び登記所移築工事地鎮祭(当直日誌)</p>
8月11日	<p>上水道施設(浄水場)打合せ:議事堂(当直日誌)</p>
8月15日	<p>常呂町家畜商組合から常呂町に、競馬場開設に関する陳情(陳情書)</p>
8月25日	<p>北見・常呂間の市外電話回線新設工事施工(工期約1ヶ月間) *日吉・豊川間は8/27-8/30で測量完了 (北見電気通信部長からの通知文)</p>
8月27日	<p>(常呂小)図書館資金造成のため、9日間4年生以上貝通し作業(約8万円)(常呂小百年史)</p>
9月3日	<p>役場庁舎増築上棟式(当直日誌)</p>
9月3日	<p>常呂高校で全道定時制高校総会及び協議会、出席者約35名(当直日誌)</p>
9月7日	<p>役場庁舎増築のため、町長一般事務室にて執務(当直日誌)</p>
9月8日	<p>登記所建前にて午後7時より祝宴(当直日誌)</p>
9月27日	<p>常呂川堤外地氾濫、福山・日吉農作物の被害甚大(当直日誌 常呂町史) 台風13号による暴風のため、福山・日吉地区の常呂川堤防から溢水、農作物に被害(常呂町百年史 ところ文庫30 常呂川)</p>
9月	<p>小型ポンプを消防第2分団、第3分団に配置(常呂消防団100年記念誌)</p>
10月1日	<p>常呂村健康保険組合直営診療所、常呂町国民健康保険病院として発足。同時に病院条例制定(常呂町百年史)</p>
10月9日	<p>(常呂小)6年生旭川へ修学旅行(常呂小百年史)</p>
10月17日	<p>定時制高校5周年記念式:常呂高校(当直日誌)</p>
10月22日	<p>湧網線全通(佐呂間～下佐呂間間開通)〔新北海道史年表〕 網線開通式:於佐呂間町 祝賀会及び期成会解散式を網走市で行う (当直日誌)</p>
10月25日	<p>常呂町競馬倶楽部設立総会:議事堂(当直日誌)</p>
10月	<p>中台靖昌、新町で中台内科小児科医院開業(叙勲資料では11月開業)</p>
11月6日	<p>競馬倶楽部打合せ協議会:議事堂 大沼書記、競馬書類作成のため徹夜 (当直日誌)</p>
11月7日	<p>常呂競馬場にて第1回草競馬開催 大沼書記、午後3時まで勤務〔当直日誌〕</p>
11月11日	<p>(登小)開校1周年記念式 青年団と共催の学芸会開催 (吉野・登小閉校記念誌)</p>
11月	<p>市街地の簡易水道敷設工事に着手(常呂町百年史)</p>
12月1日	<p>中湧別一網走間鉄道郵便線路開通</p>

			(オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
		12月11日	(登小) 水道工事完了(水呑場4坪) (吉野・登小閉校記念誌)
		12月	林和組合設立(岐阜百年記念史)
昭和28年			常呂変電所が豊川に建設される(常呂町百年史)
			岐阜地区に電気灯る〔常呂町岐阜のあゆみ〕
			公営住宅：開進町団地1種5戸建設(常呂町史)
			外海ほたて漁業違反事件発生(常呂漁協40年誌)
			第1ところ丸進水。47度以南鮭鱒流網漁業。印度洋まぐろ漁業出漁(常呂漁協40年誌)
			常呂小学校で多数の個人寄附により、野球用具(2万円)、学校図書館(15万4千5百円)整備(常呂小学校学事報告)
			昭和28年常呂町政要覧の鳥瞰図に「海水浴場・潮干狩り場(栄浦)」の記載あり
			役員総辞職。選挙により新谷組合長再選さる。(常呂漁協40年誌)
			雪印集乳所、加藤木工所、藤の屋食堂、杉野、小島、小栗各商店開店。(共立百年史)
			酪農青年研究会発足(会長後藤護)(共立百年史)
			冷害、豆作皆無。救農土木事業あり(岐阜百年記念史)
			農協青年部福山支部主催の農村巡回映画を月1回福山小で上映(イワケシュ郷土史)
			消防本部に鉄骨造り20mの火の見やぐら設置(広報ところ)
			馬橋客土始まる(富丘百年史)
			堀田清太郎、土田重太郎、入地
			高台農道開通(登東部・北登)(北登開拓記念碑建立 記念誌)
昭和29年	1954	1月12日	釧路地方法務局常呂出張所：登記所、常呂335番地に新築移転(常呂町史)
		1月21日	軌道客土地区総会：共立会館(当直日誌)
		1月22日	ワッカ牧舎、営林署岐阜担当区に売却処分〔常呂町農協20年史〕
		2月18日	(日吉小)本校にて町内研究集会実施。(日吉小80年史)
		3月30日	大正11年準地方費道に指定された常呂野付牛線が、道道北見常呂線に認定、北見との連絡道路として重要な路線に(常呂町百年史)
		3月	市街地の簡易水道敷設工事完了(昭和28年11月20日着工)(常呂町史)
		4月1日	(常呂小)14学級編成認可(常呂小百年史)
		4月13日	水道(浄水場)地鎮祭：水源地(当直日誌)
		4月27日	常呂消防団豊川分団(第4分団)発会式〔当直日誌〕 消防団第4分団(福山・豊川・富丘・共立)が23人の団員と小型ポンプ1台で発足、4分団制が確立(常呂消防団100年記念誌)
		4月29日	満70歳以上高齢者、常呂町敬老会：議事堂(部落、大島・東浜除く)(当直日誌)
		4月	福山小学校母の会が発足(福山小学校五十年のあゆみ)
		5月5日	白鳩保育園開園式(当直日誌) *昭和36年閉園 *期間5月-11月 *保育料500円(白鳩保育園請願書)
		5月10日	暴風浪のため知床出漁中の所属20隻遭難。4隻転覆又は行方不明乗組員21名全員行方不明となる。他16隻は大中破の損害あるも乗組員異常なし(常呂漁協40年誌) 常呂小学校、強風特報発令のため午前中で児童を帰す(常呂小学校沿革誌)
		5月10日	第一ところ丸北洋出漁(北海道漁業公社銀洋丸所属、函館港出港) 8月21日函館港に寄港(常呂漁協40年誌)
		5月15日	常呂町簡易水道条例制定(常呂町百年史)
		5月23日	漁船遭難者合同慰霊祭(源盛丸・勇丸・於天龍寺)〔当直日誌〕

5月26日	(登小) グラント整備 トラック1周130m (吉野・登小閉校記念誌)
5月27日	水質試験車「きよみず号」来町 (当直日誌)
5月28日	中央館全焼 [当直日誌]
5月30日	第6回通常総会開催 (農協50年史)
6月2日	登小学校校内電灯配線工事完了 (登小学校学事報告)
6月12日	漁船遭難者合同慰霊祭 (共進丸2隻、於天龍寺) [当直日誌]
6月13日	水道 (浄水場) 上棟式: 水源地 (当直日誌)
6月15日	(登小) 第1回運動会挙行 (吉野・登小閉校記念誌)
6月21日	種牡馬ブルトン購入を決定 (11.30到着) [常呂町農協20年史]
6月23日	常呂中学校屋内運動場建設着手 [当直日誌] (9.18落成)
6月24日	共立製パン工場電通及び開所式 (当直日誌) 農業実行組合農家10戸が実行組合倉庫をパン工場に改造、製パンミキサー 電熱パン釜、計量作業台など整備完成 (網走管内ニュース年報) *場所は、現在の加藤・伊藤宅の間 *昭和33年、工場を任されていた 安藤氏が常呂にパン工場開業、昭和35年業績不振で閉鎖 (共立百年史)
6月27日	針田鉱業所を含む日吉の一部と福山地区に送電開始
6月27日	福山地区電通祝賀式: 福山小学校 (当直日誌)
6月29日	(福山小) 電気開通 (福山小学事報告)
6月	青年団運動場整備 (福山小休校記念誌)
6月	常呂川水質基準決定 (昭40.7から適用)
7月7日	日吉・登・吉野地区通電 [当直日誌] *「日吉小学校沿革史」に「日吉部落に燈電」の記載 *登小学校沿革史では「7月1日 電灯がつく」の記載
7月8日	(簡易水道) 上水道 (浄水場) 仮通水す、成績良し (当直日誌)
7月14日	(簡易水道) 上水道 (浄水場) 水通操作練習のため関係者水源地に赴く (当直日誌)
7月21日	日吉電通式・祝賀会 (当直日誌) (日吉小学校学事報告)
7月25日	第一方面中体連相撲大会で常呂中優勝 (常呂中20年のあゆみ)
7月29日	水道工事再開 (当直日誌)
7月30日	水道通水 (当直日誌)
7月	市街地 (開進町) 水源地に簡易水道施設を設置し、各戸に給水する 針田工業株式会社、日吉に国力支店を設置 (国力支店国力鉱業所) *常呂町字日吉57番地 電話: 北見日吉1番 受信電略: キタミヒヨシ・ハリタ (針田工業株式会社概況書)
8月5日	暴風浪遭難乗組員現地慰霊祭を巡視船だいで知床沖合で執行する。 (常呂漁協40年誌)
8月10-11日	8月8日からの雨降り、午前11時に忠志橋流出の報告 午後4時、福山23号まで視察、23号橋付近は約4mの浸水で通行不可 11日には前日より90cm増水、2mに達する、町長以下上流視察 (当直日誌)
8月20日	午後、13号堤防に河川水浸透の現場を見る。今月11日の増水よりさらに 増水の見込み、要注意。日吉支所より電話あり、市街地に相当の浸水、益々 増水、23号付近も浸水により午後からは交通不能 (当直日誌) *「常呂町史 常呂町百年史」では8月30日 (誤り)
9月18日	常呂中学校屋内体育館 (ステージ含む) 落成式: 常呂中 (当直日誌・常呂中20年のあゆみ)
9月26日	15号台風被害: 常呂中学校屋体屋根10坪、病院車庫、錦水校校舍窓枠 10枚、常呂丸中破 (当直日誌) 夕刻北海道に上陸した台風15号により、家屋損壊20戸、電柱倒壊5本 (新北見市史)

	9月30日	常呂音頭・常呂小唄審査会（当直日誌）
	10月2日	日吉地区婦人部結成（常呂町農協50年史）
	10月2日	組合員に対する連絡周知徹底を目的に、組合員各戸に受信機を付けたラジオ共同聴取施設建設、10月1日全線開通。2日に開通式、業務開始 （常呂漁協40年誌）
	10月5日	常呂音頭・常呂小唄の作詞審査会（教育委員会 午前10時～正午） 2曲とも星賀繁作詞（常呂小唄・常呂音頭の募集と選考に関する書類）
	10月5日	共立倉庫上棟式（126坪）（農協50年史）
	10月23日	岐阜橋渡橋式（午前10時）。引き続き、議事堂で網走開発建設部主催の祝賀会（当直日誌）
	10月25日	冷害対策要項設定〔常呂町農協20年史〕
	10月	吉野小学校教育の実態を北見放送局から放送（吉野小学校学事報告）
	11月1-2日	第1回常呂町文化祭（11/1常呂中 11/2常呂高校）開催 1日目（文化功労者表彰・常呂町民謡入選者表彰・弁論：講演） 2日目（岐阜青年団演劇「二十歳」他・「常呂音頭」「常呂小唄」発表 常呂小改築募金バザー他） 吉野小学校：図画作品出品・2年男女4名遊戯参加（吉野小学校学事報告）
	11月4日	富丘15号道路検定：網走支庁から3ヶ所手直し指摘（当直日誌）
	11月7日	自家発電組合設立（岐阜、富丘、東浜）送電される（富丘百年史）
	11月10日	富丘15号道路検定（当直日誌）
	11月14日	中台医院新築祝（当直日誌）
	11月30日	フランス産種牡馬ブルトン種アングラ号到着、直営種馬事業として清水太一郎を採用（農協50年史）
	12月2日	（常呂中）土佐部落の寄贈による材料で卓球台完成、校内卓球大会実施 （常呂中20年のあゆみ）
	12月5日	自家発電組合設立、岐阜・富丘・東浜地区に送電される 岐阜・富丘・東浜電通祝賀会：於岐阜（当直日誌）
	12月14日	（日吉小）技術室、理科室新築完成（日吉小80年史）
	12月17日	常呂漁業協同組合第5回総代会で昭和30、31年の2年間ホタテ漁業の禁漁を決定する
	12月22日	水道エンジン取り付けに来町（当直日誌）
	12月23日	常呂小学校でスケートリンク作り開始（常呂小学校学事報告） *昭和28年度卒業生が学校備え付けのスケート寄附（常呂小学校学事報告）
	12月26日	能取簡易郵便局開局
	12月31日	町長、全町に歳末放送する（当直日誌）
昭和29年		富丘地区電気利用組合設立、残り全戸に電灯がつく（富丘百年史） 富丘開拓水道敷設。富丘地区用水施設管理組合組織。 常呂小学校の昭和28年度卒業生から卓球台寄付（常呂小学校学事報告） ライトコロ川改修工事始まる〔常呂町岐阜のあゆみ〕 岐阜に鮭鱒ふ化場が建設される〔常呂町岐阜のあゆみ〕 馬鈴薯北海1号、富美より導入耕作（斉藤吉明、百俵10万円） （共立百年史） 酪農家、サイロ建設（共立百年史） 北見共立駅前に農業倉庫竣工（共立百年史） パチンコ店2店開業（共立百年史） 林登が約百万円を投じてアメリカ製フォード農耕用トラクター購入、農耕・運搬に威力発揮（土佐郷土史） 公営住宅：開進町団地1種10戸建設、計15戸に（常呂町史） 「サロマ湖の歌」発売（作詞：中山正男 作曲：小関裕而 歌：伊藤久男）

			更生、湖畔、地区に自家受電組合設立、通電（岐阜百年記念史）
			岐阜婦人部貯蓄組合結成（岐阜百年記念史）
			岐阜地区、洋裁所継続（岐阜百年記念史）
			常呂町農協が共立川東牧場取得（398ha）*農協牧場（農協50年史）
昭和30年	1955	1月1日	午前8時、町長年頭のあいさつを農協・漁協のマイクを通じ全町に放送 *有線ラジオ（当直日誌）
		1月17日	ライトコロ川切り替え工事箇所（救農）及び栄浦道路橋設置箇所調査 （当直日誌）
		1月25日	レールバス試運転、町長試乗する（当直日誌）
		2月5日	登小学校が吉野小学校までスキー遠足（登小学校学事報告）
		2月6日	常呂青年団発会式：役場委員会室（当直日誌）
		2月7日	西3線道路改良工事検定（当直日誌）
		2月13日	常呂青年団主催のオール町卓球大会：中学校（当直日誌） 常呂青年団総会：午後7時から議事堂（当直日誌）
		2月18日	常呂町簡易水道通水式・祝賀会：議事堂（当直日誌）
		3月4日	常呂町新生活運動推進協議会設立：議事堂47人（当直日誌） 「広報ところ」では3月5日設立 昭和30年度：「常呂町の新生活運動申し合わせ事項」を印刷・各戸配布、 町費で「花嫁衣装」一式購入、婦人会・青年団を通じて貸し出し
		3月6日	豊川青年団50周年記念式典挙行、その夜川沿小中校体育館で団員の演劇 「夏目家騒動」上演、観客600余名（豊川開基百年誌）
		3月12日	（常呂中）常呂中有志による寄付で柔道畳披露兼道場開きを開催 （常呂中20年のあゆみ）
		3月20日	岐阜西部地区で開基50周年祭実施、木柱の「開基五十周年記念碑」建立。 （西7線6号、現岐阜西部会館敷地内）（岐阜開基80周年記念誌）
		3月23日	「常呂町岐阜西部組合史」発行
		3月26日	豊川青年団50周年記念式典、夜は川沿小体育館で劇「夏目家騒動」上演 （イワケシュ郷土史）
		3月30日	ライトコロ川切り替え工事検定（当直日誌）
		4月1日	北海道常呂高等学校第1種認可される（常呂高校40年史）
		4月7日	常呂小学校校舎改築工事地鎮祭（当直日誌）
		4月13日	後藤勝入植（富丘百年史）
		4月19日	常呂町長小林千代松、任期満了により退職（当直日誌）
		4月30日	常呂町長・常呂町議会議員選挙執行（22名選出）（常呂町百年史）
		5月4日	常呂町長小林千代松再選（常呂町百年史）
		5月8日	レールバス運行に伴う実地調査（当直日誌）
		5月14日	常呂小学校改築建前（当直日誌）
		5月	人工授精事業を共済組合に移管（農協50年史）
		6月10日	榎本國、榎本歯科医院開院（字常呂326番地）（常呂町大観）
		6月15日	常呂中学校募金募集音楽会：常呂劇場（当直日誌）
		6月19日	交通安全協力会常呂支部創立総会（常呂町史） モーターサイクルクラブ創立総会：議事堂（当直日誌）
		6月24日	商工会体育会開催準備打合せ会：於議事堂（当直日誌）
		6月25日	商工会運動会開催について打合せを応接室で行う（当直日誌）
		6月	豊川支所の職員住宅2棟新築決定（農協50年史）
		7月3日	常呂町町民体育会：小学校グラウンド（当直日誌）*町民運動会：商工会主催
		7月7日	東京大相撲鏡里、鏡里・大内山一行、小高神社境内で興業 事務に支障のない者、見学を許す（当直日誌） 勸進元：黒川武・山田憲一（当日番付表）

	7月12日	雑穀調整所を設置（農協50年史）
	7月18日	常呂小学校で水泳指導開始（常呂小学校沿革誌）
	7月23日	第一方面中体連排球大会（バレーボール大会）で常呂中優勝 （常呂中20年のあゆみ）
	7月27日	赤ちゃんコンクール：於議事堂（当直日誌）
	8月1日	集乳所は雪印乳業株式会社に属し、従来の集乳所を牛乳処理場とする。 町内に2つあった集乳所を統合して雪印乳業常呂工場になる（農協50年史）
	8月18日	東京大学服部四郎教授、樺太アイヌ語調査に来町、以後継続調査（当直日誌） （服部四郎氏が（山田）藤山ハル氏と出会う）
	8月20日	道費補助のほたて稚貝採苗事業実施5年経過を記念して、栄浦前浜でホタテ 稚貝放流式並びに養殖事業5周年記念式典（常呂漁協40年誌）
	8月23日	法務大臣花村四郎・開発庁政務次官松田鉄蔵、来町
	8月25日	常呂小学校開校60周年記念式典開催、校舎全面改築落成式〔常小70年の あゆみ〕（昭和29年1月29日着工） *4/7地鎮祭 5/14上棟式 7/21新校舎へ移転 （常呂小学校学事報告）
	8月26日	常呂小グランドバックネット建：職員手伝い（当直日誌）
	8月28日	常呂小学校・中学校合同秋季運動会：常呂小グランド（当直日誌）
	8月	消防第1分団に消防ポンプ自動車配置（常呂消防団100年記念誌）
	9月4日	常呂劇場主人大西信武氏が、常呂館に服部四郎氏を来訪
	9月8日	常呂川氾濫、午後5時、日吉橋危険状態で逐次増水の連絡あり 田畑1300町歩浸水・冠水、道路決壊30カ所、橋梁流失1カ所、 家屋浸水25戸：床上10戸、床下15戸（当直日誌 常呂町史） 日吉小学校が洪水のため2日（9/8、9）間臨時休校（日吉小80年史）
	9月22日	常呂町母子福祉会発会式：議事堂（当直日誌） 常呂母子会結成（常呂町母子会25周年記念「白百合」）
	9月30日	暴風雨警報発令（当直日誌） 日吉小学校が洪水のため臨時休校（日吉小80年史） *日吉小学校学事報告では10月1日臨時休業
	9月	（福山小）農協子供銀行設立（福山小休校記念誌）
	9月	福山小学校修学旅行（1泊2日：川湯）（福山小学校五十年のあゆみ）
	10月27日	（常呂中）父兄の寄付及び生徒稼働によりグランドピアノ購入 （常呂中20年のあゆみ）
	10月	常呂商業協同組合解散（常呂町百年史）
	10月	共立の第一実行組合がパン工場操業開始、昭和35年閉鎖（共立百年史） 共立生活改善研究会、部落内にパン工場を有し生活改善に（広報ところ）
	11月2日	常呂町文化祭に常呂小学校参加：演劇・展覧会（常呂小学校沿革誌）
	11月21日	栄浦橋架け替えについて道路促進話し合い（当直日誌）
	12月17日	道開発局総務課長他2名来町、栄浦橋工事を見る。町長同行（当直日誌）
	12月18日	（常呂町酪農振興会）獣魂祭挙行（常呂町酪農振興会創立30年記念史）
	12月25日	常呂港に臨時乗降場設置（湧網線年表） *「湧網線年表」未確認
	12月	政府、鮭鱒流網漁船に対しオホーツク海域母船式鮭鱒漁業の独航船への のくり上げ転換措置をとり流網漁業の減船整理をはかる〔新北海道史年表〕
	12月	（吉野小）水呑場新築（吉野・登小閉校記念誌）
昭和30年		有史以来の大豊作となったが、豊作貧乏のため農家に打撃を与える （農協50年史） 豊作貧乏で農家に打撃（富丘百年史） 常呂小学校に卓球台2台寄贈（常呂小学校学事報告） ホタテ漁業の禁漁を決定〔常呂町史〕 大東会館落成式（常呂町百年史） *大島・東浜地区

			<p>東浜地区に通電（常呂町百年史）  （農協青年部福山支部）羊肉の利用を当時の普及員伊藤哲太郎の指導により部落内に呼びかけ。この頃からジンギスカン料理が部落内に普及  （イワケシユ郷土史）</p> <p>（新生活運動）生活改善のため、町費で「花嫁衣装一式購入」、婦人会・青年団を通して貸出（広報ところ）</p> <p>船舶職員養成講習会開催（常呂漁協40年誌）</p> <p>鷺見理髪店開業（共立百年史）</p> <p>薄荷耕作始まる（共立百年史）</p> <p>第1実行組合、共立製パン工場設置（共立百年史）</p> <p>大凶作、救農土木事業あり（岐阜百年記念史）</p> <p>林光男がニッサンブルーバードを23万円で購入したのが、岐阜地区での乗用車の初め（岐阜百年史）</p> <p>富丘小中学校161名と最高人数となる（富丘百年史）</p>
昭和31年	1956	1月1日	鈴木武、三興精機有限会社車両部発足、昭和41年6月10日三興自動車工業設立：字常呂560番地2（常呂町大観）
		1月6日	レールバス通過に対する歓迎打合せ（当直日誌）
		1月7日	レールバス湧網線に本日より開通（当直日誌） 湧網線でレールバス運行開始（旭川・鉄道八十八年の歩み）
		1月11日	日吉農道及び富丘15号道路検定（当直日誌）
		1月16日	交通安全協力会常呂支部を解散し、網走交通安全協会常呂支部発足。 （常呂町史）
		1月18日	栄浦橋の件について、開発局用地課長・開墾課長来町 9線通路砂利敷設工事検定のため開発部長来町（当直日誌）
		1月	栄町生活改善実践会結成。
		2月11日	吹雪のためバス運休、（2月14日、本日よりバス運行開始）（当直日誌）
		2月20日	（常呂小）校内放送施設完了（常呂小百年史）
		2月24日	（常呂中）音楽楽器購入（常呂中20年のあゆみ）
		2月29日	吹雪のためレールバス運休（当直日誌）
		2月	第1回部落ぐるみ研修会、主催、地区内各種団体（岐阜百年記念史）
		3月6日	網走沖地震、午前8時半から約30秒、震度4。常呂小学校、国保病院集合煙筒落壁、商品落下等の被害あり（当直日誌） 午前8時55分に15センチの津波が沿岸に押し寄せた（新北見市史）
		4月1日	（錦水小）錦水中学校1学級減（錦水小50年史）
		4月1日	常呂高校振興会創立（常呂町百年史）
		4月1日	（常呂小）15学級編成認可（常呂小百年史）
		4月5日	網走開発建設部において栄浦橋新設工事入札・落札（当直日誌）
		4月16日	（日吉小）洪水のため臨時休校（日吉小80年史）
		4月30日	バス運行路線調査のため町長・議長案内する（当直日誌）
		4月	農協婦人部富丘支部結成（富丘百年史）
		5月2日	湧網線、土佐・東富丘・常呂築港に乗降場建設される。 土佐乗降場は、4号南側に設置（土佐郷土史） 湧網線レールバス、土佐・東富丘乗降場落成祝賀会：議事堂（当直日誌） 東富丘乗降場は、富丘部落役員・学校父兄が杉谷木材から製材を持ってきて3線道路沿いに建設・落成式。後に国鉄が路線沿いに新たな東富丘乗降場を建設（富丘百年史）
		5月2日	常呂漁港にデッカー（浚渫船）入港：常呂漁港工事
		5月3日	デッカー入港祝賀会：議事堂（当直日誌）
		5月5日	常呂町こだま会発足：20歳以下の市街地青年で組織、常呂高校に事務局

5月14日	栄浦バス運行予定道路調査：町長立ち会い（当直日誌） *北見バス栄浦線のこと
6月1日	錦水中学校屋体上棟式（当直日誌）
6月1日	北見バスが常呂－栄浦間に定期バス1日3往復（片道45円）運行 常呂発：7時 10時 15時10分 栄浦発：7時40分 11時 15時50分（限定版 網走管内ニュース年報 昭和31年～32年）
6月2日	中台泰士、中台外科産婦人科医院開業（字常呂277番地）（常呂町大観） *「常呂町百年史」では昭和28年10月
6月11日	漁業組合信用部開部す（当直日誌） 信用部を独立し、独立店舗（上杉監事住宅の一部を借上改装）を7月11日 開店（漁協40年誌）
6月13日	常呂中購買部活動開始（常呂中20年のあゆみ）
6月23日	観光協会発会式：議事堂（当直日誌）
6月24日	観光協会栄浦視察（当直日誌）
6月30日	常呂鉄橋架設工事起工式（当直日誌）
7月1日	網走信用協同組合常呂支所、網走信用金庫常呂支店と名称変更（常呂町史） *網走信金
7月1日	観光施設打合せ（船着き場）（当直日誌）
7月3日	常呂町農業協同組合婦人部設立（常呂農協女性部50周年記念誌） 441人が参加して設立総会を開催。初代部長に久世常子さんを選出。 農協婦人部岐阜支部結成。日用品、調味料などの取り次ぎ販売を行い、 活動資金とした。1ヶ月10円貯金する（岐阜百年記念誌）
7月15日	町内競馬クラブ施行（午後6時半より議事堂競馬役員使用）（当直日誌）
7月22日	相撲吉葉山（横綱）一行栄浦観光す（当直日誌）
7月29日	観光協会役員会：議事堂（当直日誌）
7月	太田弘、太田電気商会創業、昭和48年4月19日太田電気株式会社 ：字常呂460番地（常呂町大観）
8月1日	常呂町観光協会設立：議事堂（6.23発会式）（当直日誌）
8月2日	錦水小学校に屋内体育館落成式。屋外運動場拡張（錦水小50年史）
8月9日	町議会で川沿小旧体育館の富丘小への払い下げが議決。8/9-12まで体育館の 解体・運搬に全戸出役作業。11月には13日間にわたり部落全員で地均し作業 （富丘小開校30周年記念誌）
8月10日	常呂シネマ上映開始〔当直日誌〕*内田金物店経営（昭和43年閉鎖）
8月10日	東大教授服部四郎、大西信武、藤山ハルら北見バス栄浦線（岐阜経由）に 乗車：岐阜9線6号バス停から常呂へ（服部四郎ノート）
8月12日	町民運動会打合せ：於議事堂（当直日誌）
8月14日	常呂町青年会議発足：青年の代表から教育委員会・常青協が選任 （昭和34年第3回常呂町青年会議議案）
8月19-20日	8/19 水害状況、12時現在：水位1m39cm、23号付近2尺程度、 浸水面積約120町歩 午後6時現在。冠水230町、浸水260町 8/20 水害状況 12時現在：冠水470町、浸水550町、床下浸水家屋 23戸（当直日誌）
8月24日	常呂町商工会主催第1回町民運動会：小学校グラウンド（当直日誌） 農協青年部福山支部が豊川・共立・富丘の部落に呼びかけ、4部落合同の 大運動会を開催、昭和32年も開催（イワケシュ郷土史）
9月1日	（川沿小）校舎改築工事完成（川沿小百年史） 改新築校舎落成488坪（中学校184.5坪） 8学級（小5 中3） （川沿中学校のあゆみ）
9月16日	（日吉小）バックネット完成記念野球大会実施（日吉小80年史）
10月8日	デッパ（浚渫船）出港：常呂漁港整備（当直日誌）

		10月25日	東京大学考古学研究室駒井和愛教授来町（当直日誌）
		10月26日	東京大学考古学研究室駒井和愛教授遺跡調査（当直日誌）
		10月30日	常呂小学校で校内ソフトボール大会開催（常呂小学校学事報告）
		11月4日	常呂漁港通水式挙行（当直日誌）
		11月21日	（吉野小）校内水呑場に井戸ポンプ取付（吉野・登小閉校記念誌）
		11月28日	第1回農協料理コンクール開催〔農協20年史〕
		12月10日	（日吉小）吹雪の為臨時休校（日吉小80年史）
		12月11日	鉄橋架け替え工事（第一次）（当直日誌）
		12月16日	鉄橋架け替え工事（当直日誌）
昭和31年			採種用甜菜耕作組合設立〔常呂町史〕 ホタテ事業補助金配分 納税貯蓄組合設立 豊川集乳所を廃し、常呂処理場に合併 共立に集乳所設置（昭和35年閉鎖） 精製澱粉工場休業 （農協青年部福山支部）豊川・共立・富丘の部落に呼びかけ、4部落合同の大運動会を開催、昭和32年も開催（イワケシュ郷土史） 冷害大凶作に見舞われる、全道的に大正2年以來の大冷害（農協50年史） 新谷組合長再選（常呂漁協40年誌） 新谷組合長農林大臣表彰受賞（常呂漁協40年誌） 納税組合、実行組合単位に設立される（共立百年史） 共立共同薄荷工場建設（共立百年史） 共立部落で教員住宅1戸建設、川沿校PTAに寄贈（共立百年史） 土田重太郎入植（富丘百年史）
昭和32年	1957	1月13日	第6回管内漁村青少年実績研究発表大会で常呂水友会：横畠登・渋谷勇一入賞（網走）横畠登全道大会（札幌）で北海道代表、全国大会出場へ （広報ところ）
		1月30日	（日吉小）中央玄関雪のため倒壊（日吉小80年史）
		2月8日	（日吉小）老朽校舎防災判定のため道教委係官来校（日吉小80年史）
		2月14日	第1回日ソ漁業交渉開催〔新北海道史年表〕
		2月16日	網走警察署常呂巡査部長派出所建設〔当直日誌〕*常呂警察官派出所
		2月17日	常呂町身体障害者福祉協会結成大会：議事堂（当直日誌）
		2月17日	福山小第1回校内スキー大会（福山小学事報告） *昭和38年2月17日も第1回校内スキー大会の記載（福山小学事報告）
		2月19日	常呂小学校で校内ドッジボール大会開催（常呂小学校学事報告）
		3月3日	福山小児童が町スキー大会に参加（福山小学事報告）
		3月11-14日	吹雪のため、列車・バス共に全休（当直日誌） 吹雪のため第1回定例議会延期（3月13日）
		3月15日	本日より列車2往復あり（当直日誌）
		3月16日	鉄道除雪のためロータリー車来町（当直日誌）
		3月20日	午後9時30分頃、鉄山国力鉱山の寮全焼、事務所への類焼まぬがれる （当直日誌）
		3月	常呂町青年団体協議会「各団構成運営集」発行 （加盟団体：豊川・共立・日吉・福山・土佐・岐阜・富丘）
		4月1日	（常呂小）16学級編成認可（常呂小百年史）
		4月1日	（常呂中）7学級編成認可（常呂中20年のあゆみ）
		4月10日	常呂中学校ブラスバンド部（吹奏楽部）結成、10人編成 （常呂中20年のあゆみ） *第4回常呂町文化祭に器楽として3曲演奏（11/3）

	(第2回文化祭プログラム)
4月15日	北見バス株式会社、常呂～栄浦間バス運行開始(常呂町百年史) *確認できる資料なし
4月19日	国力鉱山で落盤、1人死亡、2人重軽傷(網走市戦後年表)
5月15日	(登小)2学級認可(実3学級に編成)(55名在籍) (吉野・登小閉校記念誌)
4月23日	常呂中創立10周年記念事業として校庭に植樹(トド松110本、落葉松350本)(常呂中20年のあゆみ)
5月1日	栄浦橋改修工事着手(当直日誌)
5月14日	トヨタ北見支社よりトラック引き渡し受ける(当直日誌)
5月20日	(常呂小)鶏舎改築棟上(常呂小百年史)
5月21-22日	一昨日夜以来の雨で常呂川増水、日吉・福山地区に被害発生(当直日誌) 福山愛林橋と小貫橋流失(常呂町史) 22日午前6時頃、日吉地区の橋梁流失1、畑冠水420町歩以上、家屋床下浸水15戸、床下浸水2戸、常呂川最高水位2m60cm、 常呂川河口防波堤を中心に左岸鉄道橋下決潰、増水量は昭和11年以来、 水害による被害調査実施、福山橋、愛林橋、小貫橋流失(当直日誌) 日吉小学校が洪水のため2日間臨時休校(日吉小80年史)
5月30-31日	北見バスガイド及旅の会一行49名観光視察:ワッカ及栄浦(当直日誌)
6月7日	常呂町長小林千代松、辞表提出〔当直日誌〕
6月8日	常呂漁協信用部独立店舗の営業1周年記念として、常呂劇場を貸し切り 午後6時から組合員、家族参加の記念行事:映画上映・バレエ公演他 (常呂漁協40年誌)
6月8日	常呂漁協婦人部結成準備懇談会(温根湯ホテル)(常呂漁協40年誌)
6月	収入役高橋雪郎、辞表提出(常呂町百年史)
7月6日	(日吉小)流感による2日間臨時休校(日吉小80年史)
7月10日	常呂町長選挙・常呂町議会議員補欠選挙執行(11日まで)〔当直日誌〕
7月12日	(常呂中)校舎全景の航空写真撮影(常呂中20年のあゆみ)
7月15日	第2代常呂町長高清水慶吉就任〔当直日誌〕
7月16日	国定公園指定調査団来町〔当直日誌〕
7月20日	高清水専務理事、町長立候補のため辞任(農協50年史)
7月29日	オホーツク沿岸漁業経済調査〔当直日誌〕
7月30日	大場実購買主任、参事に就任(農協50年史)
7月	針田喜市が鉄山に「芳川寛治翁之碑」を建立
8月1-20日	登小学校で夏休みのラジオ体操行(登小学校学事報告)
8月6日	助役浦田俊雄就任〔当直日誌〕
8月18日	(常呂小)水道工事のため父兄178名出役(常呂小百周年記念誌)
8月19日	庁舎工事のため、事務室を議事堂及び委員室に移転(当直日誌)
9月1日	教育委員会が「常呂町立学校の施設の利用に関する規則」公布・施行 (学校開放)(広報ところ)
9月6日	常呂神社鳥居完成(弁天:常呂神社階段下) *写真
9月12日	国力鉱山(鉄山)山神祭り(当直日誌) *「当直日誌」現存する昭和35年まで実施確認:昭和34.35年は10月12日
9月15日	日吉神社祭典(日吉中学校学事報告)
9月19日	午後より改築後の庁舎に移転(当直日誌)
9月25日	(日吉小)老朽校舎取り壊し作業開始(日吉小80年史)
9月28日	共同募金映画会:常呂シネマ(当直日誌)
9月	福山小学校校舎新築落成(普通3、職員室、便所、水飲み場) (福山小五十年のあゆみ)
9月	常呂小学校に水道施設がなく、PTAの協力で給水工事竣工(広報ところ)

	10月3日	富丘小中学校体育館、川沿小学校体育館のを資材として解体・運搬・整地・建設落成（8月建設開始・9月5日上棟式）（富丘小開校30周年記念誌）
	10月8日	東京大学駒井和愛教授、栄浦第一遺跡発掘開始（14日まで）、以後毎年継続調査（常呂町百年史）
	10月8日	富丘小中学校体育館部落民により14ヶ月で完成（富丘百年史） 富丘小中学校体育館、川沿より移転完成（富丘百年史）
	10月12日	（常呂高校）高校10周年記念芸能祭：於常呂劇場（当直日誌）
	10月13日	常呂高等学校10周年記念式典（当直日誌） *当直日誌と常呂高校記念誌に日付の違いあり
	10月15日	（日吉小）新築校舎上棟式（日吉小80年史）
	10月16日	（常呂高校）創立10周年の記念式典を挙行。記念行事の一環として北海道常呂高等学校校歌と校章を制定する（常呂高校創立20周年記念誌） 校歌は中山正男氏の作詩、平岡照章氏の作曲にて制定。校章は生徒から作品を募集し、相田寿人君の図案を選定して現在に至る。（常呂高校40年史）
	10月25日	常呂町農協創立10周年記念植樹実施〔農協20年史〕 場所：共立川東牧場内樹種とど松1,000本
	10月26日	常呂中創立10周年記念式典挙行（常呂中20年のあゆみ）
	10月29日	（日吉小）新校舎へ移転（日吉小80年史）
	10月末	火葬場新築および同管理人住宅新築工事竣工（広報ところ）
	10月末	昭和31年5月発生の水害で流失した橋の復旧工事完了（隈川流域：小貫橋清水橋・吉野第一号橋）（広報ところ）
	11月4日	常呂港通水式施行〔当直日誌〕
	11月10日	常呂小型自動車練習場を水源地横（現高校グラウンド）に設置。 （後に常呂高校用地として収用）
	11月1日	登小学校開校5周年記念学芸会開催（登小学校学事報告）
	11月18日	開進町に公営住宅14戸建設・竣工（広報ところ） *昭和56年4月の市街地区再編で「開進町から西町」に町名変更 *「常呂町史」「常呂町百年史」では土佐団地（現西町）と記載
	11月22日	常呂町農業協同組合創立10周年記念式典挙行〔農協20年史〕 （1）場所 常呂中学校屋内運動場（2）感謝状表彰状の贈呈 （3）余興全町のど自慢コンクール（4）記念品 風呂敷全戸配布 （5）その他行事省略
	11月25日	（常呂中）自転車置き場作成（常呂中20年のあゆみ）
	11月26日	株式会社常呂ハイヤー創立営業開始（常呂町史）
	11月27日	常呂町役場で常呂町森林組合設立懇談会開催（広報ところ）
	11月末	日吉・福山小学校電気工事：部落の電化に伴い電気施設整備（広報ところ）
	12月3日	栄福橋（福山）起工式（当直日誌）
	12月4日	（日吉小）吹雪の為臨時休校（日吉小80年史）
	12月8日	「広報ところ」第1号発刊 *創刊号
	12月8日	日吉地区（日吉・福山・吉野・登）青年団連絡協議会、常呂町青年団体協議会から独立（昭和33年に復帰）
	12月18日	（日吉小）屋内体育館雪崩止め一部破損（日吉小80年史）
	12月20日	（日吉小）流感のため2日間臨時休校（日吉小80年史）
	12月20日	第3回定例議会で国力鉱山の増産確保のため、29号橋（日吉）新設架橋可決（広報ところ） 第3回定例議会で国力鉱山道路を町道に認定（起点：川東道路・終点：国力鉱山山元）（広報ところ）
	12月末	土木現業所ブルドーザ収容役場車庫新築：町長公宅横（広報ところ）
昭和32年		富丘澱粉工場操業停止（富丘百年史） 桃源組合と新生組合合併、新生実行組合呼称（岐阜百年記念史）

		<p>岐阜西部地区入植50周年記念式典。 婦人部、公民館建設資金集め運動として、豆1升運動展開 (岐阜百年記念史)</p> <p>精米工場を閉鎖し、工場機械を事務所裏の製粉工場跡に移転し操業 (農協30年史)</p> <p>常呂町青年団体協議会主催の管内角力(相撲)出場選手権大会開催、 (土佐会館前土俵)、土佐青年団から管内大会3人出場(土佐郷土史) (新生活運動)教育委員会主体で、衣料生活改善普及:作業着の ファッションショー開催(豊川公民館)(広報ところ)</p> <p>第1ところ丸代船建造決定。(常呂漁協40年誌) 斉藤正雄氏、特別功労表彰(農業協同組合発展育成)(共立百年史) ホタテ漁解禁(常呂漁協40年誌) テレビ放送受信(斉藤吉明、札幌の電波を受信)(共立百年史) 酪農用自家水道施設(共立百年史) トヨエース導入(佐野信夫・吉田寛)(富丘百年史) 福山小学校が学校建設のため、運動会・学芸会未実施(福山小学事報告)</p>
昭和33年	1958	<p>1月17日 日吉地区電気利用組合総会(日吉小学校学事報告)</p> <p>1月22日 (日吉小)吹雪の為2日間臨時休校(日吉小80年史)</p> <p>1月24日 (日吉小)自転車小屋雪のため全壊(日吉小80年史)</p> <p>2月2日 (日吉小)自転車小屋改修工事(日吉小80年史)</p> <p>2月11日 網走防犯協会常呂支部結成式(支部長小林秀明)[広報ところ]</p> <p>2月13日 2/13:午後5時32分、暴風雪注意報発令。道東地区列車ダイヤ混乱。 湧網線、網走行き、午前6時19分のみ 2/14:吹雪のため、登庁後ただちに休み、湧網線不通(当直日誌) 日吉小学校が吹雪のため3日間臨時休校(日吉小80年史)</p> <p>3月3日 川沿中学校校歌制定(川沿中学校のあゆみ)</p> <p>3月10日 常呂漁業協同組合婦人部設立総会(常呂漁協会議室 部員147名) (常呂漁協40年誌)</p> <p>3月16日 市街地区の青年が常呂青年会結成(消防本部)(広報ところ)</p> <p>3月16日 常呂町青年団体協議会を改編して常呂町青年団体連絡協議会結成。 (日吉地区青年団体連絡協議会復帰)(常呂町百年史)</p> <p>3月20日 納税映画開催:日吉劇場(3/18 役場議事堂 3/19 豊川公民館)(広報ところ)</p> <p>3月3日 川沿小学校校歌制定される。作詩者大塚孟氏、作曲者根上義雄氏。 (川沿小百年史)</p> <p>川沿中学校校歌制定(川沿中学校のあゆみ)</p> <p>3月 登神社、登59番地に移転(常呂町史)</p> <p>4月1日 第一ところ丸の代船として室蘭市檜崎造船所で建造の第八ところ丸が 同造船所で進水式(常呂漁協40年誌)</p> <p>4月1日 (常呂小)17学級編成認可(常呂小百年史)</p> <p>4月2日 (日吉小)新校舎上棟式(継続工事)(日吉小80年史)</p> <p>4月10日 常呂小学校:教室不足で体育館に仮教室を職員の手で作る 4/12完成、2部授業解消(常呂小学校学事報告)</p> <p>4月11日 常呂小学校の一部児童に赤痢発生、校舎消毒する(常呂小学校学事報告) 赤痢発生多きにのぼり、校舎の一部をその病室に充てるため、一部学年 臨時休業。7/20:赤痢衰え校舎返還、平常に復す(常呂小学校沿革誌)</p> <p>4月14日 役場購入のダンプカー納入・入魂式:旭川トヨタと契約(広報ところ)</p> <p>4月15日 常呂町森林組合創立総会:於議事堂[当直日誌](広報ところ)</p> <p>4月17日 (常呂小)赤痢発生多きにのぼり、校舎の一部をその病室にあてるため、 一部学年臨時休業開始(常呂小百年史)</p>

4月29日	役員任期満了により改選、この年から総会外選挙に改めた（農協50年史）
4月30日	常呂小学校の赤痢衰え、校舎返還により、この日から平常に復す (常呂小学校学事報告)
5月19日	富丘小中学校に公衆電話設置（富丘小中学校沿革誌）
5月20日	追補責任常呂森林組合設立認可、再出発。
5月20日	日吉小学校50周年記念、校舎落成記念協賛会結成〔日吉小80年史〕
5月26日	日吉小学校50周年記念・校舎落成記念として保護者・地域住民の寄付でピアノ購入（日吉中学校学事報告）
5月27日	道道北見常呂線・市街地側溝工事促進のため、受益者協議会から側溝工事期成会結成設立総会へ（役場議事堂）（広報ところ）
5月30日	北見バスガイド旅行会一行観光：ワッカ、栄浦（当直日誌）
5月31日	北見バスガイド旅行会一行49名町内観光（当直日誌）
5月	吉野地区敬老会：吉野青年団主催（吉野小学校学事報告）
6月3日	栄浦ワッカ緬洋牧場3ヵ年無償寄与、借受者、岐阜林正之他170名 (農協50年史)
6月9日	(常呂町酪農振興会) 町内家畜品評会開催（酪農振興会30年誌）
6月28日	日吉中学校3年生が鉄山見学（日吉中学校学事報告）
6月28日	常呂婦人会主催の公民館設立準備基金造成の演芸大会を昼夜2回常呂劇場で開催、37,000円を町に寄付（広報ところ）
6月29日	町民運動会を常呂小グラウンドで開催、末広がりが2年連続優勝。1位末広78点、2位大通り77点、3位新町74点。4位豊浜・開進町72点（広報ところ）
6月30日	常呂町営栄浦簡易宿泊所「かき島荘」完成〔公報ところ〕 (5月13日着工、5月28日上棟式)
7月1日	網走国定公園に指定〔新北海道史年表〕
7月5日	第4回臨時議会を「かき島荘」で開催。常呂婦人会3万7千円、三浦バレー研究所後援会代表中台靖昌3千円、公民館建設費用として寄付採択 (広報ところ)
7月7日	常呂町総合開発事業促進期成会設立総会（会長新谷廣治）〔広報ところ〕
7月7日	栄浦観光施設（簡易宿泊所かき島荘）電話設置現地調査（当直日誌）
7月11日	吉野小学校校長住宅に農村電話設置（吉野小学校学事報告） 電話開通祝賀会（吉野小学校学事報告）
7月15日	高台神社氏子一同名で灯明（御神灯）奉納 灯明に年月日記名 (登東部・北登1班)
7月29日	日吉開拓診療所（日吉診療所）新築工事入札（当直日誌）
7月	道内唯一の最新式乾燥機を備えた施設を完備したポントマリ加工研究所はホタテの燻油漬け製品を製造開始。北水試猪川技師の試作（広報ところ）
7月	吉野小学校でラジオ体操会開始（吉野小学校学事報告）
8月1日	(日吉小) 移転校舎上棟式（日吉小80年史）
8月1日	常呂漁港浚渫完了懇談会（当直日誌）
8月15日	(常呂中) 常呂遺跡発掘作業6日間手伝い（常呂中20年のあゆみ）
8月16日	第3回常呂競馬開催（当直日誌）
8月17日	第3回常呂競馬慰労会：於議事堂（当直日誌）
8月24日	新たな常呂町衛生協会設立総会（会長上杉隆昌）（当直日誌・広報ところ）
8月26日	(常呂小) ゴミ焼場・購買部出来る（職員作業による）（常呂小百年史）
8月	東京大学駒井博士調査団が来町。常呂町と一体で栄浦地区の遺跡調査開始。 (広報ところ)
8月	開進町団地(公営住宅)1種10戸、2種4戸完成・入居者募集（広報ところ） *昭和56年4月の市街地区再編で「開進町から西町」に町名変更 *「常呂町史」「常呂町百年史」では土佐団地（現西町）と記載
9月12日	日吉ハッカ貯蔵庫完成。（農協50年史）

9月14日	共立八幡神社拝殿の老朽化のため改築（ところ文庫10常呂町歴史散歩） （境内に、大正6年、共立集落一同が馬の慰霊供養のために建立した馬頭観世音の石碑あり）（ところ文庫10常呂町歴史散歩） *昭和32年12月24-30日 11人で営林署払い下げの木材切りだし加藤製材所まで運搬 *昭和33年3月 鳥居材切りだし・運搬（共立百年史）
9月18日	台風21号本道に接近、午前7時、助役他水害状況視察のため出発。 日吉地区午前30分、常呂川2m20cm増水、隈川70cm増水、午後3時暴風雨警報発令、翌午前6時、警報解除（当直日誌） 福山・日吉地区の田畑60.8ha被害、損害額2636万3000円（常呂町百年史）
9月20日	富丘小学校校旗が上杉武雄氏から寄贈（富丘小中学校沿革誌） 翌年の運動会で入魂式、父母に披露（富丘小開校30周年記念誌） *富丘小開校30周年記念誌では昭和32年と記載（間違い）
9月21日	常呂高校初の通常制（昼間）と定時制対抗の校内体育大会開催 種目（野球・ソフトボール・庭球・バレーボール・卓球）
9月23日	乳牛500頭祭：於中学校、町内パレード〔当直日誌・農協20年史〕 乳牛500頭祭 場所：常呂中学校 行事：牛パレード（町内行進）・牛品評会（土佐種場所）・祝賀会（常呂中学校）（酪農振興会30年誌） 乳牛500頭達成記念祝賀会（富丘百年史） *9/20に酪農の先駆者座談会（当直日誌） *集録記録なし
9月27日	台風22号本道に接近、日吉・福山地区水害を受ける。常呂川28日午後に氾濫。福山・日吉地区の田畑604.8ha冠水、損害額2,636万3,000円に達する （広報ところ ところ文庫30 常呂川） 夜半から台風22号の豪雨で常呂川増水、28日午後に氾濫、福山観測所で最高水位10m49cm。17号以南の福山・日吉地区は一面濁流化し完遂福山地区はせっかくの豊作が一夜に流され、福山17号の太幌橋橋脚2つに折れる（広報ところ 共立百年史）
9月29日	（日吉小）洪水のため臨時休校（日吉小80年史）
9月29-30日	出水のため、福山小学校西部地区児童登校停止（福山小学校学事報告）
9月30日	遺跡調査研究会：委員室（米村網走郷土博物館長）
10月5日	常呂漁港竣工式：新漁港埋立地、網走向陽高校のプラスバンドを先頭に小中性の旗行列、自動車の仮装パレード、漁船30余隻満艦飾入港 （昭和25年網走土木現業所直轄工事着工）（広報ところ） 完成祝賀会：於中学校（当直日誌） （常呂小）常呂港完成祝賀行列参加（常呂小百年史） （常呂中）常呂港完成、祝賀旗行列に参加（常呂中20年のあゆみ）
10月12日	国力鉦山山神祭りに日吉中学校生徒が相撲大会参加（日吉中学校学事報告） 国力鉦山山神祭りに日吉小学校児童が相撲大会参加（日吉小学校学事報告） *昭和34年、35年も参加（同資料） *国力鉦山山神祭りの記載は、昭和33年から35年の3年間のみ（同資料）
10月13日	日吉橋（常呂川）事故により学童渡船通学（日吉小学事報告） 日吉橋流失につき、学童渡船にて通学 （日吉小60周年・日吉中20周年記念誌）
10月15日	福山小学校校舎・体育館新築落成式（僻地集会室）〔当直日誌〕
10月20日	日吉開拓診療所完成、診療開始（広報ところ）*日吉診療所
10月	栄浦で「馬頭観世音」の石碑建立（常呂町の石碑）
10月	東京大学駒井博士調査団が5番地台地の貝塚発掘調査着手（広報ところ） *5番地貝塚（トコロ貝塚）
11月1日	日吉小学校、校舎落成および50周年記念式典挙行〔日吉記念誌〕 校歌制定：作詞 大塚盈 作曲 渡辺三郎（日吉小80年史）

			母の会・同窓会からピアノ1台寄贈
		11月3日	(常呂小) テレビをとりつける (常呂小百年史)
		11月8日	常呂小学校落成式〔当直日誌〕 校舎が狭くグラウンドを間仕切って授業していたが、ブロック建ての便所・3教室増築、野球連盟の努力で鉄筋バックネット寄付 (広報ところ) (常呂小) 新教室落成式 学芸会 (常呂小百年史) *常呂小学校のグラウンド整地作業 (国際水産・新谷漁業部)、スコアボード (国際水産) 寄贈 (常呂小学校学事報告)
		11月18日	富丘小中学校校歌作成の寄附 (高橋岸太郎) があり、校歌制定 作詞: 大塚盈 作曲: 根上義雄 (富丘小開校30周年記念誌) *富丘小中学校沿革誌では、昭和33年11月21日
		12月1日	常呂川河口拡幅促進委員会結成〔広報ところ〕
		12月3日	かねて運動中の栄福橋 (福山小前) の架け替え、北見営林局が決定・起工式 (広報ところ)
		12月22-25日	市街地 (豊浜・朝日・本通り・大通り) 母親対象の「母の集い」開催 (川口藤五郎宅・常呂神社社務所・消防本部) (母の集い資料)
		12月	常呂町新生活運動推進委員会が「常呂町新生活運動の申し合わせ」を 広報ところに掲載 (衣食住・保健衛生・冠婚葬祭・時間の利用)
昭和33年			日吉地区開発期成会結成 (常呂町百年史) ビート紙筒栽培開始 (常呂町百年史) (常呂町農協) 精米工場が製麺工場に併置合併されたのを機に店舗狭隘のため、事務所隣の精米工場跡を購買店舗として改装 (農協20周年誌) 長短波漁業無線局開局。 (常呂漁協40年誌) 昭和33年町政要覧に「潮干狩り場は栄浦浜より約100mの向島一帯で子ども、婦人に適し、アサリ、シジミ貝、ツブ貝が多量に獲れる」の記載 無線技師、小型船舶操縦士養成講習会開催。 (常呂漁協40年誌) 常呂町漁業振興計画策定。 (常呂漁協40年誌) 大友孝一氏、町文化功労表彰 (産業教育) (共立百年史) 岐阜青年研修所建設のため、農協婦人部岐阜支部が1人2升-1斗集め、建設の火付け役をする (岐阜百年記念誌) 岐阜苗圃設置 (岐阜百年記念史) 冷害凶作年 (岐阜百年記念史) 岐阜地区納税組合結成 (還付金で公民館建設予定) (岐阜百年記念史) 会費制結婚祝賀会方式実施 (新生活運動) (富丘百年史) 常呂でビート紙筒栽培開始 (富丘百年史)
昭和34年	1959	1月1日	メートル法施行
		1月5日	総代制の採用により総代100名を選出 (農協50年史)
		1月31日	(日吉小) 吹雪の為臨時休校 (日吉小80年史)
		2月6日	水協法施行10周年記念優良組合として常呂漁協が水産庁長官賞受賞 (常呂漁協40年誌)
		2月17日	常呂町商工会臨時総会で、毎月1日を全店定休日に決定 (4月1日から実施) 年度の事業計画で、商工運動会・港まつりの実施も決定 (広報ところ) *実施月日・成績不明
		2月25日	スキー愛好者と教育委員会がスキー大会の打合せ、スキー連盟設立 (スキー大会資料)
		3月2-4日	都市計画区域指定申請、町議会にて議決される (広報ところ)
		3月8日	常呂町スキー連盟主催、教育委員会後援の第1回町民スキー大会が雪不足で取りやめ (場所: 常呂神社スロープ) (スキー大会資料)
		3月9日	常呂中購買部室完成 (常呂中20年のあゆみ)

3月19日	午後6時、浦田助役よりテレビ中継所陳情書に関する連絡あり（当直日誌）
3月22日	市街地区青年の集い：於消防本部（当直日誌）
3月22日	第1回総代会を開催（農協50年史）
3月23日	市街地区青年団設立準備会：於教委（当直日誌）
3月27日	昭和33年10月完成の常呂漁港に灯台設置（赤灯台・青灯台）、完成灯台点灯式（常呂漁協40年誌 当直日誌）
3月30日	特定港湾施設整備特別措置法公布〔新北海道史年表〕
3月	常呂の無電等戸数は60戸で3%に減少、昭和37年3月には20戸で1.1%に（常呂町百年史）
3月	大島道路を町道に認定：起点／網走・稚内線2級国道分岐点、終点／常呂・網走郡境、町道延長2,020m（広報ところ） *現在の国道238号線開通による町道への変更 *昭和35年発行の「常呂町全図」には現在の国道記載
4月1日	川沿小中学校9学級編成（小6 中3）（川沿中学校のあゆみ）
4月1日	高橋克己、高橋写真工房創業：字常呂229番地（常呂町大観）
4月10日	皇太子・正田美智子結婚式〔新北海道史年表〕
4月12日	ラジオ普及率100%達成、常呂町有線放送施設10周年記念式典「第9回NHKゆきげ祭り」（常呂小学校）〔広報ところ〕 「ゆきげまつり」に日吉小児童参加（日吉小学校学事報告） *注「ゆきげ祭」：NHK北見放送局が、昭和26年の春から農作業の出発となる雪解けを喜び、実りを期待するイベントとして、農山村地元の小学校などを会場に、NHK北見放送軽音楽楽団、アコーディオンをバックに多彩な演芸やクイズショーなどの演芸会、ラジオを通してオホーツク圏全域に中継（NHK北見の放送五十年）
4月30日	常呂町議会議員選挙執行。（22名選出）
4月	（川沿小）小学校6学級・中学校3学級編成となる。（川沿小百年史）
5月2日	オホーツク海域で操業中の中島丸、（乗組員5名）暴風により行方不明（常呂漁協40年誌）
5月4日	福山栄福橋渡橋式（広報ところ）（昭和33年12月3日着工）
5月4日	皇太子殿下のご結婚を祝福し、永く記念するために町内各団体長約20人が大島町有林内に900余本のトドマツ植樹（広報ところ）*昭和天皇
5月13日	中島丸合同葬儀：於天龍寺（常呂漁協40年誌）
5月	原田則良、有限会社常呂印刷創業：字常呂548番地（常呂町大観）
6月3日	基督教常呂教会に付属めぐみ保育所を併置 *昭和34年5月信者の協力で教会建設、38年 宗教法人基督兄弟団認証 *昭和47年町立へき地保育所に移管 47年12月18日閉園 *めぐみ保育園 モルタル仕立て、収容人員80人、3歳以上 日曜祭日を除き午前7時から午後4時まで、保育料月600円 1日2回おやつ（広報ところ） *設立年月日「町勢要覧」（S40）
6月13日	第4回臨時議会で公民館建設基金条例可決（広報ところ）
6月15日	常呂川改修工事着工（20年計画、総工事費約30億円、6.18起工式）〔当直日誌〕
6月15日	常呂町青年団体協議会体育常任委員会：於共立会館 第1回青年体育記録会打合せ
6月18日	総合グラウンド（常呂中）に競技用砂場設置（木工場・造材部・青年団体）
6月18日	常呂川改修工事起工式：於共立（当直日誌） 17号から下流の従来の堤防を完全堤防にするとともに、17号から38号までの間に4カ所両岸に完全堤防新設を計画（広報ところ） 市街地付近は外部をコンクリートにおおった特殊堤防の築堤、川底掘削を計画（常呂町史）

6月18日	ライトコロ川4号橋掛け替え工事入札(当直日誌)
6月22日	(常呂中)常呂小との合同運動会から分離し、第1回体育祭開催 (常呂中20年のあゆみ)
6月25日	(常呂小)教授学習過程研究集会を行う。参加者全道より700名 (常呂小百年史)
6月27日	(常呂中)町野球連盟並びに山田、鈴木両氏、PTA会長の尽力により 野球場バックネット完成(常呂中20年のあゆみ)
6月28日	第1回常呂町青年体育記録会:常呂町総合グラウンド(常呂中グラウンド) 主催:常呂町教育委員会・常呂町青年団体協議会 総合グラウンド新設事業 各青年団から120人選出、9種目(広報ところ)
6月30日	昭和33年9月開設許可・運用開始の常呂漁協漁業無線局開局式 (常呂漁協40年誌)
6月30日	川沿中学校増築、常呂高校寄宿舎工事入札(当直日誌)
7月8日	漁獲物計量処理迅速化のトラックスケール完成(常呂漁協40年誌)
7月15日	常呂町婦人団体協議会設立(常呂婦人会・農協及び漁協婦人部 会員約800名)(常婦協30周年記念誌)
7月30日	第1回農機器展示会を家畜市場で開催(31日まで)[農協20年史]
7月	常呂公園忠魂碑横に常呂町遺族顕彰後援会の積立金・篤志寄付により 野外演劇場新築(広報ところ)*野外ステージ
8月3日	(常呂小)北大教育学部学校教育課程研究室と共同研究をまとめた図書 『学習課程の実践的研究』の原稿就筆編集のため合宿、8月15日脱稿 10月20日明治図書より全国発売(常呂小百年史)
8月6日	ダンプカー到着(7日、入魂式:役場前)(当直日誌) 土木用ダンプカー2号車到着(広報ところ)
8月8-9日	NHK北見放送局と常呂町教育委員会共催の青少年キャンプの集い開催 (栄浦浜)(広報ところ)
8月10日	長崎抜天(長崎ばってん)一行来町(当直日誌)
8月12日	臨時総代会開催(農協50年史) 種馬所の移転について、原案どおり可決
8月13日	常呂町農産物自主協販推進委員会発足[農協20年史]
8月18日	常呂町商工会花火大会打合せ会:午後7時半~11時半(当直日誌)
8月20日	常呂町商工会主催、常呂町農協、常呂漁協後援の常呂河口拡幅工事着工 記念花火大会を市街地河畔で開催、観客1万人(広報ところ) 天龍寺主催の灯ろう流し実施、ご詠歌斉唱隊先頭に裏通り一巡(広報ところ)
8月	役場に2台目のダンプカー到着、土木事業に威力(広報ところ)
8月	開進町団地(公営住宅)1種6戸、2種8戸完成・入居者募集(広報ところ)
9月24日	北海道国民健康保険団体連合会から常呂町国保事業が国保事業優良保険者 総合1位で表彰(33年度も1位)(広報ところ)
9月25日	常呂町国民健康保険病院増改築工事完成(6月20日着工、 10月1日診療開始)(広報ところ)
9月28日	国保宣伝映画会:日吉劇場及び町議会議事堂/午後11時10分閉会(当直日誌)
10月3日	(常呂中)生徒のいも拾い稼働により膳写輪転機購入(35,000円) (常呂中20年のあゆみ)
10月5日	常呂漁港修築工事完成、これに並行し北防波堤に灯台設置(常呂町史)
10月11日	薄荷蒸留所1棟17坪焼失(当直日誌)
10月15日	農山漁村建設総合施設事業として岐阜青年研修所が完成(7月18日着工) (常呂町史)
10月20日	「学習過程の研究」(北大教育学部学校教育研究室編) 常呂町教育委員会:発行
10月22日	小峰沢ダム竣工式[当直日誌]

		10月28日	漁村向け寒冷地住宅（寒冷地モデル住宅）として常呂漁協組合員3戸完成 （常呂漁協40年誌）
		10月	日吉神社社殿新築（常呂町史）
		10月	法華宗布教所住職に松木俊道（常呂町大観） *立正寺
		10月	家畜市場で農協主催の当歳馬市場開催、内藤由夫所有の栄勝号が最高の 87,000円で売買（土佐郷土史）
		11月3日	岐阜青年研修所完成記念「岐阜部落沿革史」（岐阜部落）発刊
		11月3日	第6回常呂町文化祭に併せ、常呂町青年団体協議会（常青協）10周年記念 式典：常呂劇場（団旗披露・団歌発表） *「常呂青協の歌」平野彩霞／作詞 渡部三郎／作曲 常呂町文化祭の夜の部の観客800余名、演劇発表午後8時から、終了は 深夜12時過ぎ（広報ところ）
		11月7日	吉野小学校僻地集会室(体育館54坪)落成式（7月2日着工）（広報ところ）
		11月11日	（常呂小）北大教授グループ来校、共同研究開始。以来昭和36年11月 まで2年間にわたり計6回来校、共同研究行なわれる（常呂小百年史）
		11月22日	常呂漁業協同組合10周年記念式典：常呂小学校講堂 祝宴で、常呂漁協婦人部、水友会の芸能発表（常呂漁協40年誌）
		11月23日	（常呂高校）木造モルタル塗平屋建ての3教室を増築。坪数73坪、軽石 ブロック造平屋建の校長住宅を落成。坪数21坪（常呂高校40年史） 常呂高校の増築教室に家庭科新設（広報ところ）
		11月29日	常呂町国民健康保険事業10周年記念式典（議事堂）（広報ところ） 常呂町国保病院増築祝賀会：議事堂（当直日誌）
		12月5日	岐阜青年研修所完成（岐阜公民館）・落成式（広報ところ） 岐阜青年研修所落成記念式典〔当直日誌〕 新生活運動、冠婚葬祭は研修所使用（岐阜百年記念史）
		12月24日	建設大臣より都市計画法適用の決定を受ける
		12月25日	常呂漁協漁村青年研修所落成式〔当直日誌〕
		12月下旬	常呂漁協信用部独立4年を経て店舗狭隘のため、本通り小林金物店跡地を 買収して木造モルタル平屋40坪新店舗完成（常呂漁協40年誌）
昭和34年			森林組合苗畑事業経営着手 新谷組合長再選（常呂漁協40年誌） 丙種船長、機関長養成講習会：1月25日から4週間 土佐の山浦富三郎が37万円で耕運機を購入（土佐郷土史） 無線技師養成講習会開催：3月7日から2週間（常呂漁協40年誌） 常呂加工協会設立（常呂漁協40年誌） 梅田保正、梅田温泉試掘：共立姉間排水機場向かい側（冷泉沸かし湯） *昭和53年頃まで営業 農耕用トラクター導入（斉藤吉明）、ミルカー導入（後藤護、高橋金哉） （共立百年史） 常呂町農協が家畜市場で第1回農機具展示会開催、好評（農協20年記念史） 町内婦人部連絡協議会設立、参加（岐阜百年記念史） 岐阜若妻友の会結成（岐阜百年記念史） 富丘地区の横山忠がテレビ導入（富丘百年史） フォードデキスター導入32ps（横山清勝）（富丘百年史） 亜麻会社、奨励金打ち切る（富丘百年史）
昭和35年	1960	1月22日	「オホーツク海」試写会：議事堂（当直日誌）
		2月14日	実質第1回町民スキー大会：神社坂（当直日誌）
		2月	土地改良事業（客土）完了（常呂町史）
		2月	豊川区で12項目のアンケート実施、川沿保育所開設を決定。

	*豊川区の事業として季節保育所を豊川公民館に設置、名称は川沿保育園 運営費は保育料と補助金を充てる、建設時の備品・遊具は篤志寄付で用意 (豊川区開基百年誌)
3月1日	常呂町ラジオ共同聴取放送所「この人をたずねて(藤山ハル)」放送 (2月27日録音、藤山ハルのお祝いの歌・ムックリ・トンコリ)
3月13日	前日からの降雨により常呂川氾濫、日吉橋・栄福橋(旧橋)流失、 家屋への浸水などもあり(当直日誌) *融雪災害 *日吉橋復旧工事:橋長40m 日吉橋一部架け替え:20m
3月22日	第2回総代会開催(農協50年史)
3月	道道北見常呂線の路線一部変更に伴い、3旧道を町道に認定(豊川福山線 17号-22号 福山鉄山線23号-28号 日吉線34号-37号) (広報とことろ) *豊川17号から日吉まで現在の道道北見常呂線に道路変更:時期不明
4月1日	役場の公文書が左横書きに変更(広報とことろ)
4月1日	(常呂中)8字級編成認可(常呂中20年のあゆみ)
4月4日	農協青年部豊川支部長の呼びかけで、豊川・福山・共立・富丘4地区の地区別 対抗運動会開催を決定(毎年9月23日開催)(イワケシュ郷土史)
4月10日	郵便局議事堂使用(当直日誌)
4月27日	漁業協同組合整備促進法公布[法令]
4月29日	「オホーツクのあざらし」試写会:議事堂(当直日誌)
5月1日	かもめ保育園:かもめ保育所(漁業青年研修所付属事業)開園式 入園児:3-5歳児60人、保母2人(常呂漁協40年誌)
5月1日	川沿保育園(川沿保育所)園児40人、保母2人体制で開園式挙行・開所 (豊川区開基百年誌)(町勢要覧)
5月2日	かき島荘増築工事入札(当直日誌)
5月4日	(日吉小)学校林植樹(3700本)(日吉小80年史)
5月7日	浩宮徳仁親王誕生を記念して町内各団体員約40人が東浜町有林に トドマツ250本、エゾマツ500本植樹(広報とことろ)
5月11日	常呂町連合PTA結成(常呂中20年のあゆみ)
5月14日	公民館建設促進委員会設置:23人(広報とことろ)
5月20日	市街地国道の舗装工事着工(鈴蘭から野辺鉄工所まで)(広報とことろ) 本通りから大通りまで片側通行(5月15日から9月30日)(広報とことろ)
5月26日	公民館建設促進委員会:委員室(当直日誌)
5月26日	常呂中学校増築工事着工(広報とことろ)*理科・家庭科特別教室
5月30日	第4回臨時議会で公民館の建設場所を議事堂の位置に決定(広報とことろ)
5月	役場でリコピー(複写機)購入、20分ほどで戸籍謄本交付(広報とことろ)
6月1日	3月の水害で一部流失した日吉橋の復旧工事着工(8月24日まで予定) (広報とことろ)
6月5日	(常呂小)写生大会実施(常呂小百年史)
6月9日	日吉巡査駐在所新築工事、日吉開拓診療所(日吉診療所)増築工事入札 (当直日誌)
6月15日	常呂市街電灯新設点灯式:駅前[当直日誌]
6月26日	商工会が主催となり、市街地区中心の運動会を開催する。(広報とことろ) 末広優勝、商工会主催運動会役員慰労会:議事堂(当直日誌)
6月	大島・東浜集落一同が馬の慰霊供養のために「馬頭観世音菩薩」の石碑建立 (旧大東会館裏)(とことろ文庫10常呂町歴史散歩)
6月	霊柩車を設置、使用料は全町一律、2往復で700円(広報とことろ)
6月	簡易宿泊所かき島荘の増築工事完成(広報とことろ)
7月5日	HBC放送局「伸びゆく我が郷土」録音:応接室(当直日誌)
7月7日	常呂町剣道連盟総会:委員室(午後6時-9時)(当直日誌)*設立総会

7月15日	栄浦火の見やぐら建設工事完成（広報ところ）
7月15日	簡易宿泊所かき島荘増築工事・栄浦公衆便所新設工事竣工（広報ところ）
7月16日	建設大臣より都市計画区域の指定を受ける
7月23日	映画館から発する広告放送の騒音規制決まる：上映前後（広報ところ）
7月28日	民間人による「一日食品監視」実施〔当直日誌〕
7月	消防第4分団に小型動力ポンプ配置（常呂消防団100年記念誌）
8月4日	家畜市場上棟式〔農協20年史〕
8月10日	西9線橋架設工事竣工（広報ところ）
8月12日	NHK北見放送局長とラジオ番組「とんち教室」青木先生来庁（当直日誌）
8月12日	陸上自衛隊常呂海岸測量のため常呂中に7日間宿泊（常呂中20年のあゆみ）
8月15日	ニュートコロ提供東京大歌舞伎興行（常呂劇場）（興行写真）
8月18日	土地改良記念碑「客土記念碑」除幕式（共立）〔当直日誌〕 旧共立駅前に建立し、現在は共立会館敷地内に移設
8月22日	羊毛祭〔農協20年史〕
8月24日	（常呂中）簡易耐火構造理科家庭科特別教室落成（常呂中20年のあゆみ）
8月	カレイの刺網導入〔管内ニュース年報〕
8月	軌道客土終わる（岐阜百年記念史）
8月	土地改良記念碑除幕式（富丘百年史）
8月下旬	土佐団地（公営住宅：現西町）1種6戸、2種10戸完成（広報ところ）
9月5日	柴山の沢治水工事竣工式、常呂漁協荷捌き所工事上棟式〔当直日誌〕
9月6日	常呂中学校増築工事落成式：於中学校、午前8時（当直日誌） 常呂中理科家庭科特別教室落成式挙行政（常呂中20年のあゆみ）
9月8日	常呂高校増築工事上棟式（当直日誌）
9月13日	ソ連漁業調査団一行来町〔当直日誌〕
9月16日	（常呂小）札幌北9条小学校に於いて北9条小との共同研究（常呂小百年史）
9月18日	共立で「客土記念碑」（常呂町土地改良区）の除幕式
9月18日	日吉巡査駐在所落成（当直日誌）ブロック建、20.4坪（広報ところ）
9月19日	（有線ラジオ）共同聴取一本化打合せ：委員室（当直日誌）
9月23日	第1回地区別対抗運動会開催（豊川・福山・共立・富丘）共立地区優勝 （イワケシユ郷土史）
9月24日	農業協同組合日吉支所上棟式〔農協20年史〕
9月25日	常呂町農協家畜市場・種馬所・管理人住宅完成（広報ところ）
9月25日	常呂町農協「組合だより」第1号発行（農協50年史）
9月28日	国保宣伝映画会：日吉劇場・議事堂（当直日誌）
9月	岐阜第一遺跡発掘、東京大学考古学研究室による（岐阜百年記念史）
10月1日	（常呂中）PTA会長を中心とする父兄有志の尽力により、15万円の資金で25人編成のプラスバンド（吹奏楽部）結成（常呂中20年のあゆみ）
10月9-10日	新築の常呂町農協家畜市場で秋馬市開催、昨年の秋馬市より盛況 昨年よりも平均3,800円高い（広報ところ）
10月9日	土地改良区10周年記念式〔当直日誌〕
10月17日	常呂漁協婦人部の活動として、毎年この日を「1日皆貯金」運動に。 全部員が参加して貯金の啓蒙（常呂漁協40年誌）
10月20日	常呂町農協日吉支所新築完了、12月10日落成式（農協50年史）
10月21日	家畜総合センター（常呂町農協家畜市場）落成式〔農協20年史〕
10月21日	家畜品評会〔農協20年史〕
10月21日	種馬所・管理人住宅移転完了（農協50年史） *昭和34年8月13日開催臨時総代会で種馬所の移転先が、土佐9番地に決定（常呂町農協創立20年記念史） *獣魂碑も種馬所とともに移転（常呂文庫10「常呂町歴史散歩」）
10月30日	福山小学校PTA・福山部落から福山小学校体育館に幕寄贈、学芸会

		(福山小学事報告)
	11月6日	常呂水産物加工協会が常呂漁協・小林勝哉氏の協力を得て、イカのすめ作りパンフレットと生イカ6000尾を一般家庭に無料配布(広報ところ)
	11月10日	川沿小学校開校60周年記念式典挙行。 (川沿小)特別教室別棟2教室増築完成(川沿小百年史)
	11月10日	常呂劇場ボイラー室から出火、半焼(当直日誌) 常呂劇場消失(広報ところ)
	11月21日	農産物品評会〔農協20年史〕
	11月23日	(常呂高校)常呂高等学校女子寄宿舎(柏風寮)落成式(7月着工) 62坪 43人収容(常呂高校40年史) 旧議事堂を移転増築して寄宿舎に転用(広報ところ)
	11月25日	第2回社会教育委員会において、体育協会の規約案提示。年度内の結成が望ましいとの意見。準備会の構成が示された。 第2回社会教育委員会で婦人学級の開設を決定。(昭和36年1月~3月) 共立・富丘・福山・日吉・岐阜・豊川・市街地2地区(漁業・一般)
	11月27日	常呂川拡幅工事に伴う常呂漁協の市場施設移転、荷捌き施設を常呂漁港敷地に建設、11月完成市場業務開始、27日完成式(常呂漁協40年誌)
	11月27日	常呂漁港の水産荷捌所落成式〔当直日誌〕
	12月8日	日吉橋落成式・渡橋式:日吉校〔当直日誌〕(6月着工) 3月の融雪災害で日吉橋が流失、流失部分は復旧、流失しなかった部分は架替(6月から)、その間常呂漁協提供の磯舟で交通確保(広報ところ)
	12月10日	常呂町農業協同組合日吉支所及び職員住宅落成式(10月20日完成) (常呂町農協20周年記念史)
	12月10日	(常呂高校)振興会による全日制設置運動始まる(常呂高校40年史)
	12月12日	常呂町体育協会設立準備会(広報ところ)
	12月	従来、各商店ごとに配布していたカレンダーを取りやめ、常呂町商工会がカレンダーを発行し、各家庭に配布(広報ところ)
昭和35年		国道市街地舗装工事(鈴蘭からホクレントラック車庫まで292m)完成 商工会が主体となって市街地国道・道道に街灯設置(町政懇談会資料) 村崎恭子(東京外国語大学)が藤山ハル〔権太アイヌ話者・権太アイヌ伝承者〕と出会い、研究開始(文連機関紙新壱第14号) 山田芳夫、山田開進堂設立(大正元年12月1日山田久七商店支店創業) :字常呂205番地(常呂町大観) 道道北見常呂線、駅前から530m舗装(常呂町史) 日吉小学校夏休み期間に日吉小学校・鉄山でラジオ体操会(日吉小学事報告) 道道北見・常呂線、常呂市街地舗装工事完成(常呂町史) 移植ビートの大面積栽培に成功 3ヶ年継続工事の道道北見常呂線改良工事完了(広報ところ) 共立パン工場閉鎖(共立百年史) 鮭鱒捕獲場新設 サケマス捕獲場新設(東浜) 土佐橋架け替え(町政だより) *架設年月は不明 土佐では藤田高行、藤田定男宅に電話架設(土佐郷土史) 漁協青年部農林大臣表彰受賞(常呂漁協40年誌) 採用品ビート耕作中止、原料ビートに変わる(共立百年史) 乳牛100頭祭りを行う、酪農戸数21戸(共立百年史) 岐阜共同澱粉工場、農協直営になる(岐阜百年記念史) 新生活運動として青年研修所で会費制(300円)結婚式祝賀会方式実施 (岐阜百年記念誌) 富丘で紙筒移植によるビート栽培始まる(富丘百年史)

昭和36年	1961	1月	常呂町体育協会設立（野球部・剣道部・柔道部・卓球部・バレーボール部。スキー部・スケート部・バドミントン部）（常呂町史）
		1月10日	（常呂高校）家庭科設置が認可される（常呂高校40年史 創立20周年記念誌）
		1月26日	（日吉小）吹雪の為2日間臨時休校（日吉小80年史）
		2月8日	吹雪のため交通途絶（広報ところ）
		2月20日	常呂商工会創立総会開催（3月29日設立認可、再出発）〔常呂町史〕 任意商工会を解散し、常呂商工会設立総会開催（広報ところ）
		2月23日	常呂川汚濁防止総決起大会開催
		3月29日	常呂商工会設立認可、再出発〔常呂町史〕
		3月	定例町議会で、道道北見常呂線の路線一部変更に伴い、旧道を町道に認定（豊川福山線17号-22号 福山鉄山線23号-28号 日吉線33号-37号）（広報ところ）
		4月1日	（常呂小）16学級編成認可（常呂小百年史）
		4月1日	（常呂中）9学級編成認可（常呂中20年のあゆみ）
		4月1日	（登小）児童数減少で2学級 教員2定員となる（吉野・登小閉校記念誌）
		4月11日	（吉野小）テレビ施設設置（吉野・登小閉校記念誌） これがきっかけで次々にテレビ施設設置、昭和40年には全戸に受像機設置（吉野50年のあゆみ）
		4月7日	（常呂中）自衛隊音楽隊来校し演奏（常呂中20年のあゆみ）
		4月	豊川婦人会設立〔常婦協20年史〕
		4月	栄町町内会第7班、戸数14戸、小学4年生以上、中学3年生8人で子ども会を結成。昭和38年に栄町の小中学生全員84人、5グループ化し、栄町子ども会として新発足。各町内会に波及（栄町子ども会のあゆみ）
		4月	（登小）町議会で僻地集会室（体育館）新築を決議される（吉野・登小閉校記念誌）
		4月	NHKラジオ第2放送で毎週月一金曜日まで「北海道ラジオ農業学校」放送 中学卒15-18歳の青少年、翌年2月まで（広報ところ）
		5月10日	理容事業を開始（農協50年史） 建物は雪印乳業KKの牛乳処理場を買収、農協親睦会（会長中島広）に貸し付けし行なう事とした
		5月	岐阜湖畔実行組合地区（土本・室田）にテレビが入る（岐阜部落開基80周年記念誌）
		6月1日	国鉄湧網線（湧別・網走間）に気動車運転〔新北海道史年表〕 湧網線の完全客貨分離を実施し、これに伴う時刻改正を実施（旭川・鉄道八十八年の歩み）
		6月12日	農業基本法制定〔新北海道史年表〕
		6月18日	商工運動会開催（常呂町商工会第1回通常総会議案）
		6月	常呂町長高清水慶吉、任期満了により退職（常呂町百年史）
		6月	農協が農繁期の組合員の便益のために移動購買車を設置（農協20年誌） *移動外販車第1代「ひまわり号」運行開始
		7月2日	常呂町長選挙・常呂町議会議員補欠選挙執行（広報ところ）
		7月3日	第3代町長上杉武雄就任（常呂町百年史）
		7月4日	町長選挙で推薦候補落選の責任をとり17議員が辞職（北海道新聞）
		7月6日	田村網走支庁長の慰留説得により17議員辞職撤回（常呂町百年史）
		7月29日	常呂郵便局、改築移転（RC） （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		8月1日	山田猛、株式会社ヤマダ創業：字土佐35番地（常呂町大観）
8月17日	台風9号、太幌橋などに被害を与える 「広報ところ」10月号に、臨時議会で隈川橋・太幌橋補修費計上の記事		
8月30日	（常呂小）小児生ワクチン投与（常呂小百年史）		

8月	助役浦田俊雄退職、後任に斎藤秀信着任
8月	(常青協) 町内青年体育祭 3部に分け行う (常呂中学校) 第1部・陸上、第2部・ソフトボール、第3部・バレーボール (常青協25周年記念誌)
9月1日	佐藤、江田両所有の澱粉工場を借り受け、常呂町農業共同組合直営として澱粉工場操業開始〔農協20年史〕
9月1日	(登小) 体育館附属工事完了。集会室38.5坪、便所4坪、玄関その他 (吉野・登小閉校記念誌)
9月5日	(常呂高校) 常呂町議会に於いて、昭和37年度より全日制設置の件が議決される (常呂高校40年史)
9月6日	NHK教育テレビが日吉小学校取材 (日吉小学校学事報告)
9月23日	第2回地区別対抗運動会開催 (豊川・福山・共立・富丘4地区) 富丘地区優勝 (イワケシュ郷土史)
9月27日	町村知事来町、漁港・移植ビート・ホタテ稚貝採苗鋼管機視察
9月28日	(常呂中) テレビ寄贈祝賀会開催 (佐藤喜・小林・大友・岡久・佐藤司5氏が発起人となり父兄有志の寄付金でテレビ3台購入) (常呂中20年のあゆみ)
9月29日	産駒品評会〔農協20年史〕
9月	消防第2分団、第3分団に小型動力ポンプ配置 (常呂消防団100年記念誌)
9月中旬	築堤中の日吉地区の堤防が常呂川の増水で崩壊 (常呂町百年史)
10月1日	(常呂中) テレビ、ラジオ2本立放送教育実施 (常呂中20年のあゆみ) 年度当初からラジオ放送教育実施、PTA有志の寄付でテレビ3台設置 (常呂中学校学事報告)
10月4日	(常呂中) 簡易耐火構造普通教室3教室増築落成 (常呂中20年のあゆみ)
10月24日	豊川簡易水道工事起工式、12月28日通水式 (イワケシュ郷土史) *基線16号と17号の湧水利用
10月	(川沿中) 簡易耐火構造普通教室2教室増築落成 (起債関係書類)
11月2日	常呂町中央公民館落成式 (6.1着工、10.25完成) (広報ところ) 中央公民館落成記念の市街パレード写真に、常呂小学校鼓笛隊と常呂中学校プラスバンド (吹奏楽) が写り込んでいる
11月2日	第1号名誉町民の称号を新谷廣治翁に贈られる (常呂町史) *新谷広治
11月10日	(錦水小) 普通教室1教室建設、落成式挙行政 (錦水小50年史)
11月11日	登小学校僻地集会室 (登小学校体育館) 落成式及び創立10周年記念式 (登小学校沿革)
11月14日	(常呂中) 増築教室落成式挙 (常呂中20年のあゆみ)
11月20日	第1回常呂町史編纂委員会開催 (常呂町史)
11月25日	樺太アイヌ民族調査 (北海道音楽協会主催・中央公民館) 山本吉太郎の太鼓、藤山ハルの音頭で樺太アイヌの舞踊「イソ、コヘチリ (熊祭りの踊り)」、「ウボポ (祭りの踊り)」などを録音・録画、後日NHKテレビ、STVテレビ、NHKラジオで放送 (広報ところ)
11月29日	宗教法人法華寺規則設立申請受理 (立正寺) (宗教法人法華寺申請資料)
11月30日	(常呂高校) 常呂高等学校整備計画第1期工事が落成。 (普通教室・4教室80坪、生徒玄関廊下132.5坪、計212.5坪 (常呂高校40年史))
11月20日	第1回常呂町史編纂委員会開かれる
11月	9月の町議会で特別教室の増築決定、9月着工、11月落成 (富丘小学校開校30周年記念誌)
12月4日	(吉野小) 吉野小学校新校舎落成、152.28㎡ (僻地集会場を除き全面新築) (12月10日落成式) (吉野・登小閉校記念誌)
12月6日	(吉野小) 水呑場に水道設置 (吉野・登小閉校記念誌)

		12月7日	浜佐呂間地区で牡蠣中毒発生、カキの出荷停止となる（常呂漁協40年誌）
		12月10日	（吉野小）新校舎落成式挙行（吉野・登小閉校記念誌）
		12月18日	漁船機関修理工場移転建築を決定（常呂漁港埋立地 軽量鉄骨40坪） （常呂漁協40年誌）*建設は昭和37年：付属事務所住宅も建設 *昭和38年5月 ヤンマーディーゼル機関特約契約（常呂漁協40年誌）
	昭和36年	12月	栄浦青年研修所建築材として北見営林署に払い下げ申請（広報ところ） 常呂高等技芸学校の廃止により、常呂高等学校に季節4年制の家庭科新設 網走天都山にテレビ放送所開局（（NHK北見の放送五十年） 採種用甜菜耕作組合を改称し甜菜増産振興会が発足〔岐阜のあゆみ〕 公営住宅：土佐団地建設、1種6戸、2種12戸（常呂町史） 日吉左岸築堤工事着工（昭和47年完成）（常呂川治水史 常呂町百年史） 白鳩保育園閉園 北拓養豚会社設立：錨沸（トーフツ）（昭和40年頃まで） 共立納税組合設立、初代組合長 佐藤光信（共立百年史） ナフィールド40ps導入（山口栄）（富丘百年史） 新谷商店「帆立燻油漬」（ホタテ燻油漬）誕生（新谷商店HP）
昭和37年	1962	1月1日	常呂貝印石油開業、昭和45年に常呂石油給油所改称（本通り高橋商店右横）
		1月4日	常呂町少年消防クラブ設立 （常呂小児童30人、常呂中生徒30人、計60人）（常呂町史）
		1月16日	常呂高等学校全日制課程設置認可（常呂高校創立20周年記念誌） *普通科6学級・定員300人（議会議決昭和36年9月5日）
		1月19日	常呂外4ヶ村農会を組織する（会長寺元大道会員総数650名、 総代数22名）
		1月19日	豊川簡易水道工事完成落成式：川沿小学校。豊川簡易水道組合結成 （イワケシュ郷土史 豊川区開基百年記念誌）
		1月29日	法華宗布教所、宝樹山立正寺の寺号認可。本堂建立（常呂町史 常呂町大観）
		2月22日	（常呂中）町教材費及びPTA費によりテレビ2台設置 （常呂中20年のあゆみ）
		2月	常呂・日吉間の郵便物配達がバス輸送になり、3日間から翌日配達へ （広報ところ）
		3月20日	常呂町老人クラブを創立することになり、7人で発起人会（市街・富丘・ 岐阜・土佐）を開催、設立を決定（長生会20周年記念誌）
		3月25日	第2回町民卓球大会：常呂中（体育協会・常青協・町教委共催：250人 参加 常青協／個人・団体戦 個人戦・職域団体戦） （体育協会卓球大会顛末書） *第1回町民卓球大会は昭和36年3月
		3月	営林局にイワケシ山の借受を申請：イワケシ牧場を創設（常呂町百年史）
		3月	昭和37年度町事業に老人クラブ設置事業として老人クラブ備品購入費 予算化（広報ところ）
		4月1日	（老人クラブ連合会）長生会設立：中央公民館（長生会20周年記念誌） 会員数（男17女30計47人）活動：毎月1、15日公民館和室
		4月1日	農協経営管理改善の実施（農協50年史） （1）営農指導部の充実強化（組合員係制の採用） （2）組合員勘定制度の採用（組合員取引の計画化と集中管理方式、今ま では台帳により各係ごとに債権債務の管理を行っていたが、これを 集中化し、計画と実績を容易に把握しようとするもの （3）事務の能率化 （4）組合経営の計画化、以上のように旧式方法を事務改善すること により、組合員、組合相互の体質改善が図れるとしたもの

4月10日	(常呂高校) 全日制課程の開校式および入学式を挙行 全日制普通科第1学年の入学状況(男子66名、女子43名、計109名) (常呂高校創立20周年記念誌 常呂高校40年史)
4月	常呂高校全日制の野球部開部。春の大会から全日制・定時制合同チームを編成して参加。公式戦第1戦で初勝利(常呂高校四十年史:雑感) *津別高校と対戦、4対3で9回逆転、初勝利:美頃高校グラウンド
4月	常呂高校文芸部活動開始、第1回卒業生中心に「オコック」第1号創刊 *「オコック」アイヌ語でオホーツクの意味(常呂高校創立20周年記念誌)
5月4日	(常呂中) 町当局、PTAの尽力によりテレビ4台設置、全学級にテレビ配置完了(常呂中20年のあゆみ)
5月23日	福山小学校PTAが福山小に17インチテレビ寄贈・設置(福山小学事報告) *「福山小休校記念誌」では昭和35年5月(間違い)
5月29日	登小学校職員室にテレビ設置(登小学校学事報告) *同年、登地区25戸でテレビ聴取(小規模校における放送教育の実践)
6月11日	(常呂小) 卒業記念植樹(校地周囲はい松苗)(常呂小百年史)
6月12日	新谷広治前組長黄授褒章受賞祝賀会:公民館(広報ところ) 授賞式は5月30日(東京)(常呂漁協40年誌)
6月24日	町民運動会開催(常呂町商工会第2回通常総会議案) *商工会の事業計画には、商工運動会は会員運動会、町民運動会2つの要素
6月29日	常呂農協漁協共同給油所建設(7.4開所式)[農協20年史]
6月	種豚事業開始(農協50年史)
6月	昭和33年から貸与の岐阜綿羊牧場、農協直営に切り替え。 6月~10月までの期間を林政之に請負管理させる[農協20年史]
7月4日	常呂町農協・常呂漁協共同給油所開所式(6月29日完工)
7/27-28	福山小学校PTA労力奉仕による動力ポンプ水道工事、学校用水道完成(福山小学事報告) *「福山小休校記念誌」では昭和35年7月(間違い)
7月	常呂町農協、肉用黒毛和種9頭購入、肉牛飼育始まる(常呂町百年史)
7月	栄浦青年研修所落成式(広報ところ)
7月	網走信用金庫から寄付を受け、水槽付消防ポンプ自動車購入、「信金号」と命名。第1分団に配置(広報ところ 常呂消防団100年記念誌) *網走信金
8月1日	常呂から国道238号を起点として鑑沸・栄浦を経てふたたび国道につながる路線が、道道サロマ湖公園線に認定(常呂町百年史)
8月3日	台風9号の襲来で被害総面積2,521.4ha(水田41.5ha、畑2,479.9ha)、床上浸水44戸、床下浸水8戸、被災人口302人、道路・橋梁2ヶ所、被害総額2億6759万4000円(常呂町百年史) 台風9号(3~4)による洪水で被害面積812ha、被害農家195戸、被害額9,435万円に達し被害甚大。太幌橋流失(農協50年史) 福山太幌橋の橋脚がえぐられ、橋が2つに折れる(広報ところ) 「広報ところ」9月号では写真付き6ページにわたり台風災害特集 常呂川上流でおよそ180ミリに達し、4日午後7時頃から増水、日吉以北の農地に甚大な被害(豊川区開基百年誌) *北見放送局が福山地区の現地録音をし、区長・福山小校下父兄の声が全国にラジオ放送。岐阜県高山市の大埜間昌氏から衣類・図書届き、大埜間文庫を福山小に設置(福山小40年のあゆみ)
8月10日	「愛の鐘」山田甚太・ハル夫妻の寄贈により小高神社境内に設置(8月2日地鎮祭)、始鐘式開催
8月	常呂市街の北見営林署苗畑事業所を土佐に移転(常呂町史)
8月20日	常呂高校文芸部発行の「オコック」第1号発行(オコック)
8月下旬	土佐団地(公営住宅)1種6戸、2種10戸完成、計1種48戸、2種59戸に(広報ところ)

	9月23日	第3回地区別対抗運動会開催（豊川・福山・共立・富丘4地区）福山地区優勝 （イワケシュ郷土史）
	9月25日	常呂町食用馬鈴薯生産組合設立〔農協20年史〕 大阪中央市場・京都中央市場部長来町、豊川を中心とするジャガイモ耕作者 に関西地方における常呂産ジャガイモの人気、売れ行き説明会、この席上で 組合設立の声（豊川区開基百年誌）
	9月30日	日吉火の見やぐら建設（決算説明書）工事期間6/26-9/30
	9月	（常呂高校）第1回学校祭開催（全日制第1学年と定時制合同） （常呂高校40年史） *第1日目：仮装パレード、開会式、弁論大会、キャンドルパーティ *第2日目：文化祭（芸能発表、展示、デコレーションコンクール *第3日目：体育祭（バレーボール、卓球） （「オコック」創立30周年記念特集号）
	9月	常呂文化連盟結成（会長中台泰士）（文連「新墾にいばり」創刊号）
	10月1日	老人クラブ一行、一日を梅田温泉で楽しむ（将棋・弁当・歌・酒・民謡） *昭和42年5月号広報ところでは梅田温泉を桜の名所と紹介（広報ところ）
	10月6日	臨時総代会開催（農協50年史） 岐阜共同澱粉工場の買収について原案どおり可決、本工場は 37～39年の3年間操業 共同澱粉工場が農協の直営となる〔岐阜のあゆみ〕
	10月7日	北見管内災害危機突破農民大会、常呂町にて開催〔農協20年史〕
	10月30日	常呂高校整備計画第2期工事が完成：屋内体育館・ステージ、普通教室2、 便所・廊下（常呂高校創立20周年記念誌）*常呂高校40年史では10/20完成
	10月	かき島にカキ貝清浄処理場完成〔常呂町史〕*栄浦：カキ処理場
	10月	常呂町農協直営の豚繁殖基地を種馬地隣に新設。北拓養豚場から8頭を購入 （農協20年誌）
	10月	第13回総合家畜品評会当歳馬の部で土佐が団体賞受賞（土佐郷土史）
	11月1日	文化連盟機関紙「新墾（にいばり）」創刊号発刊
	11月7日	網走地方テレビ放送研究大会を常呂中で開催、研究発表を行う （常呂中20年のあゆみ）
	11月	消防第1分団に小型動力ポンプ配置（常呂消防団100年記念誌）
	11月	常呂高校屋内体育館落成記念事業として町民から寄付を募り、ステージ幕・ 暗幕を購入 *常呂高校体育館 町内区町会から常呂高校に「校章」の寄贈（常呂高校創立20周年記念誌）
	12月1日	市外通話網走電報電話局へ集中 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
	12月	常呂町森林組合が優良樹木苗を確保し、計画造林を推進するために、林貢氏 所有の苗畑及び付属施設を取得：森林組合直営苗畑 （森林組合創立10周年・人工造林1000ヘクタール記念組合要覧）
昭和37年		この頃、日吉鉄山に保育所開設（39年閉園）（手師学村から100年） *「昭和38年度常呂町決算説明書」に「保育園設置補助6万円」の記載 第3代目組合長として高田良一選任さる。（常呂漁協40年誌） 優良事業団体として農林大臣表彰受賞。（常呂漁協40年誌） 岐阜森林愛護組合、現在組合137名（組合長井川善） （岐阜百年記念史） 錦水小学校で鼓笛隊を編成（岐阜部落開基80周年記念誌） 常呂のテレビ普及率 621戸/全戸数の32.3%（豊川百年記念誌） 土佐の林登がオートバイ、ダイヤモンド50cc購入（土佐郷土史） ニワトリ白血病の大発生（常呂町農協青年部50周年記念誌） 高橋金哉氏ヒドロポンプ導入、牛尿畑へ撒布（共立百年史）

			ビート振興用トラクター導入（共立百年史） 第2、トラクター共同購入（クボタ、15馬力）（共立百年史） 水道敷設工事完了、通水式、祝賀会（富丘百年史）
昭和38年	1963	2月1-2日	NHKが常呂小学校児童活動取材で来校・録音（常呂小学校学事報告）
		2月	福山小学校、佐々木スキー場で第1回校内スキー大会開催 福山小学校に大埜文庫設置（福山小40年のあゆみ）
		3月1日	栄浦簡易郵便局設置（受託者常呂漁協）〔常呂町史〕
		3月11日	昭和36年に公布された災害対策基本法を受け、常呂町防災会議条例を制定、常呂町防災会議を組織（常呂町史）
		3月25日	常呂町読書会の結成（公民館図書室の館外貸出・新刊書の共同利用）
		4月1日	（常呂小）15学級編成認可（常呂小百年史）
		4月13日	福山小学校の大埜間文庫にテレビ取材・集録（福山小学事報告）
		4月15日	（常呂中）第1回卒業生沢向瑞穂氏の寄付金を基金としてチャイムを設置「自律の鐘」と命名し、始業式を行う（常呂中20年のあゆみ）
		4月20日	第15回総代会開催（農協50年史） 今までの決算期4～3月を本年度より2月末に変更、従って今年度は4～2月の11ヵ月決算となる
		4月30日	常呂町議会議員選挙執行（22名選出）
		4月	（常呂高校）常呂高校生徒の制服が、男子は黒の学生服、女子はセーラー服と正式に定められる（常呂高校40年史）
		4月	役場に電話交換庁内電話取り付け：役場（1番、10番、30番、51番） （広報ところ）
		5月4日	常呂町と北見バス共同出資のサロマ湖観光株式会社創立総会打合せ （北海道新聞）
		5月8日	北見バス会社のサロマ湖観光路線運行開始：夏季のみ運行 ＊網走国定公園サロマ湖周遊観光路線（留辺蘂－富武士－栄浦－常呂） （計呂地－富武士－ウルリントー－常呂）（佐呂間町史・佐呂間町百年史） ＊遠軽－サロマ湖－常呂間のサロマ湖観光定期バスの運行によって、一躍定期観光路線がクローズアップされました（北見バス20年） サロマ湖観光路線は昭和40年頃廃止（常呂町百年史）＊確認資料なし
		5月	サロマ湖観光株式会社設立（常呂町はかき島荘を現物出資、北見バス会社は3百万円を出資して資本金6百万円。経営主体は北見バス。新会社ではかき島荘に併設してユースホテル40ベッド新築（広報ところ）
		5月	消防第1分団に資機材車配置（常呂消防団100年記念誌）
		6月2日	町民ピクニック開催（雨天のため中止）主催：常呂町文化連盟 （11時かき島集合 バス10時・10時30分増発） （第1回町民ピクニックピクニックチラシ） 文化連盟が主催。湖水開きにあわせて栄浦まで歩いて行き、春の一日を楽しむ行事として始まった（6月第1日曜日開催） （常呂町民憲章推進協議会20年のあゆみ）
		6月20日	NHK英語教室を常呂中学校で開催（常呂中20年のあゆみ）
		6月21日	常呂町青年会議設立総会：公民館（青年会議設立総会資料）
		6月30日	町民運動会開催（常呂町商工会第3回通常総会議案）＊成績記載なし
		6月	かき島荘にユースホテル併置
		6月	（常呂高校）屋外グラウンドおよび野球場の整備作業完了 （常呂高校40年史）
		6月下旬	潜水調査船くろしお号によるほたてを中心とした沖合調査が7月上旬まで行なわれる（常呂漁協40年誌）
		6月	常呂青年会議発足：26－45歳の青年・壮年、会員28人（広報ところ）

7月9日	宗教法人基督兄弟団常呂教会認可（46.11.7現在地：末広に移転）
7月10日	（常呂高校）校門2基、寄贈される。校門のデザインは2匹の獅子をかたどったもので、川口藤五郎氏より寄贈された。（常呂高校40年史）
7月11日	サロマ湖観光総合開発促進期成会結成
7月12日	網走支庁管内社会福祉研究大会開催
7月18日	市街地（大通・大通西）から裏道路新設陳情あり、議会で採択（広報ところ） 表通り商店街が狭く、非常時の危険度高い：古川商店裏から鉄道に沿って駅前まで *大通り海岸道路のこと
7月19日	常呂小学校鼓笛隊市中パレード（常呂小学校学事報告）
7月	網走支庁管内社会福祉大会開催
7月	栄浦区長からの幅が狭く車馬交通不可の鑑沸9線道路橋架け替え陳情採択（広報ところ）
7月	昭和37年8月の台風9号によって流失した太幌橋の架け替え工事着工（広報ところ）
8月17日	常呂青年会議会員が吉野小慰問、図書・ノート寄贈（広報ところ）
8月18-19日	常呂漁協職員野球部全道大会準優勝：札幌（6月9日網走市：管内漁協職員野球大会優勝管内代表に）（常呂漁協40年誌）
8月22日	（登小）上水道完成 通水式（吉野・登小開校記念誌）
8月26日	常呂町の農業青年の合宿研修の場「常呂町農村青年建設班」発会（広報ところ）
8月30日	常呂高校の野球場バックネットおよびスコアボード完成（常呂高校40年史）
8月31日	常呂高校に野球場、陸上競技場、テニス・バレーコート完成（常呂高校学校要覧）
8月	鑑沸9線道路橋架け替え陳情に伴い、現地調査の結果、架け替え時には1.7mから2.5mに拡幅で検討（広報ところ）
9月5日	常呂町農協の馬鈴薯選別所（豊川）完成、操業開始〔農協20年史〕
9月10日	農協デパート落成、開店〔農協20年史〕 *常呂町農協 （1階397.22㎡、2階431.24㎡、地階16.20㎡） 1階：スーパーマーケット方式の食料品・鮮魚・肉類・日用品・雑貨 2階：衣料品・文具・玩具・電気製品・理美容室・食堂 農協デパート内に農協理髪所移設、昭和50年に閉業（農協50年史）
9月1日	猪野間錦護、ダイセイ陸運有限会社創業：字常呂401番地（常呂町大観）
9月3日	常呂町開基80周年記念古老座談会（中央公民館）実施 *9月20日発行「広報ところ」会期80周年特集号に集録
9月10日	常呂高等学校に特別教室5教室他完成。野球場・陸上競技場・テニス・バレーコート造成（常呂高校創立20周年記念誌）
9月19日	ところイソヤンケまつり（藤山ハルの言い伝え）（中央公民館） イソヤンケとは、海の幸を陸に持ってくる神さまの意。 （ところイソヤンケまつり解説）
9月20日	常呂町開基80周年記念式典（26日まで記念式典、行事開催） （常呂小）常呂町開基80周年記念旗行列に全校児童並びに常小鼓笛隊参加（常呂小百年史） （常呂中）常呂町開基80周年記念旗行列に参加（常呂中20年のあゆみ） 常呂町開基80周年記念式典に日吉小学校鼓笛隊参加（日吉小沿革史） 常呂町開基80周年記念相撲大会に福山小学校児童参加（福山小学事報告）
9月23日	常呂小PTAから常呂小学校にグランドピアノ1台寄贈。ピアノ開き音楽会開催（常呂小百年史・常呂小学校学事報告）
9月23日	第4回地区別対抗運動会開催（豊川・福山・共立・富丘4地区）豊川地区優勝（イワケシュ郷土史） *翌39年に各地区の代表者が話し合い、中止に（豊川区開基百年誌）

	9月30日	低温馬鈴薯貯蔵庫新築（423.20㎡、総工費1,750万円）
	9月	吉野集会所完成（9月8日 青年研修所建築準備「吉野小学校学事報告」）
	9月下旬	常呂神社の北側に公営住宅（弁天団地）建設完成（第1種6戸、第2種：2階建て8戸）（広報ところ）
	10月10日	農協デパート・馬鈴薯貯蔵倉庫・馬鈴薯選別所の総合落成式（農協20年史）
	10月17日	（常呂小）仲よし会子供郵便局知事表彰受ける（常呂小百年史）
	10月	鑑沸にカキ貝清浄処理場完成（常呂漁協40年誌）
	11月6日	吉野地区の集会施設：吉野青年研修所完成（吉野小旧校舎特別教室の部材払い下げ活用、吉野小校地内に建設）（吉野小学校沿革誌）
	11月7-9日	常呂町農村青年建設班第1回研修：栄浦かき島荘（広報ところ）
	11月9日	大暴風浪により建込中の鮭定置網全統流失・大破、被害甚大。（～11日）第2次オホーツク災害と称し復旧対策（常呂漁協40年誌）
	11月15日	昭和29年5月のオホーツク災害被災者の慰霊のために常呂漁業協同組合が海難者慰霊碑（弁天）を建立・入魂式（ところ文庫常呂町歴史散歩）
	11月15日	開基80周年記念、老人福祉法制定を記念して第1回合同金婚式開催（中央公民館 20組）（広報ところ）
	11月25-26日	常青協と教育委員会共催の青年大会開催（25日豊川公民館 26日中央公民館）（岐阜・福山・土佐・豊川・共立・大東・日吉青年団）芸能発表は網走管内青年予選（青年大会資料）
	12月5日	常呂橋完成、渡橋式挙行：11/30完成、昭和36年8月着工（広報ところ）（常呂中）常呂橋渡橋式に参加（常呂中20年のあゆみ）
	12月9日	道、昭38からオホーツク海の毛ガニ漁全面禁止を決定〔新北海道史年表〕
	12月20日	（吉野小）給食室新築、2坪（吉野・登小閉校記念誌）
	12月	（常青協）管内青年大会芸能の部開催（中央公民館）本町より出場の「首輪」優勝する。（常青協25周年記念誌）
	12月末	太幌橋完成（渡橋式は昭和39年6月13日）（広報ところ）
昭和38年		サロマ湖でノリ養殖企業化（常呂町史） 常呂川日吉左岸築堤、常呂左岸特殊堤着工（常呂町百年史） 常呂高校で生徒会結成、第1回生徒会役員選出 同年9月、生徒会規約制定（常呂高校創立20周年記念誌） 常呂高校庭球部（軟式テニス部）誕生（常呂高校創立20周年記念誌） 有線放送電話に関する法改正に伴い、農協の有線放送施設は昭和39年4月までに施設の抜本的改善の勧告を受ける（農協20年史） 川沿保育所、1戸500円寄附と備品費でテレビ購入、幼児番組に合わせて日課表作成（川沿保育所開設20周年記念誌） 栄浦に道立ホタテガイ人工採苗場設置（常呂町百年史） 日吉右岸築堤工事着工（昭和39年完成）（常呂川治水史） 日吉地区4戸で玉葱栽培（常呂町農協50年史） *タマネギ・玉ネギ 土佐の池知正雄に農村電話として公衆電話設置（土佐郷土史） 漁業法改正（常呂漁協40年誌） 第2次共同漁業枚免許を受く（常呂漁協40年誌） ディーゼル機関整備工場建設。（常呂漁協40年誌） 共立白土系薯を出荷する（北海1号）（共立百年史） 新興組合でトラクター導入、ビート振興会補助事業（富丘百年史） 富丘の安野克次がニンニク栽培始める（富丘百年史） 全国的に知られた「常呂にんにく」の歴史始まる *上記は「豊川区開基百年誌」から：昭和40年のできごとに記載 *「小学校3・4年生社会科副読本ところ」（平成14年3月）及び「小学校3・4年生社会科副読本きたみ」（平成21年3月）に「その他の野菜」としてニンニクが掲載

昭和39年	1964	1月20日	富丘神社鳥居建設（富丘百年史）
		1月28日	常呂町更生保護婦人会発会（道東地方更生保護婦人会40周年記念誌）
		2月15日	日吉婦人会設立〔常婦協20年誌〕
		2月	福山にスキー場整備（立木伐採、雑木除去）、第1回スキー技術講習会（講師：北見営林署職員）（福山小学校40年のあゆみ）
		3月2日	（登小）電話つく（吉野・登小閉校記念誌）
		3月8日	町内学童スキー大会に登小学校児童参加（長距離レース、回転、学校対抗継走）（登小学校学事報告）
		3月25日	第6回総代会開催（農協50年史）
		3月31日	常呂高校が北海道教育委員会規則第4号により、道立移管認可。 （常呂高校40年史）
		4月1日	（常呂小）15学級編成認可（常呂小百年史） （常呂中）10学級編成認可（常呂中20年のあゆみ）
		4月2日	交通安全推進委員会設立総会
		4月8日	常呂高等学校振興会がPTA組織となる（常呂高校創立20周年記念誌）
		4月	交通安全推進委員会発足（4.2設立総会）
		5月10日	（常呂中）ブルトーカーの出動と職員の作業により、理科室横に排球コート造成（バレーボールコート造成）（常呂中20年のあゆみ）
		5月13日	豊川老人クラブ寿会結成：豊川公民館（豊川・共立・富丘・福山） （広報ところ） *「豊川百年記念誌」では、昭和39年6月10日豊川老人クラブ寿会誕生
		5月17日	第2回町民ピクニック（第1回は前年で雨天中止、以後毎年継続） 〔文化連盟20年のあゆみ〕
		6月15日	（常呂中）本年より運動会を復活開催する（常呂中20年のあゆみ）
		6月13日	太幌橋渡橋式、田淵家3代夫婦渡り初め、川沿中ブラスバンド行進 （3つ目の永久橋） 常呂漁港第2期改築工事、5ヶ年計画で起工式 太幌橋竣工・常呂漁港第3期工事起工式祝賀会：中央公民館（広報ところ） 太幌橋渡橋式に福山小学校児童参加（福山小学事報告）
		6月27日	常呂町ボーイスカウト第1回発隊式（広報ところ）
		6月30日	常呂漁港第2期修築（拡張）工事起工式（5ヶ年計画）
		7月1日	常呂川水質基準を決定〔広報ところ〕
		7月3日	営林局・営林署・林野庁・網走支庁によるイワケン山の国有林活用合同調査、102.8ヘクタールの解放内定、8月正式決定（広報ところ）
		7月7日	常呂川廃液問題で常呂川汚水防止対策漁民会を開催：中央公民館 大会終了後全員バスで北見市に向かい、市内をデモ行進〔広報ところ〕
		7月8日	漁業災害補償法公布〔法〕
		7月10日	福山小学校の大埜間文庫にテレビ集録（福山小学事報告）
		7月12日	常呂町商工会主催の第8回町民運動会（常呂小グランド）開催 末広町が8年連続優勝、2位豊浜、3位本通り、4位大通り、5位大通西 6位弁天、7位新町・開進町、9位栄町、10位朝日（広報ところ） *町民1500人 *常呂小鼓笛隊が寄贈された隊服で賛助出演 *賞金1万円付きの仮装コンクール
		7月15日	（常呂高校）常呂高校体育館に於て、常呂町主催による「常呂高等学校道立移管記念式典」が挙行される。なお、道立移管に伴い、常呂高等学校応援歌を制定。全校生徒を対象に歌詞の募集を行い、第2学年 原田史子君の作詞 第3学年 福山貞雄君の作曲にて制定。またこの年、旧振興役員並びに 新発足のPTA役員の尽力によって、学校に32人編成のブラスバンド楽器が寄贈される（常呂高校40年史）

7月18日	(常呂中) P T A会長及び校下有志の尽力により、防具16組の寄贈を受け、剣道部を結成(常呂中20年のあゆみ)
7月	北海道・道教委・常呂町共催の「北海道青少年キャンプ村」を栄浦かき島に夏季間開設：延2500人利用(広報ところ)
8月25日	豊川郵便局増改築(オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
8月26日	台風14号により常呂川氾濫。早霜より大凶作 (～27日、被害額1億3,000万円以上) 台風14号で田畑冠水：682ha、被害額7,091万円(農協50年史) 24日深夜から台風14号がもたらした豪雨が26日まで降り続き、27日午前中に福山・豊川・共立地区が逐次氾濫し一面泥流。死亡1名、床上浸水4戸、床下浸水13戸、非住家浸水3戸、田畑冠水682ha、河川損害8ヶ所、町道決壊7ヶ所、のり養殖被害、被害総額1億3180万円 (広報ところ 新北見市史) 堤防が完備されていなかった福山地区の被害が大きく、せっかくの農産物が一夜で収穫皆無状態に(共立百年史)
8月31日	臨時総代会開催(農協50年史) (1) 有線放送電話事業計画の設定について、原案どおり可決 全町一本化した設備とし、経営は農協の事業として農事有線放送電話施設：自動式有線放送電話施設の建設 (2) 精穀加工事業の閉鎖について、事業不振により10月末日をもって閉鎖する。11月以降については豊川柏倉精米所に全面委託、原案どおり可決
8月	全町少年ソフトボール大会開催(中旬：市街 下旬：日吉) *野球連盟事業(昭和40年度体育協会資料)
8月	岐阜共同澱粉工場廃業。合理化澱粉工場(基線4号)操業 (岐阜百年記念史)
8月	藤山ハル・野田フサ・太田イク旭川アイヌ祭り参加(録音テープ・CD)
8月下旬	(吉野)大雨が3日間降り続き、昭和16年を上回る大水害。刈り取り前の畑がほとんど流される(吉野50年のあゆみ)
9月9日	常呂小学校開校70周年式典委員会開催：校章の決定、沿革史、アルバム整備発行、同窓会名簿作成の協議(常呂小学校70年のあゆみ) *昭和37年常呂小学校修学旅行出発写真に学生帽に帽章の一部児童あり
9月12日	(登小)子供郵便局(貯蓄)表賞される(吉野・登小閉校記念誌)
9月12日	日吉小学校：鉄山閉山による転校生送別式(日吉小学校学事報告)
9月19日	道漁業共済組合発足〔新北海道史年表〕
9月20日	日吉郵便局、常呂町日吉209番地の3に新築移転 (オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
10月3日	常呂小学校記念事業協賛会が校章(児童配布用帽章・バッジ・型代)注文 (常呂小学校70年のあゆみ) *校章デザイン：岡島節夫教諭(常呂小学校九十周年のあゆみ)
10月10日	第18回オリンピック東京大会開催(～10.24)〔新北海道史年表〕
10月10日	(常呂中)本年より校内マラソン大会を復活する(常呂中20年のあゆみ)
10月11日	農協が町の補助を受け、第2種接続規格による自動式有線放送電話施設：(農事有線有線放送電話施設)工事に着手：沖電気、ホクレンと工事請負契約(農協20年史)
10月17-18日	暴風(風速26メートル)によってサケ定置網流失：大定置網流失6ヶ流、70%流失3ヶ流、30%流失2ヶ流、15%流失1ヶ流、被害推定額5,848万円(広報ところ)
10月18日	網走地区中体連剣道大会に常呂中剣道部初参加(常呂中20年のあゆみ)
10月25日	「原孤葉句碑」建立(栄浦旧キャンプ場)〔「新墾」第5号〕

	10月20日	(日吉小) 電話局より電話機一式寄贈される (日吉小80年史)
	10月27日	常呂消防団第3分団 (日吉) 詰所新築移転 (木造平屋49.5㎡) (常呂消防団日吉分団50周年記念誌)
	10月	福山左岸築堤工事着工: 延長420m (昭和45年完成) 網走開発建設部の台風14号水害視察追加工事 (広報とことろ常呂川治水史)
	10月	岐阜に北海道サケマスふ化場第二ふ化施設新設 (5線4号) [北見地方の鮭鱒ふ化事業史]
	10月	針田鉱業株式会社国力鉱山閉山 (鉄山) (常呂町百年史) *日吉小学校沿革誌では9月30日閉山
	10月	消防第1分団に消防ポンプ自動車配置 (常呂消防団100年記念誌) 消防第3分団詰所建設移転 (常呂消防団100年記念誌)
	11月8日	常呂小学校開校70周年記念式典及び屋内体操場落成 (常呂小百周年記念誌) *「広報とことろ」8月号で「基礎工事中」の記載
	11月8日	常呂町農業共済組合家畜診療所建設 (現町スポーツセンター前) 今までは大島獣医診療所を借用し事業を行っていたもの (11.15落成式) [農協20年史・広報とことろ]
	11月19日	常呂町史編さん主幹市野教蔵氏急逝
	11月30日	岐阜飲料水供給施設設置竣工: 給水戸数18戸 (広報とことろ) 岐阜東部地区に簡易水道敷設 (岐阜百年記念史)
	11月	精米工場閉鎖、製麺工場閉鎖 (農協50年史)
	12月5日-末	凶漁とホタテ禁漁で常呂漁協組合員困窮、漁民救済の土木工事52人稼働 (常呂漁協40年誌)
	12月5-6日	第15回網走管内青年大会を中央公民館で開催、約300人参加 演劇「首輪」1位、弁論1位 (広報とことろ)
	12月14日	(日吉小) 日吉地区各種工事落成式 (本校特別教室落成も含む) (日吉小80年史)
	12月17日	岐阜に北海道サケマス北見支場常呂ふ化場完成開場式 [広報とことろ]
	12月26日	朝日橋完成、渡橋式 [広報とことろ]
	12月27日	岐阜飲料水供給施設竣工祝賀会 (岐阜東部地区18戸に水道通水)、岐阜 青年研修所でお祝い (広報とことろ)
	12月	(吉野) 今までの共同聴取を廃止し、各戸に電話受話器を据え付け、常呂 市街との通話可能に (吉野50年のあゆみ)
昭和39年		冷水害大凶作となる、8月26日の台風被害と9月の早霜により被害額は 2億3,663万円となり31年以來の大凶作となる (農協50年史) ホタテ漁業禁漁、サンマ漁業をはじめ各漁業不振 (常呂漁協40年誌) 漁業災害補償制度の施行に伴い、漁業共済事業発足 (常呂漁協40年誌) 常呂小学校鼓笛隊に隊服90人分及びメロディカ寄贈 (小林秀明) (常呂小学校学事報告) 常呂高校応援団が生徒会の外局として結成、応援団長は生徒会会長の推薦で 決定 (常呂高校創立20周年記念誌) 日吉右岸築堤工事完成 (昭和38年着工) (常呂川治水史) 漁協婦人部: 海の生活改善貯蓄運動で全漁連会長賞受賞 (常呂漁協40年誌) この頃より、漸次甜菜の面積増える (共立百年史) 公営住宅 (弁天団地) 建設: 第1種2戸、第2種6戸/2階建て (常呂町史) 公営住宅: 土佐団地建設、1種4戸、2種4戸 (常呂町史) 常呂町のテレビ普及率 1,366戸/77.7% 昭和37年の2倍に (豊川百年記念誌) 初めて西洋ワサビ大面積栽培するようになる (川東地区) (共立百年史) 管内青年演劇大会が常呂町中央公民館で開催。土佐青年団と共立青年団協力の 演劇「首輪」が最優秀賞全道大会出場権獲得 (土佐郷土史)

			<p>*常青協25周年記念誌と年代の記載違いあり</p> <p>ビート省力用トラクター導入(第3、第2)(共立百年史)</p> <p>牧草省力機械セット導入(第2)道貸付トラクター導入(第2)</p> <p>(共立百年史)</p> <p>各集まりにてジングスカン食す(富丘百年史)</p> <p>岩岸・旭でトラクター導入(富丘百年史)</p> <p>常呂町剣道連盟発足、体育協会に加盟(常呂町剣道連盟15年のあゆみ)</p>
昭和40年	1965	1月28日	常呂農協婦人部に若妻連絡協議会(若妻会)発会 (常呂農協女性部50周年記念誌)
		1月	(福山小)スキー場新設(北見営林署より用地借用、立木伐採:PTAの 労力4日間(福山小40年のあゆみ) 1月26日北見営林署長宛、常呂町長名で国有林貸付使用申込み (北見事業区76林班イ小班 0.8ha 平成10年3月31日まで継続)
		2月1日	(日吉小)吹雪の為臨時休校(日吉小80年史)
		2月2日	自動式有線放送電話施設(農事有線放送電話施設)道電波監理局から許可 (4月1日業務開始)(農協20年史)
		2月5日	総代の改選を実施(農協50年史)
		2月10日	(常呂中)農村電話テレホン設置、4月から使用(常呂中20年のあゆみ)
		2月15日	常呂漁協創立15周年記念式典を通常総会で挙行(常呂漁協40年誌)
		2月18日	臨時総会開催(農協50年史)
		2月	福山スキー場でスキー場開きを兼ね福山小校内スキー大会(川沿校・登校 から友情参加)(福山小40年のあゆみ)
		3月1日	日本繊維(亜麻会社)倒産により、亜麻の耕作も本年度で姿を消すこと になる(農協50年史)
		3月11日	末広・栄町・朝日地区子ども会発足記念に常呂町から会旗贈呈(常呂小) (広報ところ) *子ども会後援連合会から祝辞:子ども会育成組織設立済み *子ども会育成連合会の前身組織
		3月12日	(日吉小)吹雪の為臨時休校(日吉小80年史)
		3月	常呂高等学校定時制廃止。
		3月	本通りと朝日を結ぶ旧常呂橋が新常呂橋の完成により撤去(広報ところ)
		3月	定例議会で町道2本認定(広報ところ) 東浜5号道路(起点:大島道路・終点:東浜80番地 東浜6号道路(起点:国道稚内網走線・終点:東浜1号道路)
		4月1日	(常呂小)14学級編成認可(常呂小百年史)
		4月1日	私立常呂幼稚園開園:常楽寺敷地内に設立(旧常呂中の廃材利用・建設) 1学級40人、満5歳児、1年保育(昭和53年3月31日閉園) (常楽寺開教百年史)
		4月1日	自動式有線放送電話施設(農事有線放送電話施設)業務開始 組合員500戸、団体75戸、その他33戸、計608戸の加入者 (農協20年史)
		4月12日	常呂川被害補償要求貫徹漁民大会、350人が町内デモ[常呂町史]
		4月14日	(登小)ブランコ、回旋塔設置(吉野・登小閉校記念誌)
		4月17日	網走においてサロマ湖開発期成会開催、道立サロマ湖海藻類人工採苗場が 栄浦浜に設置決定(ノリ、ワカメ)(広報ところ)
		4月19日	岐阜・栄浦両部落の役員と錦水小中学校PTA役員が保育園の創立に ついて、初の合同会議を開き、運営の運びとなった。 (錦水保育所開所30周年記念誌)

4月25日	(老人クラブ連合会) 岐阜青年研修所で岐阜老人クラブ結成大会 (岐阜開基百年史)
4月27日	常呂町商工会の第4回通常総会で、定休日を毎月1. 15日から第1. 3日曜日に変更(6月から実施)(広報ところ)
4月28日	岐阜老人クラブ第1回結成設立総会開催。会員名簿作成・班長決定・会議録 経理簿・備品台帳・文書綴等作成(岐阜老人クラブ50周年誌)
4月	(常青協)斜網青協女子研修会の開催(かき島荘)(常青協25周年記念誌)
4月	一・二級国道の区分廃止により一般国道238号となる(常呂町百年史)
5月1日	岐阜保育園、岐阜青年研修所に設立(昭46年に錦水保育所と改称) 保育室は大広間、寝室は2階の畳間を使用(岐阜開基百年記念史)
5月1日	(日吉小)学校林下草刈作業(日吉小80年史)
5月6日	道道北見常呂線の共立市街地区・豊川市街地区の道路舗装工事開始 (広報ところ)
5月7日	共同浴場新設(～7.6)(常呂町百年史)
5月20日	日吉保育所開園(町勢要覧:昭和41年 常呂町百年史) 日吉保育所を旧診療所に開園(手師学から100年) *季節保育所設置費補助補正50,000円(決算説明書)
5月24日	春季消防演習で消防団退職幹部から消防団旗・分団旗の寄贈(広報ところ)
5月	走る公民館としてマイクロバス導入、「広報ところ」で愛称募集し、 ところ号に決定(広報ところ)
6月1日	網走信用金庫を常呂町の指定金融機関に決定・事務取扱開始(広報ところ) *網走信金
6月10日	土佐公民館落成式・祝賀会(4月25日着工、5月12日上棟式) 公民館落成記念として、土佐部落で常呂神社に鳥居寄贈(土佐郷土史) *落成式:「広報ところ」では6月12日、午前11時から
6月20日	常呂町青年団体協議会主催の青年体育大会(ソフトボール)開催(川沿小) (日吉・福山・土佐・岐阜・豊川・富丘)(広報ところ)
6月22日	町立病院診療棟改築(～11.15)
6月22日	錦水校、全面改築(～11.9)
6月27日	常呂町長選挙執行、無投票で上杉武雄、現町長再選。
6月29日	(常呂小)選挙啓蒙パレード鼓笛隊参加(常呂小百年史)
6月30日	常呂町酪農振興会乳牛品評会:家畜市場(酪農振興会30年史)
7月4日	教育映画観覧「東京オリンピック」(日吉小中学校学事報告)
7月4日	第一方面中体連総合体育大会を常呂中で開催、町・PTA・同窓会の援助 協力を受ける(常呂中20年のあゆみ)
7月5日	常呂川汚水補償問題は、若林支庁長調停役の調停会で示した北見市が漁業 振興資金として2千万円を常呂町に助成する調停額で了承(広報ところ)
7月9日	(常呂中)水泳教室開催(常呂中20年のあゆみ)
7月20日	(常呂小)招魂祭学童相撲大会(常呂小百年史)
7月27日	北海道農業学園制度設置、常呂町が普通科設置町指定を受け、 常呂町農業学園開設・入学式:中央公民館(47人)(広報ところ)
7月	前浜に海水浴場設定(テント・磯舟・表示板等設置)
7月	イワケン牧場の造成開始(常呂町百年史)
7月	共同浴場新設工事(5/7-7/6)(昭和40年度決算説明書)
8月9日	臨時総代会開催(農協50年史) (1)合理化澱粉工場の事業計画変更について当初計画8,500 万円を9,300万円に原案どおり可決
8月10日	(老人クラブ連合会)日吉老人クラブ遊楽会設立(常呂町老連40年誌)
8月15日	第1回町民バレーボール大会:常呂小 9人制・男女混合・中高生4人以下 参加7チーム(豊浜・弁天・朝日、本通り・大通り、栄町、開進町、

	末広、大通り西・新町、農村部青年) (大会要項)
8月17日	常呂漁協の製氷・冷凍工場、常呂漁港埋立地で地鎮祭 (常呂漁協40年誌)
8月24日	常呂漁協の常呂川汚濁による被害補償要求で、網走支庁長が調停、調停案を受託し、常呂川汚濁被害者補償調印 (常呂漁協40年誌)
8月26日	常呂町農業協同組合合理化澱粉工場完成 (5月8日着工、7月6日上棟式 8月28日試験操業、9月1日操業開始) [常呂町史・農協20年史]
8月29日	造成中のイワケシ牧場山火事、常呂消防団・佐呂間消防団・自衛隊出動。(翌30日鎮火)
8月	(常青協)土佐青年団・共立青年団の演劇「首輪」全道大会に出場 (深川) 演劇奨励賞受賞、歳末助け合い運動協力のため中央公民館で再度上演 (土佐郷土史)
8月	NHKが錦水中学校にテレビを寄贈 (広報ところ)
8月	常呂町の霊柩車 (マイクロバス型) 更新 (広報ところ)
8月	台風14号により常呂川が氾濫。農業被害1億3千万円、漁業被害6千万円 (新北見市史)
9月1日	常呂火葬場焼却炉重油バーナー方式に更新、待合室新装 (広報ところ)
9月6日	常呂町老人クラブ連合会結成準備打合せ (岐阜老人クラブ50周年誌)
9月10日	公民館において常呂町老人クラブ連合会を結成する (岐阜老人クラブ50周年誌)
9月	常呂町老人クラブ連合会結成、老人クラブのバッジ制定 (広報ところ) 移動図書館開設:毎月5、25日の2回、豊川地区・日吉地区の各小学校 *名称は豊川文庫・日吉文庫、具体的な内容は不明 *昭和41年7月号でも6月から実施の記載あり (広報ところ)
9月	常呂郵便局の交換台を4台から5台に増設、358台の電話を収容 9月1-30日間dを「電話番号呼称励行月間」実施 (広報ところ)
9月	小高神社境内と公営住宅土佐団地空き地に遊具設置、小高神社は中央児童遊園 (中央児童公園)、土佐団地は西児童遊園として運営 (広報ところ)
9月	HBC北見テレビ局開局 (NHK北見の放送五十年)
10月2日	(登小)校庭築山完成 (吉野・登小閉校記念誌)
10月3日	常呂町体育協会主催の第1回町民ソフトボール大会開催 (常呂高校グラウンド) 8チーム参加、本通り・大通りチーム優勝 (広報ところ) *野球連盟の事業に位置付け *教育委員会が持ち回り優勝カップ寄贈 (昭和40年度体育協会資料)
10月9日	(常呂高校)第1回強歩大会が実施される。(常呂高校40年史)
10月10日	常呂町体育協会主催のイワケシ山登山開催 (9月19日予定が台風のため日程変更) (体育協会資料)
10月12日	(日吉小)植樹作業 (日吉小80年史)
10月13日	(常呂小)校舎全景航空写真撮影 (常呂小百年史)
10月19日	(常呂中)鉄骨ドリーゾール式技術科教室を新築落成、50坪 (常呂中20年のあゆみ)
10月21日	教育委員会が「常呂町スポーツ少年団規則」制定 (起案文書)
10月	常呂町スポーツ少年団規則制定・結成 (団員は中学生で構成) *結成資料
10月	共同給油所事務所を2階に増設 (農協50年史)
10月	消防第2分団詰所建設移転 (常呂消防団100年記念誌)
11月4日	福山小学校に開校40周年記念のピアノ納品 (福山小学校40年のあゆみ)
11月7日	常呂町第1回学校合同文化祭開催 (常呂中20年のあゆみ)
11月11日	錦水小学校全面改築新校舎落成 (錦水小開校50年史)
11月12日	第八ところ丸の代船、第十八ところ丸が室蘭市檜崎造船所で起工式 (常呂漁協40年誌)
11月23日	町立国保病院診療棟改築完成・落成式 (6月22日着工)

昭和40年	11月28日	福山小学校、創立40周年記念式典・祝賀会（広報ところ） *ピアノ ヤマハUID88鍵盤1台寄贈 「福山小学校40年のあゆみ」発行	
	11月	社会教育委員の会で成人式対象者の変更 例年その年に満20歳になる人を対象に1月15日に成人式開催。 昭和41年は、昭和21年1月1日から1月15日生まれを対象、13人 昭和42年からは、1月16日から翌年1月15日生まれを対象	
	12月5日	道立サロマ湖海藻類人工採苗場完成（5月下旬着工）〔常呂町史〕 栄浦サロマ湖養殖センター落成式（広報ところ）	
	12月5日	常呂郵便局着信の電話の利用方法が「半自動即時」（市外局番＋交換）に変更。町内から市外通話は従来通り交換経由（広報ところ）	
	12月12日	常呂町郷土資料館完成（12.16開館式、東京大学文学部常呂研究室併置）	
	12月24日	NHK北見放送局、カラー放送開始（北見現代史略年表）	
		常呂漁業協同組合、幌内川下流（福山）に簡易孵化場設置。 教育委員会が、昭和39年まで2人体制の体育指導委員を15人に増員・委嘱（広報ところ）	
		高田組合長再選。（常呂漁協40年誌）	
		栄浦かき島に野営場（キャンプ場）整備：テントサイト35ヶ所・炊事場：ブロック造り24㎡ トイレ：ブロック造り14㎡ *昭和41年、簡易炊飯施設設置15組・トイレ補修工事 *昭和42年から管理人1人配置して野営場開設（6-8月） *駐車場・給水施設・電灯設置（昭和40年度決算説明書）	
		常呂川水質基準設定さる。（常呂漁協40年誌） 貯蓄推進優良組合として水産庁長官賞受賞。（常呂漁協40年誌） 自動式テレホンスピーカー施設完成（共立百年史） 土佐ではオートバイが43台保有、自転車代わり（土佐郷土史） 若妻会発足（岐阜百年記念史） 冷害、凶作（岐阜百年記念史） 高橋貞雄、豊川より入地（富丘百年史） ビートハーベスター導入される（富丘百年史） 富丘酪農青年部発足（富丘百年史）	
昭和41年	1966	1月3日	（常呂中）スキー教室2日間開催（常呂中20年のあゆみ）
	1月18日	錦水小学校、校舎改築落成及び創立30周年記念式典挙行（錦水小50年史）	
	1月21日	町村知事来町、常呂町郷土資料館：東大文学部常呂研究室視察（広報ところ）	
	1月	（常青協）常青協機関誌「若人」第1号発刊する（常青協25周年記念誌）	
	2月3日	岐阜県の大埜間昌氏から福山小児童に手袋・函書の寄贈 NHKの取材・収録（福山小学事報告）	
	2月9日	（常呂中）石塚ポンプ店の協力を受け、職員の手でスケートリンク造成、2月10日から使用開始（常呂中20年のあゆみ）	
	2月12日	錦水中学校閉校式（広報ところ）	
	2/12-3/3	常呂漁協が組合員青年部対象にかき島荘で青少年育成長期講習会開催（50人参加 特殊無線技士養成、加工処理技術・漁船機関実技実習）（常呂漁協40年誌）	
	2月-3月	常呂町商店街診断調査実施（北海道・常呂町・常呂町商工会）	
	3月6日	体育協会冬期スポーツ協会主催の町民スキーツアー開催：福山スキー場 会費：おとな200円、子ども100円（体育協会資料）	
	3月22日	第2回総代会開催（農協50年史） 種豚事業（37年開始）閉鎖	
	3月23日	富丘中学校閉校式（広報ところ）	
	3月25日	錦水中学校閉校式（広報ところ）	

3月30日	常呂漁協の第八とところ丸の代船、第十八とところ丸が室蘭市檜崎造船所で3月下旬完成、この日に進水式（常呂漁協40年誌）
3月	常呂町奨学資金基金条例制定（広報とところ）
3月	常呂高等学校家庭科を廃止
4月1日	（老人クラブ連合会）吉野老人クラブ設立（昭和53年3月解散） （常呂町老連40年誌）
4月1日	錦水中学校を常呂中学校に、富丘中学校を川沿中学校（一部は常呂中学校）に統合。11学級編成認可（常呂中20年のあゆみ） 富丘中学校の一部を吸収し、川沿中学校に統合する（川沿中学校のあゆみ）
4月1日	（常呂小）15学級編成認可（特殊学級設置）（常呂小百年史）
4月1日	（登小）定員増となり3教員（吉野・登小閉校記念誌）
4月4日	（常呂中）入学式並びに統合受入式を挙行（常呂中20年のあゆみ）
4月5日	常呂・栄浦・浜佐呂間の漁協青年部を統合し、常呂漁協青年部設立総会・発足（広報とところ）
4月10日	湧網線に大型ジーゼルカー全面運行、常呂駅で町・観光協会・商工会主催の祝賀式・テープカット（広報とところ）
4月中旬	栄浦ポイントで養殖中の越冬かきへい死事件発生。常呂漁協が網走水試に水質調査依頼、常呂農協に被害賠償請求（常呂漁協40年誌）
4月26日	役場庁舎建設のため中央公民館を仮庁舎として移転（広報とところ）
4月30日	常呂町議会議員選挙。
4月	「常呂町商店街診断報告書」発行（調査 2/23-3/4）
5月10日	天皇陛下からご下賜のトドマツ種の記念播種式が岐阜の森林組合苗畑で行われた〔広報とところ〕
5月24日	常呂漁協が栄浦ポイント（ポイント一）にサロマ湖への回帰を期待してサケ稚魚を放流。サロマ湖への流出防止のため栄浦支所から200m鑑沸寄りの地点に網を対岸まで張り間仕切り、育成試験実施（常呂漁協40年誌）
5月24日	日吉地区のビート共同育苗移植の労働力不足で自衛隊が援農（8日間） （広報とところ）
5月31日	（常呂高校）第1回校内春季球技大会が2日間の日程で行われる （常呂高校40年史）
5月	大島・東浜集落一同が地域の守護神として地神社（木柱）を建立 （ところ文庫10常呂町歴史散歩）
5月	立正寺、本堂を現在地（開進町：常呂町字常呂518番地3）に建立し移転
5月	網走水試が3回にわたり、栄浦ポイントかきへい死の調査結果発表 （常呂漁協40年誌）
6月5日	常呂町役場庁舎建設工事起工式（常呂町史）
6月20日	常呂漁協が「栄浦かきへい死被害補償要求貫徹漁民大会」を開催、町内をデモ行進、農協事務所前で要求貫徹の氣勢（常呂漁協40年誌）
6月22日	（常呂中）創立20周年記念協賛会設立（常呂中20年のあゆみ）
6月29日	台風4号による被害。低温による冷害、過照による温害凶作（共立百年史） 吉野・日吉地区の隈川と常呂川が氾濫、橋梁1ヶ所流失 雨量69ミリから多いところで80ミリ、吉野地区の町道1カ所決壊。 吉野地区の水田、共立一部田畑90ha冠水、被害額約650万円 福山小・川沿小2校が休校（広報とところ）
6月	有線放送電話全面開通（農協50年史）利用台数604台（農協30年史）
6月	農地交換分合始まる（富丘百年史）
6月	常呂漁業協同組合製氷冷凍工場完成（常呂漁協40年誌）
6月	消防第4分団詰所（豊川）建設（常呂消防団100年記念誌）
7月1日	常呂林産物検査事務所を網走に統合（常呂町史）
7月1日	常呂町商工会第5回通常総会の昭和40年度事業決算に「町民運動会」の

	記載なし
7月4日	(常呂中) 札幌テレビから本校生徒の学校生活についてテレビ取材で来校 (常呂中20年のあゆみ)
7月17日	(常呂中) 札幌テレビから「われら中学生」と題して全道に放映 (常呂中20年のあゆみ)
7月22日	常呂町へき地保育所条例制定：既存のへき地季節保育所(日吉・豊川・岐阜)を町営に移行、保育料800円(広報ところ) 季節保育所設置費補助補正140,000円(決算説明書)
7月28日	網走地区中体連剣道大会を常呂中が当番校となって開催、常呂中4位 (常呂中20年のあゆみ)
7月25日	登小学校に網走市関西テレビ商会からテレビ1台寄贈(登小学校沿革史)
7月30日	(常呂中) 創立20周年記念事業資金造成のため、夏季休業中に全生徒で貝がら通し作業実施(常呂中20年のあゆみ)
7月	消防第1分団に水槽付ポンプ自動車配置(常呂消防団100年記念誌)
8月5日	臨時総代会開催(農協50年史) (1) 常呂漁協栄浦地区養殖カキのへい死に対する見舞金の支出について原案どおり250万円支出に決定
8月10日	朝日地区に建設の常呂自動車教習所開所式(昭和57年3月廃止) [広報ところ]
8月10日	常陸宮殿下・華子妃殿下ご来町(郷土資料館・サロマ湖養殖センター視察) 常呂漁協から名産のホタテ貝柱(新谷加工場製)を献上(常呂漁協40年誌)
8月13日	常呂町長、農協組合長、漁協組合長三者協議の結果、町長立会で調印式 栄浦ポイントかきへい死事件が円満解決(常呂漁協40年誌)
8月16日	栄町児童会館完成[広報ところ]*栄町子供会館(子ども会館)
8月21日	末広児童会館完成[広報ところ]*末広子供会館(子ども会館)
8月21日	出入りを締め切り拡張工事・浚渫工事を行っていた常呂漁港の出入りをダイナマイトで爆破、港の開口、漁船利用可能に(常呂漁協40年誌)
8月25日	農協、タバコ小売販売業認可[農協20年史]
8月30日	常呂中学校寄宿舎建設(~11.27)
9月12日	(日吉小) 校舎航空写真撮影(日吉小80年史)
9月13日	上杉武雄町長、海外漁港視察のため出発(~10.22)
9月17日	豊浜公民館完成(7月着工)
9月18日	豊浜公民館・常呂漁協製氷冷凍工場落成式：常呂小体育館(広報ところ) 常呂漁協製氷冷凍工場・第18ところ丸・豊浜公民館合同施工祝賀会。 (常呂漁協40年誌)
9月19日	(常呂中) 創立20周年記念事業資金造成のため、いも拾い実施 (常呂中20年のあゆみ)
9月23日	(常呂中) 鉄骨ドリゾール造り特別教室3教室(美術・家庭科・音楽)、生徒玄関、便所、木造普通教室1教室新築・改造(常呂中20年のあゆみ)
10月30日	常呂中学校開校20周年・増築落成式・学校統合記念式典挙行、記念誌『20年のあゆみ』発刊。 10/28 校内弁論大会・仮装パレード 10/29 文化祭・バザー
10月31日	吉野『50年のあゆみ』刊行
11月3日	植松直次郎氏「勲六等単光旭日章」受賞。
11月4日	(常呂小) 常呂町学校合同文化祭(常呂小百年史)
11月10日	常呂町商工会館竣工(8.18起工)(広報ところ)
11月19日	名譽町民新谷廣治翁逝去(76歳)、22日常楽寺にて町葬執行(広報ところ)
11月27日	常呂中学校寄宿舎完成。(8月30日着工)(広報ところ)
11月	新役場庁舎竣工(4月から公民館を仮庁舎として執務、6.5地鎮祭・起工式)

			9.6上棟式、11.29中央公民館より移転)
		11月	農業基本法(36年6月)により農業を近代化し、所得増大を図るため農業構造改善事業(第1次)開始(大島・共立・岐阜・富丘地区) 〔農協20年史〕
		11月中旬	大漁目のサケ定置網のほとんどが襲来した大時化で流失大破の被害 (常呂漁協40年誌)
		12月4日	常呂中学校寄宿舎「かしわ寮」入寮式:富丘地区通学生16人入寮 *着工8月30日 完成12月1日 (常呂中学事報告)
		12月5日	常呂町役場開庁式(常呂町史)
		12月6日	(日吉小)スケートリンク造成作業開始(日吉小80年史)
		12月9日	故新谷廣治翁に「正六位勲五等双光旭日章」が贈られる。
		12月14日	(日吉小)スケートリンク開き(日吉小80年史)
		12月30日	常呂中学校で1周300mのスケートリンク完成(12月1日リンク作成) *昭和40年は100mのスケートリンク造成 (常呂中学事報告)
昭和41年		12月	栄浦全域に簡易水道敷設、給水開始(広報とことろ)*栄浦簡易水道揚水所 北見バス、常呂・佐呂間間運行開始(佐常線)(昭和46年10月廃止) (常呂町百年史)
			大島協和農場開設(完全共同経営)〔農協20年史〕
			福山右岸築堤工事着工(昭和45年完成)(常呂川治水史)
			朝日会館建設(常呂町百年史)
			沿岸漁業構造改善事業開始。(常呂漁協40年誌)
			常呂漁協青年部発足。(常呂漁協40年誌)
			共立青年団解散(共立百年史)
			酪農青年研究会、発展的解散(共立百年史)
			37、39、40、41年の連続凶作にて農業経済に打撃をうける (共立百年史)
			大凶作の難関打開の一助として、かき島荘で研修会を開催。 (常呂町農協青年部50周年記念誌)
			錦水校30周年記念式典挙行(岐阜百年記念史)
			北見営林署栄浦担当区岐阜苗圃、土佐苗圃に合併(岐阜百年記念史)
昭和42年	1967	1月11日	常呂小学校で剣道の寒稽古始まる(昭和45年1月まで、剣道が盛ん 著中稽古・各種大会参加)(常呂小学校学事報告)
		2月3日	(日吉小)校内スケート記録会(日吉小80年史)
		2月5日	(日吉小)町内スケート大会参加(日吉小80年史)
		2月17日	常呂中学校で初めての校内スケート大会実施(常呂中学事報告) *12月21日リンク作成開始、12月30日完成 1周300m
		2月19日	(日吉小)町内スキー大会参加(日吉小80年史)
		2月24日	(福山小)冷害給食始まる(福山小学校五十年のあゆみ)
		3月1日	電算システムの導入、この年より組合員勘定、長期資金の作成はすべて機械 で処理することになった(農協50年史)
		3月15日	近藤組合長勇退、後任に第3代組合長として井沢庄作就任(農協50年史)
		3月29日	交通安全推進委員会が常呂小学校児童の通学道路指定(広報とことろ) 第1道路:中台内科医院から天竜寺横を通過して浦西商店(栄町・大通西・ 森町) 第2道路:消防本部から役場裏通りを通過し、朝日橋取り付けから 曲がって道々北見常呂線を横断し浦西商店(豊浜・朝日・弁天・本通・大通)
		3月31日	北海文化研究資料陳列館(東京大学文学部常呂資料館併設)竣工 (7.1落成式)(広報とことろ)
		4月19日	旧錦水中学校校舎の2教室を町から無償交付を受け、保育園用に改修。 寝室・事務室・玄関各1ヶ所ずつ設置。(錦水保育所開所30周年記念誌)

4月15日	(日吉小) 参議院議員選挙のため臨時休校 (日吉小80年史)
4月17日	常呂町農協有線放送電話落成式 [農協20年史]
4月28日	常呂町議会議員選挙執行。(22名選出)
4月28日	(日吉小) 町議会議員選挙のため臨時休校 (日吉小80年史)
4月	組合創立10周年、人工造林1,000ヘクタール記念 「常呂町森林組合要覧」発行 (常呂町森林組合)
5月6日	前年の常陸宮両殿下来町を記念して、郷土資料館前で植樹祭を挙 白樺の木100本植樹 (広報ところ)
5月17日	佐常線の佐呂間一浜佐呂間廃止 (佐呂間町百年史)
5月27日	揚水場建設 (~6.6) (常呂町百年史)
5月	町営イワケン牧場開設、6月から放牧を開始 (広報ところ)
6月12日	役場庁舎 (現在地) 落成式 (昭41.6.5起工式)
6月14日	(登小) プール構築開始 (吉野・登小閉校記念誌)
6月25日	「NHK声くらべ腕くらべ子供音楽会」放送 *「常呂小百年史」では6月7日収録：児童多数参加の記載
7月1日	北海文化研究資料陳列館 (東京大学文学部常呂資料館併設) 落成式 *村崎恭子「カラフトアイヌ語文法編」の服部四郎氏序文から 「…本学 (東大) 文学部は、農学部や理学部と違って、東京以外の地に研究施設を持つことはなかったが…遠いオホーツク海岸に出店を持つこととなつた…そのきっかけが、あのアイヌの老媪 (藤山ハルさんのこと) を偶然発見したことだったと思うごとに、感慨無量のものがある」
7月18日	(登小) プール完成 (吉野・登小閉校記念誌)
7月22日	(日吉小) 小学校海浜学習 (日吉小80年史)
7月24日	(日吉小) 水泳場作り作業 (日吉小80年史)
7月24日	(登小) プール開き (吉野・登小閉校記念誌) 「登小学校沿革史」7月30日プール使用状況NHK全国ニュースで流れる
7月29日	臨時総代会開催 (農協50年史) (1) ハッカ蒸留施設事業費の変更について原案どおり1,150万円の変更承認される (2) わさび乾燥工場の建設について原案どおり承認される (3) 旧製麺工場を農協デパートの購買倉庫にするための移設と改築について、原案どおり承認された
7月	錦水婦人学級が発足 (岐阜百年記念史)
8月1日	サロマ湖畔・栄浦・富武土観光周遊指定接続駅に指定。(8月8日記念式) *サロマ湖周遊地指定 (広報ところ)
8月10日	第1回農業機械技術競技会大会開催 (常呂町トラクター組合主催) [公報ところ]
8月25日	(日吉小) 日吉保育所に図書室貸与 (日吉小80年史) *旧診療所を解体し、母と子の家建設のためか
9月2日	常呂小学校と川沿小学校の親善野球大会 (常呂小学校学事報告)
9月14日	巖地神社 (豊川神社) 秋季祭典で「たるみこし」製作 *昭和50年代に入り、児童の減少で「たるみこし」中止 *児童の増加により平成2年から「たるみこし」復活 (豊川開基百年誌)
9月18日	昭和38年陳情・採択の大通り海岸道路 (駅前ロータリーから商店街密集地帯/古川商店横) までを国鉄湧網線に沿って整備工事開始：延長300m幅員5m、11月下旬完成) (広報ところ)
9月28日	(登小) 全道単複教育研究大会国語部会会場校として研究会開催 (吉野・登小閉校記念誌)
9月30日	常呂町農協ハッカ蒸留合理化工場操業開始 [農協20年史] *薄荷*昭50閉鎖
9月	役場庁舎町民の部屋カウンターに公衆電話：赤電話設置 (広報ところ)

	9月	北見営林署常呂担当区事務所、土佐34番地（土佐公営住宅南側）に新築移転（広報ところ）
	10月10日	第2回体育の日に常呂町と体育協会が共催で「歩け歩け運動」開催。常呂高校でソフトボール大会、常呂小学校校庭で歩け歩け運動のスタート *歩け歩け運動の始まり（広報ところ）
	10月22日	（日吉小）開校60周年記念学芸会（日吉小80年史）
	10月27日	わさび乾燥工場操業開始〔農協20年史〕（昭53.2閉鎖） 運営は長野県KKマル井と共同経営によるカネクワサビ工場、操業。（共立百年史） *共立115番地
	10月30日	食用馬鈴薯貯蔵庫完成〔農協20年史〕
	10月30日	自家発電、北海道電力株式会社に移管〔農協20年史〕
	10月30日	（錦水小）優良「こども銀行」として表彰される（錦水小50年史）
	10月	有線電話放送、全地域に完備（岐阜百年記念史）
	11月7日	（青年の家）網走支庁管内北海道百年地域記念事業推進協議会設立 （かき島青年の家道立移管記念誌）
	11月12日	富丘小学校校舎を全面改築、落成式（7.22着工） （富丘小学校開校30周年記念誌）
	11月12日	豊浜漁業生産組合所属鮭定置船とよは丸転覆遭難、乗組員13名行方不明 （常呂漁協40年誌）
	11月19日	とよは丸遭難者合同葬儀（於天龍寺）
	11月20日	「一日町政」実施（地方自治法施行20周年記念事業）〔公報ところ〕
	11月22日	（青年の家）網走支庁管内北海道百年地域記念事業計画常呂町に決定。 （かき島青年の家道立移管記念誌）
	11月23日	日吉診療所廃止、跡地に「母と子の家」建設される（8.26着工） 木造モルタル、198㎡（遊戯室・相談室・図書室など） 母と子の家完成後に日吉保育所も開設（広報ところ）
	11月26日	日吉小学校開校60周年・日吉中学校20周年記念式典挙行 校旗購入（日吉小80年史） *昭和43年11月26日 日吉母の会から日吉小中学校旗寄贈 （富丘・郷土資料館保管の旗保管箱に記載） *同時期に日吉部落有志名義で「日吉小中学校運動会優勝旗」寄贈 （富丘・郷土資料館保管：小中学校旗と同じ箱に保管）
	11月26日	『日吉小学校60周年・中学校20周年記念誌』発行 （日吉小学校60周年、日吉中学校20周年協賛会）
	11月	網走・常呂・女満別・東藻琴の屎尿処理工場完成。 （昭和43年4月から事業開始）（常呂町史）
	11月上旬	常呂町国保病院看護婦宿舎完成；木造モルタル15人収容（広報ところ） *昭和22年建設老朽化
	12月7日	学校給食センター完成（常呂小百年史） 工事着工8月（新聞記事）
	12月11日	福山小で補食給食（牛乳・パン）が始まる（福山小学事報告）
	12月	富丘小学校で学校給食が始まり、最初はミルク給食（富丘小50年誌）
	12月	12月頃から給食が始まった。まだ温食はついていなかった…3学期から完全給食（1年A組文集集「Good by 1年生」）
昭和42年		小笠原参事常務理事就任（常呂漁協40年誌）
		「昭和42年度決算説明書」に町有保安林を解除し、朝日町に常呂スキー場開設の記載あり
		へき地保育所運営委託事業1,610千円（決算説明書）
		道漁連との共販体制確立する（常呂漁協40年誌） （常呂町農協青年部）土佐、共立支部の設立、富丘支部の再結成 （常呂町農協青年部50周年記念誌）

			<p>常呂町殉公者顕彰遺族後援会発足（きたみ社協だより）</p> <p>岐阜地区国道の一部舗装になってくる（岐阜百年記念史）</p> <p>常呂町農協デパー外販車2代目「ひまわり号」運行開始（昭和45年まで） （農協30年誌）</p> <p>羽石氏、町功労表彰（産業）（共立百年史）</p> <p>農協青年部富丘支部再結成（富丘百年史）</p> <p>常呂駅前に公衆電話ボックス新設（昭和43年度町勢要覧）</p>
昭和43年	1968	1月22日	（常呂小）学校給食完全実施（常呂小百年史）
		2月5日	（登小）給食センターによる温食給食開始（吉野・登小閉校記念誌）
		2月8日	（日吉小）流感のため3日間臨時休校（日吉小80年史）
		2月17日	<p>総代の改選を実施（農協50年史）</p> <p>34年1月総代制を採用以来、今回を含め4回の選挙を行なって来たところであるが組合員数も年々減少の一途をたどりこれが最後の改選となった。なお今まで事業計画は総代会で、決算報告は総会決定としてきたが今年度より計画も決算もすべて総会提出とした。</p>
		3月19日	日本水難救済会常呂救護所が認可・設置（広報ところ）
		3月21日	日吉地区電気利用組合、北海道電力株式会社に移管（常呂町農協50年史）
		3月31日	<p>常呂ライオンズクラブ結成式：中央公民館</p> <p>（常呂ライオンズクラブ認証40周年記念誌）</p>
		3月	<p>種馬所事業、清水太一郎主任定年退職のため委託管理に切替える</p> <p>委託引受人 米山勝利（農協50年史）</p>
		4月1日	（老人クラブ連合会）栄浦老人クラブ設立（常呂町老連40年誌）
		4月5日	田中長一、田中電器創業：字常呂323番地（常呂町大観）
		4月8日	水難救済会常呂救難所開所式（常呂漁協40年誌）
		4月23日	常呂町商工会第7回通常総会で常呂町商工会青年部規約の設置を承認可決
		4月	消防第3分団に積載車を配置（常呂消防団100年記念誌）
		4月	常呂高校の昭和43年度入学生から女子の制服がセーラー服から濃紺のブレザースーツに変更（常呂高校創立20周年記念誌）
		5月5日	<p>第1回常呂町子ども会の集い開催：中央公民館</p> <p>*常呂町子ども会連合会設立総会 *常呂町子ども会連合会会旗贈呈式 （第1回常呂町子ども会のつどい議案）</p>
		5月13日	（錦水小）開道百年記念植樹（錦水小50年史）
		5月17日	<p>農協創立20周年記念行事として（農協50年史）</p> <p>(1) 共立川東牧場に落葉松6,000本の植樹を行った</p> <p>(2) 記念品配布 書類箱</p> <p>(3) 記念史の発行 完成は担当職員の変更等もあり45年4月</p> <p>(4) 式典は行なわない</p>
		5月20日	<p>（青年の家）昭和43年度北海道百年地域記念事業補助金交付決定</p> <p>（かき島青年の家道立移管記念誌）</p>
		5月	国鉄湧網線常呂港仮乗降場が450m能取寄りの国道と豊浜通りの交差点に移設（広報ところ）
		5月	栄町子ども会に、リーダー組織：高校生のボランティアクラブ（TBC）を結成（栄町子ども会講演会役員会資料）*「さかえまち」第5号ではTVC
		6月14日	<p>川沿小学校グラウンド整備工事起工式、陸上自衛隊美幌駐屯地施設隊の手によって工事着手（広報ところ）</p> <p>*排水の悪い川沿小学校グラウンドの改修。自衛隊美幌部隊の演習事業として、約100両の自動車で常呂浜の砂40cm、その上にライトコロ川の砂10cm敷設、町内一のグラウンドに（川沿小百年史では昭和33年：間違い）</p>

	*川沿保育所が自衛隊の本部となったため、保育所が川沿小中学校の家庭科室に2ヶ月ほど仮住まい（川沿保育所30周年記念誌）
6月15日	（登小学校）本日の運動会はNHK撮影班により中継録画され、放映される（登小学校沿革史）*北見放送局KPスコープ（登小学校学事報告）
6月17日	（青年の家）オホーツク青少年の村研修センター起工式 （かき島青年の家道立移管記念誌）
7月1日	郵便番号制度開始
7月5日	常呂小学校の簡易プール初使用（6/25 簡易プール工事開始） （常呂小百年史・常呂小学校学事報告）
7月17日	（日吉小）水泳教室開催（日吉小80年史）
7月21日	西4線15号に富丘公民館完成（富丘小敷地内） *昭和42年11月完成の富丘小学校の旧校舍廃材を利用（富丘百年史）
7月31日	（登小学校）NHK北見放送局で北見市の子ども会と交歓対談するため、4年生以上全員参加、8月1日にKPで放送（登小学校沿革史）
7月	養豚事業閉鎖のため同施設を米山勝利に賃貸する（農協50年史）
8月14日	「動く道政教室」が網走市と常呂町で開催、町村知事来町。〔広報ところ〕
8月25日	常呂ライオンズ・チャーターナイト（ライオンズ国際協会加盟認証状伝達） 常呂小学校で開催（広報ところ） 福山小学校児童が鼓笛パレードに参加（福山小学事報告）
9月2日	北海道開基100年祭典〔新北海道史年表〕
9月14日	（常呂高校）創立20周年記念式典が挙行される。記念事業は次の通り。 1、校内放送設備・視聴覚機器の整備 2、記念誌オコック・記念しおりの配布（常呂高校40年史） 「常呂高校創立20周年記念誌」発行 *記念誌掲載クラブ：文芸部・図書部・ブラスバンド部・カメラ部・応援団・野球部・卓球部・柔道部・庭球部・剣道同好会・バレー部・籠球部
9月20日	富丘老人クラブ結成。初代会長、三好次郎（富丘百年史） *豊川老人クラブ寿会から分離・富丘老人クラブ発会記念式典は9月21日
9月25日	（青年の家）常呂町立オホーツク青少年の村研修センター設置条例制定。 （かき島青年の家道立移管記念誌）
9月	釧路地方法務局常呂出張所庁舎新築（常呂町百年史）
9月	湧網線廃止問題おこる。
9月	共立橋架け替え工事着工（共立百年史）
9月	消防団本部に指令車を配置（常呂消防団100周年記念誌）
10月30日	東京大学文学部常呂研究室附属学生宿舎完成：8/6起工（広報ところ）
10月末	常呂シネマ閉鎖（常呂町百年史）
11月3日	豊川給油所施設、丸善KKより貸借し開店。同施設を柏倉健三に委託運営（農協50年史）（イワケシュ郷土史）
11月16日	豊川在住の団員6名になり、豊川青年団解散式（イワケシュ郷土史）
11月22日	常呂町農村青少年組織結成の打合せ（公民館）*常呂町4Hクラブの前身 （常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌 若い芽）
11月25日	常呂町商工会青年部設立総会（常呂町百年史）
11月25日	川沿中学校20周年記念式典挙行（川沿中学校のあゆみ）
12月3日	（青年の家）常呂町立オホーツク青少年の村研修センター竣工 （かき島青年の家道立移管記念誌）
12月10日	（青年の家）常呂町立オホーツク青少年の村研修センター落成式 （かき島青年の家道立移管記念誌）
12月13日	（仮称）農事研究会打合せ（農協会議室）：常呂町4Hクラブの前身 *名称「若い芽の会」決定（常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌）
12月18日	中央公民館裏手の登記所跡に老人いこいの家「長寿庵」完成（広報ところ）

		12月26日	老人クラブ長生会の活動拠点が長寿庵に、月3回例会（1.10.20日） 農事研究会（若い芽の会）打合せ（農協会議室）：常呂町4Hクラブの前身 （常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌 若い芽）
		12月	国道238号線常呂町内区間全線舗装完了（常呂町百年史）
		12月	（常青協）かき島青年の家落成し、第1号の研修生として本町青年入所 （常青協25周年記念誌）
昭和43年			全漁連、道漁連が鑑沸に北海道のり養殖センター建設、6月から発足。 サロマ湖、外海でのり養殖実施（常呂漁協40年誌） 常呂駅前に観光用の常呂町鳥瞰図設置（決算説明書） （富丘小）この年から富丘地区の馬頭祭奉納相撲に全校生徒参加、スクール キャンプ（7月：栄浦）も開始（富丘小開校30周年記念誌） 常呂中学校創立20周年から懸案の環境整備として、開道100年記念と して、職員・生徒の手で池が完成（学事報告） 高田組合長再選（常呂漁協40年誌） サロマ湖さけ特別採捕事業始まる（常呂漁協40年誌） トラクター（耕土改良）事業閉鎖（農協50年史） 富丘地区の馬頭祭奉納相撲に、この年から富丘小全児童参加 （富丘小開校30周年記念誌） 日吉地区14戸で「玉葱生産組合」設立。翌年。福山・豊川地区に広がり 北見地区玉葱振興会に加入（常呂町農協50年史）*玉ねぎ・タマネギ *昭和47年に共立加入、「玉葱振興会」に名称変更 共立市街に公衆電話設置（共立百年史）
昭和44年	1969	1月8日	富丘小でスケートリンク開き・祝賀会（1月2日から父母がリンク造成） （富丘小開校30周年記念誌）
		1月9日	（青年の家）初の研修生受け入れ（新就職者研修・網走教育局主催事業） （かき島青年の家道立移管記念誌）
		1月	市街地青年団「柏木会」誕生：16歳から30人 機関紙「ツンドラ」創刊号 （広報ところ）
		3月1日	牧場事業、正職員牧夫を季節雇傭牧夫：高野幸衛に切替える （農協50年史）
		3月4日	昭和43年度道草地、飼料作物共進会ほう賞（公共用地部門）で イワケシ牧場が優秀賞受賞（広報ところ）
		3月20日	『常呂町史』完成、発行
		3月24日	（青年の家）設置条例改正・常呂町かき島青年の家に名称変更。 設置条例改正により常呂町教育委員会所管となる。 （かき島青年の家道立移管記念誌）
		4月6日	農事研究会（若い芽の会）の打合せ：常呂町4Hクラブの前身 *農協会議室（常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌）
		4月22日	農協生活店舗（農協デパート）のチェーン化参加決定（農協50年史） *「Aコープところ」に名称変更
		4月	（常青協）市街地青年会の柏木会入会する（常青協25周年記念誌）
		5月26日	（常呂小）子供貯金表彰式（郵政大臣表彰）（常呂小百年史）
		6月13日	福山栄福橋改修工事始まる、福山小児童渡船通学開始（福山小学事報告）
		6月15日	常呂町商工会青年部主催の第9回町民運動会が5年ぶりに開催（常呂小） 未広町が9年連続優勝、2位豊浜、3位大通西、4位本通り、5位開進町、 6位栄町、7位大通り、8位新町、9位弁天、10位朝日（広報ところ）
		6月18日	常呂町長選挙で上杉武雄町長無投票で三選。
		6月22日	常呂町議会議員補欠選挙。
		6月25日	常呂小学校でテレビ視聴研究授業（常呂小学校学事報告）

	7月2日	(登小) 学校風呂設置 (吉野・登小閉校記念誌)
	7月12日	常呂町農村青少年連絡協議会 (通称: 常呂町4Hクラブ) 総会・発足 *午後3時、イワケシュ牧場、会員23人、会費500円 (常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌 若い芽)
	7月20日	アポロ11号、月面着陸成功〔新北海道史年表〕
	7月25日	岐阜地区開基80周年記念式典『開基80周年記念誌』刊行 *会場: 錦水小学校 (広報ところ)
	7月	新生組合、更生組合に吸収合併、以後更生組合となる (岐阜百年記念史)
	8月1日	吉田治作、有限会社吉田商店創業: 字土佐5番地 (常呂町大観)
	8月10日	(川沿小) プール完成 (川沿小百年史)
	8月16-17日	常呂中バレーボール部が中体連地区大会で優勝。全道バレーボール教室に出場 (6人制バレー技術習得)、ベスト8の成績 (学事報告)
	8月28日	駅前交差点で信号機点灯式〔広報ところ〕)
	8月29日	道営土地改良事業起工式: 常呂地区客土事業・富丘地区畑地総合土地改良事業・東富丘地区開拓パイロット事業 (広報ところ)
	8月30日	福山公民館落成祝賀会 (福山小学校学事報告)
	8月	(常青協) 全道青年大会に相撲で出場 (伊達町) (常青協25周年記念誌)
	9月30日	馬鈴薯貯蔵倉庫 (10号庫) 93㎡及び農業倉庫 (9号庫) 666㎡ を国道238号線道路沿に新築 (農協50年史)
	9月30日	常呂町役場日吉支所庁舎新築落成式〔広報ところ〕旧庁舎昭和24年建設
	10月15日	共立橋完成・渡橋式、架替工事竣工式: 昭和43年9月着工〔広報ところ〕
	10月16日	常呂漁港拡張工事完成、修祓式: 常呂漁港。竣工式: 中央公民館 漁船収容力が164隻から280隻にアップ、100トン級大型漁船入港可能に (広報ところ)
	10月30日	常呂墓地に無縁供養塔「無縁萬霊供養塔」完成除幕式 (8月建立) 〔広報ところ〕
	10月30日	岐阜地区農免道路改良工事完成、祝賀会: 中央公民館 (起点国道238号線と終点道道北見常呂線を結ぶ基幹道路) (広報ところ)
	10月	富丘11号橋 (西1線11号東側) 竣工
	11月16日	昭和39年から5鐘計画の常呂漁港工事完成、中央公民館で竣工祝賀会開催 (常呂漁協40年誌)
	11月23日	水道工事完成 (富丘百年史)
	12月13日	川沿保育所開設10周年記念式典・祝賀会、卒園児・在園児の芸能発表 在園児、男女とも18人の計36人 記念事業: オルガン、園児用机・椅子購入 「川沿保育所開設10周年記念誌」発行
	12月23日	土佐の砂丘用地 (西田哲夫所有) 購入決定 (農協50年史)
	12月	(常青協) 訓子府青協と合同青年講座を開催 (青年の家) (常青協25周年記念誌)
昭和44年		玉葱の試験栽培実施 (常呂町百年史) 豊川で玉ネギの作付け始まる (豊川区開基百年誌) *玉ねぎ・タマネギ 北見営林署栄浦担当区を常呂担当区に合併、岐阜苗畑を常呂苗畑に吸収 (岐阜百年史) 農協婦人部文集「さざなみ」発刊に向け、農協婦人部岐阜支部内に事務局を置く 北海道のり養殖センターの養殖はサロマ湖、外海とも好調だったが、10月、11月の大時化で施設の大部分が大破 (常呂漁協40年誌) 中期経営3ヶ年計画樹立 (常呂漁協40年誌) 堀田清太郎、水田耕作中止 (富丘百年史)

		第1次農業構造改善事業（第2次）開始（富丘百年史）	
昭和45年	1970	2月21日	常呂漁協が組合員の老後安定のため、常呂漁業協同組合厚生共済会設立、通常総会で共済規定可決承認、発足（常呂漁協40年誌）
		3月31日	かき島青年の家研修生、延べ8,935人 (かき島青年の家道立移管記念誌)
		4月1日	常呂町で誕生した子どもに「誕生証書」を交付開始（広報ところ）
		4月10日	常呂町農業協同組合「創立20周年記念史」発刊（農協20年史）
		4月11日	高台神社建立30周年記念ののぼり（幟）奉納 年月日・祭神（天照皇大神）・製作会社名記名 *高台神社社殿収納の建屋建設の可能性あり
		4月26日	登老人クラブ結成会：登小学校（広報ところ）昭和60年10月解散
		4月29日	福山老人クラブ結成：福山公民館（広報ところ）
		4月	（常青協）単位団体ごとに調査研究を開始（プロジェクト活動取り入れ） (常青協25周年記念誌)
		4月	北海道立網走水産試験場サロマ分場（網走中部地区水産業改良普及所開所：字栄浦番外地（常呂町大観）
		5月31日	第1回歩け歩け運動開催（「歩こう会」のスタート）。5月から9月まで毎月10日に開催、町民ピクニックにも参加（広報ところ）
		5月	常呂小学校で学校開放事業開始（広報ところ）
		6月1日	NHK北見放送局が網走支庁管内26市町村を対象に「市町村だより」をテレビ放送開始（7月からカラー放送）（広報ところ）
		6月2日	常呂小学校で学校開放事業協議会開催（常呂小学校学事報告）
		6月13日	常呂町除雪センター建設：末広（9月13日完成）
		6月28日	常呂町商工主催の第10回町民運動会：常呂小校庭 優勝末広 2位豊浜、3位大通西、4位新町、5位開進町、6位弁天、7位大通り 8位本通り、9位朝日、10位栄町（広報ところ）
		6月	岐阜神社社殿建立（岐阜百年記念誌） *昭和54年6月14日の間違い（誤植）
		6月	富丘神社を西2線国有林から現在地（富丘287-2）に新築移転。同時に「馬頭観世音菩薩」を神社境内に移転、「英霊の碑」の石碑を境内に再建。毎年、7月17日を馬頭祭とし、今は馬ばかりではなく、家畜の霊も祀っている（富丘百年史）
		7月1日	常呂町体育指導委員の設置（教育委員会規則）
		7月10日	常呂町登山同好会設立総会：公民館（設立総会議案）
		7月14日	川沿小中学校グラウンド土盛工事・バックネット改修完了 (川沿中学校のあゆみ)
		7月24日	常呂郵便局、自動ダイヤル式に変更（電話番号4桁）、電話交換業務廃止 (広報ところ)
		7月	常呂町農協デパート外販車3代目マイクロバス「ひまわり号」運行、職員2名で巡回販売（農協30年史・農協50年史）
		7月	常呂ライオンズクラブ町営海水浴場にシャワー施設設置 (常呂ライオンズクラブ100周年記念誌「通」)
		7月	NHK北見放送局のテレビローカルがカラー放送となる (NHK北見の放送五十年)
		8月19日	登山同好会主催、一般募集斜里岳登山（登山同好会設立議案・チラシ）
		8月	（常青協）訓子府青協と合同キャンプ開催：栄浦（常青協25周年記念誌）
9月13日	常呂町除雪センター完成：末広（広報ところ）		
9月14日	将来期待の潜水漁業に備え、行行生産組合構成員中心にアクアラング技術講習会を栄浦で1週間開催（常呂漁協40年誌）		

		9月30日	常呂町表彰条例の全面改正制定：表彰の種類を功労・勤続・善行・奨励の4部門に（広報ところ）
		10月13日	（常呂小）交通事故防止短冊風船上げ（常呂小百年史）
		10月16日	道内の各郵便局に為替貯金窓口会計機配備、事務取扱開始（広報ところ）
		10月25日	常呂町体育協会主催の第1回町民マラソン大会開催（以後毎年開催） （広報ところ）
		10月30日	（福山小）子ども銀行が知事表彰（福山小休校記念誌）
		10月	町立国保病院病棟落成及び前庭整備
		10月	「広報ところ」第140号に「トコの日記」（日吉小学校：大木和香子／作）連載開始（広報ところ）*第2号から「おおきわかこ」
		11月6日	常呂川汚水撲滅総決起大会（広報ところ）
		11月10日	川沿小学校開校70周年記念式典挙行（川沿小学校沿革誌）
		11月15日	常呂町消防庁舎竣工（6月13日着工）
		11月	常呂町農協理美容業、委託契約により再開店（農協50年史）
		11月	土佐七号橋（常呂地区第1幹線排水路：基線7号西側）竣工
		12月8日	旭川鉄道管理局から常呂町に対して湧網線合理化案の提示（列車の間引き・共立駅の無人化・乗降場の廃止）（反対協議会議案）
		12月17日	佐呂間町で湧網線合理化対策協議会開催（旭川鉄道局旅客課長から湧網線合理化正式表明：普通駅は常呂駅に、共立駅は簡易委託駅、常呂港・土佐・東富丘乗降場廃止）（常呂町国鉄赤字路線廃止反対協議会議案）
昭和45年			福山右岸・左岸築堤工事完成（常呂川治水史） 共立会館建設・完成（常呂町百年史本文・共立百年史） *「常呂町百年史」年表では昭和46年12月 常呂農協婦人部文集「さざなみ」第1号発刊（部員数338人） （常呂農協女性部50周年記念誌） 小林秀明、有限会社常呂石油創業（昭和23年阿保商店兼業 昭和37年1月1日常呂貝印石油に引き継ぐ 昭和45年現名称に変更）（常呂町大観） 常呂漁業協同組合、鑑沸に鮭鱒多目的孵化場設置（昭和57年以後休止） 常呂町のテレビ普及率 1,616戸/82.1% 内、カラーテレビが146戸/7.4%（豊川百年誌） 季節保育所の管理運営委託（町から区長）が町に移管（豊川区開基百年誌） 常呂漁協が遊漁船提供組合員から魚類資源保護協力金を徴収実施 （常呂漁協40年誌） オキザル沖合にのり養殖保全施設を設置する。（常呂漁協40年誌） 共立部落会館、現在地に新築落成（建設委員長 斉藤吉明）（共立百年史） 町内のトラクター183台（富丘百年史） 道道北見・常呂線の日吉まで舗装完了（イワケシュ郷土史） 日吉市街地区全面舗装、併せて道道も舗装（日吉小学校沿革史） 常呂吟詠会設立 高橋金哉氏、町功労表彰（農業委員永年勤続）（共立百年史） 木屋義嗣氏、町功労表彰（産業）（共立百年史） 農業用ダンプ富丘で始めて導入（柳谷光男）（富丘百年史）
昭和46年	1971	1月1日	常呂町農業協同組合、年金制度発足〔農協30年のあゆみ〕
		1月8日	国分幸七、網走市能取から移住、株式会社国分商店創業：字常呂545番地 （常呂町大観）
		3月7日	第1回常呂町婦人スポーツ交歓大会開催：常呂小体育館・卓球（広報ところ）
		3月8日	国鉄湧網線・常呂駅の収入1億円突破（広報ところ）
		3月10日	常呂漁協臨時総会で、ほたて増養殖長期5ヶ年計画承認（外海ほたて資源増大とサロマ湖ほたて養殖の躍進）（常呂漁協40年誌）

3月30日	小学校三・四年社会科副読本「ところ」(常呂町教育委員会)発行
4月1日	特別養護老人ホーム開設準備室設置(のぞみの園開園20周年記念誌)
4月19日	(常呂高校)第1回1年生宿泊研修が3日間の日程でかき島青年の家で行われる(常呂高校40年史)
4月25日	常呂町議会議員選挙執行(20名選出)
4月30日	スポーツ少年団加盟申請手続き・傷害保険加入(体育協会理事会資料)
5月21日	組合長改選の結果小林秀康選出され、第4代組合長として就任
3月	簡易と殺場(朝日町)廃止に伴い簡易と場使用料並びにと場条例廃止 (広報ところ)
5月26日	(常呂小)窓枠アルミサッシ取付(4教室)(常呂小百年史)
5月30日	参事に菊池課長選任される(農協50年史)
6月5日	日吉小学校野球バックネット増設工事完了(日吉小学校沿革史)
6月13日	常呂町商工会主催第11回町民運動会開催(常呂小)豊浜初優勝 2位末広、3位大通西、4位開進町、5位大通り、6位弁天、7位新町 8位本通り、9位栄町、10位朝日(広報ところ)
6月18日	(日吉小)3学級に編成替え(日吉小80年史)
6月21日	(老人クラブ連合会)常呂町老人クラブ連合会5周年(7クラブ)及び 長生会10周年記念式典:中央公民館 川口藤五郎氏から老人クラブ連合会旗、安部豊次郎氏から長生会旗寄贈 (広報ところ)
7月1日	湧網線、中湧別一網走間鉄道郵便線路廃止 (オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
7月8日	(福山小)水泳プール完成・プール開き(福山小学校五十年のあゆみ)
7月	常呂前浜海水浴場に脱衣所・シャワー施設・公衆便所整備(広報ところ)
8月3日	ママさんバレーボールチーム結成記念大会:常呂小体育館(広報ところ)
8月20日	特別養護老人ホームのぞみの園(1期工事)着工 (老人ホームのぞみの園開園20周年記念誌)
8月	種牡馬管理者の米山勝利死亡のため種馬を返還。種馬所閉鎖(農協50年史) *獣魂碑と相馬神社を農協牧場に移設した可能性あり
9月5日	高德寺、富丘から豊川に移転し、入仏落慶法要(イワケシュ郷土史)
9月5日	第1回町民大学開催(中央公民館)「郷土の考古学入門/畠山三郎太」
9月14日	湧網線営業体制近代化計画に対する国鉄湧網線合理化反対期成会と旭川鉄道 管理局が合意(土佐乗降場・常呂港乗降場廃止、東富丘乗降場通学列車 1往復のみ、共立駅簡易委託、中湧別・網走間2減便) *付帯事項:旭川鉄道管理局として、湧網線を合理化、廃止する計画はない (合意文書)
9月29日	常呂町特別養護老人ホームのぞみの園設置条例公布
9月	(常呂町農協)金融店舗、旧資材店舗あとに新築開店(農協50年史)
9月	(常呂町農協)生産資材店舗、旧店舗向いに新築 (1階384㎡、2階85㎡)(農協50年史)
10月11日	北見バスの常呂・浜佐呂間間運行廃止(10月10日)により、常呂-浜佐呂間 間に町営バス運行開始:岐阜地区経由(常呂駅前発7:00 16:20 浜佐呂間発7:20 16:40)(広報ところ)*北見バスの佐常線廃止
10月21日	農村地域集団化電話開通:午前10時開通、459戸加入(広報ところ)
10月23日	有線放送電話事業閉鎖、地域集団電話に切り替わる[農協30年史]
10月25日	(錦水小)「体育指導の研究」により学研教育賞受賞(錦水小50年史)
10月	(青年の家)かき島青年の家所歌贈られる。 作詞 岩田利雄、作曲 山口裕功(かき島青年の家道立移管記念誌)
10月	岐阜第7号橋(ライトコロ川:岐阜西4線7号西側)竣工
10月	富丘13号線橋(富丘西3線13号付近)竣工

		11月1日	網走地区消防組合（網走市・常呂町・女満別町・東藻琴村）消防署設立。 〔消防組合10年のあゆみ〕 網走地区消防組合常呂消防団、網走地区消防組合常呂分署に改称する 消防第4分団に積載車を配置（常呂消防団100年記念誌）
		11月1日	（日吉小）大雨のため吉野、川向、平和、登地区登校不能のため出席停止。 （日吉小80年史）
		11月7日	基督兄弟団常呂協会、末広町の現在地に移転（常呂町百年史）
		11月	藤山ハル常呂町文化功労賞受賞
		11月	「サロマ湖観光開発診断報告書」発行 （網走支庁管内観光連盟・北海道観光連盟）
		11月	基督兄弟団常呂教会が末広に移転（平成9年度 オホーツク大学文集）
		11月下旬	岐阜7号橋新橋に架け替え・完成（広報ところ）
		12月21日	特別養護老人ホーム「のぞみの園」完成 鉄筋コンクリート造平屋 土地面積22,272㎡ 建物面積1,240.76㎡ （8.20 1期工事着工、47.1.14開園式）〔のぞみの園の歴史〕
		12月	（常青協）常青協規約を改正しサークル活動にするよう準備する （常青協25周年記念誌）
		12月	（常青協）斜網青協の集いの開催（青年の家）（常青協25周年記念誌）
昭和46年			国鉄湧網線、東富丘の乗降場を廃止。 岐阜保育所から錦水保育所に改称（町勢要覧） 常呂町農協デパート外販車3代目「ひまわり号」運行（昭和51年まで） （農協30年誌） 栄浦浜栈橋架設工事；幅1.5m 長さ23m（決算説明書） 栄浦浜脱衣場及びシャワー施設工事（男3、女2）（決算説明書） 栄浦野営場（栄浦キャンプ場）公衆便所新築・給水施設工事（決算説明書） ホタテ稚貝大量放流実施。46年120,000千粒（常呂漁協40年誌） 川沿小中学校学校開放実施（川沿中学校のあゆみ） 永年勤続漁業労務者表彰。（常呂漁協40年誌） 昭和29年から操業の北洋鮭鱒流網漁業の減船に伴い、第十八ところ丸も 対象船として名乗り、総代会で承認、撤退決定（常呂漁協40年誌） 斉藤吉明氏、町文化功労表彰（教育）（共立百年史） 地域集団電話設置（共立百年史）
昭和47年	1972	1月8日	（常呂小）豊浜地区児童常呂大橋通学時写真撮影（常呂小百年史）
		1月14日	特別養護老人ホーム「のぞみの園」設置認可・開園式（定員50人） （のぞみの園開園20周年記念誌）
		1月26日	（日吉小）吹雪の為臨時休校（日吉小80年史）
		1月	消防第2分団に積載車を配置（常呂消防団100年記念誌）
		1月	共立地区35戸に水道敷設、水道利用（広報ところ）
		2月8日	「国鉄営業体制近代化」に伴う第1回目の合理化開始。湧網線の土佐仮 乗降場・常呂港仮乗降場廃止（広報ところ）
		3月2日	（日吉小）吹雪の為3日間臨時休校（日吉小80年史）
		3月15日	北見共立駅が完全無人駅に（イワケシュ郷土史）
		3月17日	常呂中学校統合決定（常呂・川沿・日吉）
		3月25日	「常呂 本文編・図版編・地図編」（東京大学文学部）発行
		4月1日	（常呂小）14学級編成認可（常呂小百年史）
		4月1日	（登小）学級減 1学級となる（吉野・登小閉校記念誌）
		4月	（常青協）地域単位団がサークル単位団となり活動が始まる（卓球サークル ソフトボールサークル・男子バレーボールサークル・生活サークル

	岐阜青年団・富丘青年団 ) (常青協25周年記念誌)
4月	黒川安之、ドライブインレイク：字栄浦と鮎の安さん：大通り西開店、昭和48年5月軽食喫茶レイク：大通り西開店 (常呂町大観)
5月1日	(常呂小) プラスバンド楽器寄贈 (ライオンズより) (常呂小百年史)
5月24日	(常呂小) P T A奉仕作業 (ビニールハウス・飼育舎・円形花壇車まわし) (常呂小百年史)
5月	総代制の廃止により、農協経営の諮問機関として農協専門委員会制の採用決定 (総合委員20名、畑作専門委員20名、青果専門委員20名、畜産専門委員20名、生活専門委員20名) (農協50年史)
5月	学校開放事業、常呂小・川沿小・中の他、常呂中・錦水小も追加 (広報ところ)
6月24日	特別養護老人ホーム「のぞみの園」で園内第1回大運動会開催 (広報ところ)
6月25日	常呂町商工会主催第12回町民運動会開催 (常呂小) 末広優勝 2位豊浜、3位大通西、4位開進町、5位新町、6位弁天、7位本通り 8位朝日、9位栄町、10位大通り (広報ところ)
6月	(常青協) 女子バレーボールが出来男子と合併する (常青協25周年記念誌)
7月11日	(川沿小) プール屋根完成・祝賀会 (川沿小百年史)
7月24日	北見バスの常呂築港線に替わり、網走バスの一部 (常呂一網走) で常呂築港廻りが運行 (広報ところ)
7月25日	(常呂高校) 1年生宿泊研修が3日間の日程で羅臼岳登山となる。 (常呂高校40年史)
7月	玉葱用コンテナ (1.3t入) 2,000基取得 (農協50年史)
7月	(常青協) 斜網青協青年体育大会の開催 (常呂中学校) (常青協25周年記念誌)
8月7-9日	水泳教室：前浜海水浴場 (初心者向け) (教室チラシ)
8月25日	常呂ライオンズクラブ5周年記念式典：中央公民館 (常呂小吹奏楽部備品寄贈) (常呂ライオンズクラブ認証40周年記念誌)
8月26日	ソフトボール協会設立に伴って第1回ソフトボール大会開催。 14チーム加盟、漁協チーム優勝 (広報ところ)
8月	農業倉庫 (澱粉工場敷地内) 993㎡の新築 (農協50年史)
9月6日	共済組合の事業合理化として農協と業務合併実施。 共済組合事務所、土佐から農協事務所内に移転し業務開始。 業務合併覚書のうち主なもの (1) 総会は両組合同時開催を原則、理事会もこれに準ずる (2) 役員は兼任制 (3) 共済組合職員の身分はそのまま存続するが、全員農協の嘱託職員とする (4) 嘱託職員は農協機構の業務のうち必要業務を分掌する 以上により農協と共済組合は実質的に一本化となった 〔農協20年史〕 (農協50年史)
9月15日	(のぞみの園) 敬老会の実施。「鮎の安さん」ボランティア寿司 (のぞみの園開園20周年記念誌)
9月	鑑沸船揚場完成 (昭和48年町勢要覧)
9月	栄浦橋 (ライトコロ川河口) 竣工
9月	常呂町総合計画策定 (46～55年度計画)。
9月	(常青協) 野菜の即売会を始める (常青協25周年記念誌)
9月	日吉橋完成：常呂川 (昭45年8月着工) (北海道新聞・北海タイムス) *鉄骨コンクリートの永久橋：延長245m、幅5m
10月10日	第1回町民300歳ソフトボール大会：河川堤外グラウンド 参加チーム：①豊浜・東浜・大島 ②開進町A ③開進町B ④富丘

			⑤弁天・朝日 ⑥岐阜 ⑦本通・大通 ⑧共立・土佐 ⑨栄浦 ⑩大通り西 ⑪豊川・福山 ⑫栄町・新町 ⑬日吉 ⑭末広 ⑮吉野・登 (大会打合せ資料)
		10月15日	第1回子ども会ソフトボール大会開催(本通・大通西・末広・大通・栄町) 末広優勝(広報ところ)(常呂町子ども会ソフトボール大会要項)
		10月	常呂漁協栄浦支所新築落成:木造モルタル一部2階、事務所に住宅併設 (7月着工)(常呂漁協40年誌)
		11月1日	(吉野小)学校暖房を全面的に石油暖房に切替(吉野・登小閉校記念誌)
		11月3日	常呂町文化連盟創立10周年記念表彰(公民館)
		11月9日	日吉橋(常呂川)の渡橋式 *参加者約200人、日吉保育所園児参列 *馬淵元之助さん一家三代渡り初め(道新・北海タイムス・読売)
		11月10日	大西信武著『常呂遺跡の発見』発刊
		11月11日	(登小)開校20周年記念式典挙(吉野・登小閉校記念誌)*学芸会 「登小学校開校20周年記念 あゆみ」発刊
		11月26日	大西信武「常呂遺跡の発見」出版祝賀会(公民館)*出版11月10日 (服部四郎東大名誉教授出席)(文連機関紙「新墾」)
		11月	消防常呂分署に無線局を開設(常呂消防団100年記念誌)
		12月18日	めぐみ保育所、開園式(昭和47年からは町立季節保育所として運営) (広報ところ)
昭和47年			日吉左岸築堤工事完成(昭和36年着工)(常呂川治水史) 日吉ボン隈橋完成(常呂川治水史) 公衆浴場、町に移管(常呂町百年史) 富丘高德寺跡の「聖徳太子」碑、豊川高德寺境内に移転、50周年記念式典。 常呂町のテレビ普及率 83.3% カラーテレビが600戸/31.8% 白黒テレビからカラーテレビへ時代への転換期(豊川百年記念誌) 組合事務所荷捌所、新築承認となる。(常呂漁協40年誌) ほたて稚貝150,000千粒放流(常呂漁協40年誌) 北見共立駅、貨物取り扱い廃止(共立百年史) 15号道路西7線まで全面舗装工事完成(富丘百年史)
昭和48年	1973	1月25日	(常呂高校)3年生宿泊研修が前年かき島青年の家で行われたが、 この年から大雪青年の家を使い3日間の日程で実施される (常呂高校40年史)
		2月1日	町立常呂保育所開園(47.8.7着工、47.12.4完成)(広報ところ)
		3月6日	(錦水小)錦水小学校校歌制定(作詩・坂本亮、作曲・渡部日出雄) (錦水小50年史)
		3月17日	土佐の山浦一47年日本農業賞受賞(農協50年史)
		3月24日	サロマ湖周辺国有林、自然休養林に指定(栄浦とワッカ地区523ヘクタール) 以後、栄浦地区にキャビン8棟新設、ワッカ地区に駐車場・公衆便所新設。 常呂町に経営委託(北見営林署50年のあゆみ)
		3月	甜菜(ビート)育苗事業開始、建物D型ハウス取得(常呂町農協30年史)
		4月1日	会費制結婚式の見直し、会費1,300円以内、参加人数150人程度 お色直し2回まで、引き出物配らない(会費制結婚式見直しパンフレット)
		4月1日	清杉明、常呂自動車整備工場創業:字常呂557番地(常呂町大観)
		4月10日	吉野小学校水道架設工事完成:水量不足、汚濁のうれいなし (吉野・登小閉校記念誌)*水源地:熊坂志良所有地(吉野小学校学事報告)
		4月21日	組合長改選の結果斎藤正雄選出され第5代組合長として就任 (農協50年史)
		4月	かもめ保育所の運営を常呂町に移管、常呂町立かもめ保育所(季節保育所)と して新たに開設(かもめ保育所新園舎パンフレット)

4月	(常青協) 歌声サークル・柔道サークル加入 (常青協25周年記念誌)
4月	消防第2分団に小型動力ポンプ配置 (常呂消防団100年記念誌)
4月29日	藤吉玉一氏「勲六等単光旭日章」受賞。
5月2日	常呂漁協組合が臨時総会で組合員資格の定款変更、正組合員資格を現行の1年を通じ120日以上漁業を営みまたは従事する漁民から漁業を営む漁民に変更：漁業経営者のみに変更 (常呂漁協40年誌)
5月5日	日吉小中学校で学校開放事業 (校庭開放事業) 開始 (日吉中学校のあゆみ)
5月	北海道知事公式訪問
5月	「高齢者教室」本年度より60歳以上を対象に、1学級30時間の教室を開く (広報ところ) *オホーツク大学の前身
5月	中央公民館が毎週月曜日を休館 (広報ところ)
6月4日	(常呂小) 子供貯金貯金局長賞表彰 (常呂小百年史)
6月17日	常呂町長選挙執行、上杉武雄町長4選
6月20日	オホーツク大学の前身、高齢者教室日吉地区で開校 *開設地区：市街・日吉・豊川・福山・岐阜 (高齢者教室開設要項)
6月22日	常呂川河畔堤防敷地内にグラウンド造成完成 (大型グラウンド54,000㎡) (広報ところ)
6月24日	常呂町商工会主催第13回町民運動会開催 (常呂小) 末広優勝 2位開進町、3位大通西、4位豊浜 (広報ところ)
6月	(福山小) テニスコート兼バレーコート新設 (福山小学校六十年誌)
6月	岐阜地区内の葬式会場として青年研修所を使用することに決まる (岐阜百年記念誌：國枝一雄さんの岐阜90年の歩み)
7月18日	臨時総会開催 (農協50年史) (1) わさび乾燥工場事業費変更について当初計画4,000万円を4,673万円に変更決定 (2) 澱粉工場工員宿舎の建設について964万円で可決 (3) 澱粉工場廃液処理問題について
7月	(常青協) 網走管内の青年大会体育の部でソフトボール、女子バレーボール優勝。卓球が3位入賞 (常青協25周年記念誌)
8月4日	(吉野小) カラーテレビ設置 (吉野・登小閉校記念誌)
8月12日	第1回常呂町300歳バレーボール大会：常呂高校体育館 *昭和48年度社会句養育事業計画で新規事業として位置付け
8月30日	特別養護老人ホーム「のぞみの園」拡張工事完成 (第2期工事) 拡張面積1,123.32㎡ (のぞみの園開園20周年記念誌)
8月	網走地区消防組合消防署常呂分署に救急車配置される。
8月	サロマ湖第2湖口開削工事起工式 (47.12.28着工)
8月	(福山小) プール脱衣場完成 (福山小学校六十年誌)
8月	(常青協) 全道青年大会に女子バレーボール出場 (小清水町) (常青協25周年記念誌)
9月5日	(青年の家) 北海道青年の家等所長会議開催 (かき島青年の家道立移管記念誌)
9月8日	サロマ湖第二湖口開削起工式 (常呂漁協40年誌)
9月9日	忠魂碑の台座が損壊し危険なので、台座を取り替えて「忠魂碑」を再建、除幕式・戦没者慰霊祭 [広報ところ] (ところ文庫10常呂町歴史散歩)
9月9日	常呂町戦没者慰霊碑建設期成会「鎮魂」発行 (常呂町)
9月	共立部落で「水難者供養碑」再建 (現在は共立会館敷地内) *元々は、昭和15年8月1日、10号堤防と道々の間に建立 (共立百年史)
9月	常呂町甜菜増産振興会を発展解消、常呂町甜菜振興対策協議会設立
9月	水道運営委員会設置。

	9月	町立国保病院にX線テレビ装置整備される
	9月	近井澱粉工場、営業廃止により補償として750万円の支給決定 (農協50年史)
	10月1日	(のぞみの園) 定員100人施設として認可開始 (のぞみの園開園20周年記念誌)
	10月1日	北見一常呂間自動車郵便線路開設 (オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
	10月12日	川口藤五郎氏「勲六等単光旭日章」受賞
	10月13日	常呂町弓道場の場落成記念射会：会場／常呂高校(記念射会要綱)
	10月	西壱線橋(富丘西1線13号南側)完成
	10月	常呂漁協1日皆貯金パレード(常呂漁協組合のあゆみ)
	11月1日	常呂漁協が組合員の福祉事業の一環として医療費助成制度を実施開始 (常呂漁協40年誌)
	11月3日	常呂町開基90周年記念式典開催、町民憲章・町花クレマチス・ 町木ナナカマド・町技ソフトボールを制定(広報ところ)
	11月8日	下常呂土地改良工事着手(請負人木下八郎第1幹線排水溝の掘削、 後日の洪水で事業挫折)
	11月8日	常呂漁港に常呂漁業組合事務所・荷捌所併置が完成、落成式典・祝賀会、 組合創立25周年記念式典開催：常呂中学校体育館(広報ところ)
	11月10日	常呂町開基90周年記念 北見地区民謡常呂大会開催(大会プログラム) 会場：中央公民館 常呂民謡同好会・日吉民謡愛好会出演
	11月18日	常呂郵便局、新庁舎落成式(常呂町字常呂332番地2) [広報ところ] * 工事中の仮庁舎は本通りの旧消防本部 * 平成10年常呂郵便局新築移転後は、常呂町総合在宅ケアセンターに転用
	11月20日	工事中の仮庁舎
	11月30日	常呂中学校統合校舎完成(47.8.7着工)(常呂町百年史)
	11月	石油等エネルギー類及び営農資材不足により節約運動決議 (農協50年史)
	11月	わさび乾燥工場増築し運営もマル井との共同経営から農協直営に改める。 (農協50年史)
	11月	(福山小) 東玄関新築(25坪)(福山小学校六十年誌)
	11月	岐阜6線橋(ライトコロ川：岐阜6線4号)竣工
	12月19日	(福山小) スケート同好会発足(福山小学校学事報告)
	12月19日	常呂漁港に建設の水揚荷施設が地方卸売市場として認可(広報ところ)
	12月	東浜に配水池新設(常呂町百年史)
昭和48年		漁村道営住宅建設(1種12戸・2種12戸) 鐘沸の北海道のり養殖センター閉鎖(常呂漁協40年誌) 高齢元組合員、松前町に慰安旅行。(常呂漁協40年誌) 巖地神社(豊川神社)の老朽化が深刻になり、豊川区民の寄付で改修工事 (豊川開基百年誌) 北進町(当時は栄町)・東浜16戸・栄浦4戸に公営住宅：団地建設 * 北進町は、50.52.53年と拡張、総計50戸に(常呂町百年史) ほたて稚貝放流150,000千粒(常呂漁協40年誌) 漁業枚切替による第3次共同漁業枚免許を受く。(常呂漁協40年誌)
昭和49年	1974	1月26日 常呂高等学校、創立25周年記念・道立移管10周年記念式典挙行 (常呂高校40年史) 1月 サロマ湖に流氷流入、ほたて養殖施設被害甚大(常呂町百年史) 1月 常呂町農協労働組合「組織十年のあゆみ」発刊 2月2日 高齢者教室打合せ会議で、昭和43年度開設の高齢者教室の名称を

	「オホーツク大学」に決める（高齢者教室打合せ資料）
2月10日	『イワケシユ郷土史』発刊（豊川、共立、富丘、福山部落）
3月12日	「常呂遺跡」国指定史跡となる（広報ところ）
3月14日	日吉中学校閉校式（日吉中学校のあゆみ） （日吉小）併置日吉中学校が常呂中学校に統合（日吉小80年史） 『日吉中学校のあゆみ』発行
3月15日	川沿中学校閉校式
3月17日	開進町子供会館完成・開進町子供会発足（広報ところ）（子ども会館）
3月19日	（山田）藤山ハル没（樺太アイヌ文化・言語伝承者） *藤山ハルさん三度目の住宅：北見市常呂町字常呂605番地15 *生前、藤山ハルさんは土葬を強く希望し服部四郎氏に依頼。服部四郎氏が 上杉町長に陳情した結果、特例として町長から許可を得、21日埋葬 （服部四郎ノート、斉藤文恵談）
3月37-38日	かき島青年の家主催事業「豊かな生きがいを拓く高齢者の集い」開催 *昭和49年度開校の「オホーツク大学」に合わせて実施
3月31日	（川沿小）統合新中学校・常呂町立常呂中学校設置により、川沿中学校を 閉校（廃校）する（川沿小百年史）
3月31日	豊川老人クラブ「豊川寿会」創立10周年記念式典（豊川公民館）（広報ところ）
3月	開基90周年記念事業「道外視察研修」（関西方面）
4月1日	（常呂小）15学級編成認可（常呂小百年史）
4月1日	（川沿小）小学校単置校として発足、6学級編成となる。（川沿小百年史）
4月1日	（登小）学級増 2学級となる（吉野・登小閉校記念誌）
4月9日	北見バス、常呂・栄浦間の路線廃止、翌日から町営バスが路線を一本化して 運行（広報ところ 常呂町百年史）
4月10日	常呂中学校、開校式・入学式（10.20新校舎落成式、48.8.28着工） 常呂・川沿・日吉中学校が統合、常呂中学校となる。スクールバス 運行開始（広報ところ）
4月10日	北見バスの常呂ー栄浦線廃止で町営バス運行開始。岐阜・栄浦地区に従来の 路線を一部路線変更して大型バスを毎日6往復で住民の足確保（広報ところ） 北見バスがワンマンカーになり、川沿保育所バス通園児・保母がバス乗車、 整理券の取り方・定期券の見せ方・プザー実習（川沿保育所30周年記念誌）
4月10日	（錦水小）屋体ステージを仕切り直し、剣道具更衣室とする （錦水小50年史）
4月24日	土佐区開基80周年記念事業として土佐神社境内に記念植樹（土佐郷土史）
5月13日	オホーツク大学開校式：中央公民館 *入学者150人の内100人出席 *本校と分校（豊川・日吉） *年限 修士・博士ともに3年間（広報ところ）
5月14日	故藤山ハル（樺太アイヌ文化・言語伝承者）さんに木杯授与 *網走教育局長から藤山ハルさん長女：金谷フサさんに伝達 （広報ところ、叙位・叙勲文書）
5月26日	登山同好会主催の第1回町民登山（イワケシ山）（広報ところ） *参加者、幼児から高齢者70人、下山後ジンギスカン（登山同好会会報）
5月	オホーツク大学第1回講義「日本史」（長寿庵）（広報ところ）
6月9日	常呂町酪農振興会臨時総会「原料乳の配乳変更について」 雪印網走工場から森永佐呂間工場に変更（6月21日から） （常呂町酪農振興会創立30周年記念史）
6月10日	（常呂高校）柔剣道場新築される（常呂高校40年史）
6月20日	「常呂よいところ」（常呂町文化連盟）発行（「にいばり30」）*新巻
6月23日	2000人が集まって町民運動会開催（常呂小）、栄浦が初参加、未広優勝 （広報ところ）*広報写真の得点板では、参加は、大通り西・大通り・

	開進町・豊浜・栄浦・弁天・新町・末広・本通り（得点空欄）
6月	日吉老人クラブ10周年記念式典（日吉保育所）
7月1日	かき島荘がサロマ湖観光ホテルとして改築オープン（昭和48年10月着工） 鉄筋コンクリート3階建、延1346㎡。旧館部分を含めて2300㎡。 （北海タイムス）
7月6日	常呂漁協が初めてのホタテの無料配布実施（ホタテ5トン）（広報ところ）
7月30日	「町民憲章碑（開基九十周年記念碑）」の除幕式行われる（広報ところ）
7月	麦類乾燥調整施設完成〔農協20年史〕*常呂町農協 常呂町農業協同組合麦類乾燥調整施設完成
7月	土地開発公社設立。
7月	高田前組合長急逝。組合葬執行。（常呂漁協40年誌）
8月3日	土佐地区開基80周年記念式典、「開基八十年記念碑」除幕式行われる。 土佐章の披露・役場庁舎前で野菜即売会・のぞみの園に野菜プレゼント トラクター仮装パレード・記念品（土佐章浮き彫りの灰皿）・祝賀会 （土佐郷土史） *「開基八十年記念碑」は、平成6年の開基百年時に、上部を「開拓記念碑」 に取り替え *開基80年記念碑
8月21日	吉野小学校にカラーテレビ入る（吉野小学校学事報告）
8月21日	登小学校にカラーテレビ入る（登小学校学事報告）
8月28日	部落排水草刈り実施（富丘百年史）
8月30日	常呂町墓園条例施行規則公布（条例制定は7月20日）
8月	農協漁協共同給油所による屋外石油備蓄タンク竣工（50kg入） （農協30年史）
8月	農協漁協共同給油所屋外軽油タンク竣工（200kg入）（農協30年史）
8月	東亜橋（東亜川：福山25号一日吉東亜入口バス停間の堤防）竣工
8月	（常青協）全道青年大会で女子バレーボールが準優勝する （常青協25周年記念誌）
8月	常呂ライオンズクラブ富丘小児童28名を阿寒1泊旅行招待 （常呂ライオンズクラブ10周年記念誌「道」）
9月20日	（常呂高校）第1回援農遠足が実施される（常呂高校40年史） *農家6戸に全クラス分散、午前・午後各1時間作業 （「オコック」創立30周年記念特集号）
10月3日	福山小学校50周年記念校門新設（福山小学校学事報告）
10月8日	デンマークの水産関係者一行、サロマ湖などを視察
10月12日	臨時総会開催（農協50年史） （1）斜網畜産公社の株式取得について原案どおり可決 馬市常呂市場閉鎖（農協50年史）
10月20日	常呂中学校落成式、校門除幕式（常呂中学校10周年記念誌）
10月	常呂町農業協同組合玉葱貯蔵庫完成。 （1,345㎡、50.4m×27m）（農協50年史）
10月	土佐区に残っていた最後の農耕馬（関谷一水所有）売却（土佐郷土史）
10月	ボーイスカウト常呂第1団10周年記念式典・パレード（広報ところ）
11月10日	常呂町乳牛検定組合主催の初めての酪農祭をイワケン牧場で開催 （広報ところ）
11月30日	日吉小学校屋内体育館完成 （日吉小）新校舎完成：体育館のこと（日吉小80年史）
11月末	幌内川に町営マスふ化場完成（広報ところ） 常呂町営マスふ化場建設：福山ホロナイ川（常呂漁協40年誌）
11月	常呂町農業協同組合野菜生産出荷近代化施設完成。
12月10日	常呂中学校校庭整備（常呂町百年史）

	12月10日	常呂町養豚団地協議会発足（会長林光男）加盟者の9割岐阜地区
	12月17日	（常呂高校）「柏風寮」の模様替え工事が完成。名称を「和室」と改称される（常呂高校40年史）
	12月	『土佐郷土史』発刊（土佐区）
昭和49年		高田組合長勇退。小笠原常務第4代組合長に選任さる。 （常呂漁協40年誌） 石油ショックの後遺症続く。（常呂漁協40年誌） 土佐青年団の団員4人に減少・解散、73年の歴史に幕（土佐郷土史） ほたて稚貝放流131,600千粒（常呂漁協40年誌） 加藤木工場が現在地に移転（共立百年史） 富丘第1コンバイン組合設立。組合員23名（富丘百年史） 敬老会の主催が青年部から婦人部が変わる（富丘百年史）
昭和50年	1975	2月1日（日吉小）日吉婦人会屋内体育館清掃奉仕（日吉小80年史） 2月20日常呂小学校囲碁クラブが老人クラブと囲碁対局交流（長寿庵） （読売新聞・北海道新聞） 2月（常青協）「若人」第36号発刊（常青協25周年記念誌） 2月常呂ライオンズクラブ主催、子供かるた大会、町内小中児童生徒60名参加 （常呂ライオンズクラブ10周年記念誌「道」） 4月1日（常呂小）13学級編成認可（常呂小百年史） 4月1日（川沿小）5学級編成となる。実学級6学級。（川沿小百年史） 4月1日（登小）学級減 1学級となる。教員2名、児童数5名 （吉野・登小閉校記念誌） 4月8日岐阜青年研修所改装並びに50年敬老会、岐阜老人クラブ創立10周年記念式典 （岐阜老人クラブ50周年誌） 4月27日常呂町議会議員選挙（20名選出） 4月28日福山小学校児童は水害のため、川向い17号を通過して通学（福山小学事報告） 5月7日町営マスふ化場落成式及び最初のマスの稚魚放流式（広報ところ） 5月9日（日吉小）吉野小と合同学習実施（5月2回、9月2回、10月1回、11月1回、3月1回）（日吉小80年史） 5月16日全国初の「カマボコ型防風林」岐阜に造成のための植樹祭。 8号防風林。林野庁長官賞。（岐阜百年記念史） 5月19日常呂川増水により、福山小学校西部地区児童出校停止（福山小学事報告） 5月21日常呂川出水により、福山小学校西部地区児童出校停止（福山小学事報告） 5月常呂公園の造成に着手（常呂町百年史） 5月消防第4分団に小型動力ポンプ配置（常呂消防団100年記念誌） 6月15日町民運動会開催：広報の記載なし、広報用写真ネガに月日記載 *成績不明 6月20日（錦水小）うさぎ小屋・鳥小屋の作製（錦水小50年史） 6月29日富丘旭地区の農家19戸に簡易水道給水開始（広報ところの水） 6月8日国鉄湧網線のSL最後の日を迎える（佐呂間町百年史） 6月「常呂讃歌」できる（同年10月発行の「町政ガイド」に歌詞記載） 6月（常青協）演劇サークル「ひよっこ」が加入（常青協25周年記念誌） 常呂町で初めての押しボタン式信号機が、川沿小学校・豊川郵便局前の道道に北見方面公安委員会が設置（広報ところ） 6月株式会社常呂ハイヤー、北交ハイヤーから引き継ぐ（常呂町大観） *「常呂町史」では、昭和32年11月26日株式会社常呂ハイヤー創立営業開始 7月7日網走バス、常呂～栄浦間まで季節延長運行開始（常呂町百年史） 7月13日（常青協）網走管内青年体育大会（常呂中学校・常呂小学校・常呂高校にて） （常青協25周年記念誌） 7月22日ファミリースポーツセンター（町民センター）着工。

	8月14日	昭和35年から常呂漁協運営のかもめ保育所が町営移管のため、総代会の承認を受け、現有施設を常呂町に寄付採納申請、受理（常呂漁協40年誌）
	8月22-24日	台風6号の大雨で浸水家屋12戸、田畑浸水280ha、被害総額8692円（常呂町百年史）
	8月	「ところ議会だより」第1号発行
	8月	広域簡易水道事業に着手（3ヶ年計画、全町一円）
	9月8-9日	大雨で被災農地419ha、浸水11戸、被害額1億9126万6000円（常呂町百年史） 2度の台風によりライトコロ川氾濫。大凶作（富丘百年史） 9月8日には70ミリの豪雨で畑地冠水、国鉄・道路寸断（共立百年史）
	9月10日	登地区農家5戸が花木組合組織し、日吉地区に集団移転、花木栽培へ（北海道新聞）
	9月9-10日	常呂川の増水により、福山小学校西部地区出校停止（福山小学校学事報告）
	9月15日	（常青協）町内青年祭開催（常呂町中央公民館）（常青協25周年記念誌）
	9月17日	NHK北見放送局がローカル番組放送取材で吉野小学校に来校 NHKが吉野小学校授業など取材（9/19）（吉野小学校学事報告）
	9月21日	第1回町民いこいの日をイワケシ牧場で開催〔北海道新聞、北海タイムス）
	9月22日	（日吉小）単複校集合学習会実施（日吉小80年史）
	9月30日	基線道路交通安全施設完成（昭49・50の2ヶ年）
	9月	常呂町青年会議発足：13団体500人加盟（広報ところ） *団体同士の親睦・パイプ役
	10月1日	（福山小）ライオンズクラブ招待旅行：層雲峡（福山小学校学事報告） *吉野・福山・登小学校3校合同で層雲峡へ（登小学校学事報告）
	10月1日	常呂町青年会議結成記念社交ダンスパーティ：公民館（広報ところ）
	10月20日	（老人クラブ連合会）常呂町老人クラブ連合会10周年記念式典（於常呂町中央公民館）（常呂町老連40年誌）
	10.20～22日	（老人クラブ連合会）常呂町老人クラブ連合会10周年記念祝賀会（於、弟子屈町川湯温泉泉陽閣、169名参加）（常呂町老連40年誌）
	10月25日	（登小）PTA総会 学校存続について（吉野・登小閉校記念誌）
	10月	常呂町農協ハッカ蒸留合理化工場の閉鎖：日吉（農協50年史）*薄荷
	10月	岐阜橋（ライトコロ川：岐阜国道238号5号橋近く）竣工
	10月	鑑沸橋（ライトコロ川：鑑沸から岐阜へ9線）竣工
	11月1日	かもめ保育所増改築（8.4着工）
	11月2日	常呂小学校開校80周年記念式典・学芸会（常呂小学校学事報告）
	11月3日	倉持茂次氏「勲六等瑞宝章」受賞。
	11月3日	渡部甚三郎氏「勲五等単光旭日章」受賞（昭和56年に正六位に叙せられる）
	11月29日	（登小）学校存廃について教育委員会に陳情（吉野・登小閉校記念誌）
	12月25日	（日吉小）日吉・吉野・登小学校統合打ち合わせ（日吉小80年史）
	12月30～21	（常青協）冬季青年の集い（かき島青年の家）（常青協25周年記念誌）
昭和50年		優良町村として全国町村会表彰を受ける。 常呂霊園整備（昭49・50の2ヶ年） 町営はまなす団地造成：宅地37区画（現北進町）（広報ところ） 栄町団地（現北進町）1種8戸、2種6戸建設（広報ところ） 巖地神社の秋季祭典月日を宵宮祭8月31日、本祭9月1日に改める *豊川神社（豊川開基百年誌） サロマ湖養殖許容量調査実施。（常呂漁協40年誌） 常呂川上流鹿の子ダム建設に同意。（常呂漁協40年誌）

			ほたて稚貝164,500千粒放流(常呂漁協40年誌) 共栄農事実行組合解散(岐阜百年記念史) この年は春からの異常気象で、秋まで雨の多い年(共立百年史)
昭和51年	1976	1月20日	常呂町養豚団地協議会獣魂祭・新年会(岐阜公民館) 以後継続 (常呂町養豚団地協議会10年の跳)
		2月11日	(日吉小)カルタ大会開催(P.T.A主催)(日吉小80年史)
		2月24日	(日吉小)吹雪の為臨時休校(日吉小80年史)
		3月10日	ファミリースポーツセンター完成。 (50.7.22着工、5.29オープン)
		3月11日	(日吉小)吉野、登小より備品搬入(日吉小80年史)
		3月22日	(登小)第23回卒業式、閉校式。23年4ヶ月で登小の歴史に に終止符を打つ(吉野・登小閉校記念誌)
		3月23日	吉野小学校:卒業式・修了式・閉校式(吉野小学校学事報告)
		3月24日	福山小学校開校50周年記念式典(福山小学校学事報告)
		3月26日	昭和50年度第6回社会教育委員の会議で、会費制結婚式の人数・会費改正決定 *人数:180人から200人以内へ *会費:1,800円から2,200円以内へ *昭和51年4月から適用
		3月27日	(常青協)常呂町青年団体協議会25周年記念式典(常呂町中央公民館にて) *歴代会長、感謝状贈呈・祝賀パーティー *会旗の作成(広報ところ)
		3月27日	常青協25周年記念誌「若人」第37号発行(常呂町青年団体協議会)
		3月	吉野・登小閉校に当って「思いで」発行(常呂町教育委員会)
		4月1日	小学校三・四年社会科副読本「ところ」(常呂町教育委員会)発行 (年表・鳥瞰図付き)
		4月1日	(川沿小)4学級編成単式2、複式2学級となる。(川沿小百年史)
		4月1日	(日吉小)吉野、登小と統合、通学区変更に伴い3年生2名、4年生2名 編入(日吉小80年史)
		4月1日	教育委員会が、社会教育計画・社会教育事業報告を掲載した冊子 「ところの社会教育」発行(平成16年度まで毎年発行)
		4月	網走バスが、網走とサロマ湖を結ぶ網走ー常呂ー栄浦に路線バスを運行する ため、新たに常呂駅前ー栄浦間の運行認可申請を道陸運局に申請 *5月15日ー10月15日の観光シーズン中、常呂ー栄浦間を130円で 運行予定(北海道新聞4/9)
		5月4日	NHKが福山小学校の給食風景を取材(福山小学校学事報告)
		5月22日	組合員と農協密着化推進策として職員による地区担当制決る(農協50年史)
		5月23日	第1回春季300歳ソフトボール大会開催:町民センターグラウンド (10チーム参加、栄町優勝)(広報ところ)
		5月25日	(日吉小)校舎改築工事着工(日吉小80年史)
		5月29日	ファミリースポーツセンター開館。 (昭和50年7月22日着工、3月10日完成)
		6月20日	常呂小学校の運動会にモントリオールオリンピック・マラソン代表選手が 飛び入り参加(宇佐見・水上・宗兄弟・君原コーチ)(広報ところ)
		6月27日	第16回町民運動会(18町内の内、17チーム)から常呂町主催に 協議会主催 競技13種目 共立優勝、2位末広、3位大通西、4位開進町、 5位本通り・岐阜 7位大島・東浜 玉入れ:本通り 地区対抗リレー: 女/共立 男/開進町 綱引き:岐阜 *バトンガール、鼓笛隊に続いて 選手入場、仮装のチームもあり *青年が自主運営) 広報ところ *参加チーム:豊浜・弁天・朝日・本通・大通・大通西・新町・末広・栄町 ・開進町・土佐・岐阜・栄浦・共立・豊川・富丘・大島東浜 共立区が初めて町民運動会に参加し優勝する(共立百年史)

		富丘が初参加、区民全員で出場することになり、区に体育部長を置く (富丘百年史)
	7月26日	商工会婦人部創立総会：常呂町商工会館
	7月	土佐に「獣魂供養之碑」(吉田治作・小林秀康)を建立。 (同一場所に長谷川光男建立の「獣魂供養之碑」(年代不明)あり)
	8月	北海道食糧検査所豊川駐在所廃止。
	9月1日	貯金業務機械化のため会計機導入、通帳も手書から銀行と同じタイプ印字 となる(農協50年史)
	9月30日	常呂中学校吹奏楽部第1回定期演奏会：公民館(町民センターだよりチラシ)
	9月	食用馬鈴薯用スチールコンテナ500基取得(農協50年史)
	9月	社会教育広報・情報紙「町民センターだより」発行(新聞折り込み方式)
	9月	消防常呂分署に水槽付消防ポンプ自動車配置(常呂消防団100年記念誌)
	10月1日	常呂町開基90周年記念・道東朝日新聞創刊25周年記念「常呂町大観」発行
	10月10日	第1回町民マラソン大会開催(町民センターだより)
	10月10日	第1回秋季300歳ソフトボール大会開催：町民センターグラウンド (選手20人以内、15歳以上、女性2人以上、常に300歳以上) (広報ところ)
	10月12日	(日吉小)新校舎へ移転(日吉小80年史)
	10月12日	(常呂高校)富永前校長以下教職員の発案により校訓が「流汗克己」 (りゅうかん・こっき)と制定される(常呂高校40年史)
	10月15日	常呂町開基90周年記念・道東朝日新聞創刊25周年記念『常呂町大観』発行 (道東朝日新聞社)
	10月29日	僻地錦水保育所新園舎完成(7.28着工) 錦水小学校樹木園の一部敷地の貸与を受け、園舎を新築移転(11月12日) (錦水保育所開所30周年記念誌)
	10月	教育委員会の社会教育情報紙「町民センターだより」(B4サイズ)が 毎月発行(新聞折込)
	11月1日	(常呂高校)常呂町前町長の故上杉武雄氏書による校訓石碑が寄贈される。 (常呂高校40年史)
	11月5日	常呂高等学校、校訓「流汗克己」石碑除幕式挙行(常呂高校40年史)
	11月15日	(日吉小)剣道教室開催(日吉小80年史)
	10月29日	常呂漁協、51年度北海道産業貢献賞を受賞(漁協40年誌)
	11月30日	鑑沸養殖作業基地完成(9.1着工)
	12月11日	日吉小学校校舎改築、落成式。愛の鐘吹鳴式(日吉小80年史)
	12月	常呂中学校グラウンド完成(4月26日着工)(常呂町百年史)
昭和51年		町民憲章推進委員会発足(決算説明書) 常呂町農協の外販車「ひまわり号」販売廃止(農協50年史) 常呂町老人クラブ連合会に交通部を設置し、地区別指導員を配置 (老人クラブ50周年記念誌) STV北見放送局開局(NHK北見の放送五十年) この年からホタテ資源確保のため四輪採制を実施。 浜佐呂間地区に保管作業施設建設。(常呂漁協40年誌) はたて稚貝放流165,695千粒(常呂漁協40年誌) ビール麦耕作始まる(共立百年史) 第2次構造改善事業始まる(富丘百年史) 芋鉄コン出荷始まる(富丘百年史) 青年団活動終わる(富丘百年史)
昭和52年	1977	1月17日 広域簡易水道(吉野浄水場)通水式(4月から給水)(広報ところ) 2月3日 (日吉小)吹雪のため臨時休校(日吉小80年史)

2月11日	第1回雪んこ祭開催(～13日まで、以後毎年継続) (広報ところ)
2月11日	常呂町に入植した農業人・後継者が「北海道移住団体50年を語る会」開催(サロマ湖観光ホテル) (広報ところ)
3月21日	NHK企画の第1回芸能の祭典に金谷栄二郎さん他7人が出演、NHK総合テレビで放映(NHKホール)カラフトアイヌの災厄を知らせ、家の幸せを守る神であるカラスへの祈りの儀式の踊り、トンコリ・ムックリ・太鼓演奏(常呂町文連機関紙「にいばり」第13号)
3月25日	「岐阜第三遺跡」(東京大学文学部)発行
3月27日	常呂町柔道協会が武道館オープン記念柔道大会開催(広報ところ)
4月1日	(常呂小)12学級編成認可(常呂小百年史)
4月1日	(川沿小)児童数59名、養護教諭配置となる(川沿小百年史)
4月1日	常呂町文化連盟機関紙創立15周年「にいばり サークル紹介」発行
4月26日	富丘第2コンバイン組合設立。組合員13名(富丘百年史)
5月29日	常呂中学校グラウンド整備。
5月	町技ソフトボール大会開催。(以後毎年開催)
6月5日	常呂町長選挙、上杉武雄町長無競争で5選。
6月26日	第17回町民運動会開催(町民センター)主催は常呂町と町民憲章推進委員会 20町内の内、18チーム参加 運営:青年会議 審判:体育協会 マラソン中継:アマチュア無線クラブ 日吉・福山初参加 小中校バトンガール、鼓笛隊、ブラスバンドに続き選手入場、仮装応援団も 岐阜優勝、2位共立'3位開進町、4位豊川、5位土佐、6位末広 玉入れ:岐阜 地区対抗リレー 女/共立 男/開進町 綱引き:岐阜 (広報ところ)
6月	常呂バイパス工事着工。
6月	常呂-栄浦間の町営バスに新鋭ワンマンバス運行開始(760万円、定員71人) (広報ところ)
7月1日	第1回施設めぐり開催(以後毎年開催)
7月9日	常呂漁港沖で漁船転覆、1名行方不明(北海道新聞)
8月13日	公営住宅(日吉)新築工事請負契約、2種8戸(広報ところ)
8月21日	常呂ライオンズクラブ10周年記念式典:常呂中学校・スポーツセンター (消防常呂分署指令車寄贈・常呂中優勝カップ陳列ケース寄贈) (常呂ライオンズ認証40周年記念誌 広報ところ) 「常呂ライオンズクラブ10周年記念誌〈道〉」発行
8月	栄町団地(現北進町)1種4戸、2種6戸建設(広報ところ)
9月1日	(日吉小)交通公園造成完成(日吉小80年史)
9月12日	秋祭りに踊り山車(だし)復活。
10月5日	バルク事業完成総工事費5,982万円(農協50年史)
10月15日	(日吉小)交通公園にて交通安全教室実施(日吉小80年史)
10月	常呂ライオンズクラブから指令車の寄贈を受け、常呂分署に配置 (常呂消防団100年記念誌)
11月1日	中央児童公園にNHK、民間放送局、常呂町が共同で常呂ミニサテライト局 開局。弁天・朝日・豊浜地区の難視聴解消(広報ところ)
11月3日	飛弾義男氏「勲六等瑞宝章」受賞。
11月4日	豊川巖地神社南側に川沿保育所園舎新築移転・保育開始(豊川区開基百年誌)
11月19日	僻地川沿保育所新築落成記念式典・祝賀会 (8.13地鎮祭・着工、10.24竣工)(豊川区開基百年誌)
11月	常呂漁協の漁船機関修理工場新築、完成(常呂漁協40年誌)
11月	外海ほたて操業モデル操業船第1号として、愛知県蒲郡市ヤマハ工場で 9月30日起工・建造中の第21ところ丸竣工進水式(常呂漁協40年誌)
12月11日	(日吉小)校舎水道工事、スケートリンク水道工事完了(日吉小80年史)

		12月20日	(青年の家) 常呂町立かき島青年の家増築改修施工 (食堂棟増改築、旧食堂を講堂に改築) (かき島青年の家道立移管記念誌)
		12月	常呂町農業協同組合が土佐地区に玉葱選別工場建設。 常呂町農業協同組合麦乾燥工場増築。 常呂町農協婦人部文集「さざなみ」がラジオで紹介される (常呂農協女性部50周年記念誌)
昭和52年			常呂高校で新聞局企画の全校学級新聞コンクールを初開催 (クラス紹介) 生徒会会長・新聞局局長・教師刑人で審査、12/24終業式で発表 最優秀: 3B「ことばの花束」 優秀: 2B「われらの宇宙戦艦ヤマト」 (常呂高校年誌「オコック」)
			小笠原組合長再選 (常呂漁協40年誌)
			サロマ湖養殖許容量調査結果、現地説明会。(常呂漁協40年誌)
			外海ほたて稚貝放流170,000千粒 (常呂漁協40年誌)
			ローリーによる集乳 (31戸) が開始 (農協50年史)
			農協事務所の新築検討 (農協50年史)
			麦の耕作が始まる (共立百年史)
			加工用馬鈴薯の耕作始まる (共立百年史)
			第2次構造改善事業2年目 (富丘百年史)
昭和53年	1978	1月12日	臨時町議会で町立幼稚園の設立を決定 (常呂町百年史)
		1月15日	常呂町青年会議所創立3周年を記念して第1回青年祭開催 (公民館) (広報ところ)
		1月23日	(日吉小) 吹雪の為臨時休校 (日吉小80年史)
		2月12日	富丘老人クラブ創立10周年記念祝賀会と敬老会開催 (富丘百年史)
		2月	わさび乾燥工場閉鎖 [農協30年の歩み]
		3月1日	福山小学校校章制定・福山小学校校歌制定 (福山小学校60周年記念誌)
		3月14日	(日吉小) 流感のため3日間臨時休校 (日吉小80年史)
		3月26日	(常呂小) 管内教育実践表彰される。(常呂小百年史)
		3月31日	私立常呂幼稚園閉園 (本町唯一の幼稚園として250余人の卒園生) (常楽寺開教百年史)
		4月1日	地籍調査事業開始。
		4月1日	共立老人クラブの前身、共立老人親睦会発足、昭和59年に共立老人クラブに改称、老人クラブ連合会に加盟 (共立百年史)
		4月10日	(常呂幼稚園) 旧私立幼稚園舎を借り上げ、開園式を挙げる。認可学級3学級。実学級2学級で発足。(平成14年常呂幼稚園経営)
		4月14日	第30回通常総会 (農協50年史) 常呂町農業協同組合創立30周年記念式典 [農協30年の歩み] 記念誌 (30年のあゆみ) 発行
		5月30日	常呂婦人会創立三十周年記念式典 (中央公民館)
		5月	村崎恭子 (東京外語大助教授) が第5回金田一京助博士賞受賞 (広報ところ) (樺太アイヌ語話者藤山ハル: 樺太アイヌ語研究)
		6月20日	(日吉小) 旧校舎取り壊し開始 (日吉小80年史)
		6月24日	(日吉小) テレビ共同聴取引込線工事完了 (日吉小80年史)
		6月25日	第18回町民運動会 (17チーム) 開催 (町民センター) 約3500人参加 開会式で、子ども・青年・女性・高齢者代表が町民憲章朗読 競技種目: 13種目 昼休みにかき島太鼓が特別出演 岐阜優勝、2位共立 3位豊川、4位日吉、5位土佐、6位福山 町内対抗リレー女/豊川 男/豊川 綱引き: 岐阜 早く一升にして: 大通 ・日吉・共立 玉入れ: 岐阜・日吉・福山・新町 常呂ばんば: 日吉・土佐 ・末広 ムカデ競争: 岐阜・栄浦・富丘・福山 障害物リレー: 土佐・富丘

	・福山 スモーキングブギ：共立・福山・豊川（広報ところ）
7月9日	旧消防の見やぐら（本通り）撤去（広報ところ）
7月10日	栄浦観光案内所完成（5.27着工）
7月11日	集中豪雨と降ひょうにより豊川以北の各地に多大の被害を受ける。 被害額32,500万円（農協50年史）
7月24日	常呂町立かき島青年の家開設10年で研修生10万人突破（広報ところ）
7月27日	共同給油所開設15周年記念式典挙行。（常呂漁協40年誌）
7月31日	日吉郵便局、自動改式電話交換事務廃止 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
7月	港ヶ丘団地造成完了。
8月3日	町立常呂幼稚園園舎新築着工（幼稚園要覧）
8月12日	弓道の的場（あづち）完成・あづち開き開催（町民センター）（広報ところ）
8月14日	老人クラブ連合会と身障者常呂分会との合同運動会開催 （老人クラブ50周年記念誌）
8月31日	スラリーローリーによりポテトジュース、畑地散布開始（農協50年史）
9月6日	自動開改式電話交換廃止（オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
9月11日	（錦水小）グラウンド拡張工事完成（錦水小50年史）
9月14日	福山で「福山地区上水道敷設記念」の木柱建立（旧福山公民館横）
9月14-15日	第6回北海道青年大会（滝川市）で、常呂町青年団体連絡協議会合唱サークル クレッシェンドが合唱の部で最優秀賞、全国大会へ：常青協（広報ところ）
9月15日	カルビーKKにより常呂馬鈴薯貯蔵倉庫新築される（農協50年史）
9月16日	豊川郵便局、電話の自動ダイヤル化により電話交換業務廃止（広報ところ）
9月	朝日団地造成完了
9月	養豚団地育成事業完了
10月15日	東京近郊在住の常呂町出身者の集いの会開催：東京都、東京常呂会を結成 （広報ところ）
10月27日	（常呂高校）創立30周年記念協賛会が設立される（常呂高校40年史）
11月1日	常呂幼稚園の園章制定（幼稚園要覧）
11月3日	小林千代松氏「勲六等単光旭日章」受賞
11月10日	（常青協）歌声サークル「クレッシェンド」全国青年大会で努力章受賞
12月3日	第1回まちを語る集い開催。（以後毎年開催）
12月6日	昭和48年着工、5年を経てサロマ湖第2湖口完成通水、テープカット 通水記念式を中央公民館で開催（常呂漁協40年誌） *オホーツク海との通水は、12月6日爆破予定だったが、前日來の大時化 で湖口海岸が破壊、夜半に自然通水のハプニング（同書）
12月10日	常呂幼稚園園舎完成（常呂町字557番地 延面積508㎡）（幼稚園要覧）
12月11日	（日吉小）プール工事開始（日吉小80年史）
12月23日	豊川郵便局、常呂町字豊川61番地の2に新築移転 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
12月25日	栄浦第2キャンプ場炊事場完成（10.27着工）（常呂町百年史）
12月27日	町立常呂幼稚園、新園舎に移転（幼稚園要覧）
昭和53年	永年勤続漁業労務者表彰。（常呂漁協40年誌） 天龍寺：庫裡・位牌堂の改築、無縁塔の建立 （天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり） ほたて稚貝放流163,000千粒（常呂漁協40年誌） 阿部参事北海道産業貢献賞受賞。（常呂漁協40年誌） 外海ほたて専業船建造12隻。（常呂漁協40年誌） 玉葱振興会設立10周年記念式典：中央公民館（写真）*タマネギ・玉ネギ 秋小麦耕作が始まる（共立百年史） 体育部が設立され、初代部長に佐藤国昭氏になる（共立百年史）

			常呂高校で全校学級新聞コンクールを初めて開催：最優秀3B 優秀2B (オコック)
昭和54年	1979	1月15日	常呂青年会議主催の第2回青年祭開催(公民館)(広報ところ)
		1月22日	町立常呂幼稚園、新園舎で保育・指導開始・3学級編成(幼稚園要覧)
		1月25日	錦水尋常小学校第1回から3回、鑑沸小学校、岐阜小学校の卒業生の 合同クラス会(サロマ湖観光ホテル)(広報ところ)
		2月3日	第1回かき島氷上フェスティバル[広報ところ] (後に竜宮ルネッサンスinサロマ湖)
		2月7日	(日吉小)吹雪の為臨時休校(日吉小80年史)
		2月14日	常呂町農村青少年連絡協議会(通称4Hクラブ)創立10周年記念式典 *中央公民館(常呂町4Hクラブ創立40周年記念誌)
		2月24日	甜菜振興会20周年祝賀会(広報ところ)*甜菜対策協議会
		3月8日	町立常呂幼稚園園舎落成式(幼稚園要覧)
		3月17日	常呂町斎場、火入式。4/1から使用開始[広報ところ]
		3月20日	北海道教育大学旭川分校国語学ゼミナール編集「ことのは18号 常呂町 言語調査報告」発行
		3月27日	常呂町婦人団体連絡協議会20周年祝賀会(中央公民館)[広報ところ] 「常婦協二十周年記念誌」発行 「常婦協の歌」作成 作曲：酒井雅司(常呂高校教諭) 作詞：加藤梅子(常婦協会員)
		3月27日	オホーツク大学第1回卒業式(長寿庵)(広報ところ) *卒業生36人(第1回卒業式関連書類)
		4月	樺太アイヌ語の研究者：村崎恭子氏が常呂町文化連盟機関紙「新墾」に 「藤山ハルさんのこと」を寄稿(藤山はるさんとの出会い、樺太アイヌ語 の優れた話者として紹介、藤山ハルさんの民族衣装姿写真付き)
		4月1日	(常呂小)13学級編成認可(常呂小百年史)
		4月1日	(青年の家)かき島青年の家開所10周年記念誌発行 (かき島青年の家道立移管記念誌)
		4月10日	『常呂町農業協同組合創立30年の歩み』発刊
		4月22日	常呂町議会議員選挙(20名選出)
		4月28日	ほたて操業専業船として新造ホタテ作業船13隻(内1隻試験船)就航式 豊浜公民館で祝賀会、4輪採制第1年目(常呂漁協40年誌)
		5月	常呂漁協が高齢元組合員を4泊5日の松前町桜見物招待(常呂漁協40年誌)
		6月1日	(日吉小)プール建設工事完了(日吉小80年史)
		6月4日	町民ピクニック(サロマ湖畔栄浦、漁協から今年も浜焼き用のホタテ3千枚 が無料配布)(ところ広報) 町民ピクニックは、この年から常呂町民憲章推進協議会主催事業になる (常呂町民憲章推進協議会20年のあゆみ)
		6月5日	常呂小学校校舎全面改築工事に着手(広報ところ)
		6月6日	(日吉小)初めてのプール開き(日吉小80年史)
		6月14日	岐阜神社：社殿・鳥居・狛犬・灯籠新築落成記念式典[広報ところ]
		6月24日	第19回町民運動会(町民センター)(広報ところ) 岐阜優勝、2位日吉・共立、4位土佐、5位福山、6位富丘 特別賞：大東 玉入れ：岐阜 町内対抗リレー 女/共立 男/日吉 綱引き：開進町 *参加チーム18：岐阜・日吉・共立・土佐・福山・富丘・豊川・開進町 末広・栄浦・本通・豊浜・栄町・弁天・大通・新町・大通西・大東 *(日吉小)町民運動会に全校児童が鼓笛隊で参加(日吉小80年史)
		7月15日	旧吉野小学校で「吉野会」開催(広報ところ)
		7月23日	常呂小学校校舎改築工事のため、3・5・6年生が町民センターへ引っ越し

	*以後、校舎完成まで分散授業（常呂小PTAだより）
7月31日	麦類乾燥調整施設・麦類集出荷貯蔵施設落成式。 （総工費2億6,000万円）（農協50年史）
7月	金谷栄二郎・フサ夫妻、娘ら6人でトンコリのレコード発売。 （網走市の北方少数民族資料館ジャッカ・ドフニで4月に6曲録音。 トー・キト・ランラン（白鳥が湖に来るようす）、トウス・ヘチリ（神様を 呼び出すお祈り他）北海道新聞）
8月3日	神社・鳥居移設・畑作共済制度スタート（富丘百年史）
8月12日	（日吉小）町内子供会ソフトボール大会準優勝（日吉小80年史）
8月18日	「ところふるさとまつり協議会」設立
8月	そうか病多発、食用馬鈴薯に大きな被害を受ける（農協50年史）
9月1日	サロマ湖第2湖口通水記念「町営バス記念乗車券」発売（ホタテ貝のデザイン 半券にサロマ湖の夕日・第2湖口の航空写真・町営バス写真をレイアウト、 3枚の切符で400円、5000枚の限定販売（北海道新聞 8/16）
9月5～7日	（老人クラブ連合会）敬老列車（国鉄主催、支笏湖・登別温泉 132名参加）（常呂町老連40年誌）
9月11日	常呂神社創立50周年：常呂神社社殿で挙行（小原友徳「私の歩んだ回顧録」）
9月11日	第1回ところふるさと祭り開催（13日まで、以後毎年開催）
9月12日	常呂神社創立50周年記念、ホタテ新造船のお披露目、海上作業の安全・ 豊漁祈願として常呂漁協がみこしの海上渡御実施（広報ところ）
9月15日	（のぞみの園）第1回野外パーティを実施（のぞみの園開園20周年記念誌）
9月20日	地域集団電話が一般電話に切り替わる（農協50年史）
9月25日	商工会館増築完工（7.10着工）
9月	消防第1分団に消防ポンプ自動車配置（常呂消防団100年記念誌）
10月9日	（日吉小）全校マラソン大会、野外炊事会（日吉小80年史）
10月17日	国営直轄明渠排水機場完成、落成式（広報ところ）
10月19日	（常呂小）学研教育賞授賞式（常呂小百年史）
10月20日	台風20号襲来、農作物・建物・漁業等に大被害。 （のぞみの園）北側ロビー屋根トタン吹き飛ばす（最大瞬間風速35m） （のぞみの園開園20周年記念誌） 全壊非住宅10棟、半壊6棟、一部損壊181棟、農業被害3854万円、 漁業被害2億4550万円、林業被害2436万円、土木被害120万円 公共施設（のぞみの園）789万円（新北見市史） 福山小学校プール天蓋ビニール完全破損（福山小学校学事報告）
10月22日	釧路地方法務局常呂出張所廃止
10月24日	日吉会館建設（9.26着工）
10月28日	道立常呂高等学校創立30周年記念式典（常呂高校40年史）*常呂高校 常呂高校年誌「オコック」創立30周年記念特集号発行（生徒会新聞局）
10月	常呂漁協直営ほたて貝柱加工施設建設着工（常呂漁協40年誌）
10月	常呂バイパスの常呂大橋完成（渡橋式は昭和58年8月2日バイパス開通時）
10月	金谷フサ氏エイボン女性年度賞（伝統芸術賞）受賞。 樺太アイヌ民族楽器トンコリ演奏者：東京の授賞式では、夫の金谷栄二郎 氏とトンコリ演奏（トー・キト・ランラン）
11月9-10日	（常青協）歌声サークル「クレッシェンド」全国青年大会2年連続出場 課題曲「秋を呼ぶ歌」、自由曲「月光とピエロから秋のピエロ」 （全国青年大会プログラム）
11月20日	（青年の家）かき島青年の家災害復旧工事（管理棟・研修棟屋根張り替え） （かき島青年の家道立移管記念誌）
11月25日	土壌改良材調整施設（貝殻工場）完成。貝殻石灰生産始まる （5.24着工、12.8試験操業）

	12月8日	ホタテ貝殻処理のため常呂町・常呂町農協・常呂漁協が共同出資し、常呂町産業振興公社を設立、処理工場建設。土壌改良材調整施設(貝ガラ工場)の竣工完成式、試験操業開始(6月着工)(広報とこ 常呂漁協40年誌)
	12月20日	川沿保育所開設20周年記念式典 「川沿保育所開設20周年記念誌」発行(校正原稿所蔵) *記念植樹(10月13日 桜15本 エゾムラサキツツジ100本)
	12月24日	日吉会館開館(9月26日着工、10月24日建設)
	12月	日本自動車工業会から緊急自動車の寄贈を受け、常呂分署に配置
昭和54年		サロマ湖養殖許容量総量決定する(常呂漁協40年誌) 常呂救難所10周年記念式典挙行(常呂漁協40年誌) 外海ほたて稚貝放流203,000千粒(常呂漁協40年誌) 常呂農協婦人部文集「さざなみ」第10号発刊。テレビ・新聞で報道 (常呂農協女性部50周年記念誌) 岐阜の馬頭観世音菩薩碑に覆いをかけて再建 (ところ文庫10常呂町歴史散歩) 共立第1、第2集団にコンバイン組合が設立、4輪駆動のトラクターが導入される(共立百年史) ゴボウ耕作始まる(共立百年史) 第1・2コンバイン組合にMF520導入(富丘百年史)
昭和55年	1980	1月20日 道立常呂高等学校、新体育館落成 1月27日 (日吉小)日吉会館落成祝賀会アトラクションに器楽クラブ出場 1月27-28日 池田町カーリング講習会に参加(3人)(常呂カーリング協会30年のあゆみ) 2月6日 玉ねぎ価格暴落、廃棄処分行われる(7日まで) 2月8日 カーリングリンク設置(町民センター)(常呂カーリング協会30年のあゆみ) 2月9-14日 カーリング伝達講習会(町民センター主催) (常呂カーリング協会30年のあゆみ) 2月15日 常呂カーリング協会設立(初年度会員登録48人) (常呂カーリング協会30年のあゆみ) 2月16日 全道カーリング池田大会参加(6人)(常呂カーリング協会30年のあゆみ) 2月19-22日 カーリング協会主催町内カーリング初心者講習会 (社会教育事業報告・カーリング初心者講習会チラシ) 2月25-27日 カーリング協会設立記念大会(12チーム参加) (常呂カーリング協会30年のあゆみ) 3月1日 常呂町剣道連盟有段者の総段数百段記念大会(常呂中体育館)「広報とこ」 3月10日 暴風雪により住宅一部損壊2棟、避難者収容4戸10人、農業施設被害292万円(新北見市史) 3月11日 (日吉小)吹雪のため2日間臨時休校(日吉小80年史) 3月13日 第8回臨時総会(農協50年史) (1)農協事務所建設 (2)出資増口計画を決定 3月20日 「常呂婦人会三十年のあゆみ」発行 3月24日 北海道食糧検査事務所常呂出張所廃止 3月25日 「ライトコロ河口遺跡」(東京大学文学部)発行 3月 常呂町剣道連盟「15年のあゆみ」発行 3月 常呂漁業協同組合直営ホタテ貝柱加工施設が完成(昭和54年10月着工) *施設操業は6月15日のホタテ専用船の本格操業から(広報とこ) *『常呂漁協40年誌』本文では、汚水処理施設を含め、5月末竣工 4月1日 ソーラーシステム町営浴場(公衆浴場寿湯)供用開始(昭和54年9月着工) *本通り:旧消防本部跡(広報とこ) 4月1-3日 昭和54年10月に台風で倒れた日吉神社の鳥居を、日吉地区住民が営林署

	から払い下げのオンコの木で改修（広報ところ）
4月	「過疎地域振興計画」策定、公営住宅は昭和28年度から建設、現在7地区（土佐、開進町、栄町、弁天東浜、栄浦、日吉）221戸（内、道営8戸）昭和30年以前の住宅は建て替えの方針（広報ところ）
5月25日	常呂漁業協同組合創立30周年記念式典、ほたて貝柱処理加工施設・汚水処理施設落成式：ほたて処理工場、記念式典・祝賀会：町民センター ほたて貝柱加工処理能力：1日20トン、同工場からの排水は冷凍工場隣接の汚水処理施設で浄化（常呂漁協40年誌） 「常呂漁業共同組合創立30周年記念誌」発刊
6月1日	常呂町空手道協会発足（「空手道 常呂町空手道協会11年の歩み」）
6月2日	国鉄旭川管理局長から常呂町に「常呂駅の旅客・荷物の取り扱いを民間委託、貨物取扱の廃止」の営業近代化実施計画の通告（通知文書）
6月6日	（常呂小）子供貯金郵政大臣表彰（常呂小百年史）
6月25日	町内品評会、相馬神社落成式（常呂町酪農振興会30年記念史）
6月29日	第20回町民運動会（町民センター）小雨もよう・18チーム 岐阜優勝 2位栄浦 3位日吉 4位土佐、5位福山、6位豊川 スモーキングブキ：日吉・土佐・福山 夫婦対抗リレー：豊川・栄浦・本通 常呂川渡し：栄浦・岐阜・富丘・日吉 障害物リレー：福山・大東・土佐 玉入れ：岐阜 町内対抗リレー：女／豊川 男／開進町 綱引き：岐阜 *参加チーム：末広・栄町・開進町・福山・日吉登・大東・豊浜・弁天・本通・大通・大通西・新町・土佐・岐阜・栄浦・共立・豊川・富丘 （広報ところ）
6月	燐を含む合成洗剤を使わない運動が起こる
7月7日	（錦水小）岐阜地区青少年プール完成（錦水小50年史）
7月18日	国鉄湧網線合理化に対して湧網線合理化反対期成会を組織、7月26日国鉄に合理化案撤回申し入れ、昭和55年10月1日からの実施を当分の間保留の確約取り付ける（広報ところ）
7月20日	第1回オホーツク龍宮街道マラソン大会実施（参加者75人） *5km、10km、20km
7月27日	農協女子ソフトボールチーム北見地区大会で優勝し全道大会へ出場 （農協50年史）
8月2日	岐阜老人クラブ創立15周年祝賀会、80歳以上に記念品贈呈 （岐阜老人クラブ50周年誌）
8月	（常呂高校）体育館改築工事着工（常呂高校40年史）
8月	湖岸橋（栄浦漁港）完成
9月1-2日	常呂小学校新校舎へ移転作業：PTA労力奉仕（常呂小学校学事報告）
9月3日	常呂小学校新校舎で授業開始（常呂小学校学事報告）
9月5日	オホーツク大学・老人クラブ連合会・身障者福祉協会合同の第1回運動会開催（スポーツセンター）（広報ところ）
9月6～10日	（老人クラブ連合会）敬老列車（国鉄主催、常磐ハワイ・磐梯松島113名参加）（常呂町老連40年誌）
9月11-13日	第1回ところふるさと祭り開催（広報ところ） *町民いこいの日をやめ、新たに「ところふるさとまつり」に衣替え
10月	「甜菜紙筒発祥の地」の石碑建立。 常呂町農業協同組合前に、常呂町・常呂町農業協同組合・日本甜菜KKの3者で建立（ところ文庫10常呂町歴史散歩）
11月3日	上杉武雄町長「勲四等旭日小綬章」の荣誉に輝く。
11月5日	常呂小学校新校舎完成・給食センター完成（常呂小百年史 広報ところ）
11月5日	常呂町農業協同組合事務所完成。仮事務所より移転する （総工費2億7,800万円）（農協50年史）

		11月10日	常呂霊園に聖観音像を建立し（建立者：榎本誠・榎本國夫妻）開眼式 （常呂町の開発に献身した先住民を慰霊）（広報ところ）
		11月13日	農業同報無線局開局放送開始
		11月15日	常呂母子会創立25周年記念式典・祝賀会（中央公民館） 常呂町母子会25周年記念「白百合」発行
		11月18日	常呂町農協同報無線放送開始（朝・昼・夜3回定時放送）（農協50年史）
		11月19日	常呂町農協事務所新築落成記念式典が盛大に開かれる：スポーツセンター （鉄骨一部鉄筋コンクリート3階建。延べ床面積1517.7㎡） 併せて同報無線施設の完成祝賀会（農協50年史）
		11月24日	富丘小学校開校30周年記念式典 富丘小学校開校30周年記念誌「しらかば」発行 富丘小学校開校30周年記念事業として校門整備 （富丘小学校開校30周年記念協賛会）
		11月26日	常呂小学校のランチルーム利用開始（常呂小学校学事報告）
		11月	常呂小学校校舎全面改築、給食センター改築工事完成
		11月	金谷栄二郎・金谷フサ夫妻、常呂町教育文化貢献賞受賞
		11月	八号橋（常呂地区第1幹線排水路：基線8号西側）竣工
		11月	五号橋（常呂地区第1幹線排水路：基線5号東側）竣工
		12月6日	常呂漁協浜佐呂間研修所（支所職員住宅併設）を旧事務所跡に建設・完成 （常呂漁協40年誌）
		12月15日	カーリングストーン2セット購入（常呂町・カーリング協会各1セット） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		12月27日	日本国有鉄道経営再建促進特別措置法（国鉄再建法）成立
		12月	（常呂高校）体育館改築工事完成（常呂高校40年史）
昭和55年			小笠原組合長再選。（常呂漁協40年誌） オホーツク海北部：枝幸以西海域でほたて貝毒発生（常呂漁協40年誌） 外海ほたて稚貝放流160,000千粒（常呂漁協40年誌） 共立会館、夏に増築落成（共立百年史）
昭和56年	1981	1月22日	第1回臨時常呂町議会において上杉町政20年にピリオド、次期町長選挙 不出馬表明（7.1退任）
		1月25-29日	道主催のカーリング講習会（講師／ウォーリー・ウースリアック氏） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月7日	（常呂小）学校テレビ放送開始（常呂小百年史）
		2月8日	第1回親子カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月10日	富丘小学校カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月11日	第1回町民カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ） *11チーム参加 1位チェイサーズ 2位福山 3位商工会
		2月18.20日	日吉地区カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月25-26日	第1回NHK杯カーリング大会開催（以後毎年開催）（町民センターだより）
		2月18日	（日吉小）NHK北見放送局からテレビ取材に来校（日吉小80年史）
		3月18日	常呂幼稚園「ところようちえんじのうた」制定 阿部美智子・戸田法子：作詞・作曲（幼稚園要覧）
		3月23日	昭和46年発足の民謡同好会創立10周年記念発表会（公民館）（広報ところ）
		3月	「地域社会の構造変化と地域教育計画に関する基礎的研究～常呂町における 事例分析」発行（北海道大学教育学部社会教育研究室）
		4月1日	（常呂小）道徳教育協同推進校として文部省指定（3年間） （常呂小百年史）
		4月1日	小学校三・四年社会科副読本「ところ」（常呂町教育委員会）発行 （年表・鳥瞰図付き）

4月1日	市街地区の町内区再編成スタート（12から11に）（広報ところ） （東浜・豊浜・弁天・本通・中央町・栄町・末広・開進町・北進町・南町 西町・土佐・岐阜・栄浦・共立・豊川・富丘・福山・日吉・登）
4月2日	財団法人結核予防会から結核対策推進優良市町村として表彰
4月8日	常呂町加工馬鈴薯生産組合発足、初代組合長に土本昇選出 （農協50年史）
4月15日	第1次農業振興計画樹立（農協50年史）
4月15日	斎藤秀信助役退任
4月29日	小林秀明氏「勲五等瑞宝章」受賞
4月	常呂町農村青少年連絡協議会総会で「常呂町4Hクラブ」に改称 （常呂町4Hクラブ創立40周年記念誌）
5月29日	暴風雨により、農作物238ha、3750万円。水産被害790万円 （新北見市史）
5月30日	全町一斉ゴミゼロ運動開始〔広報ところ〕
6月15日	常呂町長選挙、斎藤秀信無競争当選（7.2就任）
6月15日	日吉小学校の鼓笛隊服装更新（日吉小学事報告年表）
6月28日	第21回町民運動会（町民センター）市街地区の行政区変更後初の運動会 栄浦優勝、2位福山、3位共立 4位岐阜、5位日吉、6位本通り 玉入れ：岐阜・栄浦・日吉 町内対抗リレー 女／北進町 男／本通 綱引き／岐阜 参加チーム：豊浜・本通・岐阜・南町・栄浦・豊川・日吉登 ・土佐・東浜・共立・末広・弁天・北進町・中央町・開進町・栄町 ・福山・西町 19チーム（広報ところ）
6月	常呂高校新聞局発行「オコック」が、全国高校新聞コンテスト手書き部門で 優秀賞獲得（オコック）
7月10日	栄浦キャンプ場でNHK「おかあさんといっしょ・ドンドン」の公開 録画（常呂保育所・かもめ保育所・常呂幼稚園参加）（広報ところ）
7月23日	井上和夫助役・坂口博武収入役を選任。
7月29日	北海道消防操法訓練大会で常呂消防団（第4団）が小型ポンプ操法の部で 優勝（豊川区開基百年誌 常呂消防団100年記念誌）
8月14日	常呂小学校にプール完成（広報ところ）
8月15-16日	第2回ところふるさと祭り：以後、毎年月日固定で開催（広報ところ）
9月8日	岐阜地区集落センター落成式（広報ところ）
9月14日	常呂小学校前庭整備（常呂町百年史）
9月	常呂高校PTA・同窓会3役による校舎改築期成会について検討。 （常呂高校40年史）
9月	常呂高校新聞局発行「オコック」が、全道高校新聞コンクール手書き部門で 最高賞の総合賞受賞（オコック）
9月8日	畏怖集落センター落成式（岐阜区開基百年史）
10月1日	常呂小学校新校舎落成式（常呂小百年史）
10月20日	釧路・網走・紋別・稚内を結ぶ「国鉄オホーツク本線建設促進期成会」発足 （常呂高校）PTA役員に於いて校舎改築期成会について検討 （常呂高校40年史）
11月2日	上杉前町長に名誉町民の称号が贈られる〔広報ところ〕
11月15日	第1回クレマチス音楽祭開催（常呂町文化連盟）（「にいばり30」）
11月20日	身体障害者福祉協会常呂分会30年の歩み記念式典〔広報ところ〕
11月20日	北海道身体障害者福祉協会網走支庁支部常呂分会「30年のあゆみ」発行 （常呂高校）北海道常呂高等学校校舎改築促進期成会設立 （常呂高校40年史）
11月	（常呂高校）校舎状況視察（道財政課、道教委財務課） （常呂高校40年史）

昭和56年		11月	ライトコロ川10号橋(富丘10号)竣工
		11月	長崎屋サンバード常呂店とスーパーまるちよ南町店のジョイフルサトー南町にオープン(南町十年誌)
		12月15日	かもめ保育所の父母・常呂漁協の募金でかもめ保育所にアップライトピアノ1台を寄贈(広報ところ)
		12月	社会教育広報・情報紙「町民センターだより」がB4版半折り4ページで広報とともに全戸配布始まる(昭和57年1月号から発行ナンバー付く)
			小笠原組合長他4役員、中国訪問。(常呂漁協40年誌)
			常呂漁協が漁船機関修理工場内に漁船建造相談室設置(常呂漁協40年誌)
			ほたて稚貝外海放流399,370千粒(常呂漁協40年誌)
昭和57年	1982	1月中	常呂警察官駐在所が公民館前から現在地に新築移転(広報ところ)
		1月13日	農協青年部30周年記念式(農協50年史)
		1月20日	常呂町第2期総合計画の承認(昭56~65年度の10ヶ年計画)
		1月22日	ウォーリー・ウースリアック氏来町(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月23-24日	ウォーリー・ウースリアック氏来町記念カーリング・トーナメント大会 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月28日	(錦水小)グラウンドの水銀灯2基設置(グラウンド夜間照明可能となる) (錦水小50年史)
		1月30-31日	第3回北海道カーリング選手権(池田町)で漁協モグラーズ準優勝 (広報ところ)
		2月20日	湧網線確保対策協議会が「湧網線営業体制近代化」について、旭川鉄道管理局長宛に同意書提出(同意要件として11項目:常呂関連分/季節的臨時運行の貨物列車は1年限りの激減緩和ではなく検討、貨物廃止に伴う補償期間の延長、常呂駅・佐呂間駅の旅客取扱は従来通りとする、旅客列車の遠軽駅及び網走駅口への石北線接続を必ず実現する、湧網線の利用促進を強力に図る)(同意書)
		2月26日	湧網線確保対策協議会提出の同意書付帯要件に対する旭川鉄道管理局長からの回答届く(貨物列車の臨時運行は昭和57年9月、10月発送貨物が限度、貨物廃止に伴う補償期間は政府助成金制度の1年限り、常呂駅・佐呂間駅の旅客取扱は従来通り、旅客列車の遠軽駅・網走駅への接続は今後とも地元の要望に添うよう務める、遠軽駅は57年秋の時刻改正では困難、次期時刻表改正で最大限努力、湧網線の利用促進はサロマ湖・網走地域の観光等鉄道の利用拡大を地元の協力を得て積極的に推進)(回答書)
		2月	常呂町開基100年記念事業企画委員会において、国際交流の推進に関する建議があった (常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹町盟約調印5周年記念訪問団記録集)
		3月5日	常呂町労働組合30周年記念式典(公民館)(広報ところ)
		3月20日	「岐阜第二遺跡 私道建設に伴う事前調査」(常呂町)発行
		3月27日	富丘老人クラブ主催「5組の新婚さんを祝う会」開催(富丘公民館) (富丘百年史・北海道新聞記事)
		3月	常呂自動車教習所廃止(広報ところ)
		4月1日	(川沿小)3学級編成、児童数39名となる(川沿小百年史)
		4月1日	『常呂町農業協同組合青年部30年史』発行
		4月13日	農畜産物輸入自由化枠拡大阻止常呂町総決起大会開催
		4月21日	斎藤組合長退任し第6代組合長に森田重晴が就任(農協50年史)
		5月9日	常呂町空手道協会が第1回空手道大会開催(スポーツセンター)(広報ところ)

5月9日	ホタテ養殖技術修得のため中国から研修生5名来町 11月までの6ヶ月間（広報ところ）
6月1日	一般廃棄物処理センター、開所式（56.7着工、57.3完成）
6月20日	常呂町森林公園オープン：昭和55年着工、昭和56年12月完成（広報ところ）
6月21日	常呂町議会議員定数減少条例可決（20名を18名に）
6月22日	多目的研修センター新築工事着工（58.9.27竣工）
6月27日	第22回町民運動会19チーム参加（町民センター）開会式で各小学校児童代表の町民憲章斉唱 ＊新種目：ジャンボ宝くじ 岐阜優勝 2位富丘 3位栄浦 4位北進町、5位土佐、6位開進町 町内対抗リレー 女／栄浦男／富丘 玉入れ：日吉・登 綱引き：岐阜（広報ところ） ＊昼休みアトラクション：日吉小吹奏楽演奏・空手スポーツ少年団演武 外海ホタテ乗組員対定置網乗組員対抗綱引き
6月28日	（川沿小）危険校舎に認定され改築工事始まる（川沿小百年史）
6月	農協川東牧場改良工事着手、草地の老朽化により全面積改良を行う （農協50年史）
6月	富丘 高橋富雄宅に「馬頭観世音菩薩」建立（常呂町百年史）
6月	常呂町議会議員定数減少条例を可決、20名を18名に
7月11日	町外からの転入者を対象とする町内施設巡りの第1回を開催（広報ところ）
7月17日	第1回インターナショナル・オホーツクサイクリング開催 （雄武町～常呂町～斜里町、以後継続開催、18日まで）（広報ところ）
7月	岐阜集落センター横に運動公園設置、庭整備・東屋建てる （岐阜百年記念史）
7/31-8/1	湧網線確保対策協議会（常呂町・網走市・佐呂間町・湧別町・上湧別町）と国鉄旭川駅旅行センターが、昭和60年廃止対象の湧網線存続・ローカル線PR事業「夏休みチビっ子体験旅行」実施。旭川市内80人湧網線で常呂駅着・歓迎セレモニー、自然体験（広報ところ）
8月13日	常呂漁港修築工事起工（第7次漁港整備計画）（広報ところ）
8月21日	第1回農業ふれあい祭り開催：農協駐車場 ＊第3回（昭和59年）から会場を多目的研修センター百年広場に変更 ＊平成元年の第6回（昭和63年は中止）を最後に中断（農協50年史）
8月21日	自衛隊父兄会創立20周年記念式（議会だより）
8月25日	常呂ライオンズクラブ15周年記念家族パーティ（佐呂間町華苑）（広報ところ）
8月	住宅施設等の航空写真撮影（農協50年史）
8月	消防常呂分署に小型動力ポンプ付大型水槽車配置（常呂消防団100年記念誌）
8月	常呂消防団第2分団（栄浦）詰所移転新築工事（常呂消防団100年記念誌）
9月1日	福山神社新築落成〔広報ところ〕
9月16日	（川沿小）第31回全道へき地複式教育研究大会を行う （川沿小百年史）
9月16日	（日吉小）全道僻地複式研究大会（網走大会）開催。日吉校（町内僻地4校合同）を会場として公開授業、音楽分科会、2日間にわたる研究協議（日吉小80年史）
10月14日	常呂小学校、昭57年度学校給食優良校として文部大臣表彰受賞 （常呂小百年史）
10月27日	オホーツク本線宣伝事業試乗会（網走一稚内を列車・バス乗り継ぎ）実施、町長・議長参加（ところ議会だより） 沿線市町村関係者・来賓合わせて65人が参加、網走発午前8時30分の貸切気動車2両で、雄武一稚内間のバスを含め、335kmを約11時間、かけて午後7時31分稚内到着（網走新聞・道新・毎日・朝日）
11月3日	常呂町文化連盟創立20周年記念式典（広報ところ） 常呂町文化祭からところふるさと芸術祭に名称変更

		11月16日	常呂小学校学校給食優良校受賞祝賀会：常呂小（議会だより）
		11月18日	富丘地区高齢者コミュニティー・センター完成：富丘会館、新築落成祝賀会（10.16竣工）（常呂町百年史） 落成祝賀会で、富丘小学校児童による「富丘音頭」披露（富丘小50年誌）
		11月22日	国鉄が湧網線を含む本道14線を第2次廃止路線として運輸省に承認申請（ところ議会だより）
		11月25日	暴風（最大瞬間風速31メートル）により、軽傷1人。住宅一部損壊5棟、非住宅一部損壊6棟、漁船沈没破損4件、漁網被害3億1800万円（新北見市史）
		11月	常呂消防団第2分団（栄浦・鑑沸）詰所建設移転（常呂消防100年記念誌）
		11月	第1幹線10号橋（常呂地区第1幹線排水路：西1線10号東側）竣工
		11月中旬	北進町会館完成（広報ところ）
		12月7日	常呂漁協が組合員及び青年部婦人部研修の場、福祉向上施設として漁村センター落成式：豊浜（11.26竣工）（常呂漁協40年誌）
		12月7日	常呂町青年団体連絡協議会が従来のチャリティ演芸会を青年祭に名称を変更して実施（公民館）（広報ところ）
		12月21日	常呂町老人クラブ長生会創立20周年記念式典 常呂町老人クラブ長生会20周年記念誌「長生会のあゆみ」発行
		12月25日	『常呂町百年史』編さんの執筆依頼をする（常呂町百年史）
		12月18日 12月	P T Aが福山24号に福山小学校入口案内立看板建立（福山小学校学事報告） 参道橋（常呂地区第1幹線排水路：共立八幡神社）竣工
昭和57年			常呂漁協が潜水漁業対応として、ポンベの酸素充填施設建設：軽量鉄骨（軽量鉄骨トタン造り9.24㎡）（常呂漁協40年誌） 富丘小学校P T Aにより、グラウンドの土運搬、木の伐採などグラウンド拡張作業実施（富丘小50年誌） 外海はたて稚貝放流233,000千粒（常呂漁協40年誌）
昭和58年	1983	1月1日	「常呂町開基百年 岐阜のあゆみ」（責任編集：林不二夫）発行
		1月1日	農事組合再編成し21営農集団として発足（農協50年史） 農協、営農集団体制になる（岐阜百年記念史）
		1月7日	岐阜整備組合2代目の集い開催（岐阜西部会館）（広報ところ）
		1月20日	（川沿小）新築校舎にて新学期迎える（川沿小百年史）
		1月20日	常呂町文化連盟機関誌「TOMTOM」発行（「にいばり30」）
		1月25日	栄浦にカーリングリンク造成（6シート） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月	第1回臨時町議会で「国鉄地方交通線第2次線の選定凍結」を求める意見書を総理大臣、関係行政庁に提出決定（ところ議会だより）
		2月3日	ウォーリー・ウスリアック氏来町（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月4-5日	第3回NHK杯オホーツク・シルバーストーン・カーリング選手権大会 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月11日	開基百年記念パレード：雪んこ祭り（広報ところ）
		2月11日	（日吉小）雪んこ祭子供みこしパレード参加（日吉小80年史）
		2月14日	（日吉小）スキー教室（神社山・福山）（日吉小80年史）
		2月14日	町長杯カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月15日	常呂中学校開校10周年記念式典
		2月19日	常呂町開基百年記念カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月25日	「常呂町酪農振興会創立30年記念史 酪農の歩み」発行 *座談会：酪農の始まり集録
		3月1日	川沿小学校、増改築
		3月7日	（日吉小）網走管内教育実践校として特別賞受賞（日吉小80年史）

3/8-4/14	町民センター主催の樺太アイヌの楽器トンコリ製作教室（町民センター 工作室）開催（広報ところ）
3月24-26日	第2回北海道カーリング選手権大会（札幌）でポパイ&オリーブ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
3月	イワケシ牧場閉牧
4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数29名となる（川沿小百年史）
4月9日	（川沿小）校舎前庭整備終了。（川沿小百年史）
4月15日	国鉄が「今後の国鉄荷物営業について」合理化案発表、翌16日新聞発表 ＊湧網線の荷物取り扱い廃止（合理化発表報告文書）
4月24日	常呂町議会議員選挙（18名選出）
4月29日	ビート移植直後の強風により多大の被害を受ける（農協50年史）
5月1日	旭川鉄道管理局が網走駅、常呂駅、紋別駅で観光旅行記念入場券発売、 常呂駅は2000枚発売予定、イラストは名産のホタテと遺跡から発掘 される土器（北海道新聞）
6月4日	ホタテ養殖技術修得のため中国から研修生5名来町 10月までの5ヶ月間（広報ところ）
6月16日	湧網線廃止反対の湧網線沿線住民総決起大会に常呂町からも参加 （広報ところ）
6月19日	第23回町民運動会19チーム参加（町民センター）開会式で、 各地区に贈呈された開基百年シンボルマーク入りの区旗を先頭に入場行進 栄浦優勝、2位日吉・登 3位土佐、4位末広、5位富丘、6位共立 町内区対抗リレー 女／栄浦 男／富丘 玉入れ：栄浦 綱引き：岐阜 （広報ところ）
6月28日	常呂郵便局、風景入通信日付印使用開始 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
7月10日	常呂町開基百年記念事業としてチャレンジ100ソフトボール大会開催。
7月18日	岐阜バス企画の「北海道の岐阜親善訪問の旅」で、岐阜県から一行32人 来町、岐阜地区訪問（広報ところ）
7月24日	管内身体障害者スポーツ大会開催。
7月	富丘小学校グラウンド脇（校舎北側林を利用）に、PTAが児童の体力増進を 目的にサーキットコース場を造成（富丘小50年誌）
7月	商工会青年部、前浜海水浴場で「サマービーチ・フェスティバル」開催。 （以後毎年開催）（常呂町百年史）
8月1日	麦類貯蔵施設（990㎡）完成（農協50年史）
8月2日	常呂バイパス開通式・常呂大橋渡橋式（昭和52年着工） バイパス完成と常呂町開基百年記念として、常呂ライオンズクラブから 交通安全塔（東浜起点・土佐終点）2基贈呈（広報ところ）
8月4日	旭川鉄道管理局長名で常呂町長宛、荷物取り扱い廃止の通知（通知文書） ＊常呂駅 現行／旅客・荷物 改正／旅客 手小荷物の取り扱い廃止
8月5日	澱粉原料馬鈴薯貯蔵施設（320㎡）完成（農協50年史）
8月8日	玉葱貯蔵施設（450㎡）完成（農協50年史）
8月13日	金融機関第2土曜日休業実施される（農協50年史）
8月15日	（日吉小）開基100年記念行事。鼓笛パレード参加 （日吉小80年史）
8月16日	（常呂小）開基100年記念行事参加（常呂小百年史）
8月20日	食用馬鈴薯選別施設（990㎡）完成（農協50年史）
8月27日	福山小の裏山散策道開通、三六三公園と命名（福山小学校六十年誌） ＊363コース、363展望台とも呼ばれていた
9月10日	川沿小学校、前庭整備
9月10日	（日吉小）町民水泳大会参加（常呂小プール）（日吉小80年史）

	第Ⅰ回町内小学校交歓水泳大会（町民水泳大会）開催（広報ところ）
9月17日	ラジオ公開放送「民謡をたずねて」（広報ところ）
9月19日	郵政省の為替・貯金業務のオンライン化に伴い、常呂郵便局で関係機器導入業務開始：貯金・年金の児童預入れ・払出（常呂新報第5号）
9月21日	ホタテ形の円形劇場を形どった「百年広場」が完成（5.7着工、10.10開場式）（広報ところ）
9月22日	でんでんマイタウンコンサート：札幌交響楽団・指揮福村芳一（広報ところ）
9月23日	（日吉小）子供ソフトボール大会初優勝（日吉小80年史）
9月24日	野球教室（山内一弘・秋山登～25日）（広報ところ）
9月27日	多目的研修集会施設（多目的研修センター）竣工（こうほう）
9月30日	常呂中学校開校10年記念として常呂中学校同窓会結成（公民館） （広報ところ）
10月1日	常呂保育園幼年消防クラブと常呂幼稚園幼年消防クラブ（平成19年3月解散）の結成（かもめ保育所幼年クラブはその後、常呂保育園幼年クラブから分離） （常呂消防団100年記念誌）
10月7日	（錦水小）文部省指定道徳教育共同推進校発表大会行う（錦水小50年史）
10月15日	開基百年記念展望塔落成式。（5月7日着工、9月28日完成） ＊森林公園に地上30mの展望塔、丘の高さを加え海拔100m。「大きな鳥が羽ばたく姿」をイメージデザイン、階段100段（常呂町百年史）
10月21日	さっぽろ常呂会設立総会（札幌市・自治会館）（広報ところ）
10月30日	町民手形柱完成（11.1除幕式）
10月30日	開基百年を記念して石碑4基、木柱8本町内各所に建立 石碑（常呂教育所跡・旧サロマ湖口・常呂川渡船場跡・旧網走坂） 木柱（常呂官設駅通所跡・ワッカ駅通所跡・太茶苗駅通所跡・手師学駅通所跡・常呂教育所跡・登小学校跡・隈川特別教授所跡・フキザル船つき場跡）
10月	12号橋（常呂地区第1幹線排水路：西1線12号東側）竣工
11月1日	「開基百年之碑」「手形柱」（6月7日手形採取開始）除幕式
11月1日	開基100年記念式典挙行。多目的研修センターオープン（広報ところ）
11月1日	常呂町出身者「落語と音楽のフェスティバル」 （高橋知己・橘家舛蔵・相馬美好）
11月5日	常呂町立常呂中学校開校10周年記念誌発行 （常呂中学校開校10周年記念事業協賛会）
11月9日	テレビ放送「昼の招待席」公開録画
11月13日	川沿小学校新校舎落成記念式典及び祝賀会を挙行 （昭和57年6月着工、3月8日完成、「川沿小学校90周年記念誌」では3月1日落成式） 記念碑「友愛・自主・不撓」除幕式
11月19日	水産有機物スラリー施設完成（58.7着工）
11月23日	常呂町開基百年を記念して、常呂漁業協同組合建立の「はたて養殖発祥の地」記念碑：栄浦浜完成（11.25除幕式）（常呂町百年史）
11月26日	開基百年「第1回町民舞台 森と海と湖の中で」上演（以後継続開催） 第1部（古代編「ところの夜明け」語りと音楽、踊り） 第2部（開拓編「拓けゆく道標」演劇「常呂川」） 第3部（現代から未来編「はばたけところ」合唱と演奏）（台本）
11月30日	伊藤せいち著『常呂町のアイヌ語地名』（オホーツク文化資料館）発刊
11月	六号橋（常呂地区第1幹線排水路：基線6号付近）竣工
12月6日	常呂町遺族会35周年記念式典（多目的研修センター）（広報ところ）
12月7日	東浜地区多目的集会施設、落成祝賀会（11月完成）（広報ところ）
12月8日	北海道国鉄特定地方交通対策協議会開催。釧路か稚内までを結ぶオホーツク

			本線の確保と湧網線・名寄線の存続のため、オホーツク本線の第3セクターとして成り立つか知事に調査依頼（議会だより）
		12月	鑑沸に「常呂漁業協同組合発祥の地」の石碑建立 （阿部義孝・藤村礼四郎氏が常呂で最初に漁業組合が設置された鑑沸に建立）
昭和58年			小笠原組合長再選。（常呂漁協40年誌）
			第4次切替による共同漁業権免許（常呂漁協40年誌）
			漁業関係永年勤続者表彰（常呂漁協40年誌）
			藤村参事、北海道産業貢献賞受賞（常呂漁協40年誌）
			常呂町開基100年を記念して、常呂漁協が漁船の海上パレード、漁協本部で餅まき実施（常呂漁協40年誌）
			外海ほたて稚貝放流265,600千粒（常呂漁協40年誌）
			ニンニク、ワサビの耕作が減少（共立百年史）
			農家全戸に同報無線が導入（共立百年史）
			岐阜県大野町から全戸に赤松の苗木提供される（岐阜百年記念史）
			林和組合と中部組合合併、中部組合となる（岐阜百年記念史）
			甜菜直送始まる（富丘百年史）
昭和59年	1984	1月7日	常呂消防団第4分団創立30周年式典：川沿小学校校庭で出初め式 30周年記念誌「まとい」発行（豊川区開基百年誌）
		1月11日	富丘で「体育部だより」発行、第6号から情報紙「とみおかだより」に改称 発行責任者は富丘区長（富丘百年史）
		1月23日	常呂警察官駐在所連絡協議会結成
		2月1日	常呂町開基百年記念『小史常呂』発刊、全戸配布（常呂町百年史）
		2月9日	土佐老人クラブ設立・発会式（土佐公民館）（広報ところ）
		2月11日	雪んこ祭り各地区対抗町民カーリング大会 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月24-25日	第3回北海道カーリング選手権大会（札幌）クレオパトラ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月25日	常呂町養豚団地協議会10周年記念式典（サロマ湖観光ホテル）
		2月26日	第1回日本カーリング選手権大会（札幌） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月	ダイヤ改正に合わせて湧網線の荷物取り扱い廃止
		3月5日	（錦水小）文部省指定道徳教育研究により教育局の表彰を受ける （錦水小50年史）
		3月6日	常呂町4Hクラブ創立15周年記念式典（多目的研修センター） 『常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌 若い芽』発行 （広報ところ 常呂町4Hクラブ創立15周年記念誌）
		3月28日	常呂町議会議員OB会設立会議、会員19名で発足、初代会長に佐藤鉄男氏 （常呂町議会OB会設立10周年記念誌）
		3月	組合員貝柱市況調査見学のため香港視察：2班200人（常呂漁協40年誌）
		4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数26名となる（川沿小百年史）
		4月1日	（錦水小）児童数減少により5学級編成となる（錦水小50年史）
		4月7日	共立老人親睦会を共立老人クラブに改称（共立会館）（広報ところ）
		4月26日	水産有機物スラリー利用組合設立、初代組合長に泉虎雄選出 （農協50年史）
		4月	町民憲章推進委員会を中心に新生活改善運動スタート
		4月	教育委員会の社会教育情報紙「町民センターだより」がB4半折り4ページ で5月号から広報に折り込み、全戸配布開始
		5月9日	湧網線存続を訴え、道副知事と沿線住民との懇談会4市町村70人参加 （佐呂間町）（広報ところ）

5月18日	道知事が「廃止反対」の意見書提出（議会だより・道新59/6/21） 道知事が運輸大臣宛、特定地方交通線の選定についての意見書提出（意見書）
5月20日	（錦水小）校舎改築・修築のため、PTA全会員により物品移動作業行う （錦水小50年史）
5月	常呂漁協の高齢元組合員、松前町慰安旅行（常呂漁協40年誌）
5月	富丘小学校ではだしの学校生活（5～10月）が始まる（富丘小50年誌）
6月4日	運輸省局長など来町、現地ヒアリング。湧網線廃止後、代替バス並行運行する場合の道路状況現地調査。共立一浜佐呂間の道路幅、未舗装、地吹雪、除雪などの対応面から廃止反対意見を表明（議会だより）
6月15日	土佐地区開基90周年記念式典（広報ところ）
6月17日	川沿小学校プール前の築山造園により小公園完成（川沿小百年史）
6月22日	湧網線を含む第2次廃止対象路線を運輸相承認。運輸省・国鉄・陸運局・道・市町村長で構成する地元対策協議会が「廃止前提」で12月1日から協議開始と公表（議会だより）
6月24日	第24回町民大運動会19チーム参加（町民センター）栄浦優勝、2位日吉・登 3位南町、富丘（広報ところ）
6月25日	常呂町婦人防火クラブを組織（常呂消防団100年記念誌）
6月28日	常呂町開基百年タイムカプセルを埋設（開封は2033年11月） （日吉小）常呂町開基100年記念タイムカプセル埋蔵式参加 （全校児童作品収納）（日吉小80年史）
6月30日	（日吉小）海浜学習（ワッカ原生花園）（日吉小80年史）
6月	水産有機物スラリー施設本格操業開始。（昭和58年11月完成）
6月-11月	金谷フサさんから樺太アイヌの風俗・文化の聞き取り調査 調査者：萩中美枝（ところの社会教育）
7月1日	（日吉小）6年生竜宮マラソン大会に参加（日吉小80年史）
7月4日	福山小学校PTAがブランコ新設（福山小学校学事報告）
7月20日	（常呂高校）援農遠足に代わりクリーンアップワッカが始まる （常呂高校40年史）
7月22日	第2回農業ふれあい祭り開催（農協50年史）
8月13日	全国銀行内国為替制度への加盟金融機関となり、全国加盟店への直接送金が可能となる（農協50年史）
8月18日	第1回町民ゲートボール大会（町民センター運動広場） 男子6チーム、女子4チーム参加 男子の部：優勝岐阜A、2位岐阜B 3位土佐・富丘 女子の部：優勝豊川、岐阜、富丘（町民センターだより）
9月2日	（日吉小）子ども会ソフトボール大会優勝（日吉小80年史） 常呂町子供会育成連合会主催の少年ソフトボール大会に常呂ライオンズクラブから優勝旗贈呈、日吉子供会が2連覇（広報ところ）
9月9日	国鉄湧網線確保対策協議会主催の「乗って残そう湧網線・綱引き大会」開催 （卯原内 沿線5市町村、常呂から41人参加）（広報ところ）
9月30日	南町会館完成（南町10年誌）
9月	常楽寺境内に親鸞上人像建立（上杉隆昌）
9月	小林俊彦氏から常呂消防団旗の寄贈を受ける（常呂消防団100年記念誌）
10月9日	（川沿小）第1方面へき地複式教育研究大会を行う（川沿小百年史）
10月21日	南町会館新築落成祝賀会挙行（広報ところ）
10月	消防常呂分署に水槽付消防ポンプ自動車配置（常呂消防団100年記念誌）
11月16日	サロマ湖観光ホテルさよならパーティ：栄浦（議会だより）
11月20日	常呂漁協常呂救難所、北海道社会貢献賞受賞。（常呂漁協40年誌）
11月22日	栄浦地区多目的研修センター落成記念式典（広報ところ）
11月25日	名誉町民上杉武雄翁逝去（78歳）、28.29日多目的センターで町葬執行（広報ところ）

		11月25日	「常呂町養豚団地協議会10年の跳」発行（常呂町農業協同組合）
		11月27日	手工芸の館完成
		12月8日	サロマ湖東急リゾート安全祈願祭：栄浦（議会だより）
		12月10日	道議会で知事が第1次廃止路線の興浜線・相生線・美幸線について、採算の難しい第3セクターに道は参加すべきではないとの道特別審議委員会の答申に基づき報告。オホーツク本線も将来の問題として検討と消極的な内容。
		12月17日	岐阜老人クラブの総会において、次回の式典を25周年とすることを決議。経費として毎年5万円積み立て（岐阜老人クラブ50周年誌）
		12月10日	（錦水小）校舎改築・修築工事完成（体育館・玄関・管理棟・ボイラー室 国旗掲揚塔）（錦水小50年史）
		12月22日	常呂漁協が栄浦地区多目的研修センター完成・落成記念式典（広報ところ）
		12月25日	西町生活改善センター（西町会館）条例施行（常呂町例規類集）
		12月25日	（のぞみの園）浴室改修工事完成（のぞみの園開園20周年記念誌）
昭和59年			栄浦養殖作業保管施設建設、施設利用により港内洋上ハウス整理 （常呂漁協40年誌）
			外海ほたて稚貝放流200,000千粒（常呂漁協40年誌）
			天龍寺：オホーツク海難者・常呂川流亡者のための供養塔建立 （天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり）
			豊川老人クラブ寿会創立20周年（豊川百年記念誌）
			音更町岐阜県人会訪問受ける（岐阜百年記念史）
			チホク小麦大面積栽培始まる（富丘百年史）
			福山小学校で版画カレンダー作成（休校までの8年間継続）（広報ところ）
			とみおか便り発刊（富丘百年史）
昭和60年	1985	1月5日	この年から常呂町消防全団出初め式となり、多目的研修センター前で実施 （豊川区開基百年誌）
		1月6日	常呂漁協から指令車の寄贈を受け、消防常呂分署に配置（広報ところ）
		1月29日	（日吉小）吹雪のため臨時休校（日吉小80年史）
		1月	常呂消防団が優良消防団として、日本消防組合協会から表彰旗を授与 （常呂消防団100年記念誌）
		11月	第5回臨時町議会で常呂町カーリング協会から屋内カーリング施設設置に関する陳情。所管常任委員会に付託（ところ議会だより）
		2月10日	駐日中国大使宗之先、不吹模様の中來町、常呂漁協に立ち寄る。常呂漁協本部前にパンダ雪だるま造り、熱烈歓迎の横断幕、漁村センターで歓迎式 （常呂漁協40年誌）
		2月12日	農協婦人部設立30周年記念式典（農協50年史）
		2月22-23日	第4回北海道カーリング選手権大会（札幌）ビッグマリン優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月24日	第2回日本カーリング選手権大会（札幌）ビッグマリン優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月4日	国鉄湧網線厳冬期調査実施（国鉄湧網線代替道路全区間の雪害多発箇所、橋梁、交通事故多発箇所歩道、横断歩道及び駅前広場等を北海道運輸局・各自治体・旭川鉄道管理局関係者が大型バス1台に同乗し、全行程を調査 常呂町は雪害多発箇所4ヶ所調査）（厳冬期調査資料）
		3月10日	常呂町郷土研究同好会、ところ文庫第1号「常呂町の石碑（写真篇）」発行 （以後毎年刊行）
		3月25日	「栄浦第一遺跡」（東京大学文学部）発行
		3月30日	第2回ところ町民舞台「オホーツク本線」公演
		3月31日	昭和59年度文化財国庫補助事業調査報告書「カラフトアイヌ古式美舞踊」 （日本民俗舞踊研究会）発行

	<p>*カウチョ・ムックリ演奏：金谷フサ、トンコリ演奏：金谷フサ、栄二郎  *舞踊：常呂町樺太アイヌ古式舞踊保存会  黒岩俊生「トンコリ作りの記録」 小林公江「樺太アイヌの音楽」  村崎恭子「樺太アイヌの舞踊音楽」 須藤武子・増田良以「舞踊譜」  増田良以「樺太アイヌ古式舞踊：舞踊の特徴」</p>
4月1日	(川沿小) 3学級編成、児童数17名(川沿小百年史)
4月1日	常呂漁業協同組合の共同聴取施設に代わる防災無線施設完成、運用開始。
4月3日	東京大学文学部教授：藤本強氏送別会(議会だより)
4月22日	森田組合長退任し、第7代組合長に向井武徳が就任(常呂町農協50年史)
4月	常呂中学校十周年協賛会常呂中学校十周年記念モニュメント「躍進」製作(常呂中前庭)
5月5日	錦水小学校の新しい校旗完成(岐阜百年記念史) *黒田敏光氏寄贈(錦水小学校学校経営)
5月	錦水小学校児童会の歌制定(岐阜百年記念史)
6月1日	岐阜集落センター西側に岐阜地区住民が緑地運動公園整備(広報ところ)
6月4日	町長選挙で斎藤秀信町長が、無投票で再選される。
6月15日	霜により農作物に被害
6月21日	常呂消防団の日本消防協会表彰旗受賞記念祝賀会(多目的研修センター) (広報ところ)
6月23日	第25回町民大運動会19チーム参加(町民センター)総合得点で栄浦と富丘が同点。史上初の綱引きで優勝決定 優勝：富丘 2位：栄浦 玉入れ：福山 綱引き：栄浦 町内対抗リレー 女/南町 男/富丘 (広報ところ)
6月29日	川沿保育所で風疹が蔓延し、川沿小学校との合同運動会ができなく、保育所単独の運動会開催(豊川区開基百年誌)(川沿保育所開設30周年記念誌)
6月	岐阜西部地区で「開拓の碑」建立。
7月3日	(錦水小)校舎周辺舗装、自転車小屋新設工事完了(錦水小50年史)
7月21日	第3回農業ふれあい祭り開催(農協50年史)
7/29-8/3	北海道第4回シニア・ボーイスカウト大会を栄浦キャンプ場で開催 (広報ところ)
7月30日	全国トラクター競技大会に今橋正弘3位入賞、全国機械士会長賞を受賞。 (農協50年史)
8月7日	オホーツク海南部海域でマヒ性貝毒発生、常呂海域で8月16日まで操業停止 (常呂漁協40年誌)
8月21日	栄浦にサロマ湖東急リゾート竣工並びに開業披露祝賀会(議会だより)
8月	消防第3分団に小型動力ポンプ付積載車配置(常呂消防団100年記念誌)
9月3日	第5回全国豊かな海づくり大会記念事業栽培漁業調査船完成披露：議長出席 *栄浦(議会だより)
9月8日	皇太子両殿下を迎え「第5回全国豊かな海作り大会」開催 (～9日、於湧別町登栄床漁港)、サロマ湖東急リゾート宿泊
9月10日	皇太子両殿下、多目的研修センター視察。 皇太子両殿下錦水校視察(岐阜百年記念史)
9月10日	(錦水小)皇太子殿下・美智子妃殿下が祖父母参観日を視察(多目的研修センター) (錦水小50年史)
9月10日	(日吉小)皇太子奉迎全校生参加(全国豊かな海づくり大会) (日吉小80年史)
9月17日	(錦水小)校舎及び全校児童の航空写真撮影(錦水小50年史)
9月	全国豊かな海づくり大会記念碑(皇太子殿下・妃殿下行啓記念碑)建立 (第5回全国豊かな海づくり大会を記念して栄浦浜に建立)
10月9日	全国農協大会開催。

		11月1日	常呂小学校開校90周年記念式典。
		11月8日	湧網線打合せ会議開催：常呂町（網走・佐呂間・湧別・上湧別・常呂の各市町長及び幹事）湧網線の廃止はやむを得ない、代替輸送は第3セクターとバス転換試算の対比の結果バス運営。バス会社の系列・鉄道跡地の問題を各市町で要検討・今後の方針として、各市町のバス路線計画・関連施設計画を年内目標に策定、事務局で廃止後の交付金・関連施設の状況を調査 (打合せ会議資料)
		11月21日	(川沿小) 北海道良い歯の学校表彰を受賞する。(川沿小百年史)
		11月21日	常呂消防団第3分団(日吉) 詰所兼車庫新築移転。落成を祝い記念写真。 (常呂消防団日吉分団50周年記念誌)
		11月24日	(錦水小) 開校50周年・校舎改築・改修記念式典並びに祝賀会 第5回臨時議会に、常呂町カーリング協会から屋内カーリング施設設置に錦水小学校50年史発行(常呂町立錦水小学校・改築改修記念事業協賛会)
		11月	福山小学校校庭に創立60執念記念碑「飛翔」建立
		12月5-7日	カーリング世界大会予選会(西ドイツ) ビッグマリン出場
		12月3日	福山小学校創立60周年記念碑「飛翔」除幕式(福山小学校学事報告)
		12月5日	錦水保育所開設20周年おゆうぎ会の参観者に記念のタオルを配布、園児に紅白餅配布(錦水保育所開所30周年記念誌)
		12月8日	日吉消防詰所落成式：副議長出席(議会だより)
		12月21日	福山小学校、校舎新築落成並びに創立60周年記念式典挙行。(6月着工) 福山小学校開校60周年「六十年誌ふくやま」発行
		12月21日	(青年の家) かき島青年の家大規模改修施工(屋根トタン全面張り替え・浴場の改修・全室の畳替え・寮室・和室・茶室の内装) (かき島青年の家道立移管記念誌)
		12月	第2、4線橋(ライトコロ川：岐阜西4線4号南側) 竣工
昭和60年			栄浦に2棟目の養殖作業管理施設完成。 金谷フサさんから樺太アイヌの風俗・文化の聞き取り調査 調査者：萩中美枝(ところの社会教育) ほたて貝の多量化対応で、漁港敷地内に新たに大型トラックスケール設置 (常呂漁協40年誌) ほたて稚貝放流236,000所。(常呂漁協40年誌) 青年部肥料配送始める(富丘百年史) (川沿小) 常呂町教育研究実践指定校となる(川沿小百年史)
昭和61年	1986	1月19日	富丘小学校、体育館・特別教室・校舎増改築落成式挙行 (昭和60年6月着工)(富丘小休校のしおり) *富丘小学校増改築協賛会が富丘小学校増改築記念に運動会優勝旗を寄贈 「富丘小学校大運動会 優勝」の文字とイラスト(富丘の郷土資料館保管)
		1月21日	『常呂町農業協同組合婦人部30年のあゆみ』発行
		1/31-2/2	NHK杯カーリング選手権大会で来町した横路道知事が「64国体でデモンストレーション競技としてカーリングをする」と発表 (広報ところ)
		1月-3月	樺太アイヌのトンコリ製作教室(スポーツセンター) 金谷栄二郎氏による製作・演奏指導(ところの社会教育)
		2月2日	東急カップ86国際カーリング大会(多目的センター駐車場) (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月10日	農協貯金オンライン開通、全道の農協で貯金の払い戻しが可能となる。 (農協50年史)
		2月17日	第3回湧網線特定地方交通線対策協議会開催：網走市。沿線1市4町代表者で第3セクターによる鉄道存続は資金・経営両面から困難を理由に

	バス転換の方針を決定（広報ところ）
2月上	「スノーモビルランドサロマ湖」開催 （～3月下旬、以後「竜宮ルネッサンスinサロマ湖」として毎年開催）
2月16日	西町生活改善センター落成祝賀会（議会だより）
2月19日	常呂町ごぼう生産組合設立、初代組合長に小野寺俊幸選出（組合員27名） （農協50年史）
2月21-22日	第1回常呂カーリング協会会長杯スクランブル・カーリング大会 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
2月24日	「町おこし懇談会」設置
2月26日	玉葱価格暴落し玉葱142トン廃棄処分
2/28-3/1	第1回常呂町老人クラブ指導者研修会：旭川市（参加者20人） （常呂町老人クラブ50周年記念誌）
3月5日	農協婦人部若妻会女性ドライバークラブ結成（農協50年史）
3月8日	ところビッグバンド・ブルードルフィン第1回コンサート（多目的） （広報ところ）
3月10日	ところ文庫2「樺太アイヌのトンコリ」発行（常呂町郷土研究同好会）
3月21日	第3回ところ町民舞台「鉄山」公演
3月	「広報ところ」3月号で、「鉄道存続を断念！湧網線もバス転換に決定」の見出しで1ページにわたり経過報告（広報ところ）
3月	第1回定例町議会で屋内カーリング施設設置の陳情が不採択 （ところ議会だより）
3月	地籍調査事業終了（昭和53年4月開始）
4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数18名（川沿小百年史）
4月9日	（常呂高校）北海道常呂高等学校新校舎落成並びに創立40周年記念事業協賛会設立される（常呂高校40年史）
4月15日	第2次農業振興計画樹立（農協50年史）
4月	共立川東地区に（あねとい）姉間排水機場完成（昭和59年秋工事着手） （広報ところ）
5月21日	水産食品加工の勉強のためフィリピン・メキシコ等の水産技術者8名 ホタテ加工場を見学
5月・11月	金谷フサさんから樺太アイヌの風俗・文化の聞き取り調査 調査者：萩中美枝（昭和61年度ところの社会教育）
5月30日	（常呂高校）校舎改築第1期工事着工（常呂高校40年史）
6月6日	常呂オホーツク・ゲートボールクラブ設立（7地区：市街・土佐・岐阜・ 共立・豊川・富丘・栄浦 102人）（町民センターだより） *常呂ゲートボール協会の母体
6月10日	（常呂高校）校舎改築第1期工事着工に伴い2、3年生は特別教室を 仮教室として授業を始めた（2年A組 視聴覚室、2年B組 被服教室 3年A組 化学室、3年B組 物理室）（常呂高校40年史）
6月22日	第26回町民運動会19チーム（町民センター） 富丘優勝、2位栄浦、 3位豊川 新種目：みんなでジャンプ・流水引き 富丘小児童が一輪車演技 披露（広報ところ）
6月23日	（日吉小）登山遠足（川向山）（日吉小80年史）
6月25日	「アイヌ語地名を歩く」（山田秀三）発刊 （「常呂の地名標識」昭和58年に設置した石碑・木柱に触れている）
6月-10月	常呂町中央公民館外部改修工事
7月2日	（常呂高校）改築外構工事着工（常呂高校40年史）
7月7日	（常呂高校）改築し尿浄化槽工事着工（常呂高校40年史）
7月8日	常呂オホーツク・ゲートボールクラブ設立大会：町民センターグラウンド 優勝：市街/桜 2位：富丘A 3位：市街/梅 4位/富丘C

	(町民センターだより・富丘だより)
7月9日	はまなす国体デモンストレーション・カーリング開催地常呂町に決定 (常呂カーリング協会30年のあゆみ) 日本体育協会理事会で大44回国民体育大会(はまなす国体)の開催決定 カーリングのデモンストレーション競技開催も決定(北海道新聞)
7月16日	(日吉小)一輪車練習始まる(日吉小80年史)
7月20日	第4回ふれあい祭り開催(農協50年史)
7月23日	(福山小)校舎前面舗装完了(福山小休校記念誌)
7月-8月	樺太アイスの板舟製作・伝承事業(指導:平村武雄・金谷栄二郎)かしわ寮 完成後、ライトコロ川で古式にのっとり進水式(ところの社会教育)
8月4日	昭和59年から行っている常呂高校の「クリーンアップ・ワッカ」に 道知事から「観光地美化等実践感謝状」贈呈(網走支庁)(広報ところ)
8月14日	総務建設常任委員会:朝日橋の維持管理について、交通利用度が低いと推移 されるので廃止し、撤去する必要ありを9月17日定例会で報告(議会だより)
8月16日	金融機関第2土曜日に加え第3土曜日も休業となる(農協50年史)
8月17日	常呂町商工会主催のサヨナラ湧網線仮装盆踊り大会を常呂駅前で開催 (広報ところ)
8月25日	常呂町開基百年史編さん委員会が百年座談会(古老の声の収録)を開催 (多目的研修センター)(広報ところ)
8月29日	湧網線代替バス輸送計画策定作業グループ第5回会議:網走市 *湧網線代替輸送道路バス試走(網走バスターミナル-常呂駅-浜佐呂間駅 -佐呂間駅-中湧別駅) *協議会幹事・北見陸運局・旭川鉄道管理局に よる網走バス使用の代替輸送道路全コース試走と調査 結果のまとめ、停留所・代替バス輸送計画策定協議(会議資料)
9月5日	寺町清正のランドレースが総合畜産共進会で全道一に輝く(農協50年史)
9月11日	常呂神社鳥居竣工式(記念写真に文字・年月日記入)
9月14日	サロマ湖100kmマラソン大会開催(以後毎年継続)(広報ところ)
9月26日	(常呂高校)改築し尿浄化槽工事完成(常呂高校40年史)
9月	甜菜糖分取引実施(基準糖分16.3%~16.9%、t当価格2万10円) (農協50年史)
10月22日	カナダ・アルバータ州政府から姉妹町交流の相手としてバーヘッド町を紹介 される(常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹盟約調印5周年記念訪問団記録集)
10月25日	(常呂高校)改築外構工事完成(常呂高校40年史)
10月	消防常呂分署に人員輸送車(マイクロバス)配置(常呂消防団100年記念誌)
11月14日	バーヘッド町長から交流を希望する旨の手紙が届く (常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹盟約調印5周年記念訪問団記録集)
11月15日	福山小学校でカラフトマス飼育開始(福山小学校学事報告)
11月17日	第4回湧網線特定地方交通線対策協議会開催:網走市 昭和62年3月19日で国鉄湧網線廃止、翌20日から代替バス:網走バス 運行を決定。代替バス路線は、網走-常呂-栄浦-浜佐呂間-佐呂間-床丹 -計呂地-中湧別までの5往復とサロマ湖畔(浜佐呂間-幌岩-富武士- 床丹)経由の1往復、1日6往復のバス運行(広報ところ)
11月23日	(日吉小)北見地方学校アンサンブルコンクール出場(日吉小80年史)
11月	イワケシュ山に花と緑の丘を造る「イワケシュ友の会」結成(広報ところ)
11月	日吉橋(日吉川:日吉神社下道道)竣工
12月5日	(常呂高校)改築第1期工事完成(常呂高校40年史)
12月17日	(常呂高校)校長室、事務室、職員室、3年HR教室、新校舎へ移動。 (常呂高校40年史)
12月18日	常呂漁協冷凍工場敷地にホタテエキス精製施設(8月着工)、栄浦荷捌所 (9月着工)落成、記念式典挙行:豊浜漁村センター(常呂漁協40年誌)

		12月22日	国際交流懇談会を開催（12月20日）し、バーヘッド町宛「交流を進める旨のメッセージを送る （常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹盟約調印5周年記念訪問団記録集）
		12月22日	「皇太子殿下皇太子妃殿下行啓記念碑」（栄浦）建立
		12月31日	第1回年越しカーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		12月	第1. 4線橋（ライトコロ川：岐阜西4線4号北側）竣工
昭和61年			小笠原組合長再選（常呂漁協40年誌）
			さけ定置操業経営合理化のため組合自営定置休流となる （常呂漁協40年誌）
			ほたて稚貝外海放流202,000千粒（常呂漁協40年誌）
			川西コンバイン利用組合にジョンディア製のコンバインが導入される （共立百年史）
昭和62年	1987	1月1日	新春カーリング大会（NHKラジオ放送）（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月	組合員の家計費の支出が組勘から普通貯金扱いとなる（農協50年史）
		1月	イワケシュ友の会が会員募集開始（広報ところ）
		2月1日	土佐区住民：旅行友の会、湧網線記念乗車
		2月2日	第1回オホーツクブロック・カーリング大会 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月3-6日	ジュニアカーリング第1回リーグ戦（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月10日	常呂駅で湧網線廃止記念ホタテ貝の形状台紙と記念入場券・キップのセット販売、キオスクでレール文鎮、記念灰皿、タオル販売（広報ところ）
		2月9-15日	第1回道新杯ジュニアカーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月	国際親善交流委員会を設置し、バーヘッド町との交流について検討開始 （常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない）
		3月5日	（常呂小）湧網線乗車（国鉄湧網線廃止記念）（常呂小百年史）
		3月13日	（日吉小）全校生さよなら湧網線体験乗車（日吉小80年史）
		3月19日	国鉄湧網線さよなら臨時列車「湧網号」運行、常呂着11:18、常呂発11:20 5両編成ジーゼル車（広報ところ）
		3月20日	湧網線代替バス始発式。（網走～中湧別を運行）
		3月21日	第4回ところ町民舞台「海、その愛、ふるさとおまえは」公演
		3月30日	「史跡常呂遺跡保存仮計画」（常呂町教育委員会）発行
		3月31日	ところ文庫3「常呂町・岐阜のあゆみ」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月	常呂漁業協同組合婦人部30周年記念式典（常呂漁協40年誌）
		4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数16名（川沿小百年史）
		4月1日	（常呂幼稚園）3学級編成）3. 4. 5歳児各1学級編成） （平成14年幼稚園経営）
		4月15日	第39回通常総会（農協50年史） 役員選挙規程を改正し無投票当選制とする（農協50年史）
		4月17日	常呂町農業青色申告会発足、初代会長に小野寺俊幸を選出 （農協50年史）
		4月26日	常呂町議会議員選挙（18名選出）
		5月3日	旧常呂駅で廃止された湧網線のレールを使ってトロッコレース開催。
		5月14日	米国アラスカ州からホタテ養殖技術研修生2名来町（～8月中旬）
		6月12日	第1回常呂町老人クラブ会長会議開催：役場 （常呂町老人クラブ50周年記念誌）
		6月19日	（日吉小）登山遠足（藻琴山）（日吉小80年史）
		6月20日	バーヘッド町開基60周年式典の招待を受け、お祝いのメッセージを送る

	(常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない)
6月23日	(常呂高校) 改築第2期工事着工、改築外構工事着工 (常呂高校40年史)
6月28日	第27回町民運動会19チーム参加 栄浦優勝、2位共立、3位富丘 町内対抗リレー 女/弁天 男/富丘 綱引き:栄浦 (広報ところ *開催回数誤記載)
6月29日	(常呂高校) 第2期工事着工に伴い、1年生が教室移動。B組は図書室、 A組は教室不足のため、校長室・事務室を改造し、HR教室として使用 (常呂高校40年史)
7月14日	(老人クラブ連合会) 老人クラブ連合会交歓ゲートボール大会開始 (常呂町老連40年誌)
7月19日	第5回農業ふれあい祭り開催(農協50年史)
7月24日	(常呂高校) 柔剣道場ひき家工事着工(常呂高校40年史)
7月30日	常呂町農業協同組合バラ麦出荷保管施設(サイロ4基)完成。 麦乾工場能力アップ食用馬鈴薯選別機械施設、製品保管庫、 青果物保管予冷库完成(農協50年史)
8月23日	常呂ライオンズクラブ20周年記念式典:スポーツセンター ・多目的センター(常呂町開基100周年記念交通安全記念塔2基寄贈・ グランドピアノ寄贈)(常呂ライオンズクラブ認証40周年記念誌)
9月1日	第44回国民体育大会常呂町実行委員会設立総会:役場会議室(議会だより)
9月8日	山形師範の援農学生42年ぶり来町、受入農家と感激の再会 (農協50年史)
9月21日	(日吉小) 常呂町子ども会ソフトボール大会優勝記念文集発行 (日吉小80年史)
9月30日	初代町長小林千代松翁逝去。(於大阪)
10月9日	町営野球場に隣接して芝生のゲートボール場完成、オープン式(広報ところ)
10月16日	(川沿小) 常呂町複式教育研究大会開催(川沿小百年史)
10月	富丘小学校に足形の塔完成(富丘小50周年記念誌)
11月5日	(青年の家) 木炭焼き窯完成(かき島青年の家道立移管記念誌)
11月10日	(常呂高校) 改築外構工事完成(常呂高校40年史)
11月20日	(常呂高校) 柔剣道場ひき家工事完成(常呂高校40年史)
11月20日	常呂町が自治大臣表彰
11月25日	福山小学校飼育池でカラフトマス受精卵飼育開始(福山小学校学事報告)
11月	光橋(隈川:日吉さけますふ化場先)竣工
11月	高知県佐川町で第1回「鮭・酒まつり」「常呂町物産展」開催
12月11日	(常呂高校) 全HR教室の新校舎への移動完了(常呂高校40年史)
12月18日	(福山小) 衛星放送受像機設置(福山小休校記念誌)
12月21日	(常呂高校) 改築第2期工事完成(常呂高校40年史)
12月23日	佐藤茂則氏がカーリング場視察のためカナダ訪問。バーヘッド町に立ち寄り 歓迎を受ける(常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない)
12月31日	常呂町農業協同組合豊川事業所閉鎖(農協50年史)
12月	岐阜8号橋(ライトコロ川:岐阜西5線8号付近)竣工
12月	5号橋(ライトコロ川:岐阜小松水産入口)竣工
昭和62年	漁協年金友の会発足(常呂漁協40年誌)
	朝日橋通行禁止(広報ところ)
	大正11年12月、富丘地区内に設置した半鐘を富丘小学校敷地内に2カ所 設置(富丘百年史)*現在は、富丘コミュニティセンター北側隅に設置
	ほたて稚貝放流264,500千粒(常呂漁協40年誌)
	両集団にコンバインが増車される(共立百年史)
	生活改善運動始まる(富丘百年史)

昭和63年	1988	1月7日	国内初の室内カーリングホール完成（昭和62年7月着工）
		1月12日	カーリングホール利用開始（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月29日	カーリングホール落成記念式典（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月下	旧国鉄湧網線常呂川鉄橋撤去開始（秋まで）（広報ところ）
		1月29-31日	第7回北海道カーリング選手権大会常呂町カーリングホールで開催 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月29日	（常呂小）カナダ公使夫妻来校（常呂小百年史）
		2月13日	50年間住民に親しまれた旧常呂駅舎解体
		2月14日	池知正勝氏が、カルガリーオリンピック視察の折りにバーヘッド町を訪問。 歓迎を受ける（常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない）
		2月22日	第1回ドローショット・カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月24日	常呂町4Hクラブ創立20周年記念式典：町民センター （常呂町4Hクラブ創立40周年記念誌）
		2月	北見地区農協青年部活動実績発表大会で最優秀賞を受賞。 （常呂町農協青年部50周年記念誌）
		3月1日	斜里地区の農業共済組合が広域合併し「斜網地区農業共済組合」として 発足する（農協50年史）
		3月4日	（川沿小）親子陶芸教室（川沿小百年史）
		3月19日	第5回ところ町民舞台「流氷の来る街」公演：多目的研修センター
		3月25日	「TK67遺跡 北海道営畑地帯総合土地改良に伴う発掘調査報告書」 （常呂町教育委員会）発行
		3月27日	常呂町子ども会育成連合会主催の第1回ジュニアカーリング大会開催 町内各区から10チーム参加：優勝フォーミーズ（北進町） 2位弁天・豊浜連合 3位南町（町民センターだより）
		3月31日	（青年の家）研修生 延べ21,187人（かき島青年の家道立移管記念誌）
		3月	常呂救難所創立20周年記念式典（北見市）（常呂漁協40年誌）
		3月	樺太アイストンコリ製作教室（かしわ寮）指導：金谷栄二郎 （ところの社会教育）
		3月	小学校三・四年社会科副読本「ところ」（常呂町教育委員会）発行 （年表・鳥瞰図・用語解説付き）
		3月31日	ところ文庫4「常呂町の花と鳥」発行（常呂町郷土研究同好会）
		4月1日	旧常呂駅跡に交通ターミナルがオープン。（昭和62年9月21日着工）
		4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数20名（川沿小百年史）
		4月1日	常呂ギフトボンドスタンプ会が常呂小学校にアップライトピアノ1台寄贈 （広報ところ）
		4月3日	常呂吟詠会20周年記念大会（「にいばり30」）
		4月14日	（日吉小）開校80周年記念事業協賛会設立総会（日吉小80年史）
		4月21日	向井組合長退任し、第8代組合長に久世篤史が就任（農協50年史）
		4月21日	専門委員会制度改正（4専門委員会を管理部門専門委員会、生産部門専門 委員会の2専門委員会とする。）（農協50年史）
		4月	手工芸の館がカーリングポット販売開始（広報ところ）
		5月10日	常呂漁協婦人部が北海道漁協婦人部連絡協議会創立30周年記念事業として ワッカ地区にトドマツを記念植樹（広報ところ）
		5月11日	横路知事が「ふるさと訪問」で来町、のぞみの園視察。
		5月15日	町営野球場完成（昭和61年着工）、落成記念式典。 *オープンセレモニー、始球式、記念試合、記念植樹
		5月26～28	（老人クラブ連合会）常呂町老人クラブ連合会指導者研修会開始 （宇登呂、45名参加）（常呂町老連40年誌）
		6月4日	バーヘッド町から友好ネームプレートが贈呈される

	(常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹町盟約調印5周年記念訪問団記録集)
6月14日	(福山小) プール屋根改修工事完了 (福山小休校記念誌)
6月21日	(常呂高校) 改築第3期工事着工 (常呂高校40年史)
6月22日	常呂町農協・常呂漁協協同給油所国道常呂バイパス沿に移転新設、開所式 (常呂漁協40年誌)
6月24日	(日吉小) 登山遠足 (幌岩山) (日吉小80年史)
6月26日	第28回町民運動会19チーム参加 岐阜優勝、2位富丘、3位共立 *ふるさとリレーの競技名あり (広報ところ)
6月	商工会、商店街診断を実施
6月	浜佐呂間荷捌所完成 (常呂漁協40年誌)
6月-7月	権太アイヌ文化聞き取り調査 (最終年度) 故金谷フサさんから聞き取った 権太アイヌの風俗・習慣：言語等の資料整理。調査者：萩中美枝 (ところの社会教育)
7月3日	(常呂高校) サロマ湖100キロマラソン大会の援助活動を行う (常呂高校40年史)
7月12日	常呂町百合根振興会設立、初代会長に岡部生弥選出 (農協50年史)
7月17日	イワケシュ友の会がハイジの丘にログハウス建設・落成 (広報ところ)
7月19日	(川沿小) 親子レク (藻琴山登山) (川沿小百年史)
7月20日	常呂町遺族会創立40周年記念誌発行
7月22日	農漁協共同給油所、国道238号線沿いに新築移転 (常呂町農協50年史)
7月25日	バラ麦保管出荷施設 (サイロ2基) 完成 (農協50年史)
8月22-25日	小学校5年生の教科書掲載の「サロマ湖の変化」の学習のため、千葉県 松戸市新松戸南小児童30人がサロマ湖栄浦・旧サロマ湖口跡石碑訪問 (広報ところ)
8月	(常呂救難所) 全道救難所総合練習大会で準優勝 (網走市) (常呂漁協創立50周年記念誌)
9月21日	富丘老人クラブ20周年記念祝賀会開催 (富丘高齢者コミセン) 会長森沢立男、会員数51名、功労者6任意感謝状贈呈富丘百年史)
9月22日	(常呂高校) 強歩大会に代わり第1回常高流氷ロードレースが実施 される。(常呂高校40年史)
9月	青年部による秋祭開催 (富丘百年史)
10月4日	常呂川河口遺跡発掘調査開始。(以後平成14年10月まで毎年継続調査)
10月13日	栄浦大橋渡橋式・竣工式典：栄浦 (昭和57年着工) (議会だより)
10月30日	常呂高等学校新校舎落成 (昭和61年5月30日第1期工事着工) 並びに 創立40周年記念式典挙行。 北海道常呂高等学校「40年史」発行
10月31日	暴風雨により、住宅一部損壊9件16世帯、水産施設11件、定置網9件 (3億4816万円)、役場庁舎屋上棚破損 (新北見市史)
10月	消防第4分団に小型ポンプ付積載車配置 (常呂消防団100年記念誌)
11/5-3/26	毎週土日初心向けカーリング教室開催 (無料・指導者付き) 土/18:00-19:00 日/13:00-14:00 455人利用 (社会教育事業報告)
11月6日	高知県佐川町と姉妹町盟約調印式：於佐川町 (広報ところ)
11月21日	日吉小学校校長住宅新築完成 (日吉小学事報告)
11月23日	ウォーリー・ウースリアック氏指導のカーリング実技講習会開催 会場：カーリングホール、42人参加 (広報ところ・社会教育事業報告)
11月	漁業関係永年勤続者表彰式 (常呂漁協40年誌)
12月5日	道内3行 (北海道銀行、北洋銀行、札幌銀行) とオンライン業務提携により ATM、CDの相互利用が開始される (農協50年史)
12月7日	農協青年部が全道農協青年部活動実績発表大会で最優秀賞を受賞 (農協50年史)

		12月7日	福山小学校でさけます学習授業公開（福山小学校学事報告）
		12月9日	北海道新聞が福山小学校のカラフトマス稚魚取材（福山小学校学事報告）
		12月8-9日	第1回北海道シニア・カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		12月27日	常呂消防団第4分団（豊川・福山・富丘・川沿）詰所新築落成式
		12月	9号橋（ライトコロ川：岐阜西4線9号付近）竣工
		12月	（常呂漁協）漁業用作業準備休養施設（ホタテ乗組員宿舎）建設 （常呂漁協創立50周年記念誌）
		12月	共立駅舎跡地に共立ミニ会館が建設される（共立百年史） 平成元年1月7日にミニ会館で共立老人クラブの新年会、以後例会に使用
昭和63年			サロマ湖に流水流入。養殖施設被害なし。（常呂漁協40年誌） 常呂町農協豊川支所が廃止、豊川区民総出の豊川支所を偲ぶ会開催 （豊川区開基百年誌）
			豊作（岐阜百年記念史） 共立の商店が1戸に減少する（共立百年史）
平成元年	1989	1月20日	「改訂 小学国語 5上」（教育出版）発行（「サロマ湖の変化」現湖口の成り立ち解説所収）
		1月23日	HBCが福山小学校のカラフトマス稚魚取材（福山小学校学事報告）
		1月24日	（日吉小）僻地4校合同スケート教室開催（日吉小80年史）
		2月10日	（日吉小）姉妹町佐川町との交流会参加（日吉小80年史）
		2月11日	（常呂小）佐川町姉妹締結団・児童交流会（常呂小百年史）
		2月11日	第1回佐川町長杯カーリング大会（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月12日	常呂町で高知県佐川町と姉妹町盟約調印式（広報ところ） 常呂町で第1回佐川町物産展開催
		2月8-12日	第8回北海道カーリング選手権大会（札幌）イワケシュアトムズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月17日	常呂町農協青年部豊川支部が豊川公民館建設資金に百万円寄付 （広報ところ）
		2月19-21日	「第44回はまなす国体」冬季大会デモンストレーション行事カーリング競技会 常呂選抜（ブルーゲイル）優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月28日	（青年の家）かき島青年の家宿泊棟改築施工 （かき島青年の家道立移管記念誌）
		2月	金融機関が完全週休2日制となり、毎週土曜日が休業となる。 （農協50年史）
		2月	農畜産物の取扱高は53億6,800万円と過去最高を記録。 （農協50年史）
		2月-3月	権太アイヌトンコリ製作教室（かしわ寮）指導：金谷栄二郎 （ところの社会教育）
		3月3日	常呂町婦人団体連絡協議会創立30周年記念式典 記念事業（歴代会長表彰・功労者に記念品・記念誌発行・記念植樹） （常婦協三十周年誌）
		3月4日	錦水小中学校卒業生の同窓会を開催、札幌錦水会発足（広報ところ）
		3月4日	（川沿小）うどん作り体験学習（川沿小百年史）
		3月10日	旧岐阜尋常小学校卒業生の同窓会を岐阜集落センターで開催（広報ところ）
		3月11日	常呂漁協の帆立乗組員休養施設落成（常呂漁協発祥百周年誌）
		3月9-11日	第10回NHK杯カーリング選手権大会を衛星放送で初の中継 （NHK・北見の放送五十年）

3月10-12日	第6回日本カーリング選手権（札幌）で、男子（イワケシュアトムズ）優勝 女子（パーソンズ）2位（広報ところ4月号）
3月20日	『常呂町百年史』刊行
3月25日	第6回ところ町民舞台「海に生きる」公演：多目的研修センター
3月25日	岐阜老人クラブ25周年記念式典・祝賀会を岐阜集落センターで開催 (岐阜老人クラブ50周年誌)
3月31日	ところ文庫5「権太アイヌの板舟」（常呂町郷土研究同好会）
3月	サロマ湖内に流氷流入、緊急流氷対策、乗組員全員出動3日間滞在し、 沖に去る（常呂漁協創立50周年記念誌）
3月	常呂漁協が置戸町森林組合に加入（常呂漁協発祥百周年誌）
4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数20名（川沿小百年史）
4月18日	東京周辺在住の錦水小出身者の「錦水会」有志から錦水小に吉野桜・八重桜 50本寄贈、植樹（広報ところ）
4月30日	合理化により農協デパート閉店。（佐呂間町吉野商店へ売却） (農協50年史)
5月8日	かき島青年の家宿泊棟完成（広報ところ）
5月下	米国アラスカ州から2名、南米ペルーから1名ホタテ養殖技術研修生来町。 (~9月末)
6月1日	前浜海水浴場施設（トイレ・更衣室・シャワー）完成（広報ところ）
6月2日	N T T 静止画テレビ電話による常呂町と佐川町姉妹町の記念通話
6月11日	常呂町長選挙、斎藤秀信町長3選（広報ところ）
6月15日	（日吉小）開校80周年記念運動会（協賛会）（日吉小80年史）
6月17日	イワケシュ友の会がハイジの丘に歩道・案内板・駐車場整備、散策路が 完成（広報ところ）
6月25日	（日吉小）開校80周年記念登山遠足（仁頃山）（日吉小80年史）
6月25日	第29回町民運動会19チーム（町民センター）（広報ところ） 子どもたちの空手演舞あり 優勝栄浦 2位共立 3位岐阜 4位豊川 5位土佐 6位福山（広報ネガフィルムに記録あり）
6月29日	大雨により農作物875ha冠水、被害額564万円（新北見市史）
7月1日	交通ターミナル西側に客車を利用した無料宿泊所「とまってけや」オープン (広報ところ)
7月9日	常呂町空手道協会10周年記念大会開催：スポーツセンター（広報ところ）
7月10日	（日吉小）特別教室取り壊し（日吉小80年史）
7月16日	第6回農業ふれあい祭り開催（農協50年史）
7月27-30日	常呂町から姉妹町の佐川町へ第1回の常呂町児童・生徒が3泊4日で訪問
8月18日	常呂町商店街診断の勧告書報告会実施（広報ところ）
8月24日	富丘小学校プール落成（富丘百年史）
8月25日	常呂町農業協同組合多目的青果物集出荷貯蔵施設完成。 (冷蔵倉庫2室、1,311㎡)（農協50年史）
8月	栄浦対岸に新增養殖作業保管施設建設 常呂漁協オンライン稼働開始（常呂漁協創立50周年記念誌）
8月	常呂漁業協同組合から消防ポンプ自動車の寄贈受け、第2分団に配置 (常呂消防団100年記念誌)
8月-11月	常呂町中央公民館内部改修工事
9月8日	（常呂小）はまなす国体炬火リレー参加（6年生）（常呂小百年史） （川沿小）はまなす国体炬火リレー参加（川沿小百年史） （日吉小）はまなす国体炬火リレー参加（日吉小80年史）
9月10日	第1回野菜即売会（農協50年史）
9月14日	（川沿小）校内マラソン大会、収穫祭（川沿小百年史）
9月22日	胆振管内白老町で開催された「第1回北方民族フェスティバル」に

	常呂町樺太アイヌ文化保存会参加。(樺太アイヌ古式舞踊・トンコリ演奏)
9月25日	(日吉小)校舎航空写真撮影(日吉小80年史)
9月28日	(日吉小)開校80周年記念複式教育研究会開催(日吉小80年史)
9月	(常呂漁協)組合創立40周年記念事業として常呂町に消防車寄贈 栄浦第2分団に配備(常呂漁協創立50周年記念誌)
10月1日	常呂蛙声会70周年記念、第13回道民芸術祭文芸部門斜網地区俳句大会 (「にいばり30」)
10月11日	常呂漁業協同組合信用部独立金融店舗「マリンバンク常呂漁協」がオープン。 *8/21から全道貯金オンライン稼働開始 常呂漁業協同組合創立40周年記念・マリンバンク常呂漁協落成式・ 帆立操業モデル船進水・新養殖作業保管施設落成記念式典開催 式典:多目的研修センター 祝賀会:スポーツセンター(常呂漁協40年誌) *旧常呂漁協信用部は「本通会館」として使用
10月11日	「常呂漁業協同組合40年誌」発行(常呂漁業協同組合)
10月25日	(のぞみの園)第1期大規模改修工事完成 暖房(温水ボイラー)外装(外壁・サッシ・屋根) (のぞみの園開園20周年記念誌)
10月31日	常呂農協利用者年金友の会設立、初代会長に森田重晴選出 (会員数115名)(農協50年史)
10月	(常呂漁協)ほたて操業モデル船第83ところ丸進水 (常呂漁協創立50周年記念誌)
11月7日	(日吉小)特別教室完成:多目的スペース(日吉小80年史)
11月13日	常呂小学校は11月から授業にカーリングを取り入れて、4年生以上が 2回に分けて、カーリング協会員が指導(広報ところ)
11月19日	(日吉小)開校80周年記念学芸会(日吉小80年史)
11月24日	日吉小学校開校80周年記念碑「不撓不屈」建立・除幕式(学事報告)
11月26日	常呂町空手道協会「桜基塾」道場開き:湊章 (常呂町空手道協会11年の歩み)
11月	常呂小学校で体育授業にカーリングを取り入れる(広報ところ)
11月	町立サケ・マスふ化場が社団法人北見管内さけます増殖事業協会に移管。
12月3日	日吉小学校開校80周年記念式典・祝賀会を盛大に挙行(260余名参加) (日吉小80年史)
12月5日	(青年の家)かき島青年の家大規模改造施工(厨房増築・管理研修棟等) (かき島青年の家道立移管記念誌)
12月5-16日	カーリング世界選手権予選会(スイス)にイワケシュアトムズ出場 (5勝2敗)(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
12月10日	豊川地区に豊川地域農村環境改善センターが完成、落成式(広報ところ)
12月15日	(青年の家)かき島青年の家外構施工(集いの広場・アスファルト舗装等) (かき島青年の家道立移管記念誌)
12月19日	川沿保育所開設30周年記念式典・祝賀会(豊川地域農村環境改善センター) 『川沿保育所開設30周年記念誌 くるみ』発行
12月25日	(青年の家)かき島青年の家内部改装施工 (かき島青年の家道立移管記念誌)
12月	滝沢始、旧吉野小学校校舎を購入し「昆虫の家」を開設。
12月	隈川橋(隈川:日吉吉野道路標識先)竣工
12月	川沿保育所開所30周年、年度の閉所式に合わせて記念式典挙行 *PTAの労働奉仕で園庭に遊動園木設置(豊川区開基百年誌)
12月	「ワッカ地区植生環境調査報告書」発刊(常呂町)
12月	常呂町産業振興公社10周年記念式典(常呂漁協創立50周年記念誌)
12月	ライトコロ川12号橋(富丘12号)竣工

平成元年		12月	北海道開発建設部が常呂川3号樋門（南町）付近の堤防上に「排水溝逆水門跡碑」を建立。
			ゲートボール場が造られる（共立百年史）
			加藤木工場が廃止される（共立百年史）
			旧湧網線の鉄道レール・枕木撤去される（富丘百年史） （川沿小）第11代PTA会長尾角隆良氏よりオンコの学校案内板寄贈される（川沿小百年史）
平成2年	1990	1月3日	道の青少年生活体験推進事業「フロンティア・アドベンチャー」（10泊11日）栄浦で開催。
		1月20-21日	斎藤町長が青年海外研修生5人とともにバーヘッド町を友好訪問し、調印と今後の交流について打合せを行う *青年海外派遣事業は平成3年まで継続（常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない）
		1月9日	（川沿小）書き初大会（川沿小百年史）
		2月3日	（川沿小）姉妹町佐川町児童との交流会（川沿小百年史）
		2月10日	（のぞみの園）デイ・サービス・センター工事完成
		2月15日	常呂町立日吉小学校開校80周年記念誌「山なみ川なみ」発行（日吉小学校開校80周年記念事業協賛会）
		2月16-19日	第9回北海道カーリング選手権（常呂町）男子（ブルーゲイル）優勝 女子（ポパイ&オリーブ）優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月23日	（福山小）網走管内教育実践表彰受賞（福山小休校記念誌）
		2月	消防常呂分署に有線サイレン吹鳴完成、運用開始（常呂消防団100年記念誌）
		2月24-26日	第7回日本カーリング選手権（札幌）男子（イワケシュアトムズ）優勝 女子（シルバー名と）優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月13日	暴風雪により、農業施設被害38件、翌日まで交通不能（新北見市史）
		3月24日	第7回ところ町民舞台「囚人の詩」公演：多目的研修センター
		3月31日	ところ文庫6「常呂町郷土史話」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月31日	（常呂町婦人団体連絡協議会）「常婦協三十周年記念誌」発行
		4月1日	常呂町社会福祉協議会が法人化。
		4月1日	（川沿小）3学級編成、児童数24名（川沿小百年史） （川沿小）教員1名定員増、養護教員配置される（川沿小百年史）
		4月17日	常呂町デイ・サービスセンターがオープン（広報ところ）
		5月27日	第1回ところ日本一ホタテ祭り開催 *ホタテまつり （広報ところ 常呂漁協発祥百周年誌）
		5月	消防常呂分署に油圧救助機材配置（常呂消防団100年記念誌）
		6月10日	（川沿小）開校90周年記念運動会（川沿小百年史）
		6月11日	アルバータ州政府ラバーナ・サローム部長と女満別町で交流に関する打合せを行う（常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹盟約調印5周年記念訪問団記録集）
		6月24日	第30回町民運動会（広報ところネガ）
		7月24日	（川沿小）校内キャンプ（川沿小百年史）
		7月24日	サロマ湖への流氷流入を防ぐ第4種サロマ湖漁港の工事起工式 （広報ところ）
		7月26-27日	全国国公立幼稚園教育研究大会において常呂幼稚園の研究実践発表 （平成14年度常呂幼稚園経営）
		7月30日	日吉郵便局、郵便集配事務廃止 （オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡）
		7月	川沿保育所改築のため、富丘地区高齢者コミュニティセンターに川沿保育所を一時移転・使用（7/15～10/3）（富丘百年史・豊川区開基百年誌）
7月	サロマ湖漁港起工式（常呂漁協創立50周年記念誌）		
8月23日	東浜の国道238号で交通事故、エスピー食品陸上部員など5名死亡		

		8月25日	3名重傷。 (常呂小) 佐川町交流児童座談会 (常呂小百年史)
		8月	(常呂漁協) 栄浦対岸養殖作業保管施設2棟 (C、D) 建設 (常呂漁協創立50周年記念誌)
		9月1日	常呂消防団第3分団 (日吉) 創設50周年を記念し、歴代分団長者進額制作 除幕式開催。記念写真・懇親会。(常呂消防団日吉分団50周年記念誌)
		9月3日	(青年の家) 北海道青年の家等所長研究協議会 (かき島青年の家道立移管記念誌)
		9月10-19日	北海道・アルバータ州姉妹提携10周年記念の親善使節団に町議会議員3名 が参加。バーヘッド町を訪問し、交流する。 (常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない)
		9月	(川沿小) 開校90周年記念植樹 (川沿小百年史)
		10月1日	常呂消防団第3分団 (日吉分団) 創設50周年記念誌「風雪」発行
		10月9日	(のぞみの園) 第2期大規模改修工事 電気経路・天井張り替え・浄化槽 ・空気清浄機 (のぞみの園開園20周年記念誌)
		10月14日	第2回野菜即売会 (農協50年史)
		10月21-24日	バーヘッド町議会議員ローレンス夫妻が来町する *ホタテ加工場・手形柱見学、常呂小学校訪問・児童との給食体験 (常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない)
		11月10日	紫雲山常楽寺に鐘つき堂：鐘樓堂落慶法要・稚児行列 (常楽寺開経百年史)
		11月11日	(川沿小) 開校90周年記念学芸会 (川沿小百年史)
		11月13日	常呂小カーリング教室 (この年から各小学校でカーリング教室を実施) (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		11月17日	『常呂町母子会35周年記念誌 白百合』発刊
		11月16日	常呂漁業協同組合の「自走上架施設」が常呂漁港に完成・運用開始 (常呂漁協発祥百周年誌)
		11月20日	常呂町空手道協会「常呂町空手道協会11年の歩み」発行
		11月21日	常呂高校で中学校卒業予定者対象に初めての体験入学実施 (広報ところ)
		11月	(福山小) 児童数減少にかかる問題検討開始 (福山小休校記念誌)
		11月	川沿保育所、2教室から3教室に園舎増築 (ホール南側)、増築園舎で 保育開始 (豊川区開基百年誌)
		12月1日	川沿小学校開校90周年記念式典開催。祝賀会举行。
		12月1日	川沿小学校90年史「飛躍」発行 (常呂町立川沿小学校)
		12月3日	従来の専門委員会を廃止し常呂町営農集団長会を設置 *牛蒡個人選別出荷を廃止し、共同選別に移行 (マキ式・日量12t処理) (農協50年史)
		12月10-13日	カーリング世界チャレンジマッチ (ノルウェー) イワケシュアトムズと シルバーメイト出場 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月20日	かき島青年の家大規模改造施工 (かき島青年の家道立移管記念誌)
		12月23日	共立区総会において共立区開基100年について話し合う (共立区開基100年記念写真集)
平成2年			秋祭に子供御輿が出来る (共立百年史) 「とみおかだより」の発行責任者が横山光男になり、自主発行を継続。 平成7年3月号で100号、平成10年10月号で第123号に (富丘百年史) 「空手道 常呂町空手道協会11年の歩み」発刊
平成3年	1991	1月20日	共立区開基100年準備委員会開催 (共立区会期100年写真集)
		1月25日	(福山小) 「福山小学校を考える検討委員会」発会 (福山小休校記念誌)
		1月31日	(青年の家) 研修生 延べ314,244人

	(かき島青年の家道立移管記念誌)
1月	常呂町社会福祉協議会「社協だより」第1号発行
2月9日	(福山小)「PTA役員会」開催(福山小休校記念誌)
2月12日	常呂町文化連盟「ところ100講」開講(第1回小松光一) (「にいばり30」)
2月14-17日	第10回北海道カーリング選手権(札幌)スーパーブルーム優勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
2月15日	(福山小)「第2回検討委員会」開催(福山小休校記念誌)
2月25日	(福山小)「第3回検討委員会」開催(区・学校・PTA・児童及び幼児の親の意見集約)(福山小休校記念誌)
2月28日	「第4次常呂町社会教育中期計画(平成3年度-7年度)の答申
2月	7月にバーヘッド町からの友好親善団が常呂町を訪問する際に姉妹町調印することで両町が合意(常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない)
3月1-3日	常呂町で初の日本カーリング選手権大会(第8回)を開催する。 *常呂カーリングホール *常呂町から5チーム参加 *男子 2位ウィングス 3位イワケシアトムズ *女子 2位シルバーメイト 3位パーソンズ
3月6日	(福山小)「第4回検討委員会」開催(福山小休校記念誌)
3月21日	第8回ところ町民舞台「オホーツクの海に蜃気楼を見た」公演
3月23日	町立かき島青年の家道立移管祝賀会(青年の家食堂)。
3月24日	姉妹町高知県佐川町でところ町民舞台が「オホーツクの海に蜃気楼を見た」を公演
3月31日	ところ文庫7「常呂町の遺跡と遺物」発行(常呂町郷土研究同好会)
3月	道立移管記念誌「ところ」発行(常呂町立かき島青年の家)
4月1日	町立かき島青年の家、道立に移管し「北海道立常呂少年自然の家」へ名称変更。
4月1日	(川沿小)児童数30名、教諭1名定員増となり、単式2、複式2の4学級編成となる(川沿小百年史)
4月1日	(老人クラブ連合会)南町老人クラブ睦会設立(常呂町老連40年誌)
4月1日	(常呂幼稚園)幼小・幼保連携促進事業研究指定園(北海道教育委員会指定2ヶ年)(平成14年度常呂幼稚園経営)
4月15日	第3次常呂町農業振興計画樹立(農協50年史)
4月21日	常呂町議会議員選挙。(16名選出)
4月27日	道立常呂少年自然の家開所式(少年自然の家)(広報ところ)
4月29日	サロマ湖ワッカネイチャーセンター完成
4月29日	ワッカ地区への一般車両の乗り入れ禁止
4月	ふるさと夢事業スタート。(平成14年11月廃止)
5月1日	「龍宮花道 ワッカ原生花園ネイチャーガイド」発行(常戸町)
5月15日	常呂町民憲章委員会を常呂町民憲章推進協議会と改称。
5月16日	第1回ふるさと夢事業委員会開催。
5月	(常呂漁協)婦人部によるワッカ植林実施(常呂漁協創立50周年記念誌)
6月14日	共立区臨時総会で会期100年記念事業実施決定・共立区開基100年事業協賛会発足(共立百年史)
6月23日	第31回町民運動会 共立優勝(広報ところ)
6月	(常呂漁協)婦人部による置戸山林植林実施(常呂漁協創立50周年記念誌)
7月4日	カナダ、アルバータ州バーヘッド町のスタッチバリー長町ほか9名の友好親善団が来町し、姉妹町盟約調印をする (常呂町・バーヘッド町姉妹提携調印式ごあんない) (常呂小)カナダバーヘッド町交流団来校(常呂小百年史)
7月6-7日	第19回北海道製年祭合唱の部で常呂町青年団体協議会合唱サークルが

			金賞受賞、全国大会へ（広報ところ）
		7月22日	（川沿小）親子レクリエーション（阿寒方面）（川沿小百年史）
		8月20日	15号道路歩道期成会準備会開催（富丘百年史）
		8月20日	（日吉小）正面玄関道路の舗装（学事報告）
		8月23日	東浜で交通安全を祈願する合同慰霊碑「風奏でる」除幕式。
		8月24日	（福山小）「第5回検討委員会・拡大検討委員会」開催 （福山小休校記念誌）
		8月26日	（福山小）検討委員会文書による教育長報告（福山小休校記念誌）
		8月	（常呂漁協）栄浦対岸養殖作業保管施設2棟（C、D）建設 （常呂漁協創立50周年記念誌）
		8月	常呂町社会福祉協議会が70歳以上の独居高齢者世帯に配食サービス開始 ＊週2回、ボランティア配達（社協だより）
		9月4日	（のぞみの園）第3期大規模改修工事完成 厨房・食堂 （のぞみの園開園20周年記念誌）
		9月12日	日吉老人クラブ遊楽会と日吉小児童との第1回世代間交流会開催：日吉小 ゲートボール交流他（常呂町老人クラブ50周年記念誌）
		9月24日	（福山小）「福山小学校にかかる教育懇談会」開催（教育委員・教育長・ 管理課）（福山小休校記念誌）
		10月26日	第3回野菜即売会（農協50年史）
		10月31日	北海道共済農業協同組合連合会から常呂消防に救急自動車寄贈（広報ところ）
		10月	役場の土曜日（第2、第4）閉庁実施。
		10月	中台貞子氏から広報車の寄贈を受け、常呂分署に配置 北海道共済農業協同組合から救急車の寄贈を受け、常呂分署に配置 （常呂消防団100年記念誌）
		11月1日	（川沿小）児童数31名となり、事務職員配置となる。（川沿小百年史）
		11月9日	常呂町青年団体協議会（常青協）が第40回全国青年大会の合唱の部で 「早春」「大地讃頌」で努力賞受賞（広報ところ）
		11月12日	従来からあった馬鈴薯採取組合と更新用種馬鈴薯組合が再編により、常呂町 種馬鈴薯生産組合を設立（初代組合長林信幸）（農協50年史）
		11月18日	常呂消防女性団員10名採用（常呂消防団100年記念誌）
		11月25～	役員ブラジル農業視察実施（役員5名参加）
		11月27日	常呂町空手道協会「常呂町空手道協会91年度の活躍」発行
		11月	基線橋（常呂地区第1幹線排水路：基線6号付近）竣工
		11月	前浜海水浴場の愛称が「ところ常南ビーチ海水浴場」に決定（広報ところ）
		11月	富丘老人クラブに永年奉仕作業に対して常呂町から善行賞授与 （富丘百年史）
		12月9日	＊豊作と市況に恵まれ、農産物取扱実績58億6,000万円となり 過去最高を記録（甜菜反収6.64t、糖分18.3%、過去最高） （農協50年史）ゴボウ反100万円になる（岐阜百年記念史）
		12月22日	共立区開基100年記念の区章のデザイン・区歌の歌詞を募集開始 （共立区開基100年記念写真集）
		12月	「常呂町南町10年誌」発行。
		12月	奔隈川橋（ボン隈川橋）（ボン隈川：日吉旧花木センター交差点手前）竣工
		12月	（常呂漁協）全漁家にファクシミリ設置（常呂漁協創立50周年記念誌）
		12月	消防第1分団に小型動力ポンプ付積載車配置（常呂消防団100年記念誌）
		12月	共立開基百年の準備が始まる（共立百年史）
		12月	青年部が初めてオーストラリアへ研修旅行する（共立百年史）
平成4年	1992	1月14日	全道中学校スケート大会で、常呂町スピードスケート少年団が総合優勝 （2年連続男女総合優勝）（広報ところ）

1月14日	全道リコーダーコンテスト三重奏で、富丘小学校が金賞受賞、全国大会へ (広報ところ)
1月19日	北進町老人クラブはまなす会設立(常呂町老人クラブ50周年記念誌)
1月24日	(福山小)教育長名で『福山小学校休校措置』文書受理 (福山小休校記念誌)
1月24日	常呂町福祉バス新型車両に更新(広報ところ)
2月7日	身体障害者福祉協会常呂支部創立40周年記念式典開催。 身体障害者福祉協会網走支庁支部常呂分会「40年のあゆみ」発行。
2月13-16日	第11回北海道カーリング選手権(札幌)ウィンタークィーン優勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
2月16日	「雪んこまつりinさかわ」を佐川町総合文化センター駐車場で開催 (氷の滑り台・雪合戦・サケの輪投げ)(広報ところ)
3月1日	常呂町土作り部会設立(初代会長川崎由一)(農協50年史)
3月1-3日	第9回日本カーリング選手権(常呂)イワケシュアトムズ優勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
3月20日	第9回ところ町民舞台「秋味のうた」公演:多目的研修センター
3月21日	福山小学校休校式:休校披露並びに披露の宴実施 福山小学校休校「思い出」発行 *校舎は「風の学校」として使用
3月30日	富丘小学校、リコーダーコンテスト三重奏で全国大会金賞受賞。
3月31日	ところ文庫8「常呂町の歴史資料(1)」発行(常呂町郷土研修同好会)
3月	小学校三・四年社会科副読本「ところ」(常呂町教育委員会)発行 (A4・横書き 年表・鳥瞰図付き)
4月1日	栄浦地区漁業集落排水施設供用開始:下水道栄浦終末処理場(広報ところ)
4月1日	(川沿小)福山小学校休校に伴い、福山地区の児童3名が転入し、 4学級編成、37名となる(川沿小百年史)
4月2日	サロマ湖3町3漁協(常呂・佐呂間・湧別)が事業主体となって、サロマ湖 地域水産廃棄物処理施設(ウロ処理施設)竣工・稼働開始(東浜25-1) (常呂漁協発祥百周年誌)
5月7日	横路知事が「ふるさと訪問」で来町、常呂川河口遺跡視察。
5月30日	老朽化のため、共立橋の大規模補修工事開始(広報ところ)
5月	町に錦水保育所改築に関する要望書提出(錦水保育所開所30周年記念誌)
5月	国道238号線の基線から西1線間に架かる跨線橋(旧湧網線)の撤去工事 開始(5月中旬~11月下旬)(広報ところ)
5月	(常呂漁協)サロマ湖地域水産廃棄物処理施設落成祝賀会 (常呂漁協創立50周年記念誌)
6月1日	「手形の里基本計画」が手形の里構想審議会から答申。 (平成11年8月計画中止)
6月14日	局地的に遅霜(農協50年史)
6月26日	高德寺境内の聖徳太子碑を北見河川事務所敷地内に移転・入魂式 (聖徳太子碑70周年記念誌)
6月28日	第32回町民運動会 岐阜優勝(広報ところ)2位富丘(富丘百年史)
6月30日	常呂漁業協同組合が朝日森林文化賞(森づくり優秀賞)受賞、賞金100万円 で森林文化基金新設 7/7に小笠原組合長が宮中赤坂御所に招かれ天皇陛下に拝謁 (常呂漁協発祥百周年誌)
6月	常呂町長他9人の一般友好親善団がバーヘッド町訪問
7月3日	降ヒョウにより耕地1,800haに及ぶ大被害(農協50年史) 午後2時半頃降雹、常呂町耕地の37%、1800ha以上の農作物に被害 共立川西側では9号、川東側では7号付近で直径2~3cmのヒョウ

	(共立百年史)
7月12日	常呂町文化連盟大町桂月来町70周年記念 網走支庁管内俳句大会 (「にいばり30」)
8月1日	高德寺境内に新「聖徳太子」碑を建立、除幕式並びに70周年記念式典開催。 「聖徳太子碑70周年記念誌」発行(平成5年) 聖徳太子奉賛会
8月9-10日	台風10号の集中豪雨により常呂川増水し堤防決壊寸前(常呂町百年史) 床下浸水1戸、堤外の畑浸水と堤内の畑一部冠水被害352ha(3億3323万円) 崖崩れ3件、道路被害32ヶ所(新北見市史)
8月23日	常呂ライオンズクラブ25周年記念式典:多目的センター (常呂小吹奏楽部備品寄贈・各小学校にライオンズ文庫寄贈) (常呂ライオンズクラブ認証40周年記念誌)
8月31日	常呂町農業協同組合野菜集出荷貯蔵施設完成する。(土佐苗圃跡地) 低温倉庫・冷蔵貯蔵庫・キュアリング施設・玉ねぎ選別機 (日量100t処理マキ式)(農協50年史)
9月11日	台風17号により常呂川増水し、農作物被害。 農作物の被害面積は4,187ha、被害額は19億6,600万円。 *畑作共済金7億2,000万円支払いされる(農協50年史) *6月の低温、遅霜、ヒョウ害、2回にわたる水害により20億円の大被害となる(農協50年史) *玉葱価格暴落し玉葱121t廃棄処分を行う(農協50年史) 10日から2日間の降水量が179ミリ、常呂川をはじめ、町内各河川増水流域の圃場が水没・浸水。福山の幌内川、日吉の隈川で堤防決壊、圃場の土砂流出(共立百年史)
9月	学校、月に1回週休5日制(第2土曜日休日)を実施。
9月	常呂市街地区で特定環境保全公共下水道工事着工。
10月1日	常呂町老人クラブ長生会30周年記念誌「長生会のあゆみ」発行
10月12日	北見信用金庫常呂支店オープン(北見信金)
10月16日	(老人クラブ連合会)老人クラブ「長生会」創立30周年記念式典 (常呂町老連40年誌)
10月25日	第1回町民パークゴルフ大会が町民センターパークゴルフコースで開催 (広報ところ)
10月30日	(日吉小)飼育小屋設置(学事報告)
10月31日	姉妹町の佐川町民が来町し、高知県無形文化財の「太刀踊り」を披露
11月2日	(のぞみの園)第4期大規模改修工事完成 居室一部・トイレ・洗面所 (のぞみの園開園20周年記念誌)
11月10日	(常呂小)カーリング学習開始(常呂小百年史)
11月20日	常呂漁業協同組合が第4回全国漁業協同組合大会で、農林水産大臣賞を受賞
11月20日	「聞き書 アイヌの食事」(農山漁村文化協会)出版 同書内に、萩中美枝「樺太地方・金谷フサさんの暮らしと食べもの」所収 (樺太西海岸の暮らしとまつり、いろいろな保存食の用意、樺太西海岸の料理:写真付き作り方紹介)
11月23日	休校した福山小学校で『夢の里福山ものがたり』(福山小学校の児童が8年間作り続けた版画カレンダーを1冊の本に)出版記念祝賀会。 (福山小版画カレンダーを記録する会)
11月26日	長野冬季五輪(長野冬季オリンピック)組織委員会が実行委員会・組織委員会を開催、男女カーリングを正式種目として承認(北海道新聞)
11月	(常呂漁協)冷凍加工部管理棟建設(常呂漁協創立50周年記念誌)
12月5日	(日吉小)新教頭住宅完成(学事報告)

平成4年		12月	入植100年記念準備委員会発足（岐阜百年記念史）
		12月	東浜地区多目的集会施設駐車場近くに「馬頭観世音菩薩」を移転。木柱だった「地神」を「地神祭」の石碑として建立。
		12月	篠田歯科診療所閉院（本通り）（広報ところ）
			常呂ライオンズクラブから常呂小学校吹奏楽部に制服代（55万円）寄付（常呂小学校学事報告） 雹害にあたり共立神社の屋根葺き替えを行う（共立百年史） 平成4年は100年に一度あるかないかの災害に見舞われた年。降雹、台風10号、台風17号、相次ぐ災害と日照不足、長雨（共立百年史）
平成5年	1993	1月14日	学校給食センターの給食配送車が新車両に更新、車体イラストは畑中弘美（広報ところ）
		1月	町民海外派遣事業で町民4人がバーヘッド町訪問
		2月9日	全国中学校スケート大会（山形市）で、竹村嘉敏が5位に入賞する。
		2月11-14日	第12回北海道カーリング選手権（常呂）男子イワケシュアトムズ優勝 女子パーソンズ優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月14日	共立区歌歌詞を中島正道氏の作品に決定（共立区開基100年記念写真集） 共立区歌「拓けし大地」作詞：中島正道 作曲：渡邊時安
		2月16日	（川沿小）スキー学習（端野メビウス）（川沿小百年史）
		2月17日	共立橋完成、渡橋式（平成4年5月30日着工） *議長他出席（ところ町議会だより）
		2月24日	福山栄福橋（旧福山小近く）完成、渡橋式 *全議員出席（ところ町議会だより）
		2月25日	（川沿小）PTA陶芸教室（川沿小百年史）
		2月26-28日	第10回日本カーリング選手権（帯広）イワケシュアトムズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月	（常呂漁協）冷凍冷蔵施設建設（常呂漁協創立50周年記念誌）
		3月3日	全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会で、常呂漁業協同組合青年部が水産庁長官賞と全国漁連会長賞を受賞。
		3月20日	「第2回カナダスクール」と「第3回市町村カナミット」を開催
		3月31日	ところ文庫9「常呂町の古記録（1）」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月	錦水保育所増改築工事計画が議会で可決（錦水保育所開所30周年記念誌）
		4月1日	（川沿小）4学級編、児童数44名（川沿小百年史）
		4月	錦水保育所増改築記念事業協賛会発足（錦水保育所開所30周年記念誌）
		4月	多目的研修センターと公民館で行う結婚式の会費が、新生活運動に即して3,000円から3,900円に改訂（社会教育委員の会議）（広報ところ）
		4月	常呂町青年団体連絡協議会合唱サークルが、道立常呂少年自然の家の所歌を録音、テープを寄贈（常青協）（広報ところ）
		4月	共立区の区章デザインを平田和史氏（常呂中教諭）、区歌作曲を渡邊時安氏に依頼（共立百年史）
		5月5-11日	役員アメリカ西海岸農業視察実施（役員5名参加）（農協50年史）
		5月13日	ワッカ原生花園で植生維持回復を目的に火入れが行われる。
		5月14日	常呂町長芋種子生産組合設立（初代組合長坂口久幸）（農協50年史）
		5月16日	常呂町開基110年記念植樹：常呂町商工会が佐川町から贈られた桜10本（ソメイヨシノ、陽光、センダイヤザクラ）とヤマザクラの苗を弁天公園に植樹（広報ところ）*現かもめ保育所敷地
		6月10日	価格低迷と低収量のためアスパラ耕作組合解散（農協50年史）
		6月13日	常呂町長選挙、井上和夫初当選。
		6月	岐阜県伊自良中学校修学旅行研修訪問（第1回）（岐阜百年記念史）
		7月4日	第33回町民運動会 福山優勝（広報ところ）

		7月18日	ところ遺跡の森に「ところ遺跡の館」が完成。
		7月30日	(常呂小) 佐川町交流団出発 (常呂小百年史)
		7月	開進町会館落成：135㎡ (旧開進町子ども会館跡) (広報ところ)
		7月	岐阜地区運営委員会において仮保育所の許可を得、全父兄協力の下引っ越し完成までの3ヶ月間、岐阜集落センターで運営) 増改築工事の開始 (錦水保育所開所30周年記念誌)
		7月	(常呂漁協) 監視船「いわけし」進水式：函館 (常呂漁協創立50周年記念誌)
		8月1日	「街道をゆく三十八 オホーツク街道」(司馬遼太郎) 発刊 (「アイヌ語という川」の章で、服部四郎、藤山ハル、大西信武に触れている)
		8月25日	老人クラブ「すえひろクラブ」結成 (すえひろクラブ10年のあゆみ)
		8月	中央児童公園のNHKテレビ電波受信・送信施設 (常呂テレビジョン) の建て替え (広報ところ) * 工事に伴う小高神社写り込みの写真あり
		8月	ワッカ原生花園の花の聖水ワッカの水を開放 周辺に「東京ところ会」の寄付金で休憩用のあずま屋整備 (広報ところ)
		9月1日	(常呂小) 作陶教室開始 (常呂小百年史)
		9月11日	野球教室(王貞治) 開催。
		10月30日	第4回野菜即売会 (農協50年史)
		10月30日	常呂高校吹奏楽部第1回定期演奏会 (多目的研修センター) 観客250人 (広報ところ)
		10月	中央児童公園内の相馬妙見小高神社の御神体を小高神社に返還し、 「相馬妙見小高神社跡」の木柱を建立
		10月	(常呂漁協) EC視察団が帆立加工場視察 (常呂漁協創立50周年記念誌)
		11月7日	常呂漁業協同組合が第13回全国豊かな海づくり大会で、農林水産大臣賞を受賞
		11月9日	川沿小学校多目的教室 (なかよしホール) 使用開始する 「こけらおとし」町民奇席・橋家舛蔵の公演 (川沿小百年史)
		11月12-14日	パシフィック選手権国内選考会 (イワケシュアトムズ代表辞退) ジュニア代表 (男子シューティングスター、女子ホワイトエンジェル) (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		11月14日	全国青年大会 (東京都) の合唱コンクールで、常呂町青年団体連絡協議会の合唱サークルが優秀賞を獲得 (常青協)
		11月13日	第10回ところ町民舞台「川は語る我が郷土ところを」公演 * 常呂町開基110年記念：多目的研修センター
		11月	高知県佐川町で姉妹町調印5周年記念式典及び祝賀会・記念絵はがき発行 (常呂町・佐川町姉妹町調印5周年記念「絆はいま…」)
		11月	錦水保育所増改築工事完了、新保育所完成。
		11月	(常呂漁協) 冷凍加工部直売店開店 (常呂漁協創立50周年記念誌)
		12月10日	日吉1号橋完成。
		12月	『錦水保育所開所30周年記念・増築改修事業記念誌』発行 (錦水保育所30周年記念誌)
平成5年			川東地区の排水三面側溝がほぼ完成になる (共立百年史) 川西コンバイン組合が4台体制となる (共立百年史) 常呂漁協と佐呂間漁協共有の帆立監視船 (救助艇) 「いわけし」建造 (常呂漁協発祥百周年誌) 日吉保育所・錦水保育所が通年保育制に (豊川区開基百年誌) 冷害により小豆が7万円台になる (共立百年史) 15号道路歩道期成会設立 (富丘百年史)
平成6年	1994	1月5日	国際交流事業として常呂高校生7名を姉妹都市カナダ・アルバータ州

	バーヘッド町へ派遣。(～16日)
1月	常呂町とカナダ・バーヘッド町との「国際交流派遣事業」開始。常呂高校生徒が毎年参加(常呂高校学校要覧)*要覧には「平成5年1月」と記載
1月8日	サロマ湖養殖漁業協同組合で漁業管理船「みちしお8号」建造。
1月14-16日	第1回北海道ジュニアカーリング選手権(常呂)男子シューティングスター優勝、女子ホワイトエンジェル優勝(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
1月18-19日	第1回組合員研修、温根湯(参加者男性134名)(農協50年史)
1月25日	養豚飼養農家減少のため常呂町養豚振興会解散。
1月28日	錦水保育所開所30周年・増築改修記念式典挙行：錦水保育所 (記念式典しおり)
1月	土佐橋(常呂地区第1幹線排水路：道道北見常呂線)竣工
2月6日	常呂町で高知県佐川町との姉妹都市調印5周年記念式典挙行(広報ところ)
2月6日	日吉地区で初めての祭典「寒寒祭(かんかんまつり)開催(日吉小校庭) 人間カーリング・冬の花火
2月10-13日	第13回北海道カーリング選手権(常呂)パーソンズ優勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
2月19日	札幌日吉会開催(札幌市・居酒屋富士)
2月23日	常呂漁業協同組合製氷貯蔵施設及び製品保管施設が完成。
2月25日	ところ文庫10「常呂町歴史散歩」発行(常呂町郷土研究同好会)
3月1日	常呂町文化連盟30周年記念 機関誌「新墾(にいばり)30」発行
3月10-12日	JOCジュニアカーリング・オリンピックカップ(相模原市) 男子アイスマン、女子シムソンズ優勝(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
3月14日	北海道主催の「農村に生きる女性をテーマにした作文コンクール」で 小林美紀子(川沿小)の「農業とお母さん」が優秀賞(広報ところ)
3月19-21日	第11回日本カーリング選手権(軽井沢)男子イワケシユアトムズ優勝 女子パーソンズ優勝(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
3月15日	北海道カーリング協会設立10周年記念誌「カーリングのあゆみ」発刊 (北海道カーリング協会)
3月25日	「ところ遺跡の森整備事業報告書 史跡等活用特別事業」 (常呂町教育委員会)発行
3月26日	第11回ところ町民舞台「兄ちゃんの帰省」公演：多目的研修センター
3月	常呂町立特別養護老人ホーム「のぞみの園」 開園20周年記念誌「ひとむれ」発刊
3月	「常呂町における馬鈴しょそうか病対策の取り組み」(報告書)発刊 (常呂町農業振興協議会)
3月	(常呂漁協)製氷貯水施設建設(常呂漁協創立50周年記念誌)
3月	(常呂漁協)製品保管庫建設(常呂漁協創立50周年記念誌)
4月1日	(川沿小)4学級編成、児童数46名(川沿小百年史)
4月2日	役場、完全週休2日制実施。
4月2-9日	カーリング世界ジュニア選手権(ブルガリア) 男子シューティングスター9位、女子ホワイトエンジェル8位 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
4月7日	福山地区に常呂町自給肥料供給センター「福山夢里工房」が完成、供用開始。 (平成5年7月着工)
4月17日	共立区内に共立区開基100年の啓蒙立て看板2ヶ所設置(共立百年史)
4月27日	横路知事が「ふるさと訪問」で来町、福山夢里工房・漁協冷凍庫視察。
4月29日	常呂高校スプリングコンサート(百年広場)部員18人、5曲披露 (広報ところ)
4月	消防団条例を改正し、常呂消防団の定員を115名とする (常呂消防団100年記念誌)

5月12日	さよなら常呂小学校体育館記念映画会「学校」上映会（広報ところ） *6月から解体工事
5月	（常呂漁協）UC視察団加工場視察（常呂漁協創立50周年記念誌）
6月8日	（日吉小）プール鉄骨塗り替え（学事報告）
6月11日	土佐区開基100年を迎え記念事業で「郷土遊覧飛行」が行われた。
6月12日	土佐区開基100年記念式典、「開拓記念碑」除幕式。 土佐地区開基80周年記念碑の上部を「開拓記念碑」に変え、碑文を追加。
6月26日	「サロマ湖100キロマラソン」が世界ウルトラランナーズ協会（ICA） 公認の「ワールドチャレンジカップ」として開催。
6月	岐阜県伊自良中学校修学旅行（第2回）（岐阜百年記念史）
6月	（常呂漁協）漁協共済推進全国大会で農林水産大臣賞受賞（東京帝国劇場） （常呂漁協創立50周年記念誌）
7月3日	第34回町民運動会 岐阜・富丘同点優勝（広報ところ）
7月26日	常呂町農業協同組合がファクシミリ制度導入、農家各戸にFAX設置。 開通式及び送信開始する *営農情報システム （センター装置一式、端末機212台導入）（農協50年史）
7月	かき島太鼓19人がバーヘッド町を友好訪問し、公演を行う
7月	（常呂漁協）定置船「第3ところ丸」「第7ところ丸」進水 （常呂漁協創立50周年記念誌）
8月	上川町姉妹提携10周年記念アルバータ州使節団参加のバーヘッド町訪問団 来町
9月21-26日	台風の影響で常呂川増水。内水溢れ網走開建・網走土現に内水排除依頼。 農作物475ha冠水被害（8853万円）、波浪による定置網被害8件 （1850万円）、土木被害6件（新北見市史）
10月7日	（川沿小）第44回全国へき地教育研究大会、全道へき地複式教育研究大会 網走大会のプレ研究会を実施。（参加106名）（川沿小百年史）
10月8日	日本カーリング協会主催のアイスメイク講習会（カーリングホール） 講師：スウェーデンカーリング協会/レイフ・ヨーマン（広報ところ）
10月14日	（川沿小）北海道よい歯の学校表彰規程により奨励賞を受賞する。 （川沿小百年史）
10月24日	「常呂町議会議員OB会設立10周年記念誌」発行
10月29日	第5回野菜即売会（農協50年史）
10月	新西町団地（公営住宅）完成（旧開進町団地・西町第1・2団地入替目的） *1棟8戸、平成7年8戸、最終的に32戸建設（広報ところ）
11月11-13日	パシフィック選手権日本代表選考会 男子イワケシュアトムズ優勝 女子パーソンズ優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
11月12日	全国社会人オープンレスリング選手権（東京都）で秋山和彦が準優勝。
11月13日	栄浦漁港用地内でカキ即売会実施（カキの販売促進とサロマ湖産鮮かきの ブランド品アピール、かき部会主催の初試み） 約千人来場、殻付きカキ4kg缶1500個（6トン）、むき身282kg完売 （常呂漁協発祥百周年誌）
11月16日	常呂町老人いこいの家落成（常呂町老人クラブ50周年記念誌）
11月18日	ザ・ハイランドジュニア国際カーリング大会で、女子チーム準優勝。 （～20日）
11月	（常呂漁協）鮮カキ即売会（第1回カキ祭り）：栄浦漁港 （常呂漁協創立50周年記念誌）
12月3日	常呂農産物産直フェア（四国）（農協50年史）
12月4-8日	第4回パシフィック選手権（ニュージーランド）パーソンズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
12月10日	ところビッグバンド・ブルードルフィン10周年コンサート（多目的）

平成6年			<p>高温旱魃により作物全般が被害にあい、玉葱は町平均3トン台と初めての経験をする（共立百年史）</p> <p>共立会館前庭、全面舗装される（共立百年史）</p> <p>川沿保育所が通年保育制に（豊川区開基百年誌）</p> <p>水害にあいビートが出荷不能の者も出る（共立百年史）</p> <p>豊川老人クラブ寿会創立30周年（豊川百年記念誌）</p> <p>高台神社の神社祭を春・秋2回から春（4月）の1回に変更</p> <p>*高台神社内部掲示の役員当番表</p>
平成7年	1995	1月1日	豊川区開基百年の幕開けとして、巖地神社で初詣、青年部主催の露店開設、元旦の夜空に花火打ち上げ（豊川区開基百年誌）
		1月19～20	第2回組合員研修、温根湯（参加者 女性164名）（農協50年史）
		1月21日	常呂小学校体育館オープン式（広報ところ）
		2月11-13日	第2回JOCユニアカーリングカップ 男子シューティングスター優勝 女子ホワイトエンジェル優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月15-19日	第14回北海道カーリング選手権（札幌）パーソンズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月8-12日	第12回日本カーリング選手権（軽井沢）パーソンズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月13日	橘家富蔵真打昇進披露（東京都千代田区東京会館）（町民センターだより）
		3月19-27日	カーリング世界ジュニア選手権（スコットランド） 男子シューティングスター6位、女子ホワイトエンジェル7位 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月20日	「栄浦第二・第一遺跡 道道サロマ湖公園線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書」（常呂町教育委員会）発行
		3月25日	第12回ところ町民舞台「つうの顔をみせない夕鶴」公演：多目的センター
		3月31日	ところ文庫11「大西信武と常呂遺跡」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月	岐阜フォーラム、小松光一先生迎え開催（岐阜百年記念史）
		3月	平成開拓団誕生。夢基金導入（岐阜百年記念史）
		3月	「ワッカ地区植生環境調査報告書」発刊 （植生状況及び保全対策に関する2次調査）常呂町
		4月1日	学校週5日制、月2回（第2、第4土曜日）実施。
		4月1日	ところスタジアムDO（屋内多目的競技場）完成。
		4月1日	常呂町高齢者事業団設立（北海タイムス）
		4月1日	（川沿小）児童数48名、5学級編成となる。（教員1名増） 図書室を普通教室に改装、玄関ホールを図書コーナーとする。 日吉・富丘・川沿校3校巡回公務補配置となる。（川沿小百年史）
		4月8-13日	カーリング世界選手権（カナダ）パーソンズ9位 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		4月20日	常呂網走自動車専用道路供用開始。（平成元年着工）
		4月23日	常呂町議会議員選挙。（16名選出）
		4月	岐阜県金華一二三会（25名）が岐阜地区訪問、薄墨桜の苗木寄贈受ける （岐阜百年記念史）
		5月1日	全自動野菜移植機導入（4台）（農協50年史）
		5月8日	金融店舗及び事務所内装改修（農協50年史）
		5月27日	（常呂小）推定樹齢135年のシダレヤナギの木治療（植木医鈴木順策） 開校百周年記念事業として、平成6年11月診察、平成7年5月から治療 （常呂小百年史）
		5月29日	（川沿小）プール建設作業開始。（川沿小百年史）
		5月	（常呂漁協）第46回北海道植樹祭：浦河町で北海道産業貢献賞受賞

	(北海道の緑の環境づくり) (常呂漁協創立50周年記念誌)
6月15日	(川沿小) 川沿の昔を聞く会。(川沿小百年史)
6月15日	豊川区開基百年事業として巖地神社祭に神社のぼり3対奉納、川沿小学校で川沿の昔を聞く会：講師/宇田川洋(豊川区百年誌)
6月16日	共立区開基100年記念式典開催、記念碑「躍進」除幕式 区章・区歌披露、スライド映写「共立のあゆみ」上映、共立区の年表作成 『共立百年史』発刊(記念事業協賛会事業部)
6月20日	常呂小学校開校百周年記念全校生顔写真撮影(常呂小学校学事報告)
6月23日	共立区開基100年を記念して、ヘリコプターによる郷土遊覧飛行実施。
6月23日	豊川区・共立区開基百年事業として川沿小学校で川沿フォーラム101開催 (豊川危機百年誌)
6月23日	(常呂小) 百周年記念人文字・校舎航空写真撮影(常呂小百年史)
6月24日	(川沿小) 共立・豊川開基百年記念ヘリコプター遊覧(～25日) (川沿小百年史)
6月25日	豊川区開基百年事業として記念碑後に桂・榆の記念植樹(豊川開基百年誌)
6月27日	豊川区開基百年事業として、地層3mの土の標本採取：巖地神社境内 (豊川開基百年誌)
6月	豊川区開基百年事業として啓蒙立て看板2所設置(豊川区開基百年誌)
6月	岐阜県大野町議会議員視察(岐阜百年記念史)
6月	岐阜県伊自良中学校修学旅行(第3回)(岐阜百年記念史)
6月	平成岐阜開拓団、岐阜県にトラクター走行協力要請 (岐阜百年記念史)
7月2日	第35回町民運動会(3チーム欠場)豊浜優勝(広報ところ) 参加チーム：末広・豊川・北進町・本通・日吉・栄町・土佐・富丘・弁天 岐阜・西町・中央町・豊浜・南町・福山・共立(広報写真ネガ)
7月16日	ところ遺跡の森が全面オープン式・記念フォーラム。
7月20日	第2次ワッカ地区植生環境調査「ワッカ原生花園 車両規制その後」講演会 (多目的研修センター 講演会説明資料)
7月25日	老人クラブ連合会交歓ゲートボール・パークゴルフ大会開始 (常呂町老連40年誌)
7月	常呂町長他5人が北海道・アルバータ州姉妹提携15周年式典の参加に合わせ、バーヘッド町を訪問
7月	15号歩道工事開始(富丘百年史)
8月6日	常呂町商店街スタンプ会(ホタテちゃんシールカンパニー)が発足。 スタンプ事業(ホタテちゃんシール)始まる。
8月10日	常呂町農業協同組合野菜直売所兼青果事務所完成。
8月22日	6月22日：末広区が常呂町に末広児童公園の廃止申請、8月22日承認 *末広児童公園の設置年月日不明 *廃止跡に末広会館建設
8月	交通ターミナル西側の客車を利用した無料宿泊施設「とまってけや」を吉野の昆虫の家に移転。
8月	豊川区開基百年事業として、川沿小学校校庭で子供盆踊り開催 (豊川区開基百年誌)
9月18日	常呂町農業協同組合直売店「ところ農産物直売所」がオープン。
9月22日	(川沿小) マイコプラズマ肺炎により学級閉鎖(川沿小百年史)
9月29日	岐阜・栄浦老人クラブと錦水小児童との世代間交流事業実施：錦水小 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
10月5日	(川沿小) 第44回全国へき地教育研究大会北海道大会・第44回北海道へき地複式教育研究大会実施参加者総数220名(実行委員会50名、PTA50名)(川沿小百年史)
10月28日	第6回野菜即売会(農協50年史)

		10月29日	橘家富蔵真打ち昇進落語会・祝賀会（多目的・東急リゾート）
		10月	愛林橋（福山ホロナイ川）竣工（昭和62年に旧福山小学校児童制作の「ふるさと福山」木版画を橋の欄干にレリーフ）
		11月8日	常呂漁業協同組合の水揚荷捌施設と栄浦支所が栄浦地区に完成。
		11月9日	常呂小学校開校百数年記念モニュメント及び記念事業紹介プレート除幕式（シンボルマーク作成（基本デザイン：古川敬））
		11月15日	（川沿小）プール工事完了（川沿小百年史）
		11月18・19	常呂農作物産直フェア（四国）（農協50年史）
		11月19日	常呂小学校100年記念式典を挙げる。 常呂小学校100周年記念誌「オホーツクの地に百年とろっこ」発行。 （常呂小学校開校100周年記念事業協賛会）
		11月26日	豊川開基100年記念式典、記念碑「拓翔」・豊川地域図除幕式（豊川地域環境改善センター駐車場）。記念誌『ふるさと』発刊。
		11月30日	「ライトコロ右岸遺跡 北海道常呂川下流域における擦文文化の集落址の調査」（東京大学大学院人文社会系研究科・文学部）発行
		11月	岐阜県大野町農業委員会訪問（岐阜百年記念史）
		12月1日	市街地の一部（末広・南町地区）で下水道供用開始。
		12月2～3日	常呂農作物産直フェア（横浜）（農協50年史）
		12月4日	消防常呂分署に指令車を配置（常呂消防団100年記念誌）
		12月8-10日	パシフィックカーリング選手権（常呂）女子パーソンズ優勝 世界選手権大会の出場権獲得（広報とろこ）
		12月21日	常呂市街地区下水道事業で常呂終末処理場完成。
		12月	100年記念準備委員会、実行委員会に改称（岐阜百年記念史）
		12月	岐阜フォーラム・秋（岐阜百年記念史）
		12月	（常呂漁協）栄浦荷捌所建設（常呂漁協創立50周年記念誌）
		12月	（常呂漁協）冷凍加工部さけ加工場建設（常呂漁協創立50周年記念誌）
平成7年			ホクシン小麦大面積栽培始まる（富丘百年史） 常呂農協婦人部若妻部会がフレッシュミセス部会に名称変更 （常呂農協女性部50周年記念誌） 富丘コミュニティセンター駐車場舗装完成（富丘百年史） 部落総会にて開基100年実施決定する（富丘百年史） 高台神社氏子一同名で神社幕奉納（木箱入り 神紋：三つ巴紋）
平成8年	1996	1月18-19日	組合員研修、温根湯（参加者 男性116名）（農協50年史）
		1月23日	常呂高校で、体育の正規種目としてカーリングを採用（とろこ通信）
		1月	常呂町少年少女リーダー養成研修事業で常呂中学校生徒5人をバーヘッド町へ派遣 *平成10年まで継続
		2月10日	とろこ町民舞台が95年度北海道地域文化選奨特別賞受賞
		2月10-12日	第3回JOCユニアカーリングカップ 男子アイスマン優勝 女子シムソンズ優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月14-18日	第15回北海道カーリング選手権（札幌）男子アイスマン優勝 女子シムソンズ優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月17日	「北海道東部に残る樺太アイヌ文化1」（萩中美枝・宇田川洋／編：常呂町樺太アイヌ文化保存会）発行。（藤山ハル、金谷フサのプロフィール、藤山ハルのトンコリ演奏の解説）
		2月20日	（川沿小）平成7年度網走管内教育実践特別賞受賞（川沿小百年史）
		2月24日	（川沿小）親子凧作り教室（川沿小百年史）
		2/28-3/3	第13回日本カーリング選手権（軽井沢）男子アイスマン優勝 女子チーム石垣優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月29日	「第1回全国青年・婦人漁業者交流会」で常呂漁協「いのちの水を守る婦人

	部の植樹活動」が水産長官賞受賞。
2月29日	(日吉小) 焼却炉更新 (学事報告)
3月6日	常呂終末処理場通水式 (平成5年7月着工) (ところ通信)
3月9-17日	世界ジュニア・カーリング選手権 (カナダ) アイスマン7位 シムソズ5位 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
3月20日	「常呂川河口遺跡 (1) 常呂川河口右岸掘削護岸工事に伴う発掘調査報告書」 (常呂町教育委員会) 発行
3月23日	第13回ところ町民舞台「召集令状…常呂にも空襲があった」公演 多目的研修センター (北海道地域文化選奨特別賞受賞記念公演)
3月24日	岐阜フォーラム・春 (岐阜百年記念史)
3月30日	日吉郵便局 (無配郵便局) 廃局、豊川郵便局に引き継ぎ (オホーツク東北見地区郵便局の歩みと先人の足跡)
3月31日	ところ文庫12「ワッカ・その自然」 (常呂町郷土研究同好会)
3月	(常呂漁協) 栄浦焼却施設建設 (常呂漁協創立50周年記念誌)
3月	(常呂漁協) 常呂漁港第二市場 (活魚施設舎) 建設 (常呂漁協創立50周年記念誌)
3月	(常呂漁協) 第88ところ丸進水 (常呂漁協創立50周年記念誌)
4月1日	日吉郵便局廃止にともない日吉簡易郵便局設置 (広報ところ)
4月1日	酪農ヘルパー組合 (デーリィドリーム・トコロ) 設立。
4月1日	(川沿小) 5学級編成、児童数50名 (川沿小百年史)
4月10日	第4次常呂町農業振興計画樹立 (農協50年史)
5月1日	日吉ふ化場開所 (常呂漁協発祥百周年誌)
5月27-28日	岐阜県大野町にオープンした直販所「ルート303グリーンハウス」で常呂町 特産品 (殻付きホタテ、毛ガニ) 販売 (広報ところ)
5月	(常呂漁協) オホーツクの森植樹祭 (常呂漁協創立50周年記念誌)
5月	「広報ところ」連載の「トコの日記」300回達成
6月15日	「風のがっこう」校門完成除幕式 (旧福山小) (広報ところ)
6月19日	(川沿小) 新プール開き (川沿小百年史)
6月27日	長野冬季オリンピック大会にカーリング日本代表として常呂町内から5名 選出
6月	岐阜県伊自良中学校修学旅行、訪問受ける (第4回)
7月2日	常呂・バーヘッド姉妹都市提携5周年記念式典 (於バーヘッド) 姉妹町盟約調印5周年記念訪問団を組織、バーヘッド町訪問 (6/28-7/6)
7月9日	岐阜地区開基100年を記念して「平成岐阜開拓団」が岐阜県大野町から 常呂町の約1,600キロをトラクターで走破、20日まで。
7月9日	第5回北海道漁港の日・常呂漁港環境美化フェスティバルを常呂漁港敷地内 で開催 (広報ところ) ホッカイシマエビ、ニシンの記念稚魚放流、 ナナカマド5本を常呂漁協事務所に記念植樹 (常呂漁協発祥百周年誌)
7月20日	町民健康温水プール「シーサイドところ」オープン。
7月20日	S49麦乾燥工場増改築完成 (受入能力日量450t→600t) (農協50年史)
7月21日	岐阜区開基100年記念式典、岐阜区開基百年記念碑「愛郷無限」除幕式 「尋常小学校の碑」建立 (岐阜百年史)
7月	(常呂漁協) 常呂漁港において第5回北海道「漁港の日」開催 (常呂漁協創立50周年記念誌)
8月4-7日	大野っ子遊友学派遣事業で岐阜県大野町内の小学校6年生40人が初めて 常呂町を訪問
8月	「常呂町・バーヘッド町、郡・姉妹盟約調印5周年記念訪問団記録集」発行
9月1日	常呂町森林公園パークゴルフ場オープン式・第5回町民パークゴルフ大会
9月5日	農漁協共同給油所洗車場完成 (農協50年史)

		9月15日	常呂町農業協同組合家畜市場焼失（農協50年史）
		9月30日	（日吉小）体育館暗幕・教室カーテン更新（学事報告）
		11月10日	第19回全道少年少女柔道大会（興部町）で、常呂町柔道スポーツ少年団が小学生女子高学年の部で優勝、小学生女子高学年個人戦で遠藤里美さん優勝（広報ところ）
		11月17日	新末広会館落成式（新末広会館のしおり） *8月14日：上棟式・餅まき 10月30日：旧末広会館解体
		11月24日	常呂中学校吹奏楽部マーチングで全国大会出場：千葉県幕張メッセ（広報）
		11月4-22日	（カーリング）韓国ナショナルチームが合宿
		11月	常呂中学校、カーリング授業開始
		12月21-23日	第5回JOCジュニアカップ・カーリング選手権 シムソンズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		12月	開基百年祝賀会実行委員会、総会に決算報告（岐阜百年記念史）
		12月	富丘大豆コンバイン組合設立7戸（富丘百年史）
平成8年			富丘百年記念誌高齢者座談会開催（富丘百年史） 麦収穫時の降雨・低温により秋小麦全量規格外となり11億円の被害 （畑作共済金9億4,000万円支払いされる）（農協50年史）
平成9年	1997	1月23-24日	組合員研修、温根湯（参加者 女性136名）（農協50年史）
		1月27日	農協婦人部からJA女性部に名称変更（農協50年史） （常呂農協）若妻会がフレッシュミセスと改名（富丘百年史）
		1月29日	（川沿小）風邪により学校閉鎖（川沿小百年史）
		2月6-9日	第16回北海道カーリング選手権 シムソンズ優勝 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月16日	常呂町民憲章推進協議会創立20周年記念祝賀会（公民館）
		2月18日	（川沿小）吹雪の為臨時休校となる。（川沿小百年史）
		2月19日	常呂高校体育館暖房工事完成（学校要覧）
		2/5-3/12	樺太アイヌトンコリ製作教室（遺跡事務所）樺太アイヌ文化保存会が協力
		3月7日	カーリングを冬の町技として制定。
		3月9-17日	世界ジュニア・カーリング選手権（軽井沢） シムソンズ5位 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月22日	第14回ところ町民舞台「常呂遺跡の発見」公演：多目的研修センター
		3/27-4/3	カナダ日系2世カーリング大会遠征（阿部・藤吉） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		4月1日	（川沿小）5学級編成、児童数49名（川沿小百年史）
		4月4日	青色申告会設立10周年記念式典（農協50年史）
		4月26日	ワッカの風物詩「観光幌馬車ドリームワッカ」が運行開始（ところ通信）
		4月	役場の発行物・各種書類が、B5サイズからA4サイズに変更
		4月	社会教育情報紙「町民センターだより」が「ふっくらポケット」に名称変更して5月号から発行
		4月	「広報ところ」から「ところ通信」に名称変更
		4月	岐阜県・金華一二三会が、岐阜地区・風の輪敷地内に開拓百年記念植樹碑を建立。銘板「開拓に起因する濃尾大震災の震源地、岐阜県根津村に千年の生命を保つ薄墨桜（うすずみざくら）の苗木を植す」
		5月4～5日	強風により甜菜、玉葱等150ha、育苗ハウス倒壊の被害 （農協50年史） 作物全般に強風被害受ける。小麦収穫後半に穂発芽発生（富丘百年史）
		5月10日	第2回全道中学校空手道選手権大会（札幌市）で常呂中女子チームが準優勝、全国大会（群馬県）出場へ（ところ通信）
		6月5日	常呂漁業協同組合が環境庁長官から「地域環境美化功績者賞」を受賞。

		6月10日	常呂町長選挙、井上和夫町長無投票で再選。
		6月10日	(川沿小) 愛媛県瀬戸町より学校視察(川沿小百年史)
		6月19日	(川沿小) 全校体験活動(藻琴山登山)(川沿小百年史)
		6/23-7/6	福山三代太鼓完成(旧福山小・風のがっこう)(ところ通信)
		7月3日	第37回町民運動会 *平成8年度第36回町民運動会は悪天候で中止 *富丘優勝(平成10年の広報ところ掲載) *チーム数不明 *常呂中マーチングバンド演奏、よさこいソーラン(児童の部) 演舞 (広報ネガフィルムに記録あり)
		7月29日	(日吉小) プール更衣室新築(学事報告)
		7月31日	常呂町行政改革推進委員会(平成8年5月16日設置)、常呂町行政改革に関する答申書提出。
		8月22日	常呂町オリンピック選手後援会が発足(ところ通信)
		8月24日	常呂ライオンズクラブ30周年記念式典:多目的センター・スポーツセンター (長野冬季オリンピック・カーリング出場記念陶板レリーフ寄贈・常呂町手形の里構想協賛参加者手形作成) 「常呂ライオンズクラブCN30周年記念誌」発行
		9月4日	(川沿小) 自然体験学習(サロマ湖周辺)(川沿小百年史)
		9月5日	常呂町農業協同組合玉葱貯蔵倉庫完成:400坪(農協50年史)
		9月17日	J A東京あおば一行来町、農業祭りに参加。(農協50年史)
		10月5日	第13回北海道マーチングフェスティバル(旭川市)で常呂中学校吹奏楽部が中学校の部で優勝、全国大会出場へ(ところ通信)
		10月26日	東京常呂会20周年記念式典。(於東京都学士会館)
		10月30日	常呂町農業協同組合合理化澱粉工場閉鎖。でん原馬鈴薯の処理を美幌農工連に委託(農協50年史)
		11月10日	常呂漁協小笠原組合長が勲五等瑞宝章受賞(常呂漁協発祥百周年誌)
		11月22日	福山三代太鼓、風のがっこう5周年記念前夜祭で演奏披露(ところ通信)
		11月22日	常呂中学校吹奏楽部、マーチングで全国大会2年連続出場。
		11月29日	ジャズドラマーの巨匠、エルビンジョーンズの 「スペシャルカルテッド「至上の愛」コンサート」常呂公演(ところ通信)
		12月5日	町立かもめ保育所の新園舎完成(着工6月24日)(新園舎パンフレット)
		12月15日	岐阜地区開基100年記念誌『開基百年記念史闘懇』発刊。
		12月21-23日	第6回JOCジュニア・カーリングカップ 男子アイスマン・女子シムソズ優勝(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月	活気あふれるJ A青年部活動を目指し、新規事業「プロジェクト活動」を実施。(3プロジェクト結成)(常呂町農協青年部50周年記念誌)
平成9年			すえひろ老人クラブと常呂町婦人団体協議会が空き缶リサイクル活動(末広会館)(常呂町老人クラブ50周年記念誌)
平成10年	1998	1月26~27	組合員研修、温根湯(参加者 男性82名)(農協50年史)
		2月9日	長野冬季オリンピック、カーリング日本代表として常呂町から男女5人が出場し、ともに5位入賞。(~15日)
		2月19日	(川沿小) 北海道教育実践研究成果に応募し、全文掲載となり、北海道教育委員会(網走教育局長)より賞状を授与される。
		2月19-22日	第18回北海道カーリング選手権 スーパーブルーム優勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月25日	「100年目の里帰り 岐阜から岐阜へ トラクター1600km走破 夢と駆けぬけた12日間 風に乗って」(平成岐阜開拓団)発行
		2月	かもめ保育所新園舎に移転(定員50人、ほぼ4人、通年開設、未満児保育開始、4クラス)(新園舎パンフレット)
		2月	常呂町商工会が主体となって東浜の勤労者住宅団地造成完了、募集開始。

3月1日	業務機構を2部1室7課に改正（農協50年史）
3月3日	常呂町農協臨時総会開催（農協50年史） 加工馬鈴薯貯蔵倉庫（3,721㎡）の建設について原案どおり可決。
3月9日	常呂町オリンピック選手後援会主催のオリンピック選手報告会開催 常呂町からオリンピック選手5人に「栄誉をたたえて賞」、後援会から記念品贈呈（ところ通信）
3月19-28日	世界ジュニアカーリング選手権（カナダ）男子アイスマン5位 女子シムソズ準優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
3月22日	第15回ところ町民舞台「武四郎登古呂を行く 松浦武四郎日記から」公演 ：多目的研修センター ＊武四郎常呂を行く
3月27日	常呂漁業協同組合漁場管理レーダーシステム稼動。
3月31日	ところ文庫14「常呂町の昔話」（常呂町郷土研究同好会）
4月1日	常呂町役場女子職員の制服廃止（ところ通信）
4月1日	（川沿小）5学級編成、児童数46名（川沿小百年史）
4月1日	（日吉小）愛の鐘更新（学事報告）
4月5日	高知県佐川町と姉妹都市調印10周年記念式典：佐川町（ところ通信）
4月15日	FAXの普及により同報無線局閉鎖。
4月	凍霜害（4月26日～27日）風害（4月30日～5月1日）により 甜菜150haの被害（農協50年史）
5月19日	農協創立50周年記念植樹～桜90本（農協50年史）
5月31日	第9回ところ日本一ホタテまつり開催、常呂漁協主催は本年度で取りやめ、 町の実行委員会に移管（常呂漁協発祥百周年誌）
6月10日	常呂町農業協同組合が創立50周年記念式典：多目的センター ＊常呂町農協（農協50年史）
6月10日	常呂ターミナルに到着する町営バス2便（8時15分着・13時着）と 常呂ターミナル発：網走行き網走バス2便（8時15分発・12時55分）が接続 乗り換えて網走へ行くことが可能に（ところ通信）
6月22日	「フッカ自然環境保全宣言」常呂町議会採択。
6月28日	高知県佐川町との姉妹町盟約調印10周年記念式典を開催（於常呂町） （常呂町農協青年部）佐川町JAコスモス青壮年部と交流会 （常呂町農協青年部50周年記念誌）
7月5日	第38回町民運動会：18チーム ＊富丘優勝（ところ通信）
7月12日	（川沿小）料理コンテスト出場（川沿小百年史）
7月13日	常呂漁協の製氷冷凍工場が厚生省のHACCP（ハサップ）施設に認定
7月18日	常呂漁港内で水難救済会第24回北海道地区総合訓練大会開催（全道109 救難所所員600人参加、常呂救難所が総合準優勝（常呂漁協発祥百周年誌）
7月19日	熱気球試乗会（富丘百年史）
7月20日	常呂町中央公民館図書室の移動図書館車「はまかぜ号」命名式 （名付け親：東生野 ロゴデザイン：古川敬）（広報ところ）
7月26日	料理の甲子園'98全国小学生料理決戦で、北海道代表の川沿小児童3人が 決勝へ、2位（山梨県）（広報ところ）
7月	（常呂漁協）常呂漁港において、第24回北海道地区救難所総合訓練大会 実施（常呂救難所、技術競技で総合準優勝）（常呂漁協創立50周年記念誌）
8月26日	常呂町農協加工馬鈴薯貯蔵施設落成式（ところ通信）
8月26日	常呂ライオンズクラブ創立30周年記念事業として陶板の「長野オリンピック カーリング競技出場記念レリーフ」除幕式（カーリングホール外壁） （広報ところ）
8月26日	常呂町農業協同組合加工馬鈴薯貯蔵施設落成式（ところ通信）
8月27-29日	台風4号による集中豪雨で農作物の被害面積825ha 被害額が2億5,176万円にのぼる（常呂町百年史 新北見市史）

	8月	移動図書館車「はまかぜ号」運行開始：バスタイプ
	9月16-17日	台風5号による大雨で再び常呂川増水。農作物の被害面積1,044ha、農業被害額9億8,200万円、水産被害17件で4510万円 水道・百年記念塔も破損（常呂町百年史 新北見市史）
	9月17日	（川沿小）水害のため川東・福山地区児童出席停止（川沿小百年史）
	9月20日	富丘老人クラブ30周年を祝う会（富丘コミセン）（ところ通信）
	9月	バーヘッド町から留学生：シャリル・ブルース6ヶ月間受け入れ
	10月1日	カーリングホール・オープン（この年から10月オープンとなる） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
	10月8日	東京都青井高校カーリング体験指導（修学旅行の体験学習が始める） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
	10月3日	岐阜県大野町と友好町提携調印式：大野町役場（ところ通信）
	10月5日	（日吉小）台風による破損体育館屋根修理（学事報告）
	10月22日	（川沿小）ふるさと交流学习発表会。祖父母参観日。ボランティア活動 動実践発表会。（川沿小百年史）
	10月25日	常呂高等学校創立50周年記念式典（ところ通信）*常呂高校 *常呂高校創立50周年記念タイムカプセル埋設（書局写真）
	10月31日	北進町老人クラブと北進町子ども会が世代間交流事業：北進町会館 （常呂町老人クラブ50周年記念誌）
	10月	（常呂町農協青年部）JA東京あおば「こぐれ村収穫祭」に参加。 以後、平成12年まで参加（常呂町農協青年部50周年記念誌）
	10月	（常呂漁協）常呂町イワケシユ牧場で豊かな海と森づくり現地交流会植樹祭 に参加（常呂漁協創立50周年記念誌）
	11月2日	資源ごみ分別収集モデル地区（本通・中央町・末広・開進町・栄浦・共立） で分別収集開始（ところ通信）
	11月16-17日	常呂漁協前組合長小笠原敬氏合同葬（常呂漁業協同組合・サロマ湖養殖組合 ・小笠原家）（常呂漁協発祥百周年誌）
	11月18日	栄浦老人クラブ30周年祝賀会：栄浦多目的研修施設（ところ通信）
	11月22日	富丘区開拓100年記念式典・祝賀会開催。青年部にて鳥居建設 富丘区開基100年記念碑「拓頌」（富丘地区高齢者コミュニティセンター 駐車場）除幕式
	11月24日	常呂郵便局新築局開始（字常呂338番地2）・ATM使用開始
	11月27日	ところ埋蔵文化財センター「どきどき」がオープン式・記念フォーラム。
	11月29日	常呂中学校吹奏楽部、マーチングで全日本マーチングフェスティバルに 3年連続出場：千葉県幕張メッセ（ところ通信）
	11月	常呂町農業協同組合50年記念史『農協50年史』発刊。
	11月	（常呂町農協青年部）JA東京あおば第1回農業祭に参加 （常呂町農協青年部50周年記念誌）
	12月2日	網走地区消防組合常呂消防庁舎が新築・完成、業務開始（ところ通信）
	12月5日	常呂救難所創立30周年記念式典・祝賀会（昭和43年4月発足） （常呂漁協発祥百周年誌）
	12月26日	常呂町消防庁舎新築に伴う南4条道路の工事開通 （平成14年度常呂幼稚園経営）
	12月	「常呂町農民同盟50年のあゆみ」発行
	12月	エゾシカによる農作物被害を防ぐために日吉・福山地区に試験的に進入防止 用ネット設置
平成10年		常農集団再編（富丘百年史） 常呂漁協組合員数200名割れで、平成11年度から総代会制廃止 （常呂漁協発祥百周年誌） 初雪が根雪となり大豆雪の下（富丘百年史）

			15号道路沿歩道完成（富丘百年史）
平成11年	1999	1月10日	サロマ湖養殖漁業協同組合「サロマ湖の風～連体と共生」発刊。
		1月18日	北海道常呂地区高知県人会設立総会開催。
		1月	「常呂町民憲章推進協議会20年のあゆみ」発行
		2月7日	岐阜県大野町と友好町盟約調印：於常呂町
		2月8日	常呂町商工会がプレミアム商品券発売：公民館（ところ通信）
		3月1日	常呂町地域振興券発行。（～8月31日）
		3月5日	平成10年度消防功労者表彰式（東京都）で、常呂町消防団に消防庁長官から表彰旗授与（ところ通信）
		3月3-4日	第4回全国青年・女性漁業者交流大会（東京都）で、常呂漁協青年部が活動実績発表（ところ通信）
		3月11日	（川沿小）北海道教育委員会より平成10年度北海道教育実践表彰を受ける（川沿小百年史）
		3月13日	札幌錦水会開催（札幌市ホテルポールスター）（ところ通信）
		3月21日	第16回ところ町民舞台「明日天気になあれ」公演（多目的研修センター）
		3月21-29日	世界ジュニアカーリング選手権（スウェーデン） シムソンズ準優勝（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月27日	岐阜老人クラブ35周年記念式典・祝賀会開催（岐阜老人クラブ50周年誌）
		3月31日	ところ文庫15「常呂町の山菜とキノコ」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月31日	常呂小学校の学校プール廃止（常呂小学校学事報告沿革）
		3月	富丘区開基100年記念誌『富丘開基百年史拓頌』発刊。
		3月	（常呂漁協）漁場管理レーダー開始（常呂漁協創立50周年記念誌）
		3月	常呂高校女子生徒3人をパーヘッド町に1年間の留学生として派遣
		4月1日	町営の「手工芸の館」を「株式会社陶芸ハウスところ」へ委託。
		4月2-11日	カーリング世界選手権（カナダ）シムソンズ8位 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		4月3日	常呂吟詠会30周年記念吟道会開催（多目的研修センター）（広報ところ）
		4月6日	（川沿小）開校百周年記念事業協賛会設立総会（川沿小百年史）
		4月15日	長野五輪カーリング競技日本男子代表が98年度日本フェアプレー実行賞受賞
		4月	常呂町民憲章推進協議会『20周年のあゆみ』発刊。
		4月	特別養護療養ホーム「のぞみの園」老人短期入所用居室完成、利用開始。
		4月20日	常呂町議会議員選挙、無投票で16名選出
		5月27日	日吉地区に熊出没、日吉小学校午後授業打ち切り（日吉小学事報告）
		5月	（常呂漁協）定置船第8ところ丸（軽合金19トン）進水 （常呂漁協創立50周年記念誌）
		5月	常呂町公民館図書室の夜間開館開始：火曜日～土曜日午後8時まで
		6月5日	富丘小学校開校50周年記念として児童・父母が、かえでともみじ50本を校庭に植樹（ところ通信）
		6月6日	常呂漁業協同組合創立50周年記念、定置船第8ところ丸進水、小笠原の森造成記念式典・祝賀会（常呂漁協発祥百年誌）
6月30日	井上和夫町長病氣療養のため辞任		
6月	「ところ通信」6月号から友好町大野町の「大野れば」と掲載開始		
7月1日	資源ごみ分別収集モデル地区に7地区（東浜・豊浜・弁天・栄町・北進町・西町・南町）追加指定		
7月4日	第39回町民運動会：18チーム 富丘3年連続優勝（ところ通信）		
7月6日	（川沿小）全校自然体験活動（ワッカ原生花園へ）（川沿小百年史）		
7月22日	常呂町農業協同組合麦乾燥調整貯蔵施設完成（26日から操業開始） 「農協70年史」では、7月15日完成（比重選別機2台、サイロ6基）		
7月22日	北海道消防操法訓練大会で常呂消防団（第1分団）がポンプ操法の部優勝		

			(常呂消防団100年記念誌)
		7月	常呂町公民館図書室に図書館のコンピュータシステム導入・稼働
		8月8日	常呂町長選挙、井原久敏初当選
		8月9日	井原新町長発登庁
		8月11日	(日吉小) 自転車小屋新築工事完了 (学事報告)
		8月13日	岐阜地区の盆踊りが18年ぶりに復活 (会場: 錦水小校庭) (ところ通信)
		8月18日	「ところ遺跡の森友の会」設立 (ところの社会教育)
		8月25日	紫雲山常楽寺本堂落慶一座法要 (常楽寺開教百年史)
		8月	第1号橋 (伊藤の沢川: 福山太幌橋の先) 竣工
		8月	常呂町国保病院院が薬の院外処方実施 (ところ通信)
		9月12日	常呂漁協創立50周年記念の一環として、常呂神社祭に海上渡御実施、帆立操業船に御輿・神主・役員乗船し海上パレード (常呂漁協発祥百周年誌)
		10月1日	網走地区常呂訪問看護ステーション開設 (10/4開所式) (ところ通信)
		10月10日	岐阜北海道クラブ (岐阜県に住む北海道出身者) 51名が常呂町岐阜地区訪問 (ところ通信)
		10月21日	「ところ遺跡の森運営協議会」設立 (ところの社会教育)
		10/12-11/18	第1回ジュニアカーリング教室 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		10月26日	「小笠原の森」木製看板設置 (吉野: 「森は海の恋人、川は仲人」常呂漁協組合員総意で設置)
		11月26日	ふれあいコンサート・札響常呂公演開催
		11月28日	富丘小学校開校50周年記念式典
		11月	分別収集ストックヤード施設供用開始 (10月完成)
		11月	常呂漁業協同組合発祥の地の碑 (鑑沸) の台座改修 (松金勲)
		11月	第29回JA北見地区青年部研修大会 (最優秀賞受賞 森脇久幸) (常呂町農協青年部50周年記念誌)
		12月17-19日	第7回北海道ジュニアカーリング選手権 (常呂町) 男子ガンズマン優勝 女子スーパーラヴァーズ優勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月24日	(川沿小) スケートリンク開き (川沿小百年史)
		12月	第48回北海道JA青年部大会 (最優秀賞受賞 森脇久幸) (常呂町農協青年部50周年記念誌)
平成11年		12月	西七線橋 (ライトコロ川: 岐阜西7線・道道サロマ湖公園線) 竣工 エゾシカによる農作物被害を防ぐため富丘・豊川・共立地区に進入防止用 ネット設置 15号線歩道工事完了 (富丘百年史)
平成12年	2000	1月7-9日	第8回日本ジュニアカーリング選手権 (常呂町) 男子優勝アイスマン 女子第3位マリリンズ (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月15日	(川沿小) スケート教室 (~16日・PTA主催) (川沿小百年史)
		1月22日	(川沿小) 親子ふれあい広場 (川沿小百年史)
		1月	公民館図書室の図書カードのデザイン決定 (ふっくらポケット)
		1月	東北・北海道ブロックJA青年の主張発表大会 (北海道代表 森脇久幸) (常呂町農協青年部50周年記念誌)
		2月4日	(川沿小) 校内スケート大会 (川沿小百年史)
		2月10-13日	第19回北海道カーリング選手権 (常呂町) 男子優勝アイスマン 女子優勝シムソング (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月13日	「第1回全国広域市町村圏スポーツライフサミットin北網」、 常呂町を会場に開催 (~15日)
		2月18日	(川沿小) スキー学習 (メビウススキー場) (川沿小百年史)
		2月23-27日	第17回日本カーリング選手権 (軽井沢) 男子準優勝アイスマン 女子準優勝シムソング (常呂カーリング協会30年のあゆみ)

2月26日	(日吉小) 極寒氷点下3.1度(学校前の温度計) 最低気温記録(学事報告)
2月	常呂町長がバーヘッド町を友好訪問
2月	J A ところ青年部設立50周年記念式典(第50回定期総会) (常呂町農協青年部50周年記念誌)
3月18日	常呂カーリング協会設立20周年記念式典・祝賀会開催(ところ通信) (カナダからウォーリー・ウースリアク氏夫妻来町) *常呂カーリング協会設立20周年記念テレホンカード作成
3月18-19日	常呂カーリング協会設立20周年記念大会 (町内外8チーム参加、ブルーゲイル優勝) (ところ通信)
3月20日	富丘小学校休校式
3月20日	「常呂川河口遺跡(2) 常呂川河口右岸掘削護岸工事に係る発掘調査報告書」 (常呂町教育委員会) 発行
3月24日	(日吉小) 卒業記念「オホーツクの夢: 切り絵」制作(学事報告)
3月25-26日	常呂カーリング協会設立20周年記念トーナメント (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
3月26日	第17回ところ町民舞台「雨のち虹の町 ある獣医の記録より」公演 :多目的研修センター *常呂町町制施行50周年記念作品
3月31日	ところ文庫16「常呂町郷土史話2」発行(常呂町郷土研究同好会)
4月1日	富丘小学校が休校
4月1日	全町を対象に資源ゴミ分別収集開始(ところ通信)
4月1日	常呂町の情報をEメールで配信する[常呂ふるさとメール]開設(ところ通信)
4月7日	1999年度ミズノスポーツメントール賞受賞(シルバー賞阿部周司)
4月24日	全国農業会議所・全国農業新聞主催「青年農業者グループ活動コンクール」 で「ところよめさんねっとわーく・さくらちゃん」が「全国農業新聞賞」 受賞報告会(農協70年史)
4月	スクールバスのA路線(常呂-日吉間)を一部変更(共立の道道10号から 共立橋を通り、共立川東地区を経由して東2線道路を走行する路線に変更) *B路線:富丘方面 C路線:町営バス(岐阜・栄浦方面) (ところ通信)
4月	前バーヘッド郡長が来町
6月15日	岐阜県伊自良中学校3年生51人が修学旅行で岐阜地区を訪問 (ところ通信)
7月2日	第40回町民運動会:15チーム、14種目 共立優勝(めぐりあい学び あい通信) *広報8月号で「どうなる? どうする? 運動会」という8ページ の特集を組み、町民運動会の歴史と現状/問題・課題・町民の声を掲載
7月6日	「東京大学文学部公開講座」開催(以後毎年開催)
7月15日	(川沿小) 常呂川いかた下り(百周年記念事業) (川沿小百年史) 川沿小の全校児童46人と父母ら約80人が参加し、栄福橋のたもとから 約7キロ下流の共立橋まで常呂川を下り、約3時間かけて全員ゴール (北海道新聞)
7月23日	第32回網走地区身体障害者スポーツ大会、常呂町運動広場(町民センター) で開催(ところ通信)
7月	バーヘッド町バロン一家が友好訪問で来町
7月	公営住宅西町第1団地B棟12戸完成(ところ通信)
8月18日	常呂中学校吹奏楽部C編成で全道大会金賞(札幌市)
8月21日	川沿小学校開校100周年記念人文字「拓く」、児童・住民250人で 描く(ところ通信)
8月24-26日	常楽寺開教100年記念法要・式典、本堂大修復落慶法要、第四世住職継職 法要並びに開教100年記念祝賀会(常楽寺開教百年史)
8月	常呂高校女子生徒1人をバーヘッド町に1年間の留学生として派遣
10月15日	北海道立美術館移動展「近代美術館コレクション名品展」開催。 (~19日、於多目的研修センター)

		10月31日	まちづくりシンポジウム。
		11月1日	町制施行50周年記念式典挙行「町制五十年記念碑」除幕式（ところ通信）
		11月1日	常呂町町制施行50周年記念誌「明日へと続く道」発行
		11月13日	常呂町農協が町産小麦ホクシンを使った乾めんタイプのうどん製造、青果物直売所で販売、250グラムで90円（北海道新聞）
		11月15日	手工芸の館前に手形柱3基を新設。
		11月15日	常呂町社会福祉協議会ボランティアセンターがボランティア情報紙「べったんこ」創刊号発行
		11月18日	岐阜県大野町（友好町）で第1回「柿・牡蠣まつり」開催 「ウェルカム21 柿・かきまつり」で殻付きかき4キロ缶約700個が1時間ほどで完売。以後、毎年11月に「柿・かきまつり」開催 （常呂漁協発祥百周年誌）
		11月26日	日吉地区開基百年記念碑「悠久」除幕式・記念式典：日吉公園（ところ通信） 日吉小学校児童8人と町長が除幕
		11月30日	真宗大谷派高德寺本堂・庫裡改築工事完成 （高德寺本堂庫裡修復落慶法要祝賀会しおり）
		11月	常呂町社会福祉協議会のボランティア情報紙「べったんこ」創刊（月刊）
		12月1日	常呂町商工会とホタテちゃんシールカンパニー共催の「プレミアム商品券」発売（公民館）（ところ通信）
		12月1日	川沿小学校開校100周年記念誌「拓く」発行
		12月3日	川沿小学校開校100周年記念式典・祝賀会開催。
		12月15-17日	第8回北海道ジュニアカーリング選手権（常呂町）男子優勝ガンズマン 女子優勝マリリンズ（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
平成13年	2001	1月12-14日	第9回日本ジュニアカーリング選手権（長野）男子優勝スーパーストーン 女子3位スーパーラヴァーズ（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月15日	手工芸の館前敷地に新しい手形柱完成（昭和58年以降の出生者・佐川町・大野町・バーヘッド町・東京常呂会・転入者など）
		1月19日	（日吉小）多目的教室暖房施設修理（学事報告）
		1月24日	老朽化に伴い、常呂消防に新型水槽付き消防ポンプ車導入（広報ところ）
		1月27-28日	第18回北海道高等学校空手道選抜大会（札幌市）で常呂高校空手道部が女子団体形の部で優勝、全国大会へ（ところ通信）
		2月7-14日	ハルビン国際カーリング大会（中国） 出場ウィングス （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月8-12日	第20回北海道カーリング選手権（常呂町）男子優勝ETOLE 女子優勝シムソンズ（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月10日	北海道カーリング協会創立20周年記念式典・祝賀会（常呂町） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月21日	共立会館新築落成式（ところ通信）
		2月21日	第18回ところ町民舞台「ところ川 常呂川汚水防止対策漁民大会より」公演 ところ町民舞台が「北の舞台芸術祭」に参加3/24公演（札幌公演）
		3月15-16日	ソルトレークシティー冬季オリンピック大会カーリングの代表チーム選考会 （常呂）シムソンズ対河西建設 シムソンズが3勝2敗で日本女子代表決定 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月20日	シムソンズ世界カーリング選手権出場壮行会 （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月25日	常呂高等学校空手道部全国大会出場（～27日、於大阪市）（ところ通信）
		3月31日	ところ文庫17「松浦武四郎と常呂2」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月	常呂町青年団体協議会50周年記念誌「白雲」発行
		4月1-11日	世界カーリング選手権 シムソンズ7位

	(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
4月	常呂消防団条例を改正し、常呂消防団の定員を100名とする
5月22日	家畜市場の「獣魂碑」「相馬神社」を農協牧場に移転
5月27日	常呂小学校の記念樹「シダレヤナギ」の管理・治療作業(5/29.30) (常呂小学校学事報告)
5月	日吉区開基100年記念誌『手師学村から100年』発刊。
6月2日	森林公園バーベキューハウスがオープン(ところ通信)
6月7日	日本・カナダ姉妹都市会議に常呂町長出席し、バーヘッド町訪問
6月13日	常呂町総合計画審議会より第4期常呂町総合計画が答申。 (25日の議会で議決)
6月23日	J Aところ青年部創立50周年記念「感謝・感激わいわい祭り」(土佐玉葱 選果場前広場)(ところ通信)(常呂町農協青年部50周年記念誌)
6月	日吉定住団地造成完了、販売開始。
7月1日	第41回町民運動会:177チーム、10種目、約2000人 3種目1位の岐阜優勝(広報ところ)
7月2日	常呂町森林組合が1市3町で合併し、北見広域森林組合創立
7月6日	常呂漁業協同組合が緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞受賞 昭和37年からの常呂川流域中心に50万本超の植林・森林保全活動牽引 (常呂漁協発祥百周年誌 ところ通信)
7月9日	放課後児童健全育成事業「常呂ちびっ子クラブ」スタート(ところ通信)
8月1日	常呂町在宅福祉移送サービス開始(ところ通信)
8月6日	常呂川河川整備に提言するため「常呂川流域懇談会」発足。
8月14日	カナダ、アルバータ州バーヘッド町との姉妹提携盟約調印10周年 記念式典:多目的研修センター(ところ通信) バーヘッド町からの訪問団が記念の手形を採取して手形柱に銘板設置
8月27日	高德寺本堂庫裡修復落慶法要(高德寺本堂庫裡修復落慶法要祝賀会しおり)
9月1日	ところ遺跡の森講演会:講師/服部旦氏(大妻女子大学文学部教授) 「常呂町民、藤山ハルさんと大西信武氏の功績」
9月8日	(日吉小)洋式便器取り付け工事完了(学事報告)
9月10日	秋雨前線の停滞と台風15号の影響で常呂川増水、農作物・外海ホタテに 被害甚大。農作物の被害面積が304ha、被害総額が2億800万円、 水産被害ホタテ貝へい死24,791千個、面積6.5km <sup>2</sup> 、漁船被害4隻 など被害総額は約10億円にのぼる(ところ通信) 馬鈴薯、タマネギ、てん菜などの圃場で冠水・流出発生。冠水面積は1126ha 被害額5億5700万円(農協70年史)
10月6日	岐阜地区で岐阜県知事との交流会開催
10月22日	ワッカ原生花園、北海道遺産に選定(ところ通信)
10月28日	常呂高等学校吹奏楽部が日本管楽合奏コンクール全国大会出場:於東京都 部員18人、18日に(ところ通信 北海道新聞)
11月18日	常呂中学校の米山一豊君が「少年少女アイデアバトル」(愛知県豊田市)の 自作ロボット中学生部門で優勝(ところ通信)
11月19日	網走信用金庫常呂支店新築移転(325番地16 6月着工) *網走信金(ところ通信)
11月30日	常呂町議会議員の定数条例制定、18名から13名に(平成15年1月1日 から施行)
11/29-12/10	(カーリング)日中競技力向上スポーツ交流事業 中国派遣(ETOILE)
12月11日	常呂町商工会とホタテちゃんシールカンパニーが共催でプレミアム商品券 「まいど商品券」販売(公民館)(ところ通信)
12月14日	J Aところ発売の「流氷うどん」が学校給食に初登場(ところ通信)
12月25日	『トコロチャシ遺跡群 北海道常呂川下流域におけるアイヌ文化の

			遺跡の調査』（東京大学大学院人文社会系研究科）発行
		12月	常呂漁協の「自走式漁船上下架施設（2号機）完成 7月から建造、平成14年春から供用開始（常呂漁協発祥百周年誌）
平成13年			常呂漁協の資源増強検討委員会で五輪採魚場造成計画提案、本年度から五輪採1年目漁場をA海区沖に設定、稚貝放流開始（常呂漁協発祥百周年誌）
平成14年	2002	1月11-13日	第10回日本ジュニアカーリング選手権 男子3位ホワイトタイガー 女子優勝マリリンズ（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		1月19-20日	NHK杯カーリング選手権大会観覧のため高円宮親王殿下が来町される。
		1月19-20日	第19回北海道高等学校空手道選抜大会（第21回全国高等学校空手道選抜大会 北海道予選）で、常呂高校の野々下恵さんが優勝全国大会へ（広報ところ）
		1月25日	『常楽寺開教百年史』発行（常楽寺）
		2月4日	錦水小学校校舎改築完成：教室・多目的ホール（平成13年7月着工） （錦水小学校学事報告）
		2月8-11日	第21回北海道カーリング選手権（常呂町） 男子優勝スーパーマリナーズ 女子3位スーパーラヴァーズ （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月10-21日	ソルトレークシティー冬季オリンピック、女子カーリング競技に 「シムソズ」が日本代表チームとして出場。2勝7敗第8位
		2月15日	「トコロチャシ跡遺跡群の調査 トコロチャシ跡遺跡・同オホーツク地点 及び常呂遺跡の史跡整備に関する調査概要報告」 （東京大学大学院人文社会系研究科・常呂町教育委員会）発行
		2月23日	錦水小学校校舎改築を祝う会（錦水小学校学事報告）
		2月28日	ソルトレークシティー冬季オリンピック女子カーリングチーム「シムソズ」 帰町式（広報ところ）
		2/27-3/4	第19回日本カーリング選手権（常呂町）男子優勝MAX 女子優勝Pocket（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月4日	サロマ湖鶴雅リゾートホテル増改築工事安全祈願祭（広報ところ）
		3月24-31日	世界ジュニア・カーリング選手権（カナダ・ケローナ） マリリンズ第10位（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		3月23日	「常呂川河口遺跡（3）常呂川河口右岸掘削護岸工事に係る発掘調査報告書」 （常呂町教育委員会）発行
		3月24日	第19回ところ町民舞台「かしわならの詩」公演：多目的研修センター
		3月31日	ところ文庫18「常呂町の昔話2」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月31日	サロマ湖東急リゾートが営業を停止、阿寒グランドホテルに譲渡
		3月	小学校三・四年社会科副読本「ところ」（常呂町教育委員会）発行
		4月1日	学校週5日制の実施や便利さを高めるため、町営バスの運行時刻・路線の 一部変更 ①土曜日だけの運行便廃止（交通ターミナル発11時20分と 常呂中学校前発12時10分） ②運行3便の交通ターミナル発12時20分が 13時に ③運行4便の運行経路が交通ターミナル発「とう沸経由」が 「9線経由」に変更（ところ通信）
		4月1日	放課後児童健全育成事業「ちびっ子クラブ」が本格実施（平成13年7月9日 から試行）（ところ通信）
		4月6日	学校完全週5日制実施
		4月11日	常呂町中心市街地活性化TMO構想策定委員会開催。
		4月20日	常呂町身体障害者福祉協会創立50周年記念として会員が埋蔵文化財センター 横に桜5本植樹（ところ通信）
		4月28日	国際シンポジウムinところ開催
		4月	常呂町農協青年部50周年記念誌「協心」発行 （常呂町農業協同組合青年部）

4月	(常呂農協女性部) 目的別グループ部会活動始まる (食品加工・ミニバレー・パソコン・あおぞら市) (常呂農協女性部50周年記念誌)
5月10日	「北見ブロック4町(留辺蕊町・訓子府町・置戸町・端野町) 広域行政研究会」に常呂町がオブザーバーとして参加。
5月18日	東京大学総合研究博物館で常呂遺跡を中心とした「北の異界ー古代オホーツクと氷民文化」展開催(～7月14日)
5月20日	サロマ湖鶴雅リゾートホテルオープン *サロマ湖東急リゾートから営業譲渡(ところ通信)
5月27日	栄浦第1・第2野営場閉鎖(ところ通信)
6月1日	「北の異界 古代オホーツクと氷民文化」(東京大学総合研究博物館)発行
6月3日	「斜網地区(1市7町1村)市町村合併研究会」設置。
6月6日	水産雑物堆肥利用組合設立総会。
7月7日	第42回町民運動会: 17チーム 12種目 富丘優勝、2位豊川、3位共立(ところ通信) 4位岐阜、5位弁天、6位西町、7位土佐、8位北進町 9位日吉 10位末広、11位豊浜、12位東浜、13位中央町 14位南町、15位栄町、16位開進町、17位本通(広報写真)
7月15日	常呂漁業協同組合の水産雑物堆肥施設完成、翌16日から稼働開始 4/17から富丘地区に建設(常呂漁協発祥百周年誌)
7月17日	イラストレーター・絵本作家/沢田としき氏が錦水小学校多目的ホールの壁画制作(錦水小学校学事報告)
8月5日	「住民基本台帳ネットワークシステム」スタート。
8月5日	「サロマ湖4町(佐呂間町・湧別町・上湧別町・常呂町)の合併にかかる協議会」設置。
8月20-22日	台風13号により常呂川増水、農作物242ha、河口漁港、定置網に被害(ところ通信 新北見市史)
8月22日	常呂ライオンズクラブ35周年記念式典: サロマ湖鶴雅リゾート(2002ソルトレイクシティ冬季オリンピック・カーリング出場記念陶板レリーフ寄贈・常呂町交通安全記念塔修復) (常呂ライオンズクラブ認証40周年記念誌)
8月29日	水防訓練初めて実施。
9月10日	サロマ湖鶴雅リゾートホテル落成式(ところ通信)
9月14日	サロマ湖第1湖口で遊漁船転覆、7名死亡(北海道新聞)
9月22日	常呂漁協のホタテ資源調査船(ほたて操業モデル船)と丸進水 9/28常呂漁港で安全祈願祭、9/30日から外海ほたてがい操業 (常呂漁協発祥百周年誌)
10月4日	サロマ湖ワッカネイチャーセンター横に高野素十の句碑建立(ところ通信)
10月18日	札幌常呂会20周年開催(さっぽろ常呂会): 札幌市(ところ通信)
10月27日	常呂版「北の異界」特別展開催。(～11月10日)
10月30日	常呂町農協が事業主体の新玉葱集出荷選別施設完成・操業安全祈願祭(農協70年史) *タマネギ
10月31日	常呂川河口遺跡発掘調査終了(昭和63年開始)(ところ通信)
11月21日	常呂町身体障害者福祉協会(旧網走地区身体障害者福祉協会常呂分会)創立50周年記念式典開催: 多目的研修センター(ところ通信)
11月26日	ふるさと夢事業委員会「ふるさと夢事業」廃止の答申書提出(ところ通信)
12月	常呂町身体障害者福祉協会「50年の歩み」発行 (常呂町身体障害者福祉協会)
12月22-24日	第10回北海道ジュニア・カーリング選手権 男子優勝新撰組 女子優勝スーパースターズ(常呂カーリング協会30年のあゆみ) 公民館図書室の幼児向け絵本のお届けサービス「ペンギんくらぶ」スタート

平成14年

			常呂ライオンズクラブから常呂小学校児童全員に防犯ブザー寄贈 (常呂小学校学事報告) 本川達也(錦水小学校)が平成14年度林野火災予防ポスターの部で最優秀賞 受賞、全道配布用のポスターとなる(錦水小学校学事報告) 広報折込の「門松用貼紙」の全戸配布取りやめ、希望者のみに(ところ通信)
平成15年	2003	1月7-9日	第11回日本ジュニアカーリング選手権 男子優勝Super Guns 女子優勝スーパーラヴァーズ(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月16-26日	ユニバシールド冬季競技大会(イタリア)ETOILE第5位 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月2日	常呂町老人クラブ連合会からそば粉20キロ寄贈され、そば打ち講習会開催。 平成19年まで続く(岐阜老人クラブ50周年誌)
		2月13-16日	第22回北海道カーリング選手権(常呂町)男子3位シーサイドCC 女子準優勝T・B・C(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2/25-3/2	第20回日本カーリング選手権(長野県)男子3位シーサイドCC (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月	平成14年11月の常呂漁協臨時総会で三代目新ぼたて操業船12隻建造 決定(平成15.16年2ヶ年)八雲町ヤマキ船舶化工(株)で起工式 (常呂漁協発祥百周年誌)
		3月3日	道道北見常呂線の通行が一部切り替え:豊川の町道基線交差点から町道17 号交差点付近約600m(ところ通信)
		3月23日	第20回ところ町民舞台「浜に生きる」公演:多目的研修センター
		3月25日	「常呂川のほとりに暮らした人々」発行(常呂町教育委員会)
		3月31日	ところ文庫19「常呂町の昔話3」発行(常呂町郷土研究同好会)
		3月	福山24号橋・福山25号橋(福山川)竣工
		3月	イワケシュ橋(イワケシュ川:福山23号)竣工
		4月1日	常呂町・女満別町・東藻琴村の3町村でごみの広域処理開始。
		4月1日	情報公開制度開始。
		4月1日	常呂高等学校バス通学費の助成率変更(10割から5割)(ところ通信)
		4月1日	町営バスの運賃変更(全区間:大人100円、小学生以下50円)(ところ通信)
		4月1日	老人クラブ「すえひろクラブ10年のあゆみ」発行
		4月3日	市町村合併で常呂川流域・常呂郡を選択(ところ通信)
		4月4-5日	常呂港で大型作業船による流氷の大規模破碎(流氷割り)(ところ通信)
		4月7日	天龍寺で「新名(ちょうなはじめ)の儀」など古式の本堂の起工式 (ところ通信)
		4月27日	常呂町議会議員選挙:13名選出(ところ通信)
		4月	常呂高校の全学年で総合学習「常呂プロジェクト」を実施(新北見市史) 高校生活3年間かけて、ふるさとを多方面から検証(北海道新聞)
		5月1日	斜網地区文化団体協議会主催の「俳句大会」開催(遺跡の森周辺) (広報ところ)
		5月4日	さつぼろ常呂会20周年記念として、森林公園にエゾヤマザクラ15本植樹 「濃姫(のうひめ)の育成苗
		5月11日	東京大学常呂研究室学生宿舍竣工記念式典(ところ通信)
		7月6日	第43回町民運動会:17チーム、12種目、約2000人 岐阜優勝 (ところ通信) *豊川・日吉・共立・土佐・東浜・豊浜・北進町・西町 ・開進町・岐阜・栄町・本通・富丘・弁天・末広・南町・中央町(広報写真)
		7月27日	常呂町長選挙、井原町長再選(ところ通信)
8月6日	常呂町農協資材店舗改修工事完了:屋根・外壁・店舗内部(農協70年史)		
8月9日	台風10号により農作物245haが冠水(新北見市史)		
8月	常呂町社会福祉協議会の社協だより「まちの風」創刊(毎月発行・広報折込)		

		9月2日	岐阜県からいちご部会会長・指導員来町。岐阜県から常呂町に送られたいちご苗「濃姫(のうひめ)」の育成苗25000株出荷(ところ通信)
		9月26日	午前4時50分、十勝沖M8.0の地震発生、常呂町震度3(新北見市史)
		10月1日	北見バスの路線一部変更:北見-常呂線の「北見-仁頃町」間が「端野町」経由に(ところ通信)
		10月4日	「北見・端野・常呂・津別任意合併協議会」設立。
		10月12日	天龍寺:本堂・納骨堂会館・庫裡上棟式(広報写真)
		10月13日	「常呂町議会議員OB会設立20周年記念誌」発行
		10月27日	常呂消防に高規格救急車導入(ところ通信)
		10月	常呂町デイ・サービスセンター土曜日も開所に(ところ通信)
		11月2日	高知県佐川町の「たらふく秋まつり」で、「あおぞら公園」に姉妹町盟約15周年記念として小原友徳氏(常呂町)の記念碑除幕(ところ通信)
		11月15日	北海道新聞旭川支社主催の第2回道北地区中学校壁新聞コンクールの3年生の部で常呂中学校3年A組「桔梗」が優秀賞を受賞(ところ通信)
		11月11日	「全国過疎問題シンポジウム2003inみやざき」で、常呂カーリング協会が全国過疎地域自立促進連盟会長賞受賞(ところ通信)
		12月20-23日	第11回北海道ジュニア・カーリング選手権(妹背牛町) 男子準優勝ホワイトタイガー 女子優勝Grace (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月22日	第1回常呂町自立運営検討会議開催。
平成15年			ホタテ祭り完全廃止(常呂漁協発祥百周年誌)*ホタテまつり 常呂漁協貝柱工場増築(常呂漁協発祥百周年誌)
平成16年	2004	1月9日	町営バス新車両に更新、網走管内初の低床バス導入(ところ通信)
		1月13日	記録的な暴風雪により交通途絶。(~15日) (日吉小)未明から16日にかけて記録的な豪雪(学事報告)
		1月15日	暴風雪により豊浜で316戸停電(新北見市史)
		1月14-18日	第12回日本ジュニアカーリング選手権(軽井沢町) 男子準優勝ホワイトタイガー 女子優勝スーパーラヴァーズ (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月22-23日	北海道青年農業会議のプロジェクト発表で、常呂町4Hクラブが優秀賞受賞(会場:札幌市)(ところ通信)
		1月27日	常呂川流域環境保全協議会設立、常呂川流域環境保全の推進に係る協働宣言採択(ところ通信)
		2月5日	日本郵政公社が「ふるさと切手」の「北海道遺産2」で「ワッカ原生花園」ふるさと切手発売(ところ通信)
		2月12-15日	第23回北海道カーリング選手権 男子優勝スーパーブルーム 女子準優勝T・B・C(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月23-29日	第21回日本ジュニアカーリング選手権(妹背牛町) 男子優勝スーパーマリナーズ 女子準優勝スーパーラヴァーズ
		3月20-28日	世界ジュニア・カーリング選手権(カナダ・ケベック) スーパーラヴァーズ女子8位(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		3月26日	「TK67遺跡 北海道営畑地帯総合土地整備事業に伴う緊急発掘調査報告書」(常呂町教育委員会)発行
		3月8日	錦水小学校を取材したNHK「オホーツク我が母校」放映 *収録 1月20日(錦水小学校学事報告)
		3月30日	「常呂川河口遺跡(4)常呂川河口右岸掘削護岸工事に伴う発掘調査報告書」(常呂町教育委員会)発行
		3月31日	ところ文庫20「常呂町の花」発行(常呂町郷土研究同好会)
		3月31日	福山小学校・富丘小学校ともに閉校(新北見市史)

		4月1日	常呂町個人情報保護条例開始（ところ通信）
		4月1日	日吉小学校の児童数増加により、養護教諭配置・保健室設置 (日吉小学校学事報告)
		4月14日	「北見・端野・常呂・津別任意合併協議会」に留辺蕊町参加。
		4月19日	合併か自主独立かの意見を町民から聞く「まちづくり懇話会」開催 (～5月20日、町内19会場) (ところ通信)
		5月15日	岐阜地区町内会と岐阜市「金華一二三会」共同事業で、「揖斐二度ざくら」 「薄墨桜」エゾノメイ桜の苗木50本植樹(岐阜地区：風の輪敷地内) (ところ通信)
		6月1日	市町村合併問題等に関する住民意識調査実施。(～10日)
		7月4日	第44回町民運動会 綱引き：土佐優勝 岐阜総合優勝(ところ通信) *共立・日吉・豊川・富丘・岐阜・南町・末広・土佐・西町・北進町・ 開進町・栄浦・本通・豊浜・栄町・弁天・中央町(17チーム：広報写真)
		7月8日	1市4町(北見市・端野町・津別町・常呂町・留辺蕊町)による法定協議会 「オホーツク圏北見地域合併協議会」調印式
		8月10日	「オホーツク圏北見地域社会福祉協議会合併協議会」設立。
		8月	「広報ところ」掲載の「トコの日記」(作者：おおきわかこ)連載400回
		8月	共立八幡神社(共立神社)鳥居建立・奉納 *台座明記
		9月12日	3代目外海ほたて操業船13隻の完成祝し、常呂神社祭ではほたて操業船・さけ 定置船・監視船の船団19隻が1時間の海上渡御(常呂漁協発祥百周年誌)
		10月7日	土佐地区に新築のJ A O C 石油流通施設開所式(常呂町農協70年史)
		10月22日	常呂遺跡が「オホーツク沿岸の古代遺跡群」として北海道遺産に認定 (ところ通信)
		10月	岐阜県大野町で、第1回常呂町長杯少年野球大会(レインボースタジアム) 開催(ところ通信)
		11月	常呂高校が道教委の「いきいき体験モデルスクール」の指定を受ける (新北見市史)
		12月23-26日	第12回北海道ジュニア・カーリング選手権 男子準優勝 I N F I N I T Y 女子優勝 G r a c e (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
平成16年			常呂小学校のシダレヤナギ補修・剪定作業(鈴木樹木医・常呂町樹木同好会) (常呂小学校学事報告) 錦水小学校で野球少年団：錦水ファイターズ結成、川沿小学校と練習試合、 スポーツフェスティバル交流戦参加、以後、野口カップなどに参加 平成22年度から活動休止(錦水小学校学事報告) *平成15年に保護者の会からユニホーム寄贈
平成17年	2005	1月14-18日	第12回日本ジュニアカーリング選手権(青森) 男子3位 I N F I N I T Y 女子3位 G r a c e (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月15日	1市4町の合併についての住民説明会開催 (～27日、町内18会場)
		1月30日	常呂町・端野町・津別町・留辺蕊町で合併の是非を問う住民投票実施。 (常呂町では賛成が1,638票、反対が1,341票となった)
		1月	「常呂町障がい者福祉計画 平成16年度～25年度」策定・発刊(常呂町)
		2月7日	住民投票の結果を受け、津別町が「合併協議会」から離脱
		2月10-13日	第24回北海道カーリング選手権 男子優勝スーパーマリナーズ 女子準優勝チーム小林(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月21日	常呂町のいちご苗生産部会女性生産者たちが岐阜県大野町訪問(ところ通信)
		2月27日	北見市・端野町・常呂町・留辺蕊町の1市3町による「合併協定書」 調印式

3月5-6日	「手づくりフェスティバルインところ」(中央公民館)開催
3月26日	ところGO-ME倶楽部主催の「JOY&FREE音楽祭」開催(公民館) リングプルチケット、福山三代太鼓、かき島太鼓、常呂高校ボランティア局 (ところ通信)
3月23-27日	第22回日本男子カーリング選手権:常呂 優勝チーム近江谷(スーパーマリナーズ) (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
3月30日	「常呂川河口遺跡(5)常呂川河口右岸掘削護岸工事に伴う発掘調査報告書」 (常呂町教育委員会)発行
3月31日	ところ文庫21「常呂町郷土史話3」発行(常呂町郷土研究同好会)
3月	ところ陶芸クラブ25周年記念誌発行(常呂陶芸クラブ)
3月	「心の縁を結ぶ第1次常呂町地域福祉活動計画 平成17年度~19年度」 策定・発刊(常呂町社会福祉協議会)
4月1日	ごみ処理の有料化、一斉スタート
4月	豊浜地区の一部が下水道供用開始(ところ通信)
5月10日	(老人クラブ連合会)常呂町老人クラブ連合会40周年記念式典 (40周年特別表彰)場所:老人いこいの家 常呂町老人クラブ連合会「40周年記念誌」発行 (常呂町老人クラブ連合会)
5月10日	「健康ところ21計画」素案完成(ところ通信)
5月21-22日	ところ陶芸クラブ創立25周年記念作陶展:公民館(ところ通信)
6月21日	常呂町交通安全協会50周年記念式典:公民館(ところ通信)
6月27日	玉葱貯蔵施設冷凍冷却施設完成(農協70年史)*タマネギ
6月30日	常呂町農協日吉事業所閉所(農協日吉支所)(農協70年史) *6月24日:日吉地区営農集団が日吉事業所の偲ぶ会開催
6月	「常呂町次世代育成支援行動計画」策定(ところ通信)
7月3日	第45回町民運動会 15チーム参加・13種目・最後の町民運動会 (ところ通信) *参加町内会:岐阜・西町・北進町・栄町・日吉・富丘 ・弁天・豊川・開進町 本通・中央町・末広・共立・豊浜・土佐(広報写真) 総合1位:西町 2位:土佐・北進町 4位:富丘 5位:岐阜 6位:豊川 7位:共立 8位:弁天 9位:日吉 10位:開進町 11位:末広・豊浜 13位:本通り 14位:中央町 15位:栄町 (町民運動会資料)
7月20日	麦類乾燥調製貯蔵施設完成(常呂町農協70年史)
7月21日	常呂漁業協同組合、農林大臣賞受賞(ところ通信)*常呂漁協
8月1日	常呂町郷土資料館(富丘区)開館
8月19日	総務大臣から1市3町の合併が告示され、合併が正式に決定
8月29日	昭和20年7月15日の常呂空襲の犠牲者、濱本喜八郎さんの追悼のつどい 開催(「語りつぐ北海道空襲」)
9月6日	常呂中生徒が総合的な学習でイチゴ苗収穫・出荷作業体験。岐阜県大野町と 常呂町農家のイチゴのリレー栽培、7戸が栽培(北海道新聞)
9月30日	日吉老人クラブ遊楽会40周年記念祝賀会・記念誌発行 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
9月	ソルトレークシティーオリンピック大会カーリングに出場したシムソズを モデルにした「シムソズ」の映画化決定
11月7日	網走警察署常呂駐在所新築開所式
11月9日	映画「シムソズ」のロケが常呂町で開始(~12月9日)
11月11日	文化庁発表の「わたしの旅・百選」に白滝を拠点とした「旧石器時代を 体験する旅」(白滝・常呂・網走・斜里)が特別賞受賞
11月23日	トリノオリンピック大会カーリング女子日本代表に常呂町から3名選出

			トリノオリンピック代表決定戦 チーム青森5勝 チーム長野2勝 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		11月29日	1市3町の商工会議所と商工会が連携する新北見市商工連絡協議会 設立総会
		12月2-7日	第14回パシフィックカーリング選手権 (台湾) 男子準優勝スーパーマリナーズ (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月13日	豊川老人クラブ寿会創立40周年記念祝賀会実施 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		12月21-25日	第14回日本ジュニアカーリング選手権 (妹背牛町) 女子優勝スーパーラヴァーズ (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
平成17年			天龍寺：本堂・納骨堂会館・庫裡を新築建立 (天龍寺五世普山結制大法要ご参詣のしおり)
平成18年	2006	1月1日	「ところ議会だより」93号発行をもって最終号
		1月7-9日	第1回北海道高等学校カーリング選手権 男子優勝INFINITY 女子優勝Grace (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月14-21日	第3回パシフィックジュニアカーリング選手権 (中国) 女子準優勝チーム小林 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月16日	1市3町の合併後の住民説明会開催。(～20日、町内18会場)
		1月20日	J Aところ女性部50周年記念式典 (常呂農協女性部50周年記念誌) 文集「さざなみ」50周年記念号(33号) 発刊 常呂町農協女性部福山支部10人が「福山三代太鼓」披露 (北海道新聞)
		1月26日	「常呂川河口遺跡(6) 常呂川河口右岸掘削護岸工事に伴う発掘調査報告書」 (常呂町教育委員会) 発行
		1月28日	戸籍事務がコンピュータシステム化。
		1月	合併に伴い、従来の「町内区」から「町内会」に名称変更 (ところ通信)
		2月4-5日	第30回雪んこ祭り
		2月5日	映画「シムソンズ」感謝試写会開催 (多目的研修センター) (ところ通信)
		2月9-13日	第25回北海道カーリング選手権 (妹背牛町) 男子優勝ブルーゲイル 女子優勝ラヴァーズ
		2月14日	トリノオリンピック大会カーリング女子日本代表に常呂町から3名 出場 (～20日)
		2月25日	1市3町の合併により、常呂町閉町式が多目的研修センターで行われる。 式典後に「ありがとう常呂町 新たなる旅立ち町民パーティ」を会費千円で 計画 (北海道新聞) 常呂町閉町記念誌「常呂町 ところ学ーホタテ王国からの発信」を作成、 全戸配布
		2月末	「ところ通信」最終号(559号) 発刊 「トコの日記」連載最終回(34年間、419回)
		2月	常呂町農協女性部50周年記念誌「あゆみ」発行 (常呂町農業協同組合女性部)
		2月	北見市シルバーセンター、常呂町高齢者事業団、留辺蘂町高齢者勤労センター 調印式 (新北見市史) (4/1から北見市シルバーセンター常呂支所)
		3月1-5日	第23回日本男子カーリング選手権 男子3位常呂協会 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		3月3日	新しい社会福祉法人北見市社会福祉協議会発足、社会福祉法人常呂町社会 福祉協議会は合併し解散。
		3月4日	常呂町役場閉庁式：庁舎前で「常呂讃歌」をBGMに町長・議長が町旗を 降納。閉庁式に先立ち、議場で町議会の閉会式、昼休みに全職員が庁舎前で 記念写真 (北海道新聞)

	明治16年、常呂村に常呂外六ヶ村戸長役場設置から始まり、大正4年4月二級町村制により常呂村となり、昭和25年11月町制を施行して常呂町となり、123年の常呂の歴史を閉じる。
3月4日	常呂町婦人防火クラブを一旦解散（常呂消防団100年記念誌）
3月5日	旧北見市、旧端野町、旧常呂町、旧留辺蕊町が合併し新北見市が誕生する。常呂自治区が設置され、旧常呂町庁舎は常呂総合支所となる 消防組織は北見地区消防組合消防署常呂支署となる
3月5日	常呂町公民館図書室が北見市立常呂図書館として条例館となる
3月5日	（日吉小）合併により北見市立日吉小学校に校名変更（学事報告）
3月8-12日	第23回日本女子カーリング選手権 第3位常呂中学校（ROBINS） （常呂カーリング協会30年のあゆみ）
3月14日	北見市常呂町農協女性防火クラブとして再結成（岐阜・豊川・日吉・福山富丘・土佐の7地区）（常呂消防団100年記念誌）
3月22日	北見市・端野町・常呂町・留辺薬町の老人クラブ連合会合併調印式挙行、新北見市老人クラブ連合会誕生（常呂町老人クラブ50周年記念誌）
3月22日	トリノオリンピック女子カーリング競技7位入賞の常呂町出身の小野寺・林・本橋3選手が帰郷、中央公民館で報告会（広報きたみ：常呂自治区）
3月28日	常呂町4日クラブが網走支庁管内4日クラブ連絡協議会から脱退
3月31日	ところ文庫23「常呂町の古記録（2）明治時代の常呂」発行 （常呂町郷土研究同好会）
3月	常呂町議会小史「議会の歴史をふりかえり、まちづくりへの想いは熱く」発行
3月	道運輸局北見支局がNPO法人みんとけあ、オホーツク海病院、常呂町社協に福祉有償運送（福祉タクシー）を許可（新北見市史）
4月1日	（日吉小）2学期制スタート、学校評議員制スタート（学事報告） 北見・端野・常呂の小中学校2学期制とする（新北見市史）
4月1-9日	世界男子カーリング選手権（アメリカ）スーパーマリナーズ11位 （2勝9敗）（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
4月20日	西町老人会発足、同日西町老人クラブ「アカシヤクラブ」に改称 （常呂町老人クラブ50周年記念誌）
4月	1市3町による「北見市子ども会育成連絡協議会」設立（新北見市史）
5月22日	（日吉小）多目的教室ボイラー交換（学事報告）
7月1日	網走中部海域が対EU輸出ホタテガイ生産海域に指定。常呂漁協が第81ところ丸を指定船として、常呂漁港内の一角を専用荷揚げ岸壁として確保、指定加工への荷渡し開始（常呂漁協発祥百周年誌）
8月5日	「常呂遺跡群 先史オホーツク沿岸の大遺跡群」発行（武田 修）
8月10日	北見市常呂町・バーヘッド町姉妹都市提携15周年記念署名取り交わし
8月19日	（日吉小）台風10号の影響による大雨で常呂川増水し、避難指示発令。日吉会館に住民避難（学事報告）
10月1日	小規模介護施設「夢ふうせんマイム」開設（新北見市史）
10月7-9日	（日吉小）大雨による常呂川の増水により、避難指示発令。日吉小学校に住民避難。9日になって解除（学事報告） 道道日吉端野線通行止め（新北見市史） 常呂川が計画高水位まで増水、福山・日吉両地区に避難指示、道道7号線が2日間通行止め。農地・育苗ハウスの表土被害（農協70年史）
10月8日	大型低気圧により鮭定置網流失、4億5000万円被害（常呂漁協発祥百周年誌）
10月22日	（日吉小）「北見市児童生徒合同音楽会」に全校児童参加（学事報告）
11月2日	富丘でジャガイモのシストセンチュウが発生（新北見市史）
11月15日	択捉島沖地震（M7.9）で常呂自治区に津波避難勧告発令、350人避難 （新北見市史）

		12月6-10日	第15回JOCジュニアオリンピックカップ 女子優勝常呂協会 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月16-17日	世界女子カーリング選手権日本代表選考会 (チーム青森対チーム長野) チーム青森3勝2敗 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		12月	栄浦橋 (ライトコロ川河口:サイクリングロード) 竣工
		12月	消防第1分団に消防ポンプ自動車を配置 (常呂消防団100年記念誌)
平成19年	2007	1月5-7日	第2回北海道高等学校カーリング選手権 男子優勝ルーキー (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月7-14日	第4回パシフィックジュニアカーリング選手権 (ニュージーランド) 女子4位Grace (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		1月13日	(日吉小) 北見市下の句カルタ大会全校参加 (学事報告)
		1月13日	千島列島東方沖地震 (M8.2) で常呂自治区に津波避難勧告発令230人 避難 (新北見市史)
		2月9日	常呂高校で双方向通信「ほっかいどうスクールネット」を利用したテレビ 合着形式の遠隔授業を実施、網走管内では初の試み (北海道新聞)
		2月9-12日	第26回北海道カーリング選手権 (名寄市) 男子優勝アイスマン 女子優勝ROBINS (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月9-12日	第2回全国高等学校カーリング選手権 男子準優勝ルーキー 女子準優勝Grace (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月19日	中央町老人クラブ仲良し会発足 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		2月21-25日	第24回日本女子カーリング選手権 (妹背牛町) 女子3位常呂中学校 (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2/28-3/4	第24回日本男子カーリング選手権 男子3位常呂協会 (アイスマン) (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		3月5日	北見市合併1周年の集いに常呂小学校5年生参加 (常呂小学校学事報告)
		3月8-11日	第15回北海道ジュニア・カーリング選手権 男子優勝INFINITY 女子準優勝Shines (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		3月25日	「常呂川河口遺跡 (7) 常呂川河口右岸掘削護岸工事に伴う発掘調査報告書」 (常呂町教育委員会) 発行
		3月27日	豊浜老人クラブ発足 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		3月27日	「カーリング魂」 (小野寺歩:小学館) 発行 (トリノ・オリンピック・カーリング競技)
		4月1日	栄浦簡易郵便局一時閉鎖
		4月2日	岐阜老人クラブの総会を4月2日開催に変更 (岐阜老人クラブ50周年誌)
		4月22日	開進町老人クラブひまわりクラブ発足 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		4月	常呂幼稚園休園
		8月15日	「語りつぐ北海道空襲」 (菊地慶一:北海道新聞社) 発行 (「六十年間埋もれていた死者・常呂空襲」で空襲の犠牲者の氏名を特定)
		8月19日	常呂ライオンズクラブ40周年記念式典:多目的センター (常呂厚生病院に屋外ソーラー電波時計寄贈) 「常呂ライオンズクラブCN40周年記念誌」発行
		8月19日	栄町老人クラブしょうわ会発足 (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		10月15日	「走ることについて語るときに僕の語ること」 (村上春樹:文藝春秋) 発行 (「もう誰もテーブルを叩かず、誰もコップを投げなかった 1996年 6月23日北海道サロマ湖」 サロマ湖100キロウルトラマラソン大会 参加の体験記所収)
		11月1日	JAところ (常呂町農協) が土佐に玉ねぎ集出荷貯蔵庫を建設、供用開始 (新北見市史) 安全祈願祭:7月31日 完成:10月26日 (農協70年史)

		11月8日	常呂総合支所1Fロビーを改築しサロンとし、一般供用開始(新北見市史)
		11月17日	J A北海道厚生連常呂厚生病院落成式:多目的研修センター(北海道新聞)
		11月23-25日	シムソズカップ・カーリング大会(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		11月30日	北見市国民健康保険常呂病院が閉院(広報きたみ)
		12月1日	J A北海道厚生連常呂厚生病院が開院(広報きたみ) 診療科目:内科・外科・小児科・皮膚科 病床数:療養病床29 含め54床 *平成26年5月 小児科標榜廃止(北海道厚生連70年の歩み)
		12月5-9日	第16回JOCジュニアオリンピックカップ 男子4位チーム常呂 女子準優勝常呂協会(常呂カーリング協会30年のあゆみ)
平成19年			日吉ふ化場養魚池・飼育池新設(常呂漁協発祥百周年誌) 常呂漁協栄浦給油所廃止(常呂漁協発祥百周年誌)
平成20年	2008	2月6-11日	第25回日本カーリング選手権(軽井沢) 男子準優勝常呂協会(アイスマン) 女子3位チーム常呂(W i n s) (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月19日	日吉小学校開校100周年事業準備会発足(学事報告)
		2月21-24日	第27回北海道カーリング選手権 男子優勝アイスマン 女子優勝G r a c e (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		2月	「ワッカ地区植生環境調査業務委託報告書」発刊 (植生状況及び保全対策に関する第3次調査)北見市教育委員会
		3月4日	常呂漁協常呂救難所創立40周年記念式典(常呂漁協発祥百周年誌)
		3月7-10日	第16回北海道ジュニア・カーリング選手権 男子優勝I N F I N I T Y 女子優勝R O B I N S (常呂カーリング協会30年のあゆみ)
		3月15日	国営岐阜地区土地改良事業着工式:排水機場・ポンプ・排水路 (常呂町農協70年史)
		3月16日	弁天老人クラブ弁天シニアクラブ発足(常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		3月25日	土佐老人クラブ創立25周年祝賀会(常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		3月25日	「常呂川河口遺跡(8)常呂川河口右岸掘削護岸工事に伴う発掘調査報告書」 (常呂町教育委員会)発行
		3月27日	常呂町4Hクラブ創立40周年式典:網走観光ホテル 『常呂町4Hクラブ創立40周年記念誌 若い芽』発行
		3月31日	ところ文庫24「サロマ湖のカキと鍋沸」発行(常呂町郷土研究同好会)
		3月	常呂幼稚園廃園
		4月15日	日吉小学校開校100周年協賛会設立総会(学事報告)
		5月1日	常呂児童館が旧常呂幼稚園舎を利用してオープン(広報きたみ)
		5月	岐阜県・金華一二三会在岐阜地区「風の輪」敷地内に桜園碑建立。平成9年 建立の開拓記念植樹碑と同一場所。銘板「現地の人々と共に社会に奉仕する 心を桜に託し植樹する」
		6月7日	常呂漁協女性部創立50周年記念植樹:北見市三輪地区河川敷地にエゾヤマ ザクラ50本苗木(常呂漁協発祥百周年誌)
		6月26日	漁船海難防止・水難救済センター全道大会(紋別漁港)で開催。北見地区 8救難所参加、常呂救難所が総合優勝(常呂漁協発祥百周年誌)
		6月28日	道カーリング協会が北見・端野・常呂3協会を合併し、北見カーリング協会 設立を総会で正式承認(新北見市史)
		7月25日	常呂高校が千歳市科学技術大学が開発したパソコンを使ったオンライン学習 システム「eラーニング」を学校内で利用する協定を同大学と締結発表 (北海道新聞)
		10月10日	第58回全道へき地複式教育研究大会網走ブレ大会(日吉小学事報告)
		11月2日	藤山ハル記念碑建立・除幕:常呂霊園 (碑文:樺太アイヌ語話者 藤山ハル此処に眠る)
		11月16日	東京常呂会30周年記念誌発行

		11月28日	昭和49年、国から藤山ハルさんに贈られた木杯を次女白川八重子さんが北見市に寄贈：特養「のぞみの園」で寄贈式（常呂埋蔵文化財センター所蔵）
		12月20日	トウフツ神社の老朽化で地区住民の総意により、常呂漁協が新築・落成（トウフツ神社、鑑沸神社）（常呂漁協発祥百周年誌）
平成20年			常呂漁港東防波堤設置の白灯台撤去、代替措置として簡易標識灯設置（常呂漁協発祥百周年誌）
平成21年	2009	1月9-12日	第4回高等学校カーリング選手権（青森市）男子準優勝常呂高校 女子優勝常呂高校（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月5日	常呂町甜菜対策協議会設立50周年記念式典（多目的研修センター） （常呂町農協70年史） *てん菜・ビート
		2月10-15日	日本カーリング選手権（青森市）男子3位チーム常呂（アイスマン） 女子準優勝常呂高校（Wins）（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月19-22日	第28回北海道カーリング選手権（妹背牛町）男子優勝アイスマン 女子優勝常呂高校（Wins）（常呂カーリング協会30年のあゆみ）
		2月	消防常呂支署に小型動力ポンプ付大型水槽車を配置 （常呂消防団100年記念誌）
		3月16日	日吉小学校開校100周年記念看板完成セレモニー（学事報告）
		3月31日	ところ文庫25「遺跡の森の動植物」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月31日	DVD「JAところ設立60周年記念 人から人へ大地のむこうに」 制作（常呂町農業競合組合）
		3月	服部四郎先生生誕100年記念シンポジウム「北東アジアの日本語」報告書 （島根県立大学）発行（服部且「常呂町民藤山ハルさんと大西信武氏の功績 …服部四郎アイヌ語調査日記より」所収）
		3月	常呂町殉公者顕彰遺族後援会解散（きたみ社協だより）
		4月1日	常呂小学校のシダレヤナギ、ハルニレが北見市の保存樹木として指定
		4月1日	常呂町商工会と端野町商工会が合併し、きたみ商工会が誕生：常呂が本所、 端野が端野支所（常呂自治区お知らせ版）
		4月29日	老朽化による外壁落下防止のため利用中止していた森林公園百年記念展望塔 の改修工事完了、再開オープン（ところ通信）
		6月12日	平成10年に常呂町で採択された「ワッカ自然環境保全宣言」を北海道遺産 サロマ湖ワッカ原生花園で、新北見市として改めて宣言（広報きたみ）
		6月13日	日吉小学校開校100周年記念運動会（学事報告）
		7月22日	ご当地グルメ「オホーツク干し貝柱塩ラーメン」発表会：多目的センター オホーツク干し貝柱塩ラーメン地域活性化協議会主催（常呂漁協発祥百周年誌）
		8月2日	常呂漁協の新定置船第三ところ丸、常呂漁港市場前で竣工・操業安全祈願祭 根室市柏崎造船所で建造、7/30進水（常呂漁協発祥百周年誌）
		9月17-18日	第58回全道へき地複式教育研究大会網走大会開催（日吉小・川沿小合同） （日吉小学事報告）
		9月30日	常呂高校PTAカーリング後援会設立総会
		9月	JAところ60周年記念事業DVD完成「人から人へ 大地のむこうに 農業に生きる常呂のこころ」（常呂町農協70年史）
		10月1日	常呂川水系環境保全条例制定（北見市・置戸町・訓子府町）・施行
		10月	消防常呂支署に広報車を配置（常呂消防団100年記念誌）
		11月29日	日吉小学校開校100周年記念学芸会（学事報告）
		12月6日	日吉小学校開校100周年記念式典・祝賀会（学事報告） 『北見市立日吉小学校開校100周年記念誌』発行
		12月	常呂小学校の学校プール解体（常呂小学校学事報告）
平成21年			平成4年から稼働のホタテのウロ施設老朽化で稼働停止、施設解体 （常呂漁協発祥百周年誌）

平成22年	2010	2月15日	常呂町農協建設のJAところ甜菜共同育苗センター施設完成・落成式 *土佐9番地2:ビート・てん菜 *旧種馬所・家畜市場跡 *平成22年1月「甜菜紙筒栽培発祥と共に 設立50周年記念誌」発刊
		3月30日	第27回日本カーリング選手権 女子:常呂高校がチーム青森と延長戦で 2年連続準優勝、男子:チーム常呂優勝、北見選抜3位
		3月30日	「ところ文庫26常呂町の歴史資料(2)」発行(常呂町郷土研究同好会)
		8月27日	北見地区老人クラブブロック研修会(多目的センター 103人参加) (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		9月25日	常呂町農協が地場産小豆のレトルト食品「甘美庵おいしいぜんざい」販売 (北海道新聞)
		9月30日	網走市と湧別町を結ぶ湧網線代替バス廃止、10月から網走市と北見市常呂を 結ぶ路線新設:常呂線(網走バスターミナル-常呂バスターミナル1日4往復 土日祝日、高校休校日3往復)サロマ湖栄浦線(常呂バスターミナル経由の 網走-常呂-栄浦1日3往復 運行は網走バス)(北海道新聞・読売新聞)
		10月1日	麦乾燥施設サイロ増設工事(5基増設)開始(常呂町農協70年史)
		10月23日	第20回「農畜産物即売会」から「JAところ収穫菜」に名称変更 (常呂町農協70年史)
		10月26日	常呂の最大風速が1977年の観測史上1位となる18.7mを午後8時6分に 観測(新北見市史)
		平成22年	
平成23年	2011	1月6日	125cc以下の原動機付き自転車などのナンバープレートにカーリング 競技で使うストーンを横から見た形のデザイン導入を発表。ご当地ナンバー プレートの導入は北見市が道内初(新北見市史)
		2月23日	常呂町加工馬鈴薯生産組合設立30周年記念式典(常呂町農協70年史)
		2月28日	2月開催の第28回日本カーリング選手権(名寄市)チーム常呂優勝、 カーリング高校選手権(青森市)北見選抜優勝、北見市長に優勝報告 (北海道新聞)
		3月25日	「ところ文庫27常呂町の遺跡と異物(2)」発行(常呂町郷土研究同好会)
		3月	常呂漁協が端野町豊実地区山林934,285㎡購入、4月に続きの山林97,303㎡ 購入、100周年記念植樹の実施場所に選定(常呂漁協発祥百周年誌)
		4月1日	東日本大震災の被災地支援として常呂産小豆使用のぜんざい10,500食提供 JAグループ北海道救援支援物資の一環として陸上自衛隊美幌駐屯地に搬入 被災地に空輸(常呂町農協70年史)
		6月	常呂漁協がライトコロ川7線橋付近へ殻長25mmの母貝用シジミ1トン放流 (約20万個)西網走組合(網走湖)から購入(常呂漁協発祥百周年誌)
		7月11日	JAところ青年部が常呂小4年生、川沿小4年生に「食育学習」、ジャガイモ タマネギ農家の仕事説明(北海道新聞)
		8月31日	北海道カーリング協会新設のカーリングオブイヤーでチーム常呂(男子) 札幌国際大学が受賞
		10月8日	東京都港区の「みなと区民まつり」に東京北見会、東京常呂会が特産品販売 テント出店、ホタテ焼き、ジャガバターに長蛇の列(30回目の祭り、5年前 から合同出店)(北海道新聞)
		11月	常呂図書館移動図書館車「はまかぜ号」ワゴン車タイプに更新・運行開始
		12月4日	日本ジュニアカーリング選手権(長野県軽井沢町)で常呂倶楽部(男子) 優勝、パシフィック・アジアジュニア選手権出場へ
		12月6日	車いすカーリングチーム「北見チェアカーリングクラブ」が常呂カーリング 倶楽部のリーグ戦に参加、車いすチームの参加は初めて(新北見市史)
平成23年		日吉ふ化場マスふ化施設・養魚池新設(常呂漁協発祥百周年誌)	

平成24年	2012	1月5-7日	道新杯全道高校カーリング選手権（河西建設カーリングホール）で、常呂高校（男子）1位、北見選抜（女子）2位で全国大会出場へ (北海道新聞)
		1月19-22日	第31回北海道カーリング選手権（妹背牛町）で、男子：チーム北見優勝、北見協会3位、女子：ロコ・ソラーレ2位
		1月	1月5-6日通過した低気圧の影響でサロマ湖第2湖口に砂が堆積、湖口ふさぐ
		2月6日	道がサロマ湖第2湖口の通水溝の掘削工事開始、2月いっぱいの見込み (北海道新聞)
		2月7日	老人クラブ連合会常呂支部主催の第1回冬季スポーツ交流会 (多目的センター 103人参加) (常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		2月14日	第29回日本カーリング選手権（青森市）で、男子：チーム北見優勝、3連覇（旧チーム常呂）、女子：ロコ・ソラーレ2位（北海道新聞）
		3月5日	岐阜地区の治水を改善する網走開建の国営岐阜地区土地改良事業（排水機場・排水路整備）完成・竣工式：鶴雅リゾート（北海道新聞）*岐阜排水機場平成18年着工、6年の歳月をかけて完成（常呂町農協70年史）
		3月7日	栄浦消防団（第2分団）と佐呂間町消防団浜佐呂間分団が「相互応援協定」締結式（ところ通信）
		3月21日	第20回北海道ジュニアカーリング教室（名寄市）で、男子：常呂ジュニア優勝、第21回日本ジュニアカーリング選手権出場へ（北海道新聞）
		3月27日	日吉地区の平間橋完成・供用開始
		3月27日	J Aところが新設した女性専用の農業研修施設「ファーマーズハウスうえる」開所式（北海道新聞） 1階：調理室・ミーティングスペース 2階：農業実習生の宿泊室 (農協70年史)
		3月30日	ところ文庫28「常呂のカーリングのあゆみ（1）」発行 (常呂町郷土研究同好会)
		3月下旬	常呂橋の架け替え工事で、常呂橋解体、一部の橋台を残して撤去 (経済の伝書鳩)
		4月4日	長生会ひがしはま創立50周年記念式典・祝賀会実施 写真集「それぞれの思い出」発行（常呂町老人クラブ50周年記念誌）
		4月11日	常呂漁港で、昨年1年間の漁獲量約30トンに迫るニンシ約26トン水揚げ (新北見市史)
		4月11日	日本製薬工業が常呂産ニンニク（ピンク種ニンニク）を原料とした健康食品の製造工場を常呂町農協敷地内に建設決定（北海道新聞）
		4月	サロマ湖第2湖口の堆積した砂の大規模な排出工事。4月下旬から6月までダンプカーで作業、ワッカ原生花園の散策路通行禁止（北海道新聞）
		4月	常呂町農協の女性専用農業研修施設「ファーマーズハウスうえる」開所11日に常呂町農協女性部が地場産小麦「春よ恋」でピザ作り体験 (北海道新聞)
		4月	高台神社氏子3軒で高台神社最後の神社祭（感謝祭） 端野神社神主の手で魂抜きとお札のお焚き上げ *氏子証言 登位加高台神社の歴史に幕
		6月3日	常呂漁協創立100年記念で、端野町豊実の山林に「百年の森」を設け記念植樹（北海道新聞）
6月26日	常呂漁協創立100年記念として、北見地区消防組合消防署常呂支署に消防指揮車と輸送車（マイクロバス）の寄贈受納式（ところ通信）		
6月	老朽化が進んでいた常呂漁協のホタテエキス精製施設の新施設新築移転 (常呂漁協発祥百周年誌)		
7月6日	常呂漁業協同組合発祥100周年記念式典・祝賀会（ホテル黒部） DVD「常呂漁業協同組合発祥100周年 未来へつなぐ航跡」制作		

			DVD「常呂漁業協同組合発祥100周年 記念式典・祝賀会」制作 *常呂漁協 『常呂漁業協同組合 発祥百周年誌』発刊 冊子「常呂漁業協同組合発祥100周年記念」発刊
	7月31日		午後2時から15分間にわたり、常呂自治区広範囲で暴風雨と直径約2.5ミリの降雹（降雹被害面積948ha、暴風雨倒伏被害1756ha） （常呂町農協70年史） *ヒョウ
	8月6日		常呂町農協漁協共同給油所タンク更新・セルフ化施設開所式 （農協70年史） *常呂漁協
	8月11-18日		北見市（常呂町）・カチダバニヘッド町姉妹都市提携20周年記念事業で バーヘッド町訪問団来北・来町（ところ通信） *8月15日来北記念手形採取、手形・銘板を手形柱に設置
	9月5日		北海道カーリング協会が、チーム北見（男子）とロコ・ソラーレ（女子）を カーリング・オブ・イヤーに選出、表彰（朝日新聞）
	9月18日		日本製薬工場の常呂工場お披露目会：常呂町農協の倉庫を改装、常呂町 在来種のピンク種ニンニク原料の医薬品・健康食品製造、11月から本格稼働 （北海道新聞）
	9月27日		常呂ライオンズクラブが45周年記念事業として、森林公園パークゴルフ場 にシューズクリーナー寄贈（ところ通信）
	10月15日		（株）常呂町産業振興公社が「環境省環境型社会形成推進功労賞」受賞 （常呂町農協70年史）*ホタテ貝殻土壌改良剤加工処理の評価
	10月		常呂町農協が規格外S玉活用のカップ入り「玉葱スープ」製造・販売 （北海道新聞）
	10月末		J A ところ事務所外壁改修工事完了：外壁・屋上防水・玄関ポーチ （常呂町農協70年史）
	11月11日		平成15年に2つに分かれた「東京常呂会」が統一総会開催（北海道新聞）
	11月		常呂町産業振興公社が貝殻土壌改良で2012年度循環型社会形成推進功労者等 環境大臣賞受賞（ホタテ貝殻を土壌改良材に加工して販売する資源循環 システムの構築）（北海道新聞）
	11月		西町老人クラブ「西町アカシヤクラブ7周年記念写真集」発行
	12月28日		特別養護老人ホーム「のぞみの園」（社会福祉法人ところ福祉会）を J A 北海道厚生連に譲渡する基本合意調印（北海道新聞）
	12月		消防第2分団に消防ポンプ自動車配置（常呂消防団100年記念誌）
平成25年	2013	2月3日	北海道カーリング選手権（札幌市）で、男子：チーム北見優勝、3連覇 北見協会3位、女子：ロコ・ソラーレ2位（北海道新聞）
		2月4日	常呂森林公園隣接地のメガソーラー（北海道ソーラーエナジー）が稼働 （北海道新聞）
		2月8-9日	暴風雪により常呂自治区の国道・道道通行止めとなり、車輛10台立ち往生 16人を避難所に収容（新北見市史）
		3月2-3日	暴風雪の最大瞬間風速（アメダス）常呂で31.4メートル。常呂自治区の 国道・道道通行止め、大型バス含め車輛81台立ち往生、自衛隊派遣で 避難所4ヶ所に285人収容。369戸が停電（新北見市史） 強風・大雪でビニールハウス49棟、倉庫9棟被害（常呂町農協70年史）
		3月31日	常呂町カーリングホール閉館 「さようならスクランブルカーリング大会」開催（北海道新聞）
		3月31日	ところ文庫29「常呂歴史物語 江戸時代編」発行（常呂町郷土研究同好会）
		3月	日吉37号橋（限川）竣工
		3月	消防常呂支署に高規格救急自動車を配置（常呂消防団100年記念誌）
		3月	日吉保育所最後の卒園式・閉園
		4月1日	常呂自治区の防災行政無線供用開始

		5月13日	錦水保育所幼年クラブ結成（常呂消防団100年記念誌） 常呂保育園・かもめ保育所に次いで3番目（ところ通信）
		7月1日	J A北海道厚生連が特別養護老人ホームとところ開設・テープカット （旧のぞみの園）（北海道新聞）
		8月1日	（老人クラブ）「すえひろクラブ20年のあゆみ」発行
		8月20日	（老人クラブ）すえひろクラブ20周年記念式典・祝賀会（末広会館）
		8月23日	常呂カーリングホールの命名権を獲得した「アドヴィックス」と北見市の 契約式（北見市役所）（北海道新聞）
		10月26日	常呂中学校開校40周年記念として、常呂中学校同窓会から学校祭に新しい 校旗贈呈（常呂中学事報告）
		11月1日	通年型のアドヴィックス常呂カーリングホールオープン 午前11時から記念式典、正午からL S北見と札幌国際大学の模擬試合 こけら落としは第34回NHK杯カーリング選手権大会（11/2-4）
		11月30日	常呂消防団公設100周年記念式典（多目的研修センター） 式典終了後、スポーツセンターで祝賀会
		12月7日	二宮尊徳像再建委員会（J Aとところ・常呂漁協・きたみ商工会常呂支所・ 北海道水産報徳会・ホクレン農業協同組合連合会・常呂町建設業協会）が 中央児童公園にあった二宮尊徳像を常呂総合支所前に移転・再建除幕式
平成26年	2014	3月1日	「常呂消防団100年記念誌 常呂消防団100年のあゆみ」発行
		3月15日	豊浜地区に建設の津波避難路完成、通行体験会（北海道新聞）
		3月31日	「ところ文庫30 常呂川 治水と治水の歴史」発刊（常呂町郷土史研究会）
		4月10日	共立老人クラブが「共立わかばクラブ」に名称変更
		5月8日	「2013日本農業新聞一村逸品大賞」にJ Aとところ開発の「玉葱スープ」 が金賞受賞・授与式（常呂町農協70年史） *平成24年10月発売
		7月18日	冬季オリンピックで過去最高の5位入賞に輝いたソチ五輪カーリング女子 日本代表：小野寺佳歩選手に北見市奨励賞栄誉賞授与（北海道新聞）
		7月19-21日	カーリングの国内強豪16チームによる「2014アドヴィックスカップ」 開催：北見カーリング協会など実行委員会で初開催、男女のチームが一緒に 対戦（アドヴィックス常呂カーリングホール）（北海道新聞）
		8月21日	常呂川流域に激しい大雨。常呂自治区・端野自治区の堤外地農地が冠水、 83ha作物が被害（新北見市史）
		8月27日	北見市老人クラブ連合会常呂支部創立50周年記念事業実行委員会発足 （総務・記念支部会設置）（常呂町老人クラブ50周年記念誌）
		9月18日	日本製薬工業の新設工場完成お披露目会。11月から本格稼働。北海道在来 種のピンク種ニンニクを原料に医薬品と健康食品製造（北海道新聞） 平成21年から常呂町産のピンクにんにくを原料に製品製造 （常呂町農協70年史）
		11月9日	カナダ・バーヘッド町から交流訪問団が5年ぶりに来北。 常呂高校で1日入学、常呂小中学校で授業に参加（ところ通信）
		11月19日	川沿保育所に幼年消防クラブ発会。常呂保育園・かもめ保育所・錦水保育所 に続き4番目（ところ通信）
平成26年			豊川老人クラブ寿会創立50周年記念祝賀会実施 （常呂町老人クラブ50周年記念誌）
平成27年	2015	1月26日	北見市老人クラブ連合会常呂支部創立50周年記念事業実行委員会第2回 総務部会で記念事業シンボルマークとして土佐老人クラブの川端重義氏の 作品採択（常呂町老人クラブ50周年記念誌）
		3月27日	岐阜老人クラブ50周年記念式典・祝賀会開催。「岐阜老人クラブ創立 50周年記念誌」発刊（岐阜老人クラブ50周年記念誌）

		3月30日	「ところ文庫31 常呂町の歴史資料(3)」発刊(常呂町郷土史研究会)
		6月6-7日	曹洞宗大雲山天龍寺:五世普山結制大法要(大法要参詣のしおり)
		7月16日	常呂小学校開校120周年記念航空写真撮影(常呂小学校学事報告)
		8月	J A常呂広報誌「光と風の大地」500号発刊(常呂町農協70年史) *昭和35年「組合便り」創刊
		9月2日	サロマ湖第2湖口で架け替え工事中の新しい「第2湖口橋」開通、ワッカ原生花園内で記念式典:延長234m、幅4m(北海道新聞)
		9月3日	北見市老人クラブ連合会常呂支部創立50周年記念式典挙行:多目的センター記念誌「50年のあゆみ」発行(常呂町老人クラブ50周年記念誌)
		9月	常呂町農協小豆生産組合が常呂産小豆使用の粒あん入りたい焼き開発 常呂町農協収穫祭皮切りに地域イベントで販売(北海道新聞)
		10月8-9日	台風23号崩れの低気圧が停滞して暴風雨。10棟床上浸水(新北見市史)
		11月	朝日橋解体工事着手(橋上部鉄骨・ケーブル除去・右岸橋台部撤去) 平成28年度:左岸橋台部撤去(経済の伝書鳩)
		12月5日	北見市立日吉小学校閉校式(日吉小学校文集 やまなみ 最終号)
		12月25日	新交通ターミナル落成・オープン(広報写真)
平成28年	2016	3月24日	北見市立日吉小学校最後の卒業式・終業式(常呂自治区お知らせ版)
		3月27日	カナダで行われたカーリング女子世界選手権決勝でロコ・ソラーレ(L S北見)が準優勝、銀メダル獲得(北海道新聞)
		3月31日	北見市立日吉小学校閉校(日吉小学校文集 やまなみ 最終号) 日吉小学校文集「やまなみ」、PTA文集「くまがわ」合本最終号発行
		3月31日	「ところ文庫32 トコロチャン跡遺跡群の発掘」発刊(常呂町郷土史研究会)
		3月	女性農業者グループ「ところよめさんねっとわーく・さくらちゃん」が北海道の「女性・高齢者チャレンジ活動表彰」で最優秀賞受賞 (読売新聞 北海道新聞)
		4月	東大文学部が「常呂の四季」をテーマにしたカレンダー作成、東京大学コミュニケーションセンターで発売(北海道新聞)
		4月	常呂川流域文化遺産活用推進事業実行委員会が、常呂川流域の文化財や文化遺産を紹介する「北見文化財ガイドブック」を作成・発行(北海道新聞)
		7月30日	常呂漁協が12年ぶりに漁協所有のホタテ漁船「第51ところ丸」新造、常呂漁港で安全祈願祭(北海道新聞)
		8月	8/17夕方、台風7号が襟裳岬付近に上陸、夜遅くオホーツク海に抜ける 8/21台風11号が釧路市付近に上陸、8/22未明にオホーツク海に抜ける 8/23台風9号が新ひだか町付近に上陸、8/23昼前にオホーツク海に抜ける *日吉地区の左岸堤防2ヶ所から越水、柴山沢川左岸堤防決壊。福山地区 両岸堤防から越水、東垂川堤防決壊。死者1名(新北見市史) 8/21未明、道道北見常呂線が冠水で通行止め、運転者1人死亡 (新北見市史) 河川の被害状況 決壊:常呂川支川(柴山沢川・東垂川) 越水:常呂川 4カ所 溢水:ポン隈川 住家被害:床上浸水1、床下浸水2 停電:日吉地区 8/21 2:07-8/24 14:412 (まちを語る集い資料)
		9月1日	栄浦簡易郵便局廃止
		9月1日	「ところピンクニンニク」の名称で、平成27年の試験販売を経て約30年ぶりに全国市場出荷を記者会見で発表。コープさっぽろ宅配便「トドック」への先行出荷(常呂町農協70年史)
		9月2日	常呂町農協(J Aところ)が約30年ぶりに地域ブランドとして常呂産ピンクニンニクを市場へ出荷(新北見市史)
		9月23日	台風7号・台風11号・台風9号・台風10号激甚災害の指定を受け、災害復旧に取り組む(新北見市史)

平成28年		9月	福山神社横に福山馬頭観世音碑建立（石碑裏面に記載）		
		10月1日	午後1時から道道土佐東浜線常呂川河口に架かる常呂橋渡橋式（北海道新聞） *平成22年に掛け替え工事開始 全長140m *全長140m 車道幅6mから8mに 歩道幅1.5mから3mに拡幅		
平成28年		11月16日	常呂町農協青年部が常呂小学校で小学校3.4年生（常呂・錦水・川沿）対象の食育授業「常呂町の農業を知ろう!」。常呂産小豆のたい焼き試食（北海道新聞）		
			J Aところが出荷する農産物や加工品に表示する共通ロゴマーク作成 正方形に組合員とJ Aの熱意をイメージした赤を配色、白抜きで「J A TOKORO」を表示（常呂町農協70年史）		
平成29年	2017	1月	常呂高校ボランティア局の活動を支える市民団体「ワッカ原生花園ボランティアの会」が原生花園周辺の自然ガイドブック「オホーツク海とサロマ湖に包まれて」発行（北海道新聞）		
		2月16日	常呂高校ボランティア局が子どもたちへの読み聞かせや高齢者宅の窓拭き、北海道遺産・ワッカ原生花園のガイド活動に取り組んだことが評価され「2017年道新 地域げんき大賞」受賞（北海道新聞 新北見市史） *ボランティア局設立（平成12年）		
		3月25日	川沿保育所最後の卒園式・閉園 「川沿保育所閉園記念写真集」発行		
		3月31日	「ところ文庫33 常呂歴史物語2 入植編」発刊（常呂町郷土史研究会）		
		3月	常呂高校1年生13人が地元の農水産物を使った保存食の作り方を紹介する冊子「わが町の保存食」作成（13種類集録）（北海道新聞）		
		5月11日	常呂町農協（J Aところ）・常呂漁協と岐阜県いび川農協が友好提携協定締結。農水産物相互販売強化、災害時の物資提供・人材派遣で相互支援調印式：サロマ湖鶴雅リゾート（北海道新聞 農協70年史）		
		7月1日	北見市議会総務教育委員会で、千年に一度の大雨を想定した常呂川流域の浸水予測を反映した常呂・端野両町のハザードマップ公表。8月末に両町住民に配布（北海道新聞）		
		7月12日	常呂町農協青年部が地元小学生対象の「食農教育」開催（常呂・錦水・川沿小3.4年生）テーマ：常呂産野菜（北海道新聞）		
		9月1日	豊川巖地神社（豊川神社）の鳥居再建・奉納（豊川町内会）*台座明記		
		9月8日	平成28年夏の豪雨災害で人命救助や被害軽減に貢献した北見地区消防組合常呂消防団が防災功労者内閣総理大臣賞受賞（北海道新聞）		
		9月8-10日	平昌五輪（ピョンチャン冬季オリンピック）女子カーリング日本代表決定戦がアドヴィックス常呂カーリングホールで開催 L S北見が中部電力カーリングに3勝1敗で日本代表に。		
		12月4日	常呂町4Hクラブ創立50周年記念式典（網走観光ホテル） 「常呂町4Hクラブ創立50周年記念誌」発行		
		平成30年	2018	1月26日	平昌五輪（ピョンチャン冬季オリンピック）出場のカーリング女子チームロコ・ソラーレ（L S北見）のオリジナルフレーム切手発売（北海道新聞）
				2月24日	L S北見が平昌冬季五輪（ピョンチャン冬季オリンピック）カーリング女子で銅メダル獲得
3月21日	L S北見の平昌冬季五輪（ピョンチャン冬季オリンピック）カーリング女子銅メダル獲得を記念する祝賀パレードを北見市中心街で開催、パレード終了後、北見市民会館でL S北見の市民報告会（北海道新聞）				
3月	「ところ文庫34 常呂歴史物語3 学校編」発刊（常呂町郷土史研究会）				
3月	日吉川の日吉第1号橋架け替え（欄干記載）				
4月6日	北海道新聞社からL S北見の電子書籍「ロコ・ソラーレ 銅メダルへの軌跡」出版（北海道新聞）				

		4月30日	J Aところが創立70周年記念で「名誉組合員制度」創設。第70回J A ところ通常総会席上、久世篤史元組合長に初の名誉組合員の称号贈呈 (常呂町農協70年史)
		5月	『蛙声会創立百周年記念誌「別冊 蛙声資料集」』発刊 *平成31年1月に修正版発刊
		6月29日	常呂町玉葱振興会設立50周年式典：網走湖荘(常呂町農協70年史)
		6月29日	岐阜ポンプゲート小規模排水機場完成、岐阜幹線排水路組合が修祓式 (常呂町農協70年史 北海道新聞)
		6月30日	俳句サークル「蛙声会」の創立百周年記念講演会開催(多目的研修センター)
		7月13日	常呂郵便局の風景入通信日付印更改(常呂郵便局 開局130年の沿革) 意匠図案：名産ホタテ貝の中に、カーリングをする女性 図案者：志賀洋明
		7月19日	常呂川下流地区水害タイムライン検討会発足：多目的研修センター 各関係機関代表者など93人参加、発足式・タイムラインシナリオ(素案) 説明・意見交換 第1回検討会：平成30年12月27日 第2回検討会：平成31年2月22日 第3回検討会：令和元年5月14日
		7月	蛙声会創立百周年記念吟行会・句会「こころの歳時記」開催
		8月17日	台風7号の影響で国が定めた観測所の水位の統計が過去最高を記録。太茶苗 観測所14.24m、上川沿観測所8.22mと100年に1度という大雨に より想定した堤防の限界値「計画高水位」を突破(新北見市史)
		10月31日	常呂蛙声会が『蛙声会創立百周年誌 蛙聲』発刊
平成31年	2019	3月	『J Aところ 農協70年史』発行(常呂町農協)
		3月	福山23号橋(福山川)竣工
		7月13-14日	第38回インターナショナル・オホーツクサイクリング2019開催、今回 で最後の大会。雄武町出発のフルコース(212キロ)、満喫コース (133キロ)、紋別市出発の牧歌コース(80キロ)、網走市出発の メルヘンコース(41キロ)(北海道新聞) 参加者：北海道新聞は745人、「ところ通信」は505人
		7月12日	常呂川下流地区水害タイムライン試行版完成。地域の住民が水害から円滑に 避難できるように定める「事前防災行動計画(タイムライン)試行版」が 完成し、多目的研修センターで防災に関わる16団体が参加し、完成式と 検証訓練、フォーラム開催(ところ通信自治版) タイムライン第4回検討会、試行版完成式及び試行版完成式フォーラム 開催(国土交通省プレスリリース)
令和2年	2020	3月31日	「ところ文庫36 常呂のカーリングのあゆみ(2)」発刊 (常呂町郷土研究同好会)
		7月3日	常呂町農協の小麦乾燥調製貯蔵施設の増設工事完了、竣工式 施設内第2工場の建て替え、1日800トン受け入れ可能に(ところ通信)
		8月	昭和61年3月架け替えの日吉橋を、日吉川総合流域防災河川改修工事と して架け替え・竣工(日吉橋)
		9月1日	共立地区で、平成7年の共立区開基100周年記念事業で埋めた タイムカプセルを開封(ところ通信)
		10月1日	常呂保育園新園舎完成、供用開始。2階に子育て相談センター併設 (ところ通信)
		10月7日	常呂漁協が北見市内小中学校37校に学校給食用食材として、常呂産ホタテ 260キロを北見市に提供。常呂自治区ではホタテカレーの給食を実施 (ところ通信)

令和3年	2021	1月15日	北見市営バス（栄浦線・鑑沸線）の車両更新・運行：低床・55人乗り (ところ通信)
		3月31日	かもめ保育所が閉園
		4月1日	常呂保育園が「ところ認定こども園」としてスタート（ところ通信）
		4月1日	北見・端野・常呂・留辺蘂の4観光協会が統合し、「一般社団法人北見市観光協会」発足（設立総会は4月19日） *本部：北見 *北見・端野・常呂・おんねゆ温泉（留辺蘂）に支部 (北海道新聞)
		4月	ところ観光コンシェルジュ・フリーペーパー「したっけ〜」VOL1発行 *4月・5月号 *常呂総合支所産業課
		5月1日	サロマ湖ワッカ原生花園で環境にやさしい自転車型タクシー「ベロタクシー」が運行開始：定員2人・専属ドライバーが運転 *料金：1時間周遊コース 大人1人：2,000円 2人：3,500円 子ども1人：1,000円 (ところ通信)
		5月	元常呂高校教諭・佐藤喜寛著『ワッカ原生花園のこと 170枚の画像で、花の楽園「ワッカ」を紹介』出版
		6月	常呂郵便局開局130周年（明治24年：1891開局） *開局130年の沿革作成 *開局130年記念品（箱入り・文字入りシャープペンシル）配布
令和4年	2022	1月28日	常呂郵便局前に「カーリングポスト」（特殊郵便差出箱）設置・除幕式 オホーツクA I 推進協議会（オホーツク振興局）イメージ発信事業 「オホーツクール」とのコラボレーション
		11月4日	福山23号排水ポンプ場完成・式典 2016年連続台風で常呂川内水氾濫 2019年新施設設計・2022年4月から試運転 事業費12億9千万円 新設ポンプ排水能力は従来の3倍 1秒に2.8立方メートル（北海道新聞） *福山23号排水機場